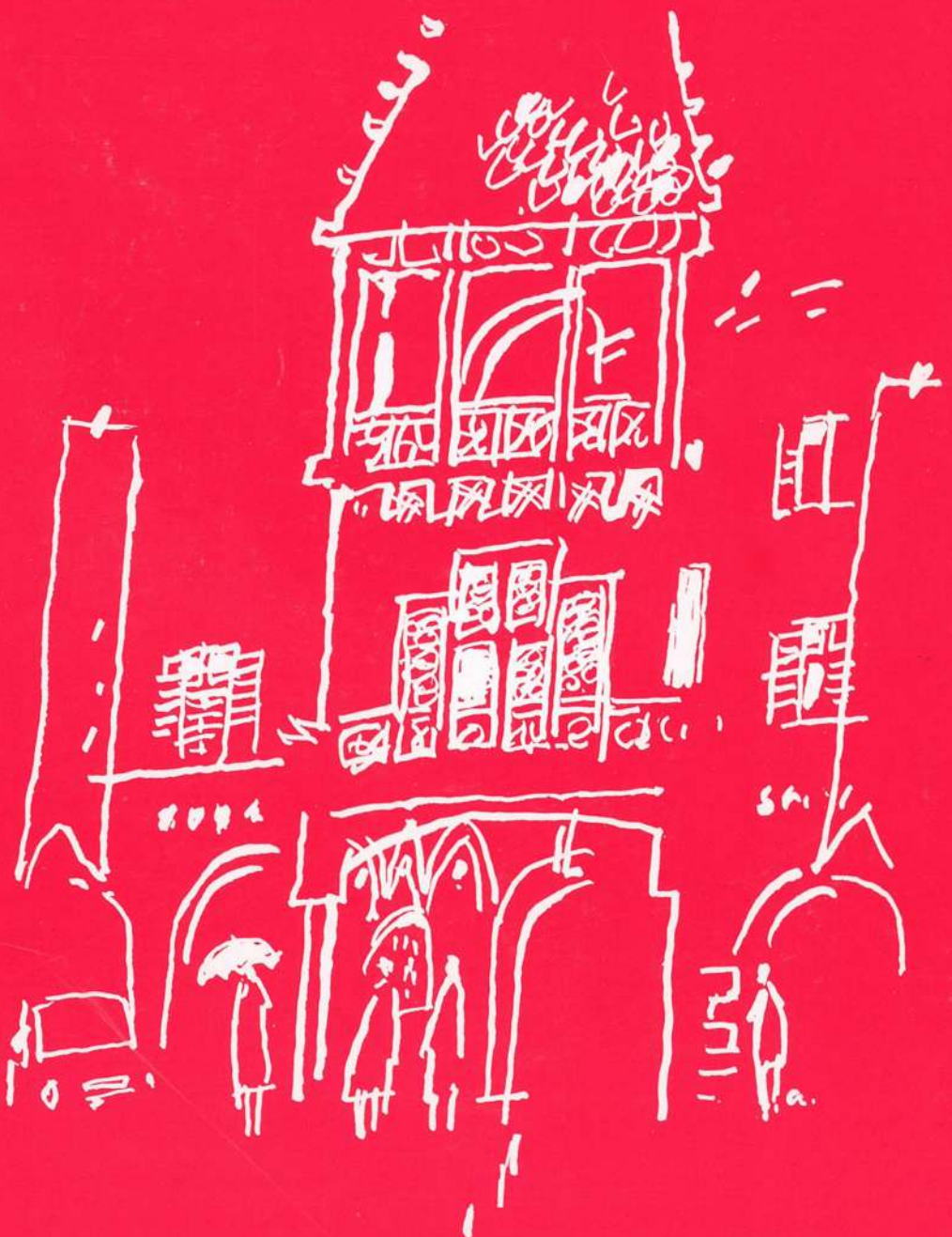
社団法人 日本建築協会
昭和53年1月25日発行
毎月1回25日発行
昭和24年3月19日
第3種郵便物認可

1 建築と社会

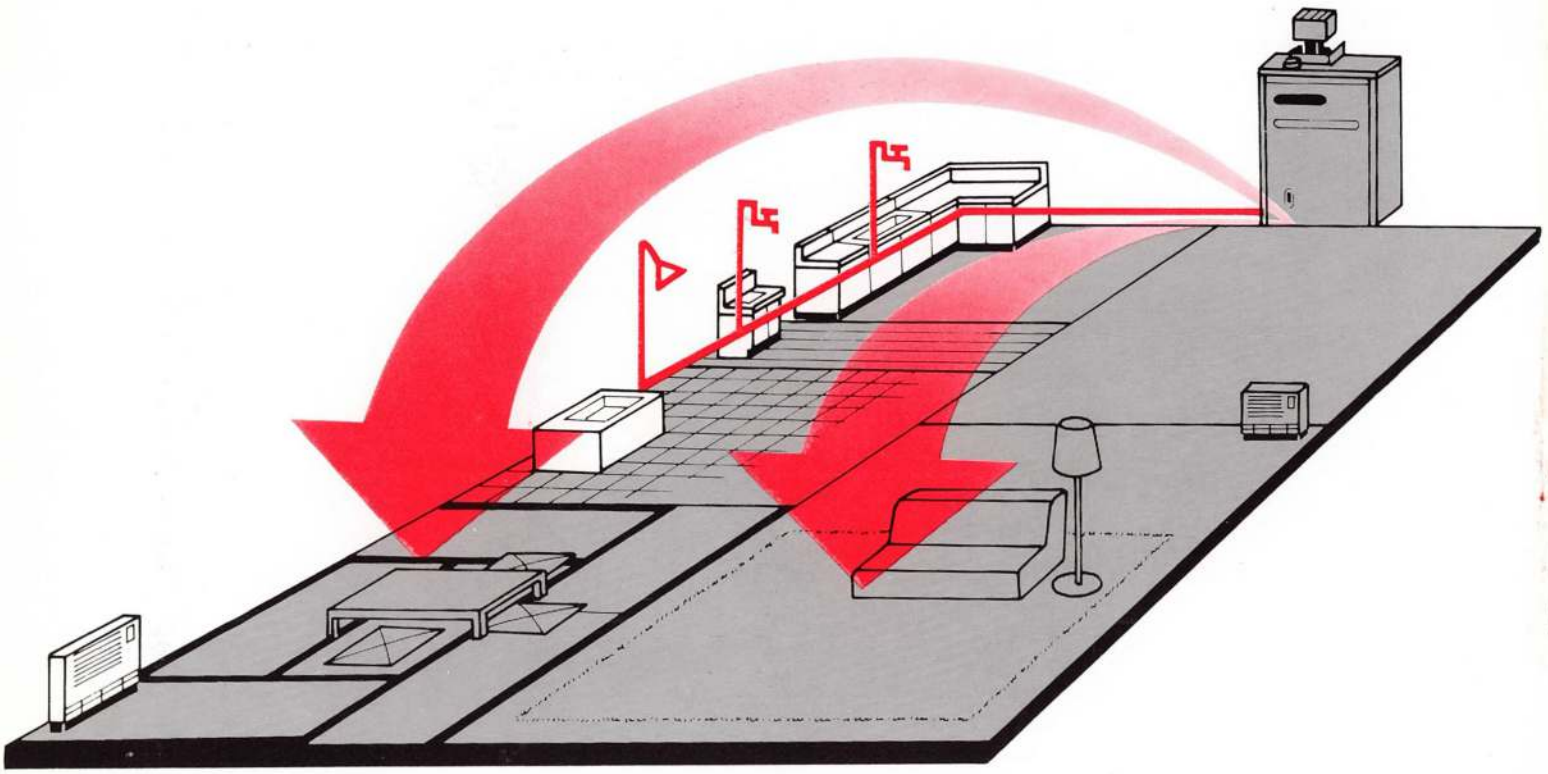
特集●デザインの動向―新旧のコントラスト

1978
VOL.59
NO.670



ARCHITECTURE AND SOCIETY 日本建築協会

充実した暮らしの基本形。
エックスは一味ちがう
新しいセントラルヒーティングです。



●エックスは新配管方式を採用。それぞれの部屋の放熱器が直接ボイラーと結びついているため、6室までなら、あとからでも暖房する部屋を簡単に増やしていけます。

●給湯能力は8号相当。お台所や洗面所でお湯が使えるのはもちろん、シャワーも楽しめます。

●暖房配管には、床下や天井裏、壁などにそって自由に曲げられる細いアングルチューブを採用。既築のお住まいにもムリなく、スピーディに組みこめます。

●暖房や給湯の使用状態に応じて、ガスの消費量を自動的に調整する比例制御装置を採用。

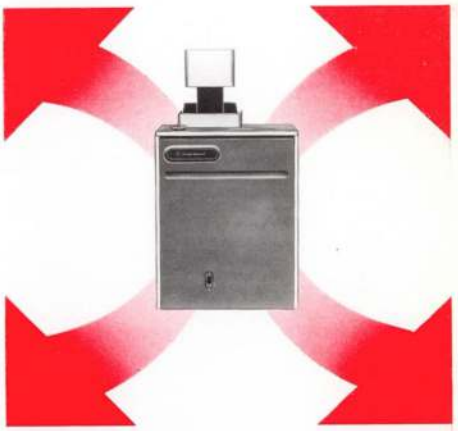
●ボイラーは屋外に置くだけ。スペースは1㎡もあれば十分です。もちろん、雨や風に強い構造ですから、ボイラー室は不要です。また屋内設置タイプもあります。

●価格は工事費も含めて、従来のセントラルヒーティングの約半分。たとえば2室暖房・3ヵ所給湯設備で約38万円(新築、1階暖房の場合)です。

〔パック価格の例〕(ただし、暖房は1階のみの場合)

暖房室数・給湯箇所	新築の場合	既築の場合
2室暖房・3ヵ所給湯	380,000円	445,000円
3室暖房・3ヵ所給湯	459,300円	525,400円
4室暖房・3ヵ所給湯	538,600円	605,800円

※この価格は昭和53年3月末までに設置完了の場合です。
※パック価格に含まれないガス工事や電気工事などの別途工事もありますので、くわしい内容についてはご相談ください。



給湯&暖房
ガス&シンプルシステム
エックス

大阪ガス

●カタログをご希望のかたは、
請求券をハガキに貼り、下記までお送りください。
〒541 大阪市東区平野町5-1 大阪ガス 営業開発部「エックス」係

資料請求券
エックス
建築と社会

謹賀新年

1978

昭和53年を迎えて

(社)日本建築協会会長　塚本　猛次

明けましておめでとうございます。

本会の会員の皆様、役員の皆様、また事務局の皆様、無事ご越年何より、おめでとうございます。

三木内閣から福田内閣に移行し、その間、参議員選も行われ、低成長時代に直面して政治行政は、中道を歩むべく新たな模索の時代に入ってきました。現実には、ドル相場の低調、円高不況のため、もろくも崩れていく企業があとをたちません。

福田内閣も、昨年12月に入ってその陣容を強化しましたが、この新内閣によって、海外の動きがどう変わるか、さっぱり予測がつきません。

元来、日本はその原料資材を海外から購入し、製品化して、その一部を海外に出しているので、その製品の輸出高が、いわゆるＧＮＰの10％内外に限られているのに、そんなに米欧をおびやかすのでしょうか。このあたりのカラクリが、わからないまま、これからエネルギー不足時代と称する、1980年代を迎えて、われわれ国民はどう動いていくべきでしょうか。エネルギーの節約を含めて省資源化の生活、国土のあり方、廃棄物の有効化の処理のあり方等、これから重要な要素となってくるでありましょう。

しかし当面の問題として、国内の需要供給喚起のため土木建築関連工事の発注等、動きを考えるとき、かつての好況時代を体験したわれわれには、身をあたためてくれるまでには至っておりません。住宅政策でも、資金面で多少の好意的な処置をほどこされても、土地がなかなか手に入らないという条件下では、すぐにも、景気の刺激に響くわけにも参りますまい。にもかかわらず、われわれとしては、公共投資に多くの期待をかけるものです。

本協会も、昨年度は、月刊「建築と社会」誌を刊行し、その他の諸事業を行って会員各位の期待に多少とも答えてこられたと思います。大阪には、特異の形態である本協会のほかに、学会はじめ、その他の諸協会も数多くあります。

お互いに、共同の目的を持った会員で活動しておられるわけですが、この不況の時に、各協会とも、その運営には多大の苦心をされておられると思います。

わが協会も、会員並びに諸機関のご賛同を得て、昨年後半に、会費の値上げを行いましたが、不況の影響は大きく今年度も引きつづき、入るを計り出ずるを制して、会員各位のご期待に答えるよう運営をしてゆきたいと思います。理事、役員、委員の各位には無報酬の奉仕によっており、はなはだ心苦しい次第ですが、よろしくお願いいたしたいと思います。また事務局の職員各位にも、創意工夫によって運営の妙を発揮していただきたいと思います。戸惑いがちな低成長時代の三年目の年を迎えて、この年を乗り切るご苦心は多いでしょうが、お互いに道を見つけて歩んでいこうではありませんか。

会員各位のご健勝をお祈りし、年頭の挨拶といたします。

日本建築協会常設委員会・本年の抱負

建築データシート委員会本年の抱負

建築データシート委員長　井上　滉

昭和53年は委員会にとりまして存亡を問われる重大な年であると覚悟しています。去年協会創立60周年の記念事業として、ハンドブックの出版を企画し、委員会と事務局が一体となってスタートしました。不況の風が吹き続ける中で、企業側が深いご理解を示して賛助してくださり、委員各位の熱心な努力の結晶として731シートが集まりました。この貴重な731シートが目下印刷、製本されつつあり、春には皆様のお手許へ届く予定です。そしてわれわれにはこの充実した完成品を予定以上に販売して成果を上げなければならない仕事が待っているからです。

内容は同種の本と比較すれば、問題にならないほど優れていることは事実であると自負していますが、残念ながら宣伝広告費を縮少しているため大勢の人々へのＰＲが未だ不足していると思います。何とぞ会員諸兄のご理解とご協力によって、より広くより多くの方々のお役に立ち得るようご援助をお願い申し上げます。

次に、このハンドブックは３年ごとくらいに補足、訂正して常に諸兄の新しい要求に対応できるべく考えていますが、その間も適時ニュースのようなものをお送りする計画です。終わりに坂先生の厳しい監修のお蔭で内容が充実したことを心から御礼申し上げ、ご賛同を賜わった企業に主旨を理解していただいたことを深謝し、一人でも多くの方々にご利用していただくことを切に念じながら、新年の抱負と致します。

61年目の出発

事業委員長　窪田　祐

日本建築協会の歴史は、61年目に入り、いわゆる、還暦となったわけですが、これまでの60年は、ちょうど、戦前と戦後が30年づつという全く異なった社会情勢の中で歩みつづけてきたわけであります。この歴史の中で、建築界において果たしてきた地域的役割は非常に大きいと思います。産業、経済界においては、減速経済に処する対応が徐々に行われつつあるようですが、それに加えて、予想を超えた円高という試練によって著しい構造変革が表れてきそうです。

建築界も、これに対応して大きな構造的変化が起こってくるに違いありません。日本建築協会の事業活動においても、その果たすべき役割を模索しながら、新しい展開を目指さなければならないと考えています。

着実な発展をめざして

教育委員長　岡田光正

教育委員会の企画としては、例年どおり「建築工事実務講習会」と「工高生デザインコンクール」ということになりますが、いずれも長年つづいてきた伝統のある行事ですから、やるからにはぜひとも成功させたいと思います。とくに「実務講習会」については、景気の動向を反映して厳しい状況が予想されますので、会員諸氏のご支援をお願いする次第です。

「デザインコンクール」の方は、関東の方からの応募と入選が多くなっており、夏休みの課題としてカリキュラムに組み込んで積極的に参加していただいている学校もかなりあるようです。行事の参加者がふえることは、結局は協会の発展につながると思いますので、一層、努力してゆきたいと考えています。

編集委員会本年の抱負

編集委員長　中村甲一

新しい年がめぐって参りました。編集委員会に対しての各界からのご理解あるご支援に対し厚く御礼を申し上げます。

円高、不況、緊迫化する内外事情という社会状勢の長期化が会誌“建築と社会”の編集の上にもいろいろと影響を落としまして、その結果、とくに会誌の厚さが“パンフレット”のようだと皆様から言われそうな状況になっております。

しかしながらこの低迷する社会の中で建築をとりまく種々の問題点から適確なるポイントを捉えて、小粒でもピリッとした内容の“建築と社会”誌を作り出すことこそ広い会員層の皆様のご期待に添うための本年最大の課題と思い、委員一同努力致しますので、なお一層のご支援をお願いします。

住宅委員会新年の抱負

住宅委員長　小西　岬

昨年、住宅委員会では、４月に朝日新聞社主催の琵琶湖ローズタウンにおける住宅フェアーのプレハブ住宅審査をはじめ、９月アベノ近鉄百貨店でのよろず相談住宅展を、いずれも成功裡に実施できたが、展覧会については最近の不況下において、百貨店での会場取得と出展者集めがきわめて困難な状況にある。

よって本年は、住宅展を継続すべきかまたはこれに代わる事業として適当なものがあるのかなどを、模索検討を進めて、住宅委員会の方向を決定すべきである。

代わる事業についても前々から委員会で討議を重ねているが、何分展覧会には14回の歴史があり、かつ赤字を出さないこと、一般の人のよき相談相手となることを絶対使命としているので、大変頭の痛い思いをしている。

本年の３月末頃までに何らかの結論を得べく、委員会を挙げて検討中である。

建材委員会本年の抱負

建材委員長　山田幸一

当委員会では原則として月１回例会を持ち、その時々に話題となっている建材（施工機器を含む）のメーカー・取扱商社などを招き、その説明と質疑応答を通じて問題点の検討を進めている。一方、新しく開発された建材の情報をできるだけ早く会員に提供するため、本誌の「新建材紹介コーナー」において、それら新製品の解説を委員が交替で執筆している。また姉妹団体である日本建築材料協会とも常に接触し、建材全般の動向を把握するように努めている。昨52年には11回の例会を開き23件の新建材を紹介した。本年は以上の活動に加え、他の委員会とも提携して見学会なども積極的に行いたい。例年思うことであるが、委員会での成果は速やかに全会員に還元されなければならない。この点「コーナー」で紹介した製品が現実に多く使われ始めたという話も二、三聞くようになった。喜ばしい傾向と思っている。

新年にあたって

法規委員長　市川　宏

またまた非常事態のなかで迎えた53年の新春。協会の役目自体真剣に考えなければならない時と思いますが、その中にあって法規委員会がどういう役目を果たすべきか、いかに寄与すべきなのか、実はまだまだ暗中模索、改めてその難しさを痛感しております。

以前にもこの欄で申し上げた通り、当委員会は官民のパイプ役としての機能を果たすことを眼目としてきました。そのためにも会員の皆様からのご希望、ご意見を汲み上げようとしてきましたが、残念ながらこれまでのところご協力を求めることはあきらめざるを得ませんでした。したがってその後は再び元に戻り、委員の間で、あるいは専門家との意見交換を通じて、通用面その他での問題点を追求し、その改善に努力しています。その成果が、たとえわずかずつでも行政、業界の双方に役立つことを期待する次第です。

出版委員会よりひと言

出版委員長　小林　清

わが建築協会は、昨年創立60周年を迎えたが、これを記念して、当出版委員会から「技術選書」を刊行することになった。その企画内容は、初級技術者のため、日常の業務に役立つよう、有効適切なるテーマを多方面にとりあげ、これを平易に解説してその技術の向上に寄与したいと念願している。

こういったことは、むかしからも企図されたことであるが、わが協会のようなところでは、いくらすぐれた出版企画をたてても、その販売方面に弱く、いろいろと苦労も多く、またその発行も見送られることが多かった。そこで今回は、京都の老舗・学芸出版社と提携、委託出版することにしたのである。

すでに「ビルの省エネルギー問題」「茶室の話」などの原稿を頂いており、そのほか依頼中のものも多く、陽春より発刊の予定。刮目して待たれよ。

建築と社会
ARCHITETURE AND SOCIETY

© 1917年創刊

第59集
670号

CONTENTS 1978 1

特集●デザインの動向—新旧のコントラスト
SPECIAL FEATURES ON THE CONTRAST OF OLD & NEW IN THE ARCHITECTURAL DESIGN

年頭のことば　昭和53年を迎えて／日本建築協会会長塚本猛次……1
本年の抱負　日本建築協会常設委員会委員長……2
作品作風・新建築
シーモールしものせきショッピングセンター　設計施工：大林組……4
武庫川学院公江記念講堂　設計施工：竹中工務店……16
住友生命岡山ビル　設計：日建設計大阪本社　施工：鹿島建設・大成建設共同企業体……20
大分県立芸術会館　設計：安井建築設計事務所　施工：梅林建設……22
サントリー梓の森プラント　設計：安井建築設計事務所　施工：東海興業・大林組共同企業体……24
大阪市環境事業局港工場　設計：大阪市建築局・東畑建築事務所　施工：大林組……26
日商岩井朱雀マンション　設計施工：不二建設……27
都市設計資料 26　都市づくり総力戦の提案／神戸都市設計資料研究会……28
デザインコンクール　第23回工高生デザインコンクール入選作品……30
テーマ：ショッピングプラザに建つ「ドーナツショップ」
会告　会員の受章。会員倍加にご協力お願い。三井生命大阪ビル新築工事の見学会。……33
"清酒日本盛"西宮酒造株式会社本社工場の見学。
"万国博"お祭り広場・大屋根降下工事の見学。
若い会員の集いレポート　丹波路を行く…栗拾いと城下町散策／田中勝・谷口美樹子・留奥隆……48
法令コーナー121　建築基準法に基づく建築許可、認可、承認申請。第2種住居専用地域内における用途制限／山田為行……49
新建材紹介コーナー22　アルミニウム合金製プール／牧田顕治。……50
読者の頁　茶室空間／上谷重男。'78年賀状二点／向井正也／小泉豊。私たちのグループNo.15『近畿地建スキーサークル』／斉藤英雄。……53
建築と社会ニュース　国立民族学博物館オープン。建築設計図展。日本建築学会近畿支部開設30周年記念行事。創立25周年記念建築士会全国大会。樹の話シリーズ・37「樹の話シリーズの終りにあたって」……51
建築の眼　壁面ブレースのはらみ出し／高原道夫。建築紛争雑感／中川秀夫。事故と警報／千原大五郎。建築屋の役割／川崎敬三。……55

特集●デザインの動向—新旧のコントラスト

総論

排除の歴史—近代建築思考考　西沢文隆　57

新旧のコントラストについてのコメント

対立と同調……岩本博行　65
新旧を超えるもの……鳥田家弘　65
粉飾性と夢幻性……光安義光　66
コラージュの季節……向井正也　66
古いものを新しくするのは新しいものの責任……小角亨　67
「旧」を愛してこそ—文化としての新旧コントラスト……山崎泰孝　67
文化の重層のなかで……東孝光　68
「郷」に入れば「郷」の空間をひき上げるものを……蓮佛亨　69
バランスと対比……水谷穎介　69
衝撃のコントラスト……辻野純徳　70
込められた精神性……出江寛　70
景観の中でのコントラスト……瀧光夫　71
昔の出来事に新しさを感じ……太田隆信　71
古いものから新しい意味性を引き出す……牛山勉　72
容積のコントラスト……徳岡昌克　72
風化の図式……遠藤剛生　73
新しい空間秩序のなかで……佐々木桂　73
調和のある対比……横山誠一　74
実務から—表面性を狙って…神出津嶺雄　74
風景の中で……中村銀之助　75
時代に生きぬく……浅井謙　75
都心の長屋……中筋修　76
中之島公会堂や図書館に……渡辺豊和　76
フーラードームを覆せたとき
アウフヘーベンしたデザイン…竹山清明　77
戦慄的な対比……中村隆一　77
都市環境のなかで……吉村篤一　78
〈新旧の対比〉雑感……北島道生　78
旧の分析が新の発想を生む…横川隆一　79
表層から深みへ……高松伸　80

おわりに

さまざまなコントラスト　河辺聡　81

構造の頁 43　RCスラブの長期たわみ／森田司郎……82
設備の頁 42　ゴミの真空搬送システム（その1）／住川武嬉……83
施工材料の頁 42　浅層地盤改良工法／水林義男……84
月報　日本建築協会月間の動き（昭和52年11月分）……86

表紙デザイン：吉引顯久（竹中工務店）
インスブルックの（金の小屋根）

■2月号特集／水
■3月号特集／計画特集（病院特集予定）
■4月号特集／施工材料特集

編集委員会（昭和52年度）○印副委員長△印幹事

編集委員長		
中村甲一	横川隆一	柳生研太郎
編集理事	●計画分科会	●法令分科会
井上滉	石東直子	△西尾宗晴
尾亀清四郎	小林奉之	松本好雄
岡田光正	五島信明	●投稿欄小委員会
金井清三郎	杉本昇	稲毛政信
北垣智造	△鈴木良介	○芝山昭
窪田祐	藤本尚久	鈴木武
菅谷健児	松村茂樹	関川康
前野慶太郎	●構造分科会	●広告企画小委員会
松村慶三	大井恭二	阿部坦
三浦二三男	木本英爾	○尾亀清四郎
山田幸一	中塚信	岡田満夫
渡辺恵	△中東達男	桑田和明
編集委員	●設備分科会	下前裕一
●作品作風小委員会	河崎孝太郎	杉村勝三
○大辻眞喜夫	河津隆之	十倉毅
後藤攻	中根芳一	中野孝治
榊原潤	△西村喜卿	水嶋繁樹
沢田伸	林禎造	山田雄祐
奈良鉄一	●施工材料分科会	渡辺恵
横尾迪夫	△野村康治	
	古荘昭憲	

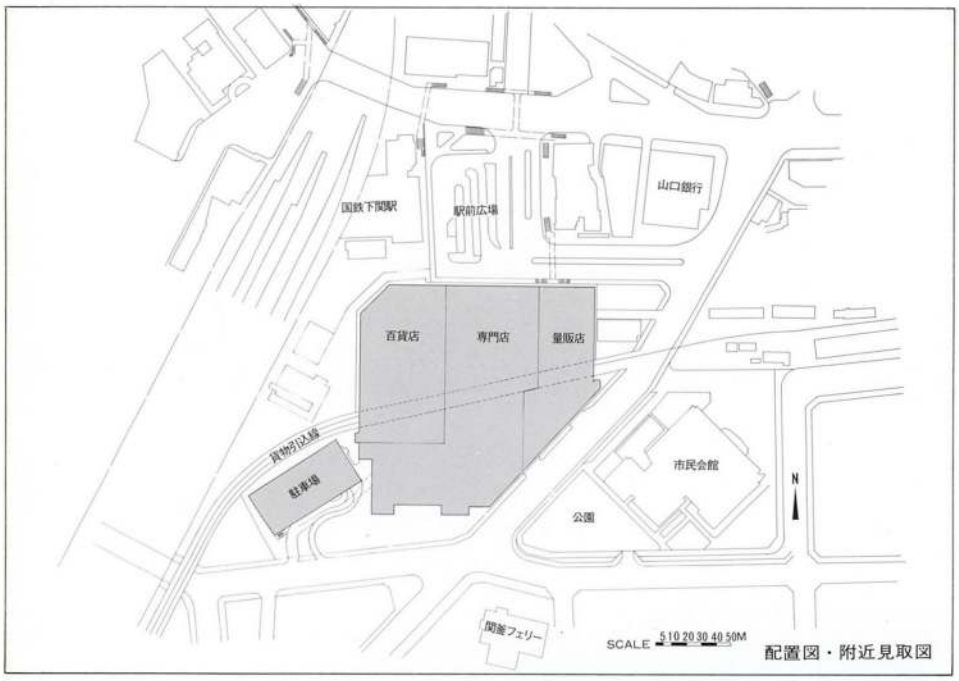
編集人　松井昭光
印刷　昭和53年1月20日
発行　昭和53年1月25日
発行人　吉田悦二
発行所　（社）日本建築協会
大阪市東区北浜3—37
電　06—231—9648
振替口座　大阪 39975
印刷所　株式会社研文社
電　06—314—0151㈹
大信印刷株式会社
電　06—451—5346㈹
日本写植印刷株式会社
電　06—692—3425㈹
売価　650円（送料別）

シーモールしものせき ショッピングセンター

企　　画　SSCプロジェクトチーム
設計施工　大林組

下関市は古くから交通の要衝、観光地として、諸般の好条件に恵まれながら、地形的な条件により、都市機能が散在し、中心商店街がなく、このことが消費者離反の要因となり、特に高級買廻り品にあっては、その購買力の大部分が北九州市小倉地区へ流出していた。
シーモール下関は、下関27万市民ならびに、その近隣地域の消費者の強い要望により、下関市小売業の抜本的な振興と、市外流出購買力の歯止めのために建設されたもので、ストップ・ザ・北九州、カム・フローム・北九州を合言葉に、約10年の歳月をかけて練りつくされた構想をもとに、全国でも珍しいコミュニティー型総合ショッピングセンターとして、昨年10月オープンしたものである。この企画は、ＳＳＣプロジェクトチームが担当した。

ＳＳＣプロジェクトチームは、用地問題が具体化した時点(昭和48年８月)に編成されたもので、大阪大学の足立教授をチーフに迎え、大林組本店設計部が主力となり、それに西脇設計を加えたチームである。



配置図・附近見取図





正面全景


正面

撮影　日本工房





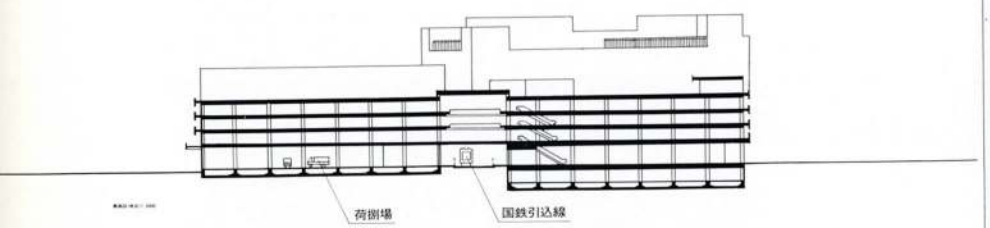
1 階公共通路

撮影　江崎元識



2階平面図 1:2000

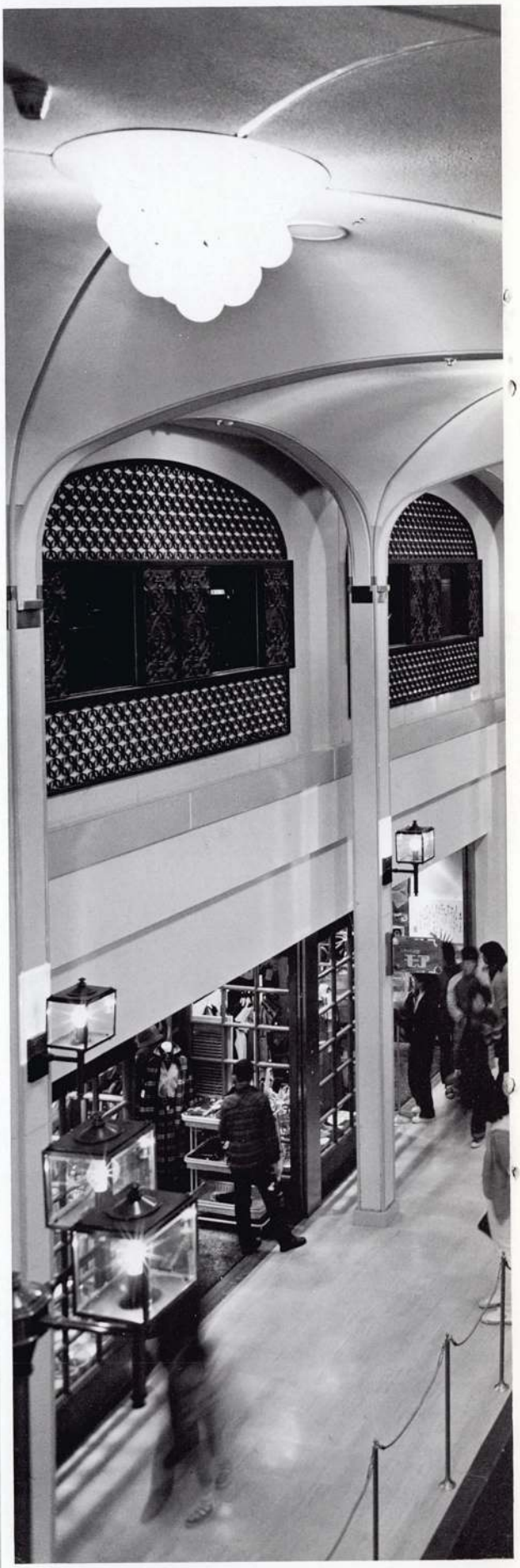
1 中央広場
2 モール(公共通路)
3 泉のある広場
4 映画館





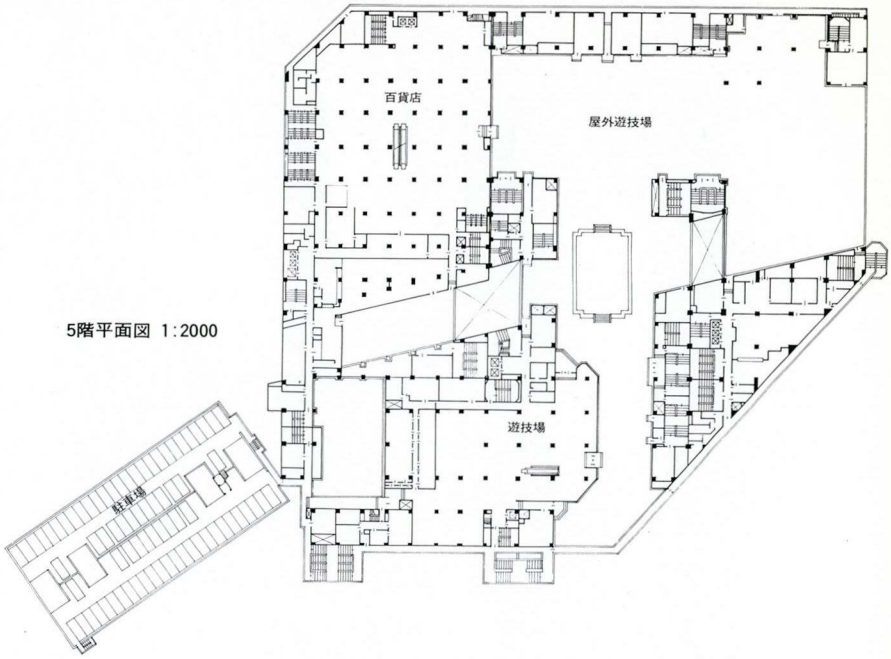
1階平面図 1:2000

1 滝のある広場
2 百貨店荷捌場
3 専門店 〃
4 量販店 〃
5 エネルギーセンター
6 防災センター
7 蓄熱槽
8 公開空地

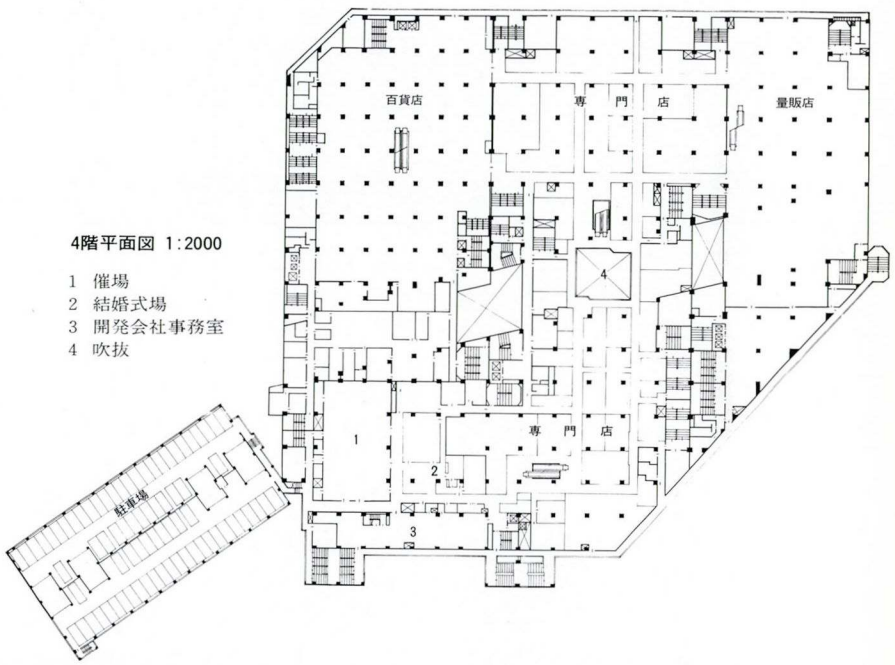




3階よりモールをみる

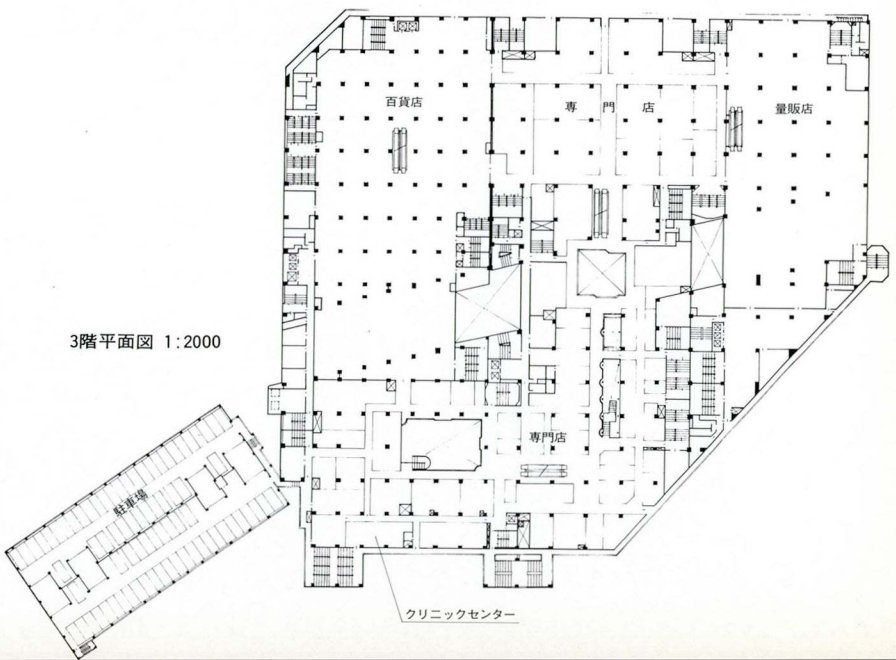


5階平面図 1:2000



4階平面図 1:2000

1 催場
2 結婚式場
3 開発会社事務室
4 吹抜



3階平面図 1:2000


専門店街
220
TELEPHONE
西嶋







1．2階モール
2．滝のある広場
3．泉のある広場
4．中央広場



●企画について

このプロジェクトは、下関商業開発株式会社から昭和48年暮に正式に発注されたものであるが、我々は、会社設立準備委員会の段階から、このプロジェクトに参画してきたという経緯がある。

事業主体となっている下関商業開発株式会社は、この事業のために昭和48年12月設立されたもので、下関市の小売業界が中心となり、下関商工会議所が音頭をとってできた公共性の強い会社で、下関市も株主となっている。

我々は、このプロジェクトにおいて各種業務を担当してきたが、一般によくある、いわゆるコマーシャルベースのＳＣにはみられない、いくつかの手法をとり入れている。

1．基本構想

シーモール下関は、下関市の基本構想および商業近代化地域計画に基づく、下関駅周辺開発事業の一環として、交通の中心である国鉄下関駅前に、下関大丸、ダイエーをキーテナントとし、地元の小売店を中心に、東京、大阪の一流専門店を加えた220余店の参加をえて、本格的なコミュニティー型ショッピングセンターとして、計画されたものである。

このショッピングセンターは、下関の新しい核として、洗練された商業空間を市民に提供し、都会的なセンスの高い買廻り品を揃えて、広く市民のニーズに応えるワンストップショッピングセンターをめざすとともに、商業中心型の地域コミュニティーとしての観点から、文化、教養、娯楽、医療などの都市施設の充実をはかり、市民に愛され親しまれる『新しい街』をめざしている。

2．位置づけ

用地の選定について関係者は、コミュニティー機能、ターミナル機能、商業拠点の可能性などを具体的に実現するにたる立地としては、国鉄４万人、バス６万人、合計１日の乗降客10万人を有する下関駅前を最適のものとして、この駅前広場に面する国鉄用地の一部と市の埋立地を合わせて約2800㎡の敷地を候補地として、市や国鉄に払い下げの運動をしてきたが、国鉄は49年９月、市は50年７月に、用地の払い下げを正式に認め、ここに用地は決定した。

3．商圏の設定から事業決定まで

下関市の人口は、約27万人であるが、その商圏は広く、１～３次商圏内で約35万人、北九州市の一部やその他影響圏を入れると、その人口は、100万人近くにも達する。

我々は、昭和47年度の山口県買物動向調査のデータに基づき、目標年度（昭和53年）における、このＳＣに吸収可能な購買額を推計し、計画施設の規模を算出して、50年５月事業計画書を会社に提出した。

事業計画書は、下関商業開発株式会社で詳細に検討された結果、50年７月にこの事業は、ほぼ計画書通りに決定された。

土地の払い下げ、キーテナントの決定など、事業の準備作業は順調に進んだが、国鉄の引込線の移転問題、既存建物の移転などの処理に、相当の歳月がかかっている。

4．業種構成から街づくりまで

シーモール下関のように地域中心型のショッピングセンターでは、その建設の目的から考えて、業種構成比のもつ社会的影響を無視することはできない。

既存の大型ＳＣを分析し、これに下関の特性を加味して、このＳＣにふさわしい業種構成のモデルを作成した。

これからのＳＣでは、単に商業空間を提供するだけでなく、文化、娯楽などの都市施設を充実した街づくりが必要である。

このＳＣでは、広場、モール、各街区、各通りは、より個性化した性格づけを行い、新しい時代に即応した街並を造るとともに、生活の高度化、多様化志向に合わせて、夢のある『新しい街づくり』をめざして、全体をまとめた。

5．入店募集からオープンまで

前記の街づくりの構想によってできた店舗配置によって、50年11月、テナント募集を開始した。

下関市の小売業振興という基本構想にしたがって、地元小売店を優先することにしたが、東京、大阪などの有名店を加えて、入店希望者は200店にも達した。

これを51年１月より選考委員会で選考し、３月には募集店舗の80％近い店が入店契約を行った。着工時にこれだけのテナントが決まったことは、他のＳＣに見られない非常に珍しいケースである。

その後、テナントは順調に決定し、昨年10月には空店舗なしでオープンした。

6．大規模小売店舗法について

50年11月のテナント募集につづき、同月、大規模小売店舗法に基づく３条申請の届出を通産省に提出した。

その後、51年３月から下関商業活動調整協議会によって審議された結果、同年８月、シーモール下関は申請通り承認された。

これは、この事業の目的が市民全体から歓迎されたわけで、全国でも数少ないケースである。

我々は、このプロジェクトについては、前記の業務に関連する調査、届けなどはもとより、テナントの誘致、入店研修などの業務にも参画してきた。また、防災、防犯、清掃などの管理システムについての提案や調整、テナント工事の内装管理業務やコンサルティング業務など、企画からオープンまでのあらゆるソフト関連業務を処理してきたが、オープン後もこれをフォローしていきたいと考えている。

●計画について

実施設計計画については、大林組本店設計部が担当した。

1．建築計画について

(1)ブロックプラン

このＳＣは、敷地の中央を国鉄の貨物引込線が通っているため、建物はこの引込線を跨いで建っている。

引込線の北側の棟は、国鉄下関駅、バスターミナルなどの駅前広場に面しているため、百貨店、専門店、量販店各ゾーンの玄関を設けて、お客の導入部分としている。

一方、南側の棟は、港湾道路など二方道路に接しているため、サービス施設を中心に考えている。約800台収容できる駐車場ビルと、荷捌場やエネルギープラント、従業員関係などのサービス施設をこの棟の１階および中２階に設けている。

したがって引込線の上空は、２階以上において各階ともブリッジによって、南、北棟の売場をつないでいる。

特に専門店は、広場やモールによって南、北棟をつなぎ、一般客のための主動線としたが、これらの広場やモールは、一般に開放して公共の通路、広場とし、市民の憩いの場、集いの場として、コミュニティー機能の充実を計っている。

百貨店、量販店は、北棟において専門店を挟んで東西に配置したが、買物客を専門店にも十分誘引する効果をみせている。

(2)平面計画

専門店は、北側の中央入口より入り、エスカレー

左：百貨店１階売場
中：百貨店７階飲食店街
右：量販店地階食品売場







ターによって2階の中央広場、モールを通り、奥にある泉の広場にいたるL字型の部分であるが、このメイン通路と、両側にある百貨店、量販店をつなぐ2本のサブ通路を挟んで、地下1階から地上4階まで、約220店の専門店を貼付けている。

比較的大型店の多いこのSCでは、柱スパンは9m角を採用しており、階高は、1階が引込線をこえる関係で5.5m、2階以上は4mである。

都市施設としては、1階に旅行案内所、2階に銀行2店、映画館2館、3階にクリニックセンター、4階に結婚式場と宴会場および催場（大宴会場、貸ホール、展示場などに利用）を設け、5階は屋内および屋外遊技場とした。

百貨店は、スパン9m×6.5m、地下1階、地上7階建て、量販店は、スパン9m角、地下1階、地上4階建てである。

(3)外観について

海峡の街、下関の明るいイメージから、シーモールにふさわしい波型のデザインによって、躍動する姿を表現し、色彩は明るいベージュを基調とした。外壁の一部であるバルコニーの外壁は、GRC（ガラス繊維で補強したセメント製品）成型パネルを使用して重量の軽減を計っている。

(4)モールおよび広場のデザインについて

正面玄関を入ると、幅13m、高さ5.5mの大滝の落ちる広場がある。2階の中央広場とも連続しており、上下2本のエスカレーターでこの空間を結んでいる。

中央広場は、3階分吹抜けの高い天井から落ちる照明に照らされて、ハイファッション専門店の景観広場として市民に憩いのスペースを提供している。

この広場につづくモールは、異国情緒豊かなヴォールトをデザインモチーフとした2階分吹抜けのファッションストリートで、下関市の姉妹提携都市であるイスタンブールの街路のイメージで全体をまとめている。

幅8mのこのモールの真中には、川が流れ、噴水があり、ベンチや電話ボックスなどのストリートファニチュアーによって、ゆったりした街での時間を楽しむ場所でもある。

モールにつづくイベント広場は、この専門店の一番奥にあり百貨店とも連絡している。

この広場は2階分吹抜きで、中央の奥にステージがあり、真中に泉が湧き、上階のギャラリーにはテラス喫茶があって、夢一杯の若者達のためのスクェアーである。

(5)避難計画について

この建物のように不特定多数の客を収容する複合建築物では、一刻も早く、混乱することなく安全な場所へ避難できることが最も重要と考え、防災計画書を作成して避難時間をより短縮するためにバルコニーを建物の外周に廻し、客、従業員の避難と消防隊による消火、救助活動が容易にできるよう配慮し、防災には万全を期している。

(6)サービス施設について

百貨店、専門店、量販店の荷捌場は、南棟1階に集中して設け、商品はこの荷捌場からエレベーターおよび引込線下の物流トンネルによって各階へ配送する。

駐車場は、SCの南西部に7階建ての自走式駐車場ビルを設けて、各階の売場と直接連絡させている。この駐車場ビルは、半階づつスキップした構造であり、ランプウエイは、上り下りそれぞれ専用として、短時間に車の出入りができるようコンピューターを使って入出庫、昇降、駐車などのシュミレーションを行い、最も効率のよいプランを採用した。

2．構造計画について

このSCは、東西150m、南北150mの広大な平面の主棟と、これに附属する駐車場棟の2つに大別できる。そのうち主棟は、建物のほぼ中央を東西に横断する国鉄引込線のために、北棟と南棟および2階以上の階で南北を連絡するブリッジ部分の3つの部分に分けられるが、構造計画にあたり、広大な平面と階層の不揃いなどの面から、北棟を中層（百貨店部分）と低層（専門店および量販店部分）とに分け、ブリッジの南部分で南棟との間にエクスパンションジョイントを設けて、駐車場棟と合わせて全体を構造的には4つのブロックに分割した。

各棟の構造型式は、中層の百貨店棟は一部を除き柱をSRC造、梁をS造とした、いわゆるS－SRC造とし、スラブの型枠にメタルデッキを採用して工期の短縮を計った。5階以下の低層棟は、すべてRC造とし、ブリッジ部分は、19m程度の長大スパンとなるためS造とした。駐車場棟は、S造であるが、駐車場機能に適応させるために16mの長大スパンとし、床版にPC版を採用して合成梁として設計した。その他ブリッジ廻りの長大スパンとなる部分は、一部SRC造としている。

上部架構は、全てラーメン架構とし、耐震要素としてラーメン架構およびコアー廻りの壁、階段廻りの壁などを考慮している。また、各棟ごとに剛心と重心の偏心による影響も考慮した。

下部構造は、土質検査の結果GL－15m前後より以深のN値が50以上の砂岩の層を支持層と考え、工期、施工性を考慮して既製杭（ACおよびPC杭）を支持層まで打込んでいる。

3．設備計画について

(1)空調設備

空調熱源設備は、南棟1階の主機械室に集約設置し、スケールメリットと保守管理の簡便化を計っている。各ゾーンには、夏は冷水、冬は温水を供給し、供給熱量に応じて使用料を徴集し、小規模な地域冷暖房システムを採用している。

熱源の方式としては、種々の方式を比較検討した結果、最も経済的でかつエネルギー源が安定しているものとして（720RT電動ターボ2台＋830RT灯油・ガス切替型冷温水発生機2台＋3600㎥蓄熱槽）を選定した。

冷凍機は、竣工後のサービス体制が大都市に比してやや不安があるので、同一機種を2台づつ設置している。またターボ式と冷温水発生機は、夏期は直列運転をし、高温度差小流量による省エネルギー運転を計るとともに、冷温水発生機の高温運転による能力増を配慮している。

蓄熱槽は、地下水位が高く塩水が混入していることや、南棟1階は店舗に利用できない条件などから、地上に築造することにした。槽の形式としては、高性能が予想されていた温度成層型を世界で初めて採用している。本方式の採用に当っては、当社の技術研究所で十分に模型実験を行っており、また竣工後も実測しており、予想通りの高性能が得られている。

本建物の熱源設備はかなり大規模であり、年間の消費エネルギーは約1億円に達する。これらの諸設備を効率良く運転すれば、かなりの省エネルギーが達成できるので、熱源設備についてはミニコンによる最適化予測制御を行っている。ミニコンは28KWの容量で、他に14インチカラーCRTを併設し、人と機械が対話しながら制御の質を向上させるようにしている。制御内容としては、単なる機器の発停監視にとどまらず、熱負荷の予測や、冷凍機運転時間の最適化などの高度なものを含んでいる。このシステムの導入により、省エネルギ

左：量販店2階売場
中：専門店2階北売場
右：専門店3階売場







ーならびに省力が計られるが、設備費増分は約4～5年で償却可能である。

2次側の設備としては、省エネルギーを目的として、変流量方式や外気冷房方式を採用している。各階は1,000～1,500㎡ ごとの空調ゾーンに区分され、ゾーンごとに空調機を設置している。2次側についてもミニコンによる最適化予測制御を導入したかったが、建物の所有区分が異なることや、管理者が異なるなどの理由から、採用に至らなかった。

(2)衛生設備

上水は800㎥ の受水槽に受け入れられ、その後3ゾーンごとに個別の揚水ポンプと高架水槽を通じて重力給水している。

排水は、公共下水道が完備した地域であるので、建物内に特殊な設備は備えていない。

都市ガスは中圧で供給されている。建物内のガバナ室で中間圧と低圧に調圧され、各ゾーンごとに計量のうえ供給されている。

(3)電気設備

①受変電設備

中国電力㈱大和変電所より22ＫＶ、1回線を地中にて、1階南側の主電気室に受電している。主電気室における受電用遮断器と主変圧器2次側の主遮断器および分岐用遮断器は機器の信頼性と保守の省力化を考慮して、真空遮断器を採用した。主変圧器は窒素密封型、油入自冷式の1次側電圧22ＫＶ／2次側電圧6.6ＫＶ、3相3線7,500ＫＶＡ、2台の計15,000ＫＶＡである。

防災設備とエレベーターおよび一部の電灯などの非常用電源として、電圧6.6ＫＶのディーゼル発電機を、非常照明その他、制御用などの電源として、全密閉鉛蓄電池1,600ＡＨを設置している。

②配電設備

ショッピングビルでは明るく華やかな雰囲気の中で、楽しく買物ができるように白熱電球が多用され、また、買物客が多数入店するため冷房負荷も大きく、単位面積当りの電力消費量は事務所ビルに比較して非常に多くなる。このため、配電計画は経済性は言うまでもなく、工事、保守の面をも考慮して最も効率のよい方式を採用した。

22ＫＶで受電した場合の配電方式としては、直接415Ｖに降圧する方式がよく採用されるが、本建物は中間で6.6ＫＶにして配電する方式とした。これは主変圧器の単器容量が7,500ＫＶＡと大きく、415Ｖに直接降圧した場合の主電気室における短絡電流は100ＫＡ以上となる。また延床面積は約120,000㎡ と大きいが、階数は百貨店は7階建、専門店と量販店部分は4階建で平面的に広がった建物であるため、電力幹線の横引が非常に長くなる、などの理由より、各ゾーンの塔屋に専門店5カ所、百貨店4カ所、量販店2カ所に副電気室を設置し、6.6ＫＶで配電した。

主電気室より副電気室へは専門店、百貨店に各4回線と量販店に3回線を送り出しているが、このうちの各1回線は予備回線である。予備回線はゾーン内のすべての副電気室に接続しており、配電用ケーブルの事故による停電時間を最少限度にとどめるように配慮している。

塔屋の副電気室を電気用シャフトの直上か、その近辺に設置し、副電気室より真直ぐ下へ低圧幹線を降すことにより、幹線の亘長が極力短かくなるようにして、経済性と施工の省力化を計った。

副電気室より負荷への供給電圧は415Ｖを主体とし動力設備は3相3線415Ｖ、百貨店、量販店の蛍光灯による全般照明は415Ｖ系の3相4線240Ｖ、専門店の照明差込は単相3線100Ｖとし、その他、各ゾーンの小動力用として3相3線200Ｖ、百貨店、量販店の差込用として単相3線100Ｖを供給している。なお、電気用シャフトの真上が副電気室であるため、この100Ｖ用変圧器もシャフト内には設置せず、すべて塔屋の副電気室にまとめて設置した。このことより、油入変圧器の使用を可能とし、経済性を計るとともに、保守も容易に行えるようにした。

(4)防災設備

①防災センター

専門店、百貨店、量販店の3ゾーンより構成されており、各々の運営形態が異なるため、防災管理体制を一本化することは、難しい要素がある。したがって、各ゾーンは独自に防災管理を行うものとして、各ゾーンごとに防災センターを設置した。専門店の防災センターを主、百貨店と量販店の防災センターを副の関係として、主と副の間には、直通の連絡設備と、その他、各種防災設備の動作状況を表わす信号のやりとりを行い、専門店の主防災センターより、全館の防災活動の統括が行えるようにした。

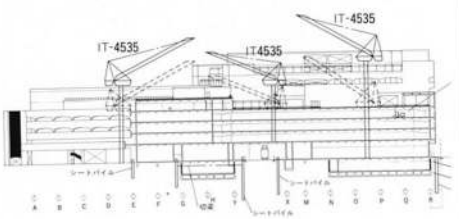
②防災制御

火災が発生すれば、各ゾーン別、階別の単位で、空調機は停止し、空調・換気ダクトの各竪6区画貫通部に設置されている防煙ダンパーを閉鎖して、他階に対して、煙の流出を防ぐとともに、そのゾーンの排煙口を開放し、排煙機で排煙を行う。これら一連の動作は、自動火災報知設備の煙感知器と連動させ、自動的に行われるが、煙感知器は誤動作することもあるので、防災監視盤にマスタースイッチを取り付け、マスタースイッチ側に切替えておけば、火災発生を確認したうえで、マスタースイッチを押すことによって、一連の動作が自動的に働くようにした。

自動火災報知設備の煙感知器により、そのゾーンの、その階の防災機器が一斉に動作するが、防火シャッターの制御のみは、専用の煙感知器によるローカル制御とし、煙がその近辺に侵入してくるまで開けておき、避難の妨げにならないようにしている。

設置した防煙ダンパー、排煙口の数は、膨大なものであり、防災訓練やテストで動かした後、1台ごと復旧して廻れば大変な作業となる。そのため、これらの制御に空気制御方式を採用し、復旧作業も防災センターより、遠隔操作で行えるようにした。また、防災監視盤には動作時の確認ランプだけでなく、復旧時の確認をもできるように、1台でも未復旧のものがあれば、ランプをコリッカーさせ、平常時における空調運転に影響のでないようにしている。

●施工計画について



1．はじめに

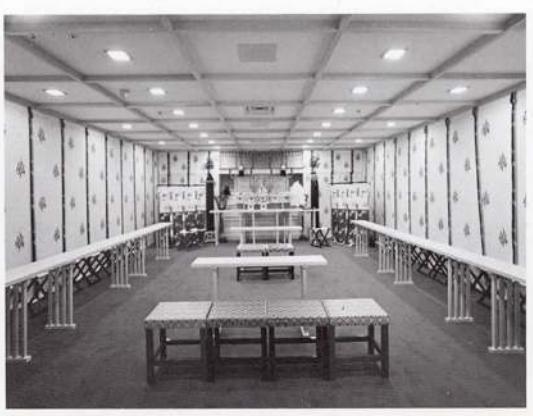
当建物は、平面的に広い中層超大型工事で、工期は準備工事を含め20カ月（北棟は旧建家解体、撤去工事のため実質14カ月）という非常な突貫工事であった。そのため、各工事の省力化・合理化工法の積極的な採用を基本方針とした。

敷地は、埋立地盤で地下水位が高く、湧水量が大であり、また、中央部を捨石を含め護岸が横断している。

そのため、水替、排水には特に慎重な配慮をし、

左：4階飲食店街
中：4階結婚式場
右：5階屋内







ウェルポイント工法（一部釜場排水併用）を採用して、工期短縮を計るための重点工事である土工事と基礎躯体工事をスムーズに進められるようにした。

また、護岸対策としては、種々の検討、実験を重ね、アース・オーガー（D-150㍉）併用のシートパイル打、杭打、あるいは、タイバック・アンカー、ＣＣＰ工法などの解決策を見出した。

その他敷地は、国鉄引込み線によって南北に分割され、また、駅前繁華街に位置しているため、資材搬出入路の決定には種々の制約をうけた。

本稿は、上述の基本方針に添った施工計画を重点的にまとめたものである。

2．一般仮設計画

⑴揚重機計画

タワークレーンはブリッジ（線路敷上部）および、ＳＲＣ造部の鉄骨建方がすべてできるように、また、躯体工事に必要な資材、仮設機材の揚重および水平運搬が建物全域にわたって可能になるように配置した。また、設置時期は杭打工事に先行させ、工事開始時より使用できるようにした。

〈主要工事機械〉

機　械	場　所	機　種	
タワークレーン	北　棟	ＩＴ－4535 ＯＴ－5035	4台 1台
	南　棟	ＩＴ－4535 ＯＴ－3035	2台 1台
ロングリフト	北　棟	菱野 1.2ＴＯＮ	6台
	南　棟	菱野 1.2ＴＯＮ	3台
ユニバーサルリフト	北　棟	キシノウエ	1台
ジブクレーン	北　棟	日立HIJ－2520	2台
	南　棟	越原KOJ－2520	2台

ロングリフトは、前述の各ブロックごとに区分して揚重負荷を算出し、揚重能力、運搬時間（サイクル・タイム）を検討のうえ決定した。また、水平運搬には、フォークリフト14台をはじめ、コンテナ台車、パレットなど機械力を大幅に導入した。

⑵トラック構台

トラック構台はＮＴパネルと在来工法を併用した。ＮＴパネルはトラス状の桁で、これを支持杭に架け、根太および覆工板を受けて構台を形成するもので、大スパン（ℓ ＝14～20m）が可能であるため、工期の短縮、地下工事の施工性の良さなどのメリットがある。

3．地下工事計画

山止壁は鋼製矢板Ⅲ・Ⅳ型（ℓ ＝6.5～15.0m）の打込とし、一部、捨石、護岸に当る部分はアース・オーガー併用とした。支保工はタイバック・アンカー１段（ピット部分は２段）、掘削工法はオープン・カットとした。

北棟東面については、ボーリング再調査の結果、旧護岸が縦断し、ＧＬ－5,000mから層厚３～４mの捨石を含んだ地盤であることがわかり、また、隣家が近接しているという施工条件のため、当初計画していたＯＮＳ工法を変更し、ＣＣＰ工法による山止めを採用した。

ＣＣＰ工法とは、ボーリングマシンによって所定の深度まで穿孔した後、ロッド下端に取り付けた特殊噴射装置から地盤を硬化させる硬化剤を超高圧ポンプで噴射し、ロッドを所定の速度で回転・引上げすることにより、均一な円柱状の山止壁を造成するものである。当工事では、径400㎜、ピッチ300㎜とし、止水を主な目的として施工した。

4．躯体工事計画

⑴メタルデッキ工法

工程の短縮および省力化を目的とし、純鉄骨梁部分の床版にメタルデッキ工法を採用した。（百貨店部２～８階床）。当工法は、鉄骨梁に支持梁（Ｓ．Ｂ梁）をピッチ1,250㎜に架設し、その上に床版型枠として薄番手特殊キーストンプレート（厚0.5㎜）を張ったものである。

⑵大型パネル

北棟東面の外壁型枠に使用し、作業の単純化および施工能率の向上化を計った。パネル寸法は幅2,700㎜×5,400㎜で、足場ブラケットを取り付けて足場併用とした。

⑶その他

北棟・地下１階床版にＰＣ版。ブリッジ部分および資材開口部床にはデッキプレート工法。百貨店・塔屋部には工期短縮を目的として、下階と併行してコンクリート打をする２段打工法を採用した。

5．あとがき

以上施工計画の概要を述べたが、安全面には特に留意した。例えば、タワークレーンには作業範囲規制装置、ＴＶカメラ、電話およびスピーカーを設置。ロングリフトには自動運転装置、リミット付手摺開閉装置を設置した。資材開口部に設けた安全ネットの移動式水平養生、床開口部の手摺取付金物など、当工事に新たに採用したものもある。１日2,000人近くにもなる作業員の労務管理、安全教育、作業間の連絡調整など、安全対策については充分な配慮のもとに施工に移した。

●建築概要

企画	ＳＳＣプロジェクトチーム （総括　足立孝　大阪大学教授） （株式会社　大林組） （株式会社　西脇設計）
設計施工	株式会社　大林組
所在地	下関市竹崎町４丁目１の２他
建築主	下関商業開発株式会社 株式会社　下関大丸
建物用途	百貨店、量販店、専門店 駐車場他
地域地区	商業地域、防火地域 第６種容積地区
前面道路	北側道路幅員31.600m 東側、南側道路幅員25.000m
敷地面積	28,920.60㎡
建築面積	22,353.12㎡
延床面積	119,959.45㎡ （内訳）専門店　46,431.09㎡ 百貨店　38,961.10㎡ 量販店　20,226.83㎡ 駐車場　14,340.43m
建ぺい率	77.29％（法定100％）
容積率	365.20％（法定600％）
駐車台数	775台（法定514台）
階数	専門店　Ｂ1,4Ｆ（一部5Ｆ） 百貨店　Ｂ1,7Ｆ 量販店　Ｂ1,4Ｆ（一部5Ｆ） 駐車場　7Ｆ
最高軒高	Ｇ．Ｌ．＋30.500m
その他	総合設計制度適用
工期	昭和51年2月～昭和52年10月

●構造概要

基礎型式	PC既製杭　ＲＣ独立基礎
構造種別	専門店　ＲＣ（一部ＳＲＣ） 百貨店　ＳＲＣ（一部Ｓ） 量販店　ＲＣ（一部ＳＲＣ） 駐車場　Ｓ

●外部仕上概要

屋上	アスファルト防水 コンクリート押え
外壁	鉄筋コンクリート打放し Ａ．Ｅ．Ｐ吹付　一部吹付タイル
バルコニー外装板	ＧＲＣパネル　吹付タイル
１階正面壁面	外国産大理石貼

左：屋上遊技場
中：百貨店屋上遊技場
右：駐車場ビル全景













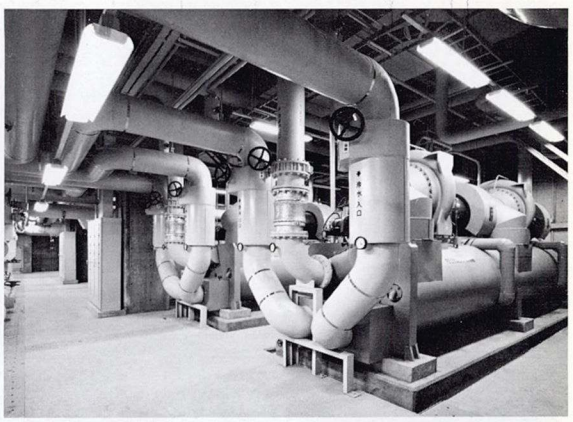
1/2 3 1.防災センター
2.滝のある広場(編集部撮影)
3.泉のある広場より専門店街をみる

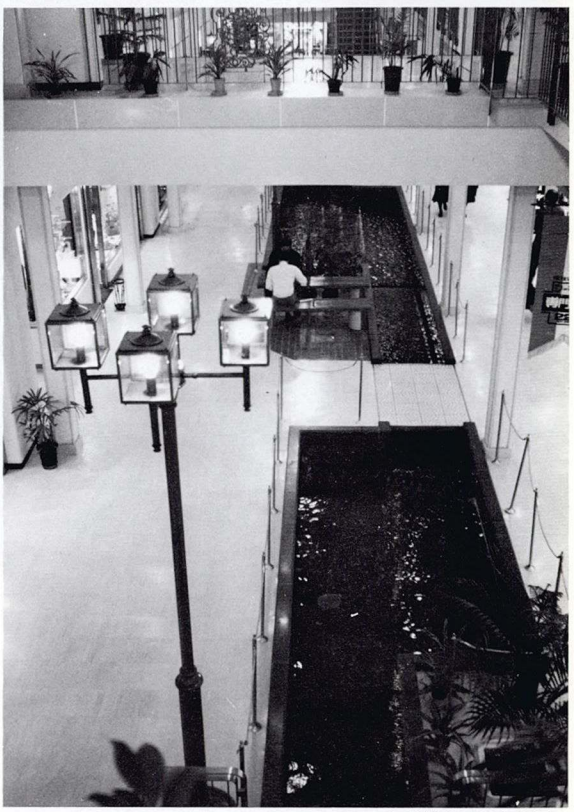
企画プロジェクト	株式会社 西脇設計 店舗企画研究所	代表取締役 西脇顕正	神戸市生田区江戸町98	TEL 078－321－2485

● シーモールしものせき工事関係者 PR

型枠	株式会社 宗光組	広島市大手町3丁目9番15号	TEL 0822-43-8811(代)
鉄骨	新日本製鉄株式会社 広島営業所	広島市八丁堀15-10（セントラルビル）	TEL 0822-25-5254
下関大丸の鉄骨	日立造船株式会社 広島工場向島	広島県御調郡向島町111	TEL 0848-44-1511
空調・換気 消火・ガス設備	三機工業株式会社 広島支店	広島市紙屋町1丁目2-26	TEL 0822-48-1251
空気調和設備	株式会社 大気社 広島営業所	広島市紙屋町2丁目2番2号	TEL 0822-47-5541
空気調和・給排水 衛生設備設計施工	新菱冷熱工業株式会社 下関営業所	下関市南部町25-13(藤光ビル3階)	TEL 0832-31-8602
空気調和設備	大阪電気暖房株式会社 中国支店	広島市南竹屋町9-19	TEL 0822-41-4171
エネルギーセンター 空気調和設備	株式会社 三晃空調 広島支店	広島市紙屋町1丁目2番22号(広電ビル)	TEL 0822-47-4535
衛生設備	須賀工業株式会社 広島支店	広島市稲荷町4-1(住友生命広島ビル)	TEL 0822-63-5185（代）
電気設備(専門店)	日本電設工業株式会社 中国支店	広島市光町2丁目6-34	TEL 0822-61-2284
電気設備	千歳電気工業株式会社 中国支店	広島市光町1丁目7-11	TEL 0822-62-1347
電気・計装・空調・土木	近畿電気工事株式会社 広島支社	広島市稲荷町4番1号(住友生命広島ビル)	TEL 0822-62-1471







1 2 3 1．2階モールにある噴水
2．設備機械室
3．2階モール（編集部撮影）

電気設備	栗原工業株式会社 広島支店	広島市大手町2-7-10(広島三井ビル)	TEL 0822-47-4381
専門店内装工事の内電気設備	和田電機株式会社	下関市彦島本村町5丁目2番8号	TEL 0832-67-1443(代)
エレベーター エスカレーター	三菱電機株式会社 中国営業所	広島市中町7-32（日本生命ビル）	TEL 0822-48-5278
エレベーター エスカレーター	株式会社 日立製作所 中国営業所	広島市基町11番10号	TEL 0822-21-6191
内装	株式会社 大丸 装工部	大阪市南区鰻谷中之町38	TEL 06-252-0641
板ガラス・GRC店装材	日本板硝子株式会社	大阪市東区道修町4-8	TEL 06-202-1161
板硝子・硝子繊維補強セメント製品(GRC)内外装パネル	旭硝子株式会社	東京都千代田区丸の内2-1-2	TEL 03-218-5632
建築用金属工事一式	株式会社 新栄製作所	福岡市東区箱崎寿町942	TEL 092-621-2335～9
鋼製建具	大石産業株式会社 サッシ営業部	福岡県鞍手郡鞍手町古門字排の木4032-1	TEL 09494-2-4111
シャッター	東洋シヤッター株式会社	大阪市東区両替町1-12(日生谷町ビル)	TEL 06-943-6571
石	株式会社 矢橋大理石商店 広島営業所	広島市天満町6番12号(岩崎ビル2階)	TEL 0822-91-1863
日アスラックス(硅カル板)耐火被覆工事(スプレークラフト)	日本アスベスト株式会社 九州支店	福岡市中央区白金1丁目1番15	TEL 092-53-3031(代)
都市ガス工事・厨房器具	下関瓦斯株式会社	下関市本町3丁目1番1号	TEL 0832-23-2111
防災用自家発電設備	ヤンマーディーゼル株式会社 広島支店	広島市基町11番18号	TEL 0822-28-1111

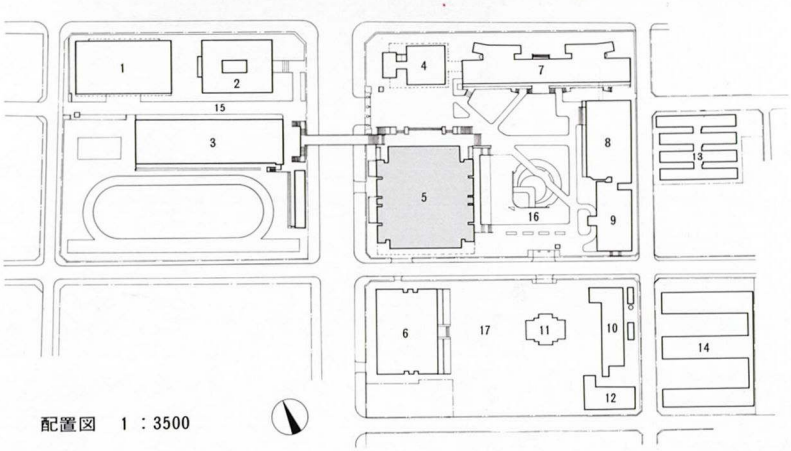
武庫川学院公江記念講堂

設計施工　竹中工務店



東より公江記念講堂をみる。右手は本館。

1. 中央体育館
2. 公江記念図書館
3. 第1体育館
4. 本館
5. 公江記念講堂
6. 教室棟
7. 文学館
8. 中央館
9. 家政1号館
10. 家政2号館
11. 記念館
12. 音楽館
13. 能婦寮
14. 東館
15. 鳴尾町キャンパス
16. 池開町キャンパス
17. 笠屋町キャンパス



配置図　1：3500

撮影
村井　修（P. 16、17、19）
上川征洋（P. 18）

所 在 地　西宮市池開町６番46号
敷地面積　16,559.48㎡
建築面積　 2,448.16㎡
延床面積　10,698.72㎡
構造規模　SRC、RC、S、B１、５F、P１
工　　期　昭和50年５月～昭和52年３月



武庫川学院の一連の建築は、約10年前に作成されたマスタープランに基づき、順次整備されつつある。このたび竣工した公江記念講堂は、学院35周年記念事業のメインプロジェクトとして計画された。この講堂の建つ学院第１学舎キャンパスは、昭和39年に竣工した学院本館にはじまり、公江記念図書館、中央館、中央体育館と一貫して、外装に有田産小口型タイルを使用し、シンプルで清潔感のあるデザインによって統一されている。この講堂の完成は、建築群としての美しさを倍加させた。

この講堂は用途上学院食堂、厨房、保健センター、事務局などの厚生施設からなる地下部分と、2454席をもつ大ホールからなる地上部分にわかれている。ホールは式典、講演会、音楽会、映画、演劇の５つの用途に使用可能な多目的ホールである。「多目的ホールは無目的ホールである」にならないように、５つの用途のうち、式典のために明瞭度の高い電気音響設備をもつこと、音楽会のために生の音がよく響くことなど、各々の用途に応じて最良の状態で視聴者に対応できるよう、きめこまかく気を配った。また、舞台機構、音響、照明装置を自動化、省力化し、安全度を高くして、職員、学生、生徒でも運営を可能とすることに主眼をおいている。

また、この敷地は航空機航路の直下にあり、最高100dBの音圧を受ける。この遮音対策として、ホール大屋根、ステージ後壁、ホール扉などに浮構造を採用し、これを振動させ、音のエネルギーを吸収減衰させて、ホール内への音の侵入を効果的に防いでいる。

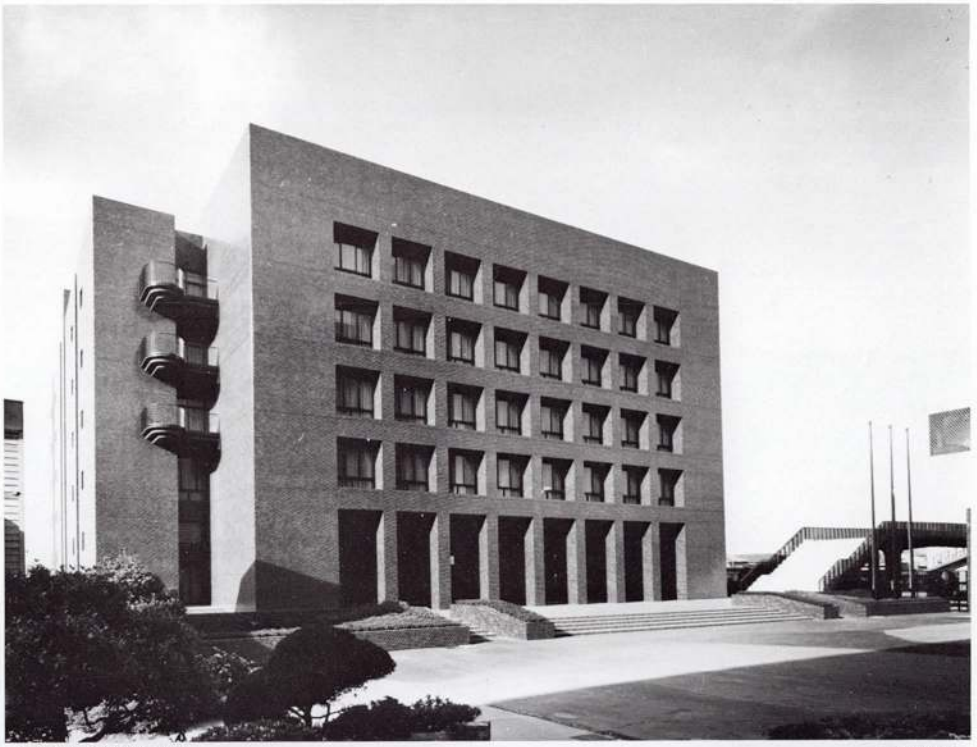
設備面では、講堂地下部分に第１学舎地域暖房用のボイラーを設け、順次点在している老朽化したボイラーの撤去を開始している。また、校舎の警報関係を集中管理する中央管理室を設け、省力化を計っている。

学院では、大阪フェスティバルホール、大阪厚生年金大ホールにつぐ、関西で指おりのホール完成を一学校の使用にとどまらず、阪神間の地域文化向上のために解放できるよう、学院の管理体制の整備を計画している。

（本城邦彦／竹中工務店）

武庫川学院
公江記念講堂

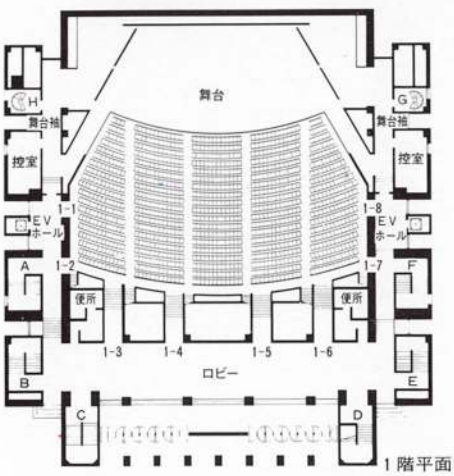
設計施工　竹中工務店



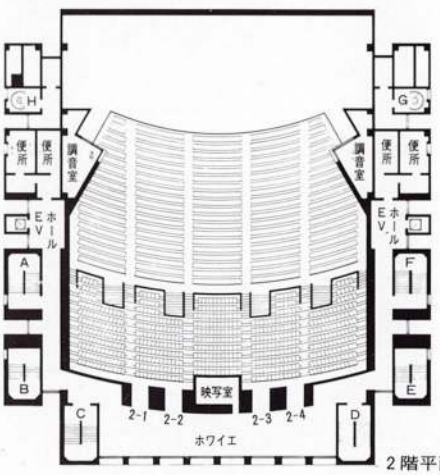
▲ 北東から外観をみる



▼ 1Fロビー



1階平面図



2階平面図

工事協力業者（P·R）

電気設備　朝陽電気株式会社
大阪市北区中之島３－３ ＴＥＬ 06－385－1361

給排水衛生設備　株式会社 大阪城口研究所
大阪市北区高垣町１ ＴＥＬ 06－372－7151

空調設備　株式会社 朝日工業社
大阪市淀川区加島１－58－59 ＴＥＬ 06－302－2271

舞台　森平舞台機工株式会社
大阪市南区長堀橋１－36 ＴＥＬ 06－251－2559

舞台音響　日本通信工業株式会社
大阪市北区綿屋町18 ＴＥＬ 06－313－1351（大代）

照明　丸茂電機株式会社
大阪市北区神山町６－10 ＴＥＬ 06－312－1913

モルタル防水 ロータス責任施工　株式会社 関城化学工業所
大阪市北区芝田町35－４ ＴＥＬ 06－372－2170・2179

石　関ケ原石材株式会社
大阪市都島区都島本通４－20－26 ＴＥＬ 06－922－7661

タイル　有限会社 関西タイル商会
大阪市東淀川区豊里町917－３ ＴＥＬ 06－329－2087

造作・木製建具　株式会社 阪神木材工業所
西宮市上甲子園３－２－３ ＴＥＬ 0798－47－0915（代）

各種鋳鋼銘板、ベランダ手摺外金属制作金物全般　朝日金属工芸株式会社
大阪市北区中之島３－３ ＴＥＬ 06－231－0171・3235

金属建具金物一式　株式会社 山半金物店
西宮市本町７－15 ＴＥＬ 0798－33－5787

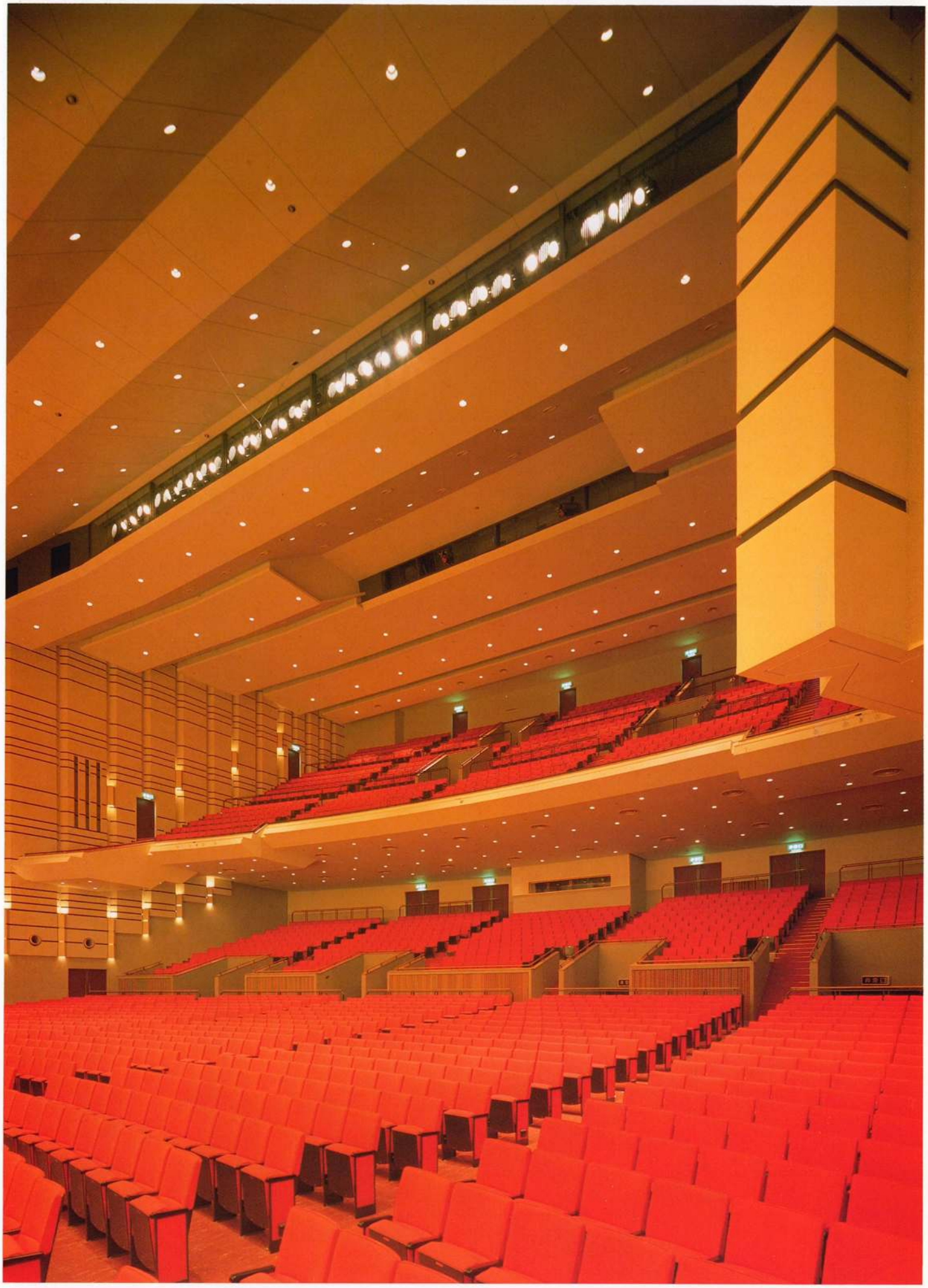
硝子　株式会社 大阪硝子店
大阪市東区本町５－４ ＴＥＬ 06－262－3536

塗装　株式会社 三木塗装店
大阪市住吉区苅田町１－４ ＴＥＬ 06－699－6565

内装　株式会社 和中商店
大阪市大淀区豊崎西通２－７ ＴＥＬ 06－371－0733

内装（天井・壁貼）　室谷商事株式会社 大阪支店
大阪市北区絹笠町50（堂ビル５Ｆ）ＴＥＬ 06－364－2031～４

緞帳・椅子張地 壁張地・カーペット　株式会社 川島織物 大阪営業所
大阪市東区京橋１－７（ＯＭＭビル８Ｆ）ＴＥＬ 06－942－6281



住友生命岡山ビル

設計　日建設計大阪本社

施　　工　鹿島建設・大成建設共同企業体
所 在 地　岡山市柳町１丁目１番地
敷地面積　2,281㎡
建築面積　929㎡
延床面積　17,979㎡
構造規模　SRC、S、B２、21F
工　　期　昭和50年12月～昭和52年10月
寸　　法　最高部高さ　GL＋75.3m
　　基 礎 底　GL－12.4m

敷地は、岡山駅から市役所に至るモデルストリートに面して、岡山の表玄関として将来を約束された地域にある。それだけに、このビルの計画は、街づくりの担い手として期待されながら進められた。

それは、建家を高層化して周囲に緑の空地をとり、よりよい環境を生みだそうというものであり、地上21階建の高層ビルとして計画された。

外観は、建家外郭のベアリングウォール構造体を１階部分のアーチ架構によって支持したかたちの、特徴ある立面を形成されている。

このアーチによって囲まれた玄関ホールは、吹抜け空間であり、アプローチの効果を高めている。

基準階は、サービスコアをはさんで、両側にワンスパンの事務室空間をもつ平面型である。2.5mのモジュールを採用して、各々に小型個別ヒートポンプユニットを設置し、大小、多業種のテナント構成に対応する、高いフレキシビリティを得ている。ベアリングウォールの外壁に囲まれて、コアの構造は垂直力を負担するのみとなり、自由度のある計画となった。コア両端に避難施設を配置して、明解な２方向避難動線を確保した。また約10mのスパンは鉄骨トラスとコンクリートスラブによる合成梁構造として計画した。

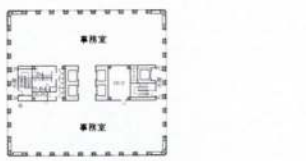
アイボリーに調色された外装材は、特殊コンクリート骨材露出仕上と呼ぶ、新たに開発したＰＣパネルである。これは特殊な配合によるコンクリートの表面をブラストにより剝離させて、骨材である砂や砂利などを表わして特有のテクスチャーを得るというものである。



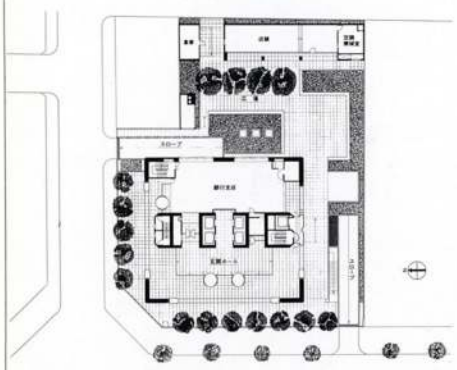
▲北側ピロティーより玄関ホールをみる



▼正面ピロティー入口全景(西側)



3～19階平面図



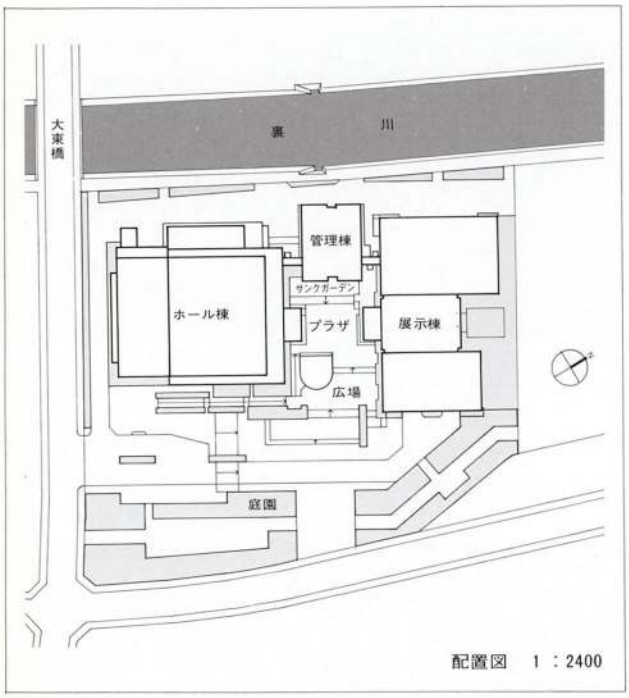
1階平面図　1：1200



▲北東より外観を見る

大分県立芸術会館

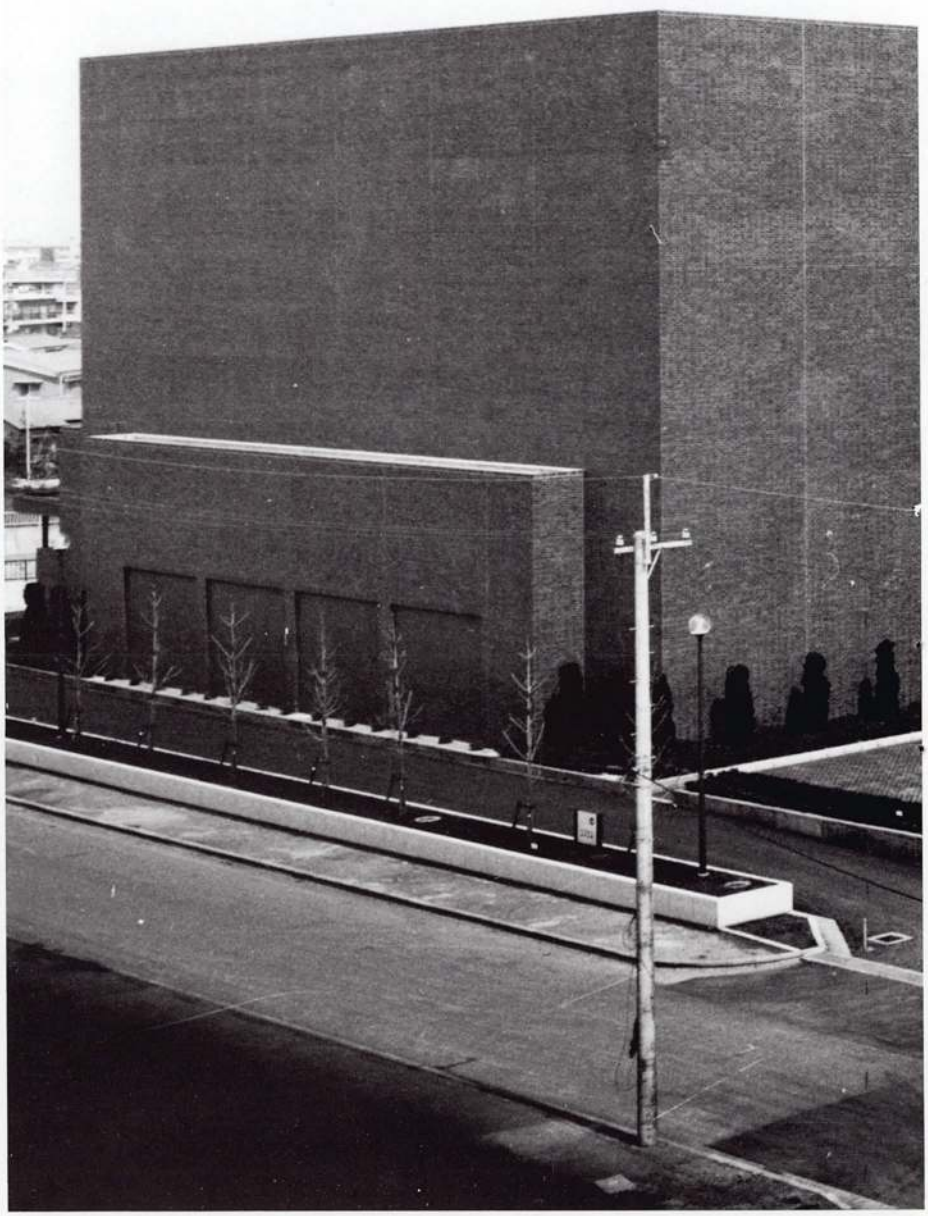
設計　安井建築設計事務所



配置図　1：2400



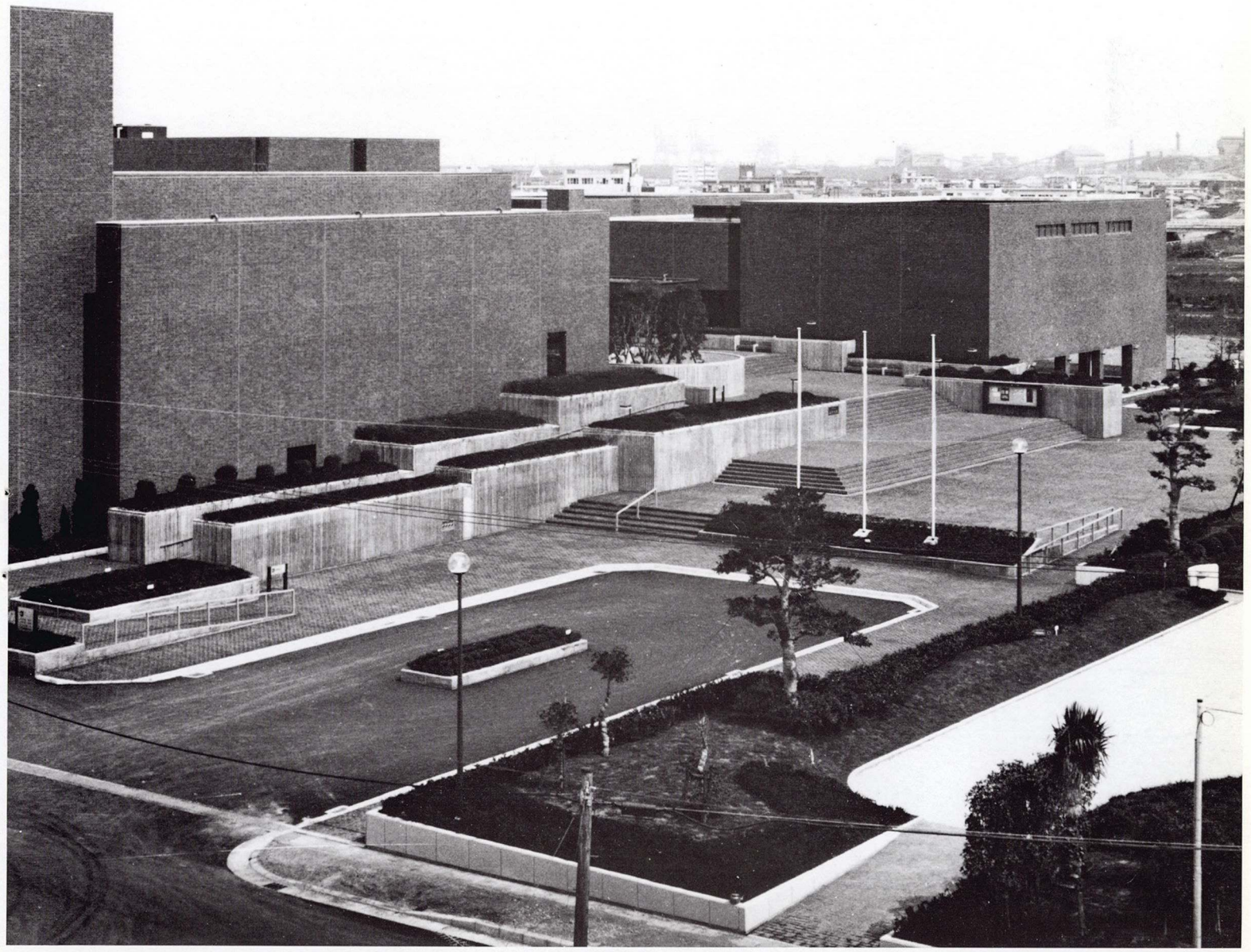




1. 正面
2. 大ホール
3. 外観全景

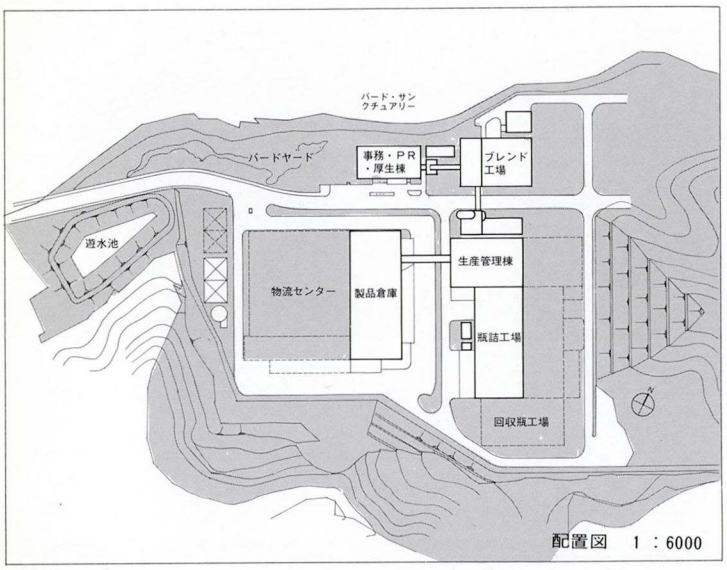
施　　工　梅林建設
所 在 地　大分市大字牧裏川
敷地面積　12,000㎡
建築面積　4,186.43㎡
延床面積　5,999.08㎡
構造規模　SRC、RC、屋根S、3F、P1
工　　期　昭和51年3月～昭和52年7月

敷地は大分市の中心部から、車で約10分の裏川埋立地にあり、この種の施設の立地としては秀れた場所とは言い難く、将来の公園計画と併せ考えて、この芸術会館は地域の環境整備の第一歩とも言うべき役割を担っています。できるだけ大きな広場と、できるだけ多くの緑が計画の大きな目標の一つでありました。内部の機能をシンプルな型にまとめて、ボリューム感を上げ、柔かいテクスチュアのタイルを使用して、威圧感を柔げ、雑然とした景観に落ち着きを与えるよう計画しました。施設の内容は高水準の設備と広い舞台を持つ中規模多目的ホール（約1,000人収容）と研究部門と収蔵庫を持つ美術館（当面は博物館としての使用も考える）の併設された、異なる文化芸術活動の場が同一場所に設置されるという、意義ある施設構成となっていて、情報センターとしての機能も持ち広範な文化活動の重要な拠点となっています。

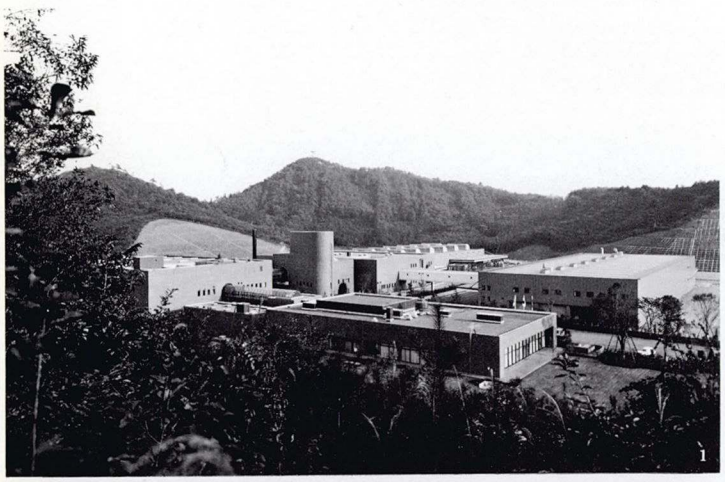


サントリー　梓の森プラント

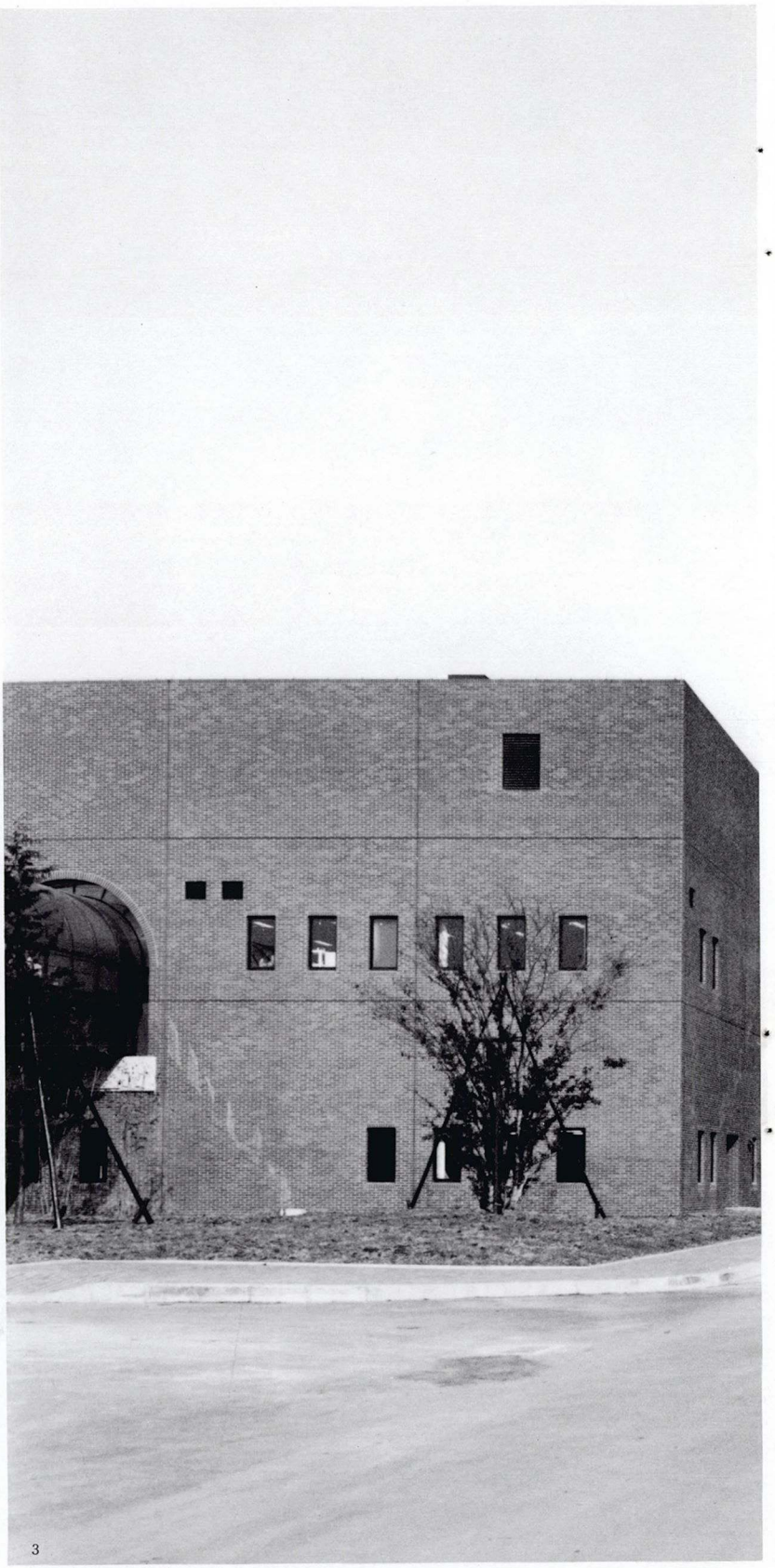
施工　東海興業・大林組共同企業体



配置図　1：6000


1


2


3

1. 全景
2. PR室
3. メイン道路よりの外観

設　　計　安井建築設計事務所
所 在 地　栃木県栃木市仲方町字堤下20番地
敷地面積　747,000㎡
建築面積　22,131㎡
延床面積　26,601㎡
構造規模　S、SRC、3F
工　　期　昭和51年12月～昭和52年10月

この工場は昭和48年に山梨県に完成した原酒生産の「森の工場」—白州ディスティラリー—に続く、省力化、無公害型で最新税の機械設備を整えた洋酒の瓶詰工場である。

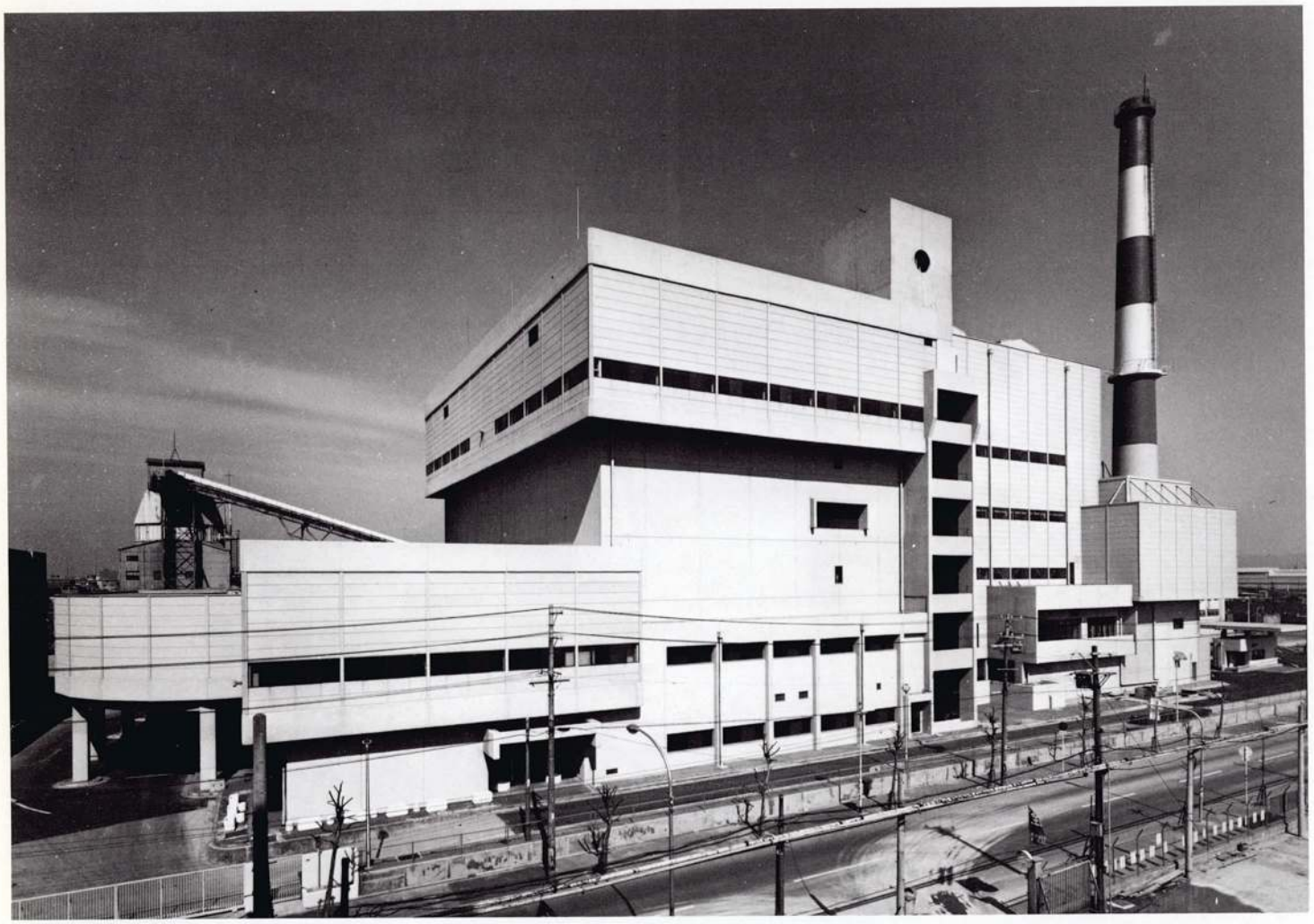
「梓の森」の名の通り白州ディスティラリー同様、自然との調和、自然の維持を主要テーマの一つとして指向し広大な敷地の大部分をバード・サンクチュアリー（野鳥の森）としている。

また、省力化による最小限の人員に対して、能率的で人間的な労働環境を用意することにより、更に望ましい生産の場を機械と人間とのトータルで創り出すべく、ソフトウェア面（工場の運営のされ方）から計画を検討し、適したハードウエアを準備する方法により計画を進めたのも、この工場の特徴である。

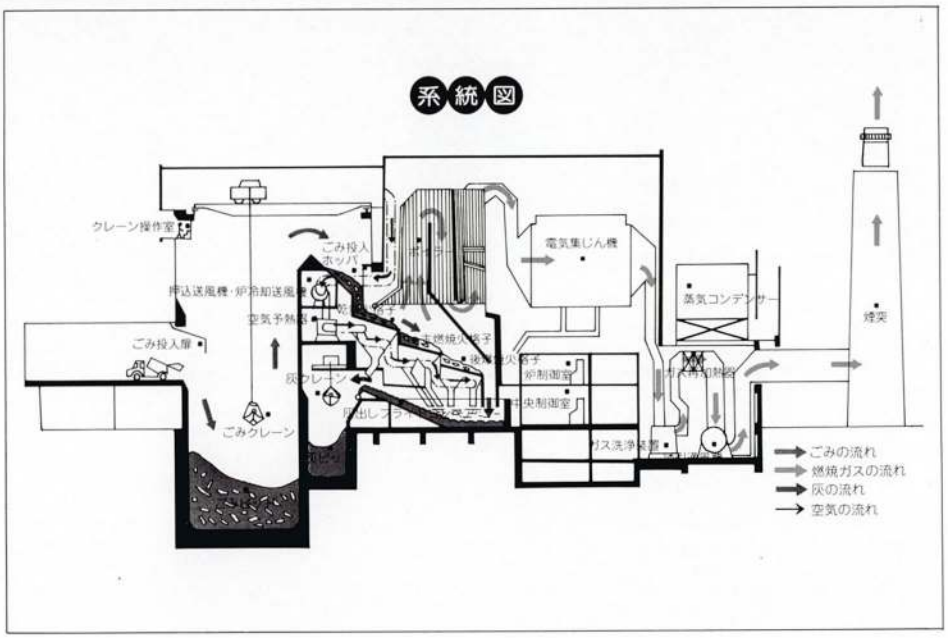


大阪市環境事業局港工場

設計　東畑建築事務所



設　　計	大阪市建築局・東畑建築事務所	
施　　工	大林組	
所 在 地	大阪市港区北福崎東之町１－２－51	
敷地面積	14,270㎡	
建築面積	4,344㎡	
延床面積	11,676㎡	
構造規模	本館　RC、SRC、S、B２、７F	
	計量室　S、１F	
	煙突　RC、地上80m	
	排水処理場　RC	
工　　期	昭和49年７月～昭和52年５月	
プラント	焼却炉(300ton/日､デロール式)	２基
設　　備	ごみ破砕機	１基
	ごみ投入扉	７面
	灰出しフライトコンベア	２台
	ガス冷却ボイラー	２缶
	電気集じん機	２台
	ガス洗浄設備	一式
	排水処理設備	一式
	自家発電設備	一式



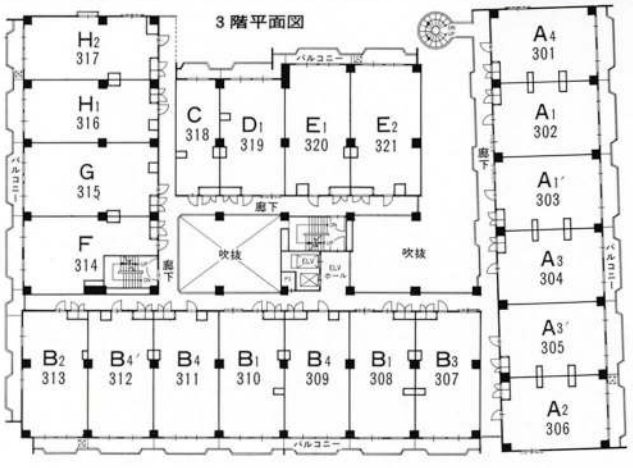
日商岩井朱雀マンション

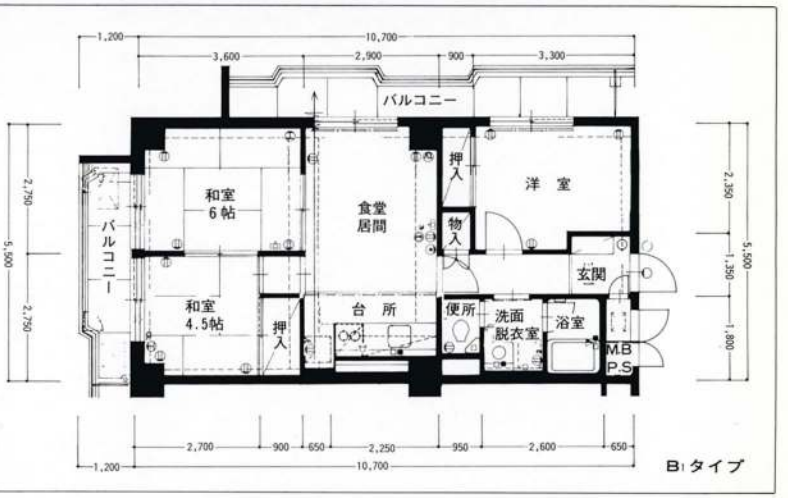
設計施工　不二建設

所 在 地　京都市右京区西院東中水町７番地ほか
敷地面積　1,998.99㎡
建築面積　1,670.38㎡
延床面積　11,990.48㎡
構造規模　SRC、11F
工　　期　昭和51年10月～昭和52年９月
総 戸 数　166戸（店舗１戸、管理人室１戸）
販売戸数　159戸（店舗７戸）

この建物は京都・西大路の交差点近くに都心型マンションとして計画されました。この場所は市内交通の要所であり、立地条件として非常に恵まれていると言えましょう。
１階には数戸の店舗を持ち、２階から11階一部は７階までが住戸で、総戸数は166戸です。
土地周辺道路幅員や高度指定など、いろいろな条件により平面計画にはかなりの制約を受け苦労させられましたが、半面、画一的な同じタイプばかりの積み重ねではなく、変化に富んださまざまなタイプができ、個性的なマンションになったのではないかと思っています。
土地の高度利用と、良い住環境の確保という観点より中央に大きな吹抜けの光庭を設け、その中心に階段およびエレベーターを配し、各住戸への動線もかなり整理できたと思います。
外観はしっとり落ち着いた京都の街並にマッチするように色彩的にも色数をおさえ、グレー系の白を基調にまとめました。
バルコニーのアルミの手摺と硝子の腰の出入りに変化をつけ、単調な外部のアクセントとしました。
また、屋上は東山から比叡山はもちろん、北山から嵐山、西山まで京都を取り巻く山々はすべて一望でき、住民の皆様の良き憩いの場となることでしょう。　（田中嗣郎／不二建設設計部長）







都市設計資料— 26—

《都市づくり総力戦の提案》

神戸都市設計資料研究会

これまでに私達の研究会では、橋、道路、河川などの土木構造物があまりにも機能優先で、何かぎすぎすしたものになりすぎていることを批判してきた。また、土木以外にも都市を形づくる要素としてストリートファニチャー、植栽などをとりあげ、優れた実例を紹介してきた。そして、それらの人間空間化の必要性を問い、「コモンの思想」、「生活空間としての土木構造物」などを主張してきた。

今回は、これらの目標を達成するための方法について考えてみたい。**(増渕昌利)**



神戸市北野町の風見鶏の館

I　目標とする都市像

1．個性のある都市づくり

村田孝氏は、「都市美を左右する要因が形以上に、その歴史性や稀少性にあるという見方は、私の主観にすぎないのかもしれない」（『都市とランドスケーピング』）と若干謙そんしながら述べておられるが、その歴史性と稀少性は地方性、地域性の中から生まれてくる。逆に、地方性、地域性を考察する中から歴史性や稀少性のある個性的な都市を生み出していくことができる。ひるがえって、日本の風土を考慮してみると、日本は南北に細長く、ヨーロッパと比較すれば、北欧から北アフリカの広がりのある国土を持っている。更に山あり、谷あり、平野ありとまことに変化に富んでいる。この多様性を生かした都市づくりができないか。また、日本は資源小国だと思われているが、「発想を変えて見れば、世界有数の資源大国である」（清水馨八郎著『水と光の国土』）と言われる。すなわち、緑・太陽熱・水資源・土の四要素は、生産力・浄化力・気候緩和・やすらぎなどの面で相まって、日本中どこででも活用できる資源である。この恵まれた自然条件を都市づくりに生かせないか。それから、日本各地には地方文化が残っている。三重県亀山市は、わずか人口3万人の山あいの小都市であるが、俳人をはじめ文化人も多く、食べ物もおいしいし、人情も厚い。ここは城下町である。江戸時代に花が咲いた町民文化、城下町文化の伝統を現代の都市づくりに生かせないだろうか。

2．密着感のある都市づくり

人は誰も、自分の生まれたところ、住んでいるところに愛着をもっている。たとえ嫌いなところがあったとしても、他人に言われると抵抗を感じる。**表1-1**は神戸市におけるアンケート結果であるが、ほとんどの人が地域に愛着を持っていることがわかる。

表1－1　地域への愛着度

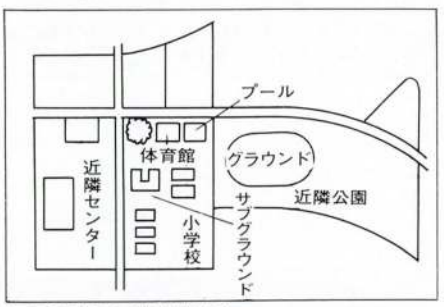
いま住んでおられる地域に愛着をおもちですか。	
愛着をもっている	64.0%
愛着をもっていない	8.2
どちらともいえない	27.8
計	100.0

資料：昭和47年度「神戸市全世帯アンケート調査」

特に最近は、大都市への人口集中も一応の落ち着きを見せ、各地でお祭りが復活したりして、地域の活動も活発化してきている。大阪でも親子読書・親子劇場・中の島祭りなど市民自らの手による文化運動が発展している。これらの運動の中心は多くの場合、無名の市民であるが、「我を忘れて文化運動に打込んでいる」姿は、感動的でさえある。これからの都市は、これら自覚的市民のエネルギーを中心にすえて、その限界から先を行政がバックアップする方向に行くべきである。ひとりひとりの市民の生活感情、意欲と行政が都市づくりの上で結びつくことによって、行政は科学的になり、財政的にも無駄・無理・ムラのないものになりうるし、市民の中に都市に住む喜びが生まれてくる。

II　実現への思想

1．地域特性にあった総合的建設



高倉台学校公園基本計画図

昼間：近隣公園を校地として利用する。放課後・土・祝祭日・休暇中：低学年校舎を除いて小学校のグランド・体育館・プール・特別教室などを地域住民の利用に開放する。

地域と小学校が互いに利用したり利用されたりして施設の有効利用を図る。

(1)都市の構造物

都市空間は、**表2-1**のような構造物が、生み出されたり壊されたりする継続的な活動の中で成立している。こういったすべての建設主体が、目標とする都市像を追求していくことが必要であり、更に総合的に調整していくことが重要である。

一方、都市内の構造物も、見方を変えて、構造物の要素で分類してみると、**表2-2**のように分けられる。

表２－２　都市を構成する構造要素

自然的要素	公園的要素	土木的要素	建築的要素
木・草	広場	石積	屋根
魚・鳥・虫	砂場	擁壁	外壁
動物	遊具	法面	前庭
土・岩石	ベンチ	護岸	門・塀
水	芝生広場	橋・塔	隣棟間隔
地形	花壇	トンネル	：
：	ヘープ	切土・埋土	：
：	園路	：	：

都市空間は、各種の建設主体により、様々の要素のものが建設され、複合的に混在している。よって複合化された都市空間は、あらゆる人々の協力なくして良くなり得ない。

(2)地域特性

一方、地域ということに目を転じてみると、地域では、前述した各種構造物が入り混り、ある種の個性・特性といったものが、かもし出されてくる。そういった特性の要素となるものを**表2-3**にまとめてみた。

表２－３　地域特性要素

地域特性	在来条件（ストック）		
	自然条件	歴史条件	生活条件
特性要素	地形・気候 山・川・平野 谷・丘 その他	人工の建築物 土木構造物 社会施設 交通・道跡 その他	生活の姿 慣習・法律 その他
調査法	主として，現地踏査，その他地図，文献，ヒアリング他		
設計者の対応	何を残し、何を新しく生み出すか。		

地域特性	将来条件（フロー）		
	公共投資	民間投資	地域や住民の意志
特性要素	道路建設 公共施設の建設 都市計画（狭義） その他	民間住宅建設 企業の建設 その他	反対・賛成 参加・援助 創意工夫 インパクトが与えられた場合の対応 その他
調査法	現地踏査、都市計画、文献、ヒアリング他		
設計者の対応	ミニマムの確保とマクシマムへの努力。		

これらの各種要素の積み重ねの中で、地域はそれぞれ独特の顔があり、個性があると言える。それは、ある場合は、住民の誇りとなるし、また、まだまだ不充分である場合もあるが、これからは、この地域特性を大切にしていかなければならない。

(3)地域や都市における総合的建設

そういった地域や都市において、市民と事業者と行政が協力し、悪しきを捨て良きを伸ばしていく努力が必要である。

構造物は、例えば、借景といった手法で地域を取り込むこと、つまり、外部経済を内部化することもできるし、逆に地域に花壇を提供するといったように「貢献する」こともできる。このように内部化したり内部化されたりというように、構造物自身はやはり都市の中では社会経済的存在であり、そのことを抜きにしては設計を考えられない。

しかし、現実の構造物の設計や建設においては、内部的な要求が強く、公共的に周辺へ貢献していく第2義的建設目的はかろんじられている。むしろ周辺環境を取り込み悪化させる場合すらある。それは単に、私的建築物や工場といったものにとどまらず、公的建築物や、土木構造物においても、第1義的建設目的に短絡するあまり、ある地域や

表２－１　都市構造物の種類

建設主体による分類 ＼ 公共的←→私的	自然	公園	土木構造物	建築物	
				公共建築物	私的建築物
代表的構造物	山・海・川 木・池 鳥・魚 第1次産業地 （田畑・海・池）	自然公園 都市公園 地区公園 児童公園 プレイロット	海岸・河川・港湾 道路・橋・トンネル 鉄道・空港・広場 宅地造成・埋立 ダム・発電・上下水道・鉄塔・電柱	行政施設（役所・消防署） 文教施設（学校・研究所） 厚生施設（病院・体育館） 運営施設（駅・郵便局） 福祉施設（保育所・老人いこいの家）	商店 住宅 工場 事務所 レジャー施設
都市内の位置づけ	都市の骨格を規制する。	若干大きな点的施設である。	線的施設である。点的施設の結合または分離機能を持つ。自然と人間の接点である。	点的施設である。	

都市の中に存在する構造物だという意味を不明確にしたまま建設されている。そういった構造物のからを破りつつ、地域の特性にマッチし、その土地に密着した構造物を、地域に対する総合的検討の中から生み出していくことが必要である。

2．コモン思想による都市づくり

(1)コモンとは何か

地域や都市において、市民や事業者や行政がともに努力し合って総合的に地域に根ざした空間を生み出していくことが必要であるが、そのためには、「都市は市民ひとりひとりが協力し合ってつくるものである。」というコモン思想に立つことが重要である。

コモン(Common)というのは、もともとヨーロッパにおいて、農民が採草、放牧などに共同利用した入会地のことである。現在では、タウンハウスなどのオープンスペースにコモングリーンとして登場してきている。コモンの詳しい論は都市設計資料No.17にあるので省略する。



Ⅲ　市民・事業者・行政の都市づくり総力戦

「個性のある都市づくり」、「密着感のある都市づくり」という目標を「地域特性にあった総合的建設」「コモン思想による都市づくり」という思想で追求する有効な手段として「都市づくり総力戦」を提起したい。

1.要素での「都市づくり総力戦」

これは、市民・事業者・行政がともに都市、あるいは地域社会に目を向け、それぞれの責務と役割を認識し、持てる力を最大限に発揮し、市民・事業者・行政がお互いに協力しながらグリーン作戦、ブルーウォーター作戦などの諸作戦を総合的に推進することである。ちなみにブルーウォーター作戦とは、「人々が水に親しみ、心をやすらげる場をつくるために行政・事業者・市民の3者が可能な限り協力すること」である。

表3-1に各種作戦をまとめてみた。ブルーウォーター作戦では、例えば行政においては、河川やウォーターフロントを複断面や緑化をすることにより人の近づきやすいものにしたり、事業者においては、排水規制の強化、更に積極的には、噴水や流水を提供し市民に楽しんでもらうとか、一方市民においては、魚や鳥を飼ったり水辺の草花を育てたり、と言ったこれまでの公共的管理では実現し得なかった豊かな水辺空間の創造的管理が望まれる。このように、それぞれの立場で努力することにより、都市にすがすがしい水景がよみ返ってくるだろう。

表3－1　都市づくり総力戦のための各種作戦と役割

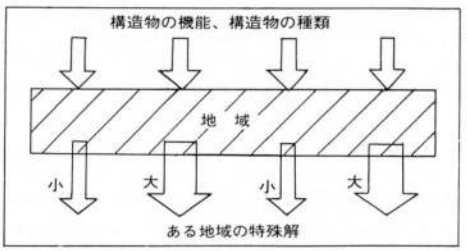
	市民	事業者	行政
グリーン作戦	・植樹、保存 ・窓辺に花を ・前庭に植栽 ・オープンスペースの確保 ・家の前の道路上の緑の手入れ ・四季の演出	・オープンスペースの確保 ・建物のセットバック ・緑化、保存 ・前面道路の共同管理	・緑化、育成、保存補助 ・管理補助 ・オープンスペースの確保 ・緑化 ・花壇コンクール
クリーン作戦	・ゴミを出さない(より少なく) ・家の前の清掃	・前面道路の共同管理 ・廃棄物処理	・清掃システムの確立 ・ゴミ焼却工場の地域化
ブルーウォーター作戦	・水の浄化、清掃 ・魚を飼い、鳥を飼い、草花を育てるなど、市民による共同的管理	・排水規制 ・埋立地護岸付近の自由通行化 ・宅地開発における雨水利用 ・噴水、流水の設置	・河川、運河の人間空間化 ・河川、運河の沿川緑化 ・ウォーターフロント緑地の整備 ・噴水、流水の設置 ・池のレクリ的利用整備 ・水質浄化努力と水質管理
エコー作戦	・夜間の音へらし	・工場サイレンのチャイム化	・道路騒音の低減 ・市民の鐘
シティーカルチャー作戦	・文芸活動 文化教室	・彫刻、噴水	・彫刻、噴水 ・芸術家補助 ・アトリエ補助 ・区民芸術館
プラザ作戦	・広場の清掃 ・広場の共同的管理 ・住宅地の広場づくり	・ショッピング広場 ・業務地区の広場(銀行の前など)	・駅前広場 ・広場用地の提供 ・スポット広場
ウォーキングウェイ作戦	・散歩道の清掃 ・散歩道の共同的管理 ・私有地の通行可	・ショッピングストリート ・モール ・ファッションストリート	・散歩道の設置 ・細街路の検討

表3-2のごとく、諸作戦をある地域に投げかけてみると、あるものは強調され、あるものは余り強調しなくても良いものとなる。このように諸作戦が地域フィルターを通る時、その地域における諸作戦の特殊解が生まれてくる。

2.地域での「都市づくり総力戦」

諸作戦を都市内のある地域に適用する場合、地域に合った戦術を考え出すことが必要である。

表3－2　地域フィルター



地域特性のところで述べたごとく、地域では種々の要素が入り混り、複合化している。そういった中で地域を構成するひとつひとつのものが尊重され、全体としてまとまった地域を形成しなければならない。こう言った為にも、市民・事業者・行政の話し合いの中から「より良い地域フィルター」を形成していくことが重要である。

最近では、“地域エゴ”と言われるくらいまで地域での住民運動が活発化している。しかし行政の方は、まだまだ縦割行政の中で、地域に足をおろして考えるところまで行っていない。より細かな地域行政が必要である。

1.都市づくり3要素

都市づくりには、①ものづくり、②ことづくり、③ひとづくりの3要素が必要条件であると言われている。これまでは、都市づくりの名の下に、単なるものづくりに終始したり、逆に、ものづくりと結びつけず単に社会保障にとどまっているなど、3要素がバラバラにとらえられがちであった。しかし、これからの都市づくりにおいては、**表3-3**のように市民・事業者・行政の役割分担の下に、ひとづくり、ことづくり、ものづくりのすべての面にわたって考えていく必要がある。

例えば、要素での「都市づくり総力戦」のブルーウォーター作戦やグリーン作戦のやるべきことを考えるチェックリストに、**表3-3**はなっている。このことは、地域での「都市づくり総力戦」でも同じである。

表3－3　都市づくり総力戦・総括表

	市民	事業者	行政
スペースづくり	・建ぺい率を守る ・前面のオープンスペース ・細街路利用の再検討	・建ぺい率を守る ・前面にオープンスペース ・スポットプラザ ・道路利用	・公園、広場、河川の整備 ・公共建物の前面オープンスペース
施設づくり	・コミュニティー施設(神戸丸山) ・まちなみに調和した住宅づくり	・地域性を考慮した設計 ・スポーツ施設などの地域への開放	・コミュニティー施設 ・ゴミ焼却工場の地域化
装置づくり	・緑化努力 ・家の前を明るく	・雨水を利用した流水 ・緑化努力 ・ストリートファニチャー ・ペーブメント	・雨水を利用した流水 ・緑化努力 ・ストリートファニチャー
演出	・四季の草花、花木	・四季の草花、花木 ・カフェテラス ・サイレン→チャイム化	・四季の草花、花木 ・市民の鐘、市章山
活動	・近所づきあい ・まつり、盆おどり ・ボランティア ・地域を知る学習運動	・専門家集団	・コンペ
維持・管理	・共同管理 ・家の前の管理 ・浄化	・共同管理	・清掃システム
制度	・市民提案 ・建築協定	・企業提案 ・建築協定	・助成 ・条例 ・花壇コンクール
知識・技術	・家庭教育	・財団方式 (ex.研究費補助)	・研修 ・展示会 ・広報 ・キャンペーン ・講習会

2.「都市づくり総力戦」の意義

(1)市民主体都市への第一歩

要素での「都市づくり総力戦」では、従来の住民参加が、地域という枠の中でのものが多かったが、このようなグリーン作戦などでは、都市レベルでいろいろ考えたり参加できる。つまり、地域エゴを乗り越え、都市全体を考える場を提供する。

更に、若干専門化することにより、市民の専門的興味や知識・技術を生かし得る場となる。更に、作戦の趣旨を実現するために、人はどう行動したら良いかという行動指針が明快になるので、人々は明るい目標をもって行動することが可能となる。

(2)コモン思想推進による環境整備

こういった各種作戦を話し合う中で、お互いの都市生活の中での役割と分担が明確となり、これまで見捨てられていた公共的貢献の意義を認識し、各種行動の中で、より良い都市環境が生まれてくる。例えば、行政の公園事業だけではほとんど不可能に近い「公園都市」という目標も、あらゆる人々が緑と花をふやす努力をする中で実現が可能となる。

(3)資源の有効利用による個性ある地域づくり

一般に環境計画では、①良いものをつくる、②今あるものをうまく使う、③悪いものをなくする。④悪いものをつくらない、つくらせないという4原則が言われているが、諸作戦の実施によってあらゆる資源の社会的価値についての検討がなされ、資源の有効利用を促進する。地域においても、個々の地域に合った細かな検討が可能となり、その地域の個々の特長が生かされ、地域文化を生み出せる。

3.文化としての都市空間づくりへ

以上のような「都市づくり総力戦」を都市要素ごとにあるいは地域ごとに行っていく為に、市民と事業者と行政の役割を明らかにしなければならない。各主体が行動すべきことは、都市づくり3要素でチェックして非常に多様な事柄があげられる。そういった事柄を、**表3-4**に集約してみた。つまり、市民・事業者・行政が最低限やらなければならないこと、あるいは、望ましい姿、あるいは現状を引きあげる突出した事柄、つまり、「ミニマムの確保」と「ミドル」と「マクシマムへ」の3種に分けてみた。

表3－4　市民・事業者・行政の役割

	市民・事業者	行政	全員
ミニマム(の確保)	コモンルールの厳守	規制	憲章づくり
ミドル	コモンシップの発揮	誘導	
マクシマム(へ)	文化活動の推進	表彰	

特に、これまでのシビルミニマムなどではどうしても行政が最低限すべきことに比重がかかっており、全体のやるべきことの一部分に限られていた。これからは、市民・事業者も最低限何をやらなければならないかを明らかにしなければならない。また、行政においても誘導・表彰といった文化を育てる行政への転換が必要である。

特に地方自治体においては、地域の実情をふまえ、市民と事業者の協力のもと憲章づくりや条例づくりにより、ルールを絶えず改めつつ、現実に密着した行政が望まれる。

このように「都市づくり総力戦」を押し進める中で、市民・事業者・行政の意識を変え、地域を変え、都市を変え、更に国を変えることも可能になるのではないだろうか。

新しい地域都市の建設の為に各地域、各都市において第一歩を歩もうではないか。

(ますぶちまさとし/神戸市交通局高速鉄道部設計課建築係)

第23回工高生デザインコンクール入選作品

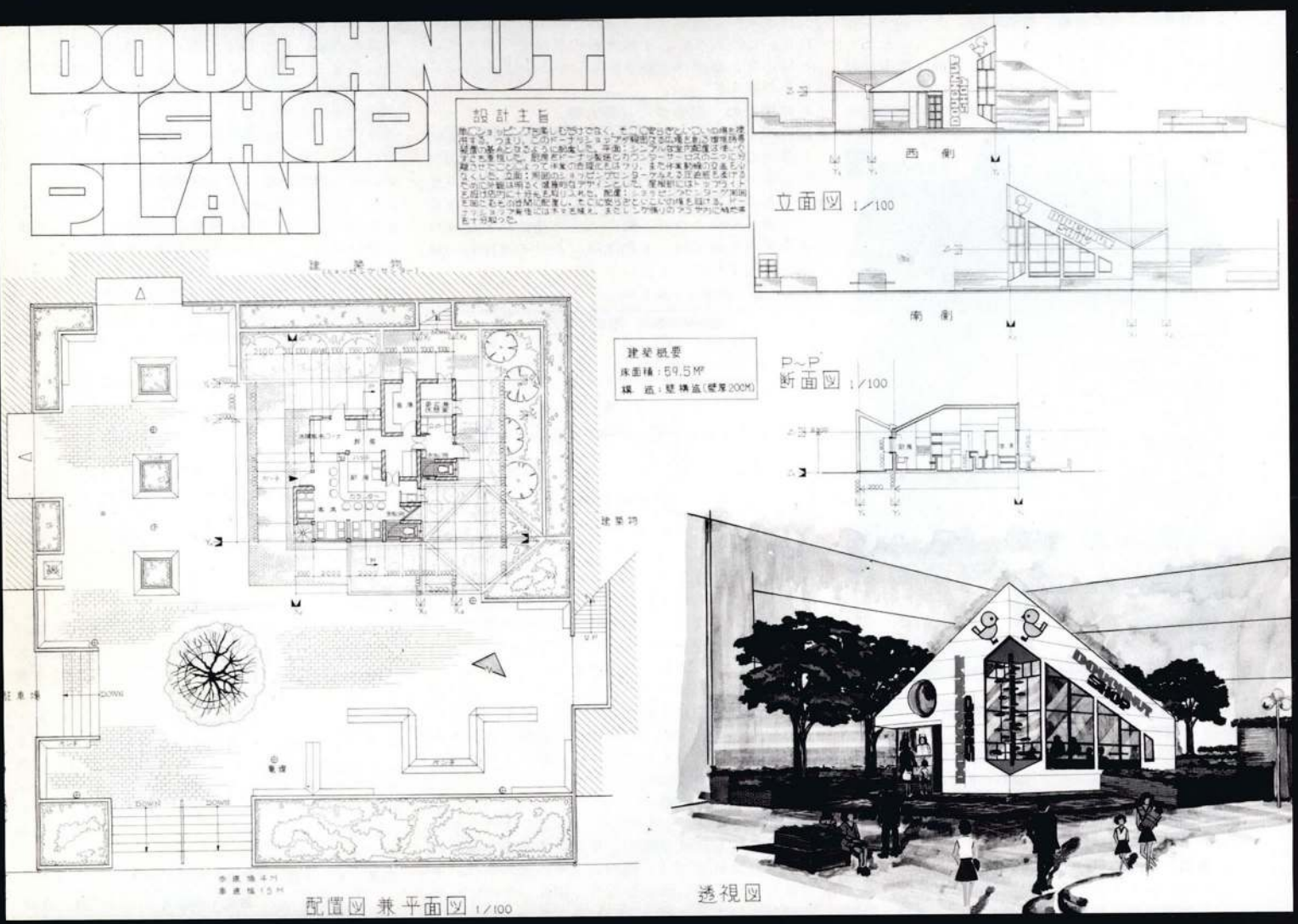
設計課題：ショッピング プラザに建つ「ドーナツショップ」
主　　催：日本建築協会

応募作品106点のうち、予備選考、第1次から第4次までの本審査を経て、入選作品10点を決定し、うち最優秀作品1点を選定した。

応募校　12校　　応募点数 106点

審査委員長／吉田隆一　審査委員／伊東哲郎／太田隆信／柏原士郎／小角　亨／篠塚宏三／鈴木良介／竹本丈太朗／奈良鍒一／中野　明／中村銀之助／松本　隆／柳　眞也／若野暢三　（50音順・敬称略）

〔掲載50音順〕





▲入選・最優秀賞　小林 清之

（群馬県立前橋工業高等学校・3年）

課題を理解するために商店設計資料を読み、また実際の店舗を見て歩いた。明るく、健康な環境をもつプラザや、ショッピングモールとはどういうものか、コミュニティの内容を考えてみました。ソフトな感覚で3案ほど考えたうち、この設計が社会的な役割に益するものができればと思えてきて、意気込みがましてきました。

◀入選　新井　茂

（神奈川県立神奈川工業高等学校・3年）

先輩から聞いていたので今度の課題に対する興味があった。小規模な店舗ということでうまくまとめられると思ったが、小さいことは逆に困難があった。ドーナツから円を考え、その一部を切りとった形を配置して製作したが円にこだわりすぎたきらいもある。努力してみた甲斐があると喜ぶ一方、もっと研究すべきであった。

設計要項

1.位　置：ショッピング プラザ(面積約1000㎡)内に自由に想定する。
2.規　模：平家建の独立した建築物とし、床面積50～60㎡ 。
3.構　造：自由。
4.所要室
(a)客席（カウンター式、テーブル式、併用式のいずれでもよい。）
(b)厨房（カウンターサービス式としてもよい。）
(c)店頭販売コーナー
(d)便所、手洗い所（客用）
(e)更衣兼休憩室、便所、手洗い所（従業員用）
(f)倉庫

審査総評

「ドーナツショップ」は工高生諸君にも馴染みの深いものではあるが、ショッピングセンターのイメージ作りから、場景の設定、ファーストフードの性格のとらえ方など、自由度の高いものであるだけに却って難しい設計課題であったと思う。

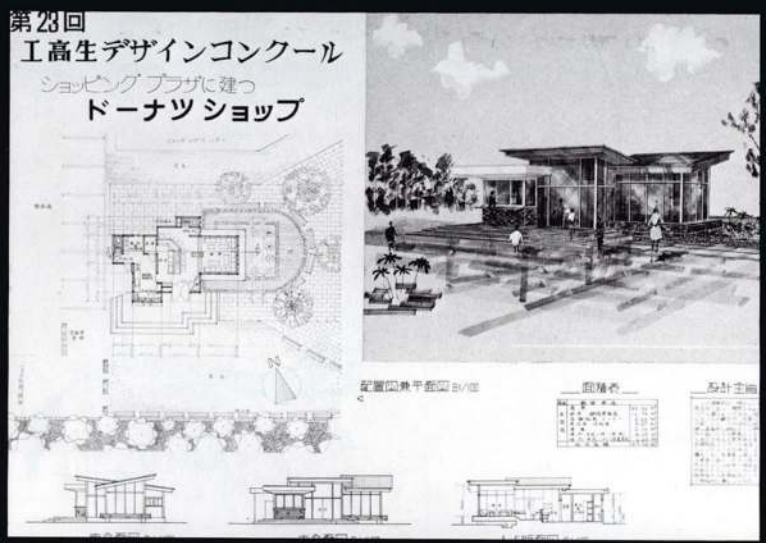
審査は応募作品106点のうち、規定に不適合なもの59点も含め、ゆるせる範囲に大目に見て、応募者の努力を買い、できるだけ良い個所を引き出し、若い芽を育てることを方針とした。

作品は発想の豊かなもの、表現力に富んだもの、一応よくまとまったものなどバラエティがあったが、全作品とも場景設定に相当な苦労のあとがうかがえた。

入選作品10点も各々特長があり、最優秀作の選定では高見、小林、黒木3君の作品が最終まで競い合いましたが、若さと未来への希望を期待して小林君のものと決定致しました。

「未完のものこそ未来への希望がある」と、審査を終えて今更のように想い出される言葉でした。ますます研鑽されることを望みます。

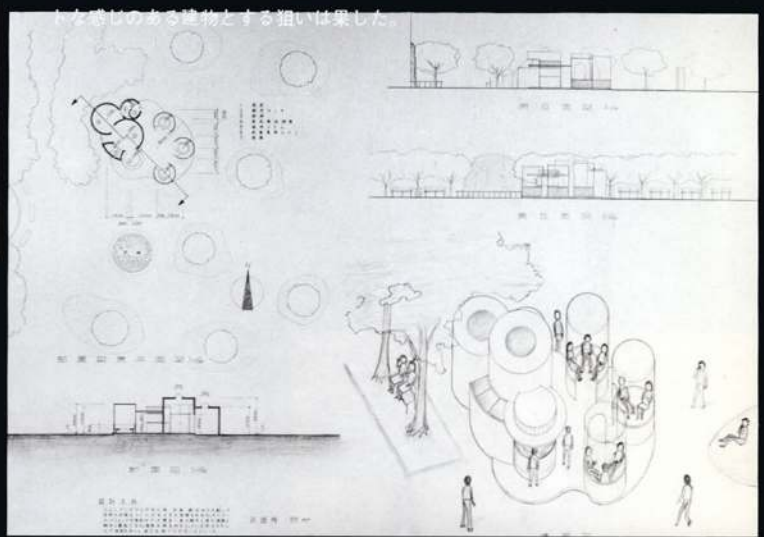
（吉田隆一）



▼入選　久米 治美

（横浜市立鶴見工業高等学校・3年）

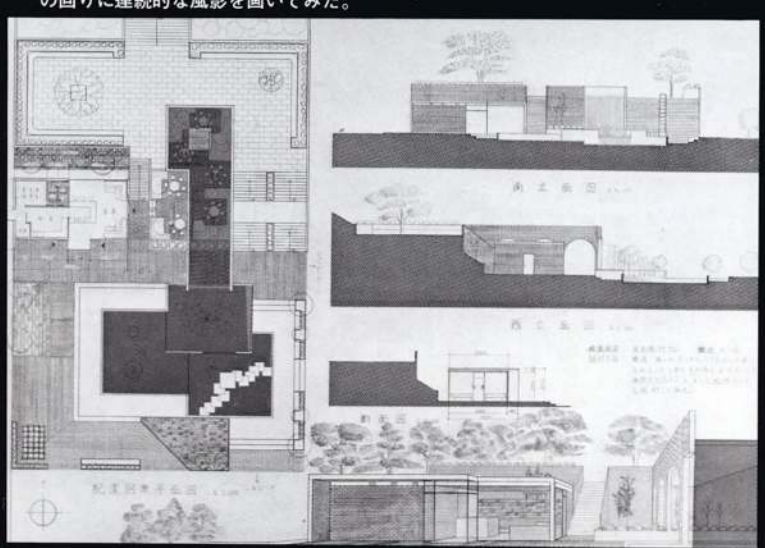
ショッピングプラザの中庭に樹木や水の流れを配置して、人々がなごやかな雰囲気を楽しみながら憩える場をつくろうとした。そこにあるドーナツショップは視界をさえぎることなく、空間的に同調した開放的なものと考えたが、やはり円を基調としたものが最初から頭にあった。ソフトな感じのある建物とする狙いは果した。



▲入選　加藤 博敏

（群馬県立桐生工業高等学校・3年）

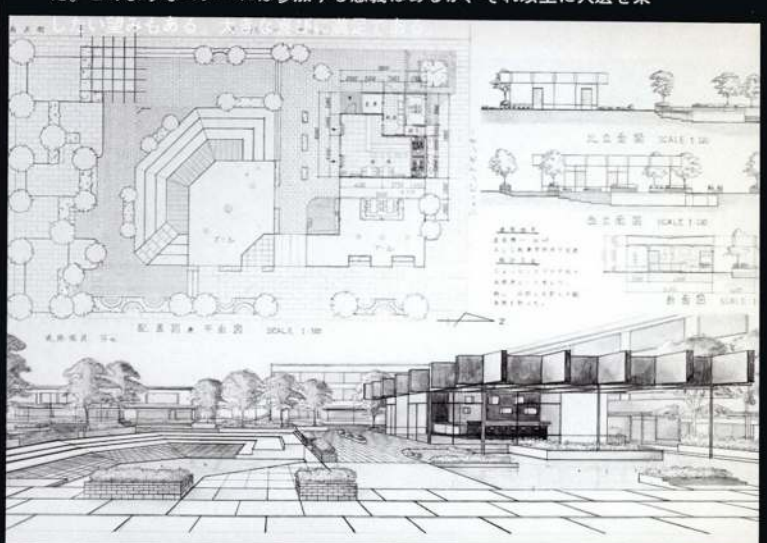
緑を豊かにとり入れ、明るい環境作りにガラス張りを考えるなど、楽しく気軽に出入りできる店舗としたつもりであるが、内部計画で動線など考えるとむつかしいこともあった。とにかく楽しい場をつくることに重点をおいたつもりで、客席に段差をつけて池をつくったり中央テーブルの回りに連続的な風影を画いてみた。



▼入選　高見　潔

（大阪府立西野田工業高等学校・3年）

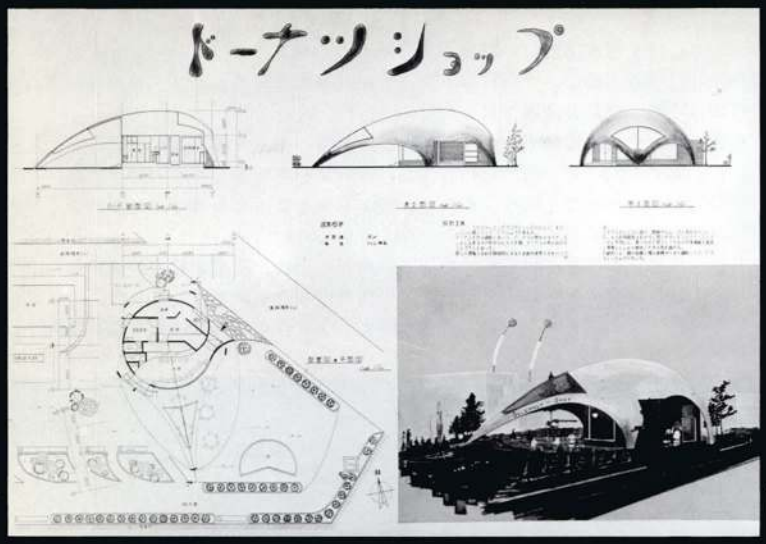
自分達の身近なところにある、自由なデザインのできるものとして取り組んでみた。ショッピングプラザのもつのびやかな気風をそのまま、小店舗に導入することに重点をおいて全体的な社会性を主張してみたかった。このようなコンペには参加する意義はあるが、それ以上に入選を果



▲入選　黒木 義雄

（大阪府立西野田工業高等学校・3年）

楽しめるショッピングプラザをまず考えること、プラザに来る人達の憩いの場をつくること、そしてそこにドーナツショップがあって、それらが一体化して全体の雰囲気をつくるように考えてみた。このような小店舗は取り組みやすいが、考えるほどに難しく、所要室の床面積の配分や処置に困ったが苦労した甲斐があった。



▲入選　竹内 勝仁

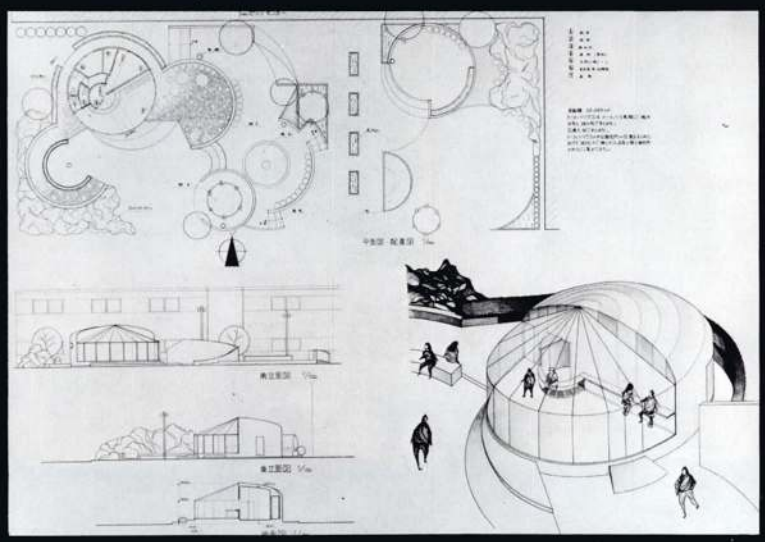
（群馬県立前橋工業高等学校・2年）

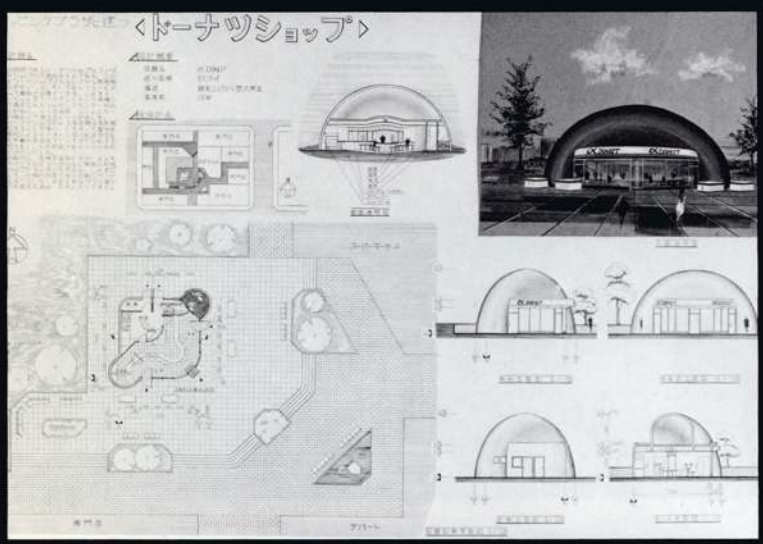
この課題なら2年生の自分にも取り組めると思った。先輩の優秀作品に及ばないまでも努力の甲斐があったと満足している。平面をユニークなドーナツ型にすることでショップの感じを出そうとした。夏休中いろいろの案を考えてねってみたが、平面形の感覚が決め手になったようである。今後も自信をもって努力したい。

▼入選　田中 彰彦

（横浜市立鶴見工業高等学校・3年）

ドーナツのイメージから円を基調にし、円と半径を基準線にとってみた。中心をかえた円の合成なども考えてこの案をまとめた。各室面積の配分に苦労したが厨房と商品販売カウンターの関係を特に重視した。また外観は単調で周囲によく調和することを考えてみたが、状況設定に苦労しただけ入選の通知は非常な喜びである。





▲入選　友国 勝則

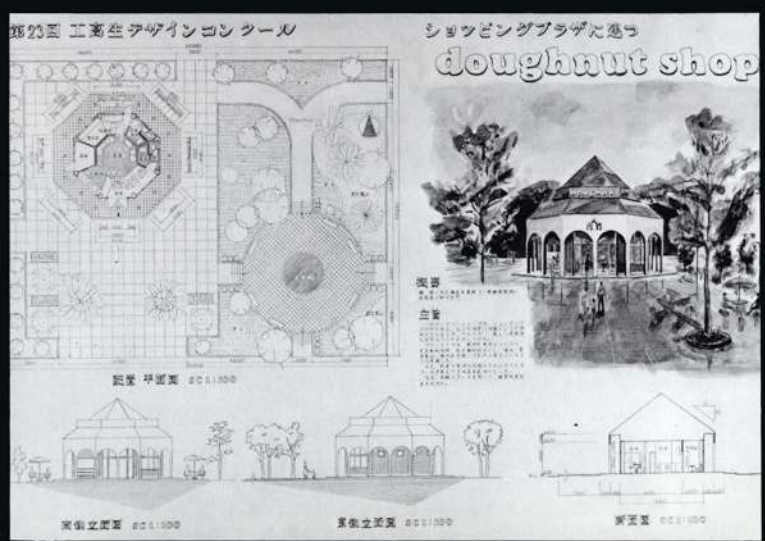
（大阪市立都島工業高等学校・3年）

こじんまりとしていて雰囲気のある店舗には以前から興味があった。此度の課題が丁度そのままなのでドーナツのショッピング意欲を高める感覚を主題としてみた。いろいろ考えてみたがズバリドーナツを象徴することが人々の感覚に入り易いと判断し、我々の生活感覚を再発見したようなおどろきを覚えて設計に取り組んだ。

▼入選　山室 義和

（神奈川県立神奈川工業高等学校・3年）

ショッピングに来た人達が気軽に立寄れるように、そしてプラザの雰囲気をこわさないよう建物を考えた。八角形の外側にアーチを用いて変化をつける考えもした。小公園のような感じを出そうと苦心したが、適当な樹木と芝生と噴水で処理できた。建物が小さいのでカウンター式の店舗で十分用が足せると思って設計してみた。



社団法人日本建築協会 個人会員 団体会員 入会申込書

ふりがな	
氏名 会社名	㊞
代表者名	
生年月日 創立年月日	年　月　日
学位	資格
出身校名	校　科　年　月卒業
連絡担当者	口数　口（2口以上希望）
現住所 所在地	郵便番号 TEL（　）　局　番
勤務先	（所在地）郵便番号 （名称） TEL（　）　局　番
他会関係	建築学会・建築士会・その他（該当○印のこと）
（業種別）	官公庁　公社　設計　建設　電気　管工　設備 建材　会社営繕　学校　その他　（該当○印のこと）
（紹介者）	

上記入会申込みます。

昭和　年　月　日

〔註〕通信先を指定して下さい（自宅又は勤務先）

※黒字の処は個人、赤字の処は団体、（　）の処は個人、団体共ご記入下さい。

〈キリトリ線〉

本会への入会ご希望の方にお渡し下さい。

会費

個人　年額　7,800円

団体　1口につき

年額　13,000円

お申込みは右記のハガキ又は官製ハガキに必要事項をご記入の上お送り下さい。

お問い合せ

〒541 大阪市東区北浜3-37
日本建築協会建築データシート編集部
電話（06）231-5936番

〈綴じ込み〉

建築データシート ハンドブック版　予約注文書

2分冊1式　予約特価（協会会員5,000円、一般7,000円）

申込部数	金額（送料別途負担）

支払い方法

- 請求後に現金送金
- 請求後に銀行振込
- 図書を受取にいった際支払

・支払方法は○印で指示下さい。

送附先（郵便番号・所在地・会社名）

電話（　）　番

注文者名（会社の場合；担当者部課名併記）　日本建築協会：個人会員・団体会員・准会員・※非会員

電話（　）　番

ご請求先（会社と個人の区別）

※日本建築協会入会案内をご希望の方にはお送りします。

料金受取人払

大阪東局承認
1166

差出有効期間
昭和53年3月
31日まで
（切手不要）

郵便はがき

5 4 1 - □□

（受取人）
大阪市東区北浜3丁目37

社団法人 **日本建築協会**

建築データシートハンドブック
出版委員会 行

通信欄

〈キリトリセン〉

料金受取人払

大阪東局承認
1952

差出有効期間
昭和53年9月
30日まで
（切手不要）

郵便はがき

5 4 1 - □□

（受取人）
大阪市東区
北浜三丁目三七

社団法人 **日本建築協会**

御中

◀会員の受章

このたび下記会員の方々が、叙勲並びに褒章受章の栄に浴せられました。

ここに誌してその栄誉をお慶び申し上げます。

昭和52年秋の叙勲

勲三等旭日中綬章

土屋　義夫氏　ダイキン工業㈱会長

勲三等瑞宝章

田中良太郎氏　大阪市立大学名誉教授

勲四等旭日小綬章

千葉　修三氏　大阪府管工事業協同組合専務理事

上野　正夫氏　元住友建設㈱副社長

勲四等瑞宝章

諫早　信夫氏　フドウ建研㈱社長

菅谷　健児氏　大阪電気暖房㈱社長

吉田　信武氏　㈱吉田建築事務所社長

勲五等双光旭日章

清水　　実氏　清水興業㈱社長

勲五等瑞宝章

岩佐　直則氏　岩佐建築設計事務所長

褒　章

黄綬褒章　今村　　騰氏　中央電気工業㈱会長

小西　　岬氏　㈱田中小西建築事務所社長

大木　基弘氏　㈱大木工務店社長

藍綬褒章　村上　二郎氏　サンエス石膏㈱社長

◀会員倍加にご協力お願い

大正６年３月、関西において呱々の声をあげてより既に61年、大阪に本拠をもつ本会では会員各位のご協力によって機関誌「建築と社会」発行のほか、建築データシート刊行などユニークな事業を行っておりますが、創立61年を契機として会員倍加に努め、会勢の発展を図りたいと考えております。

つきましては挟み込の入会申込書ご利用の上会社または個人の入会につきご努力下さるようお願い致します。

会費は下記のとおりです。

個　人　　年額　7,800円（月 650円）

会　社　　年額　１口につき　13,000円

「建築と社会」毎月配布のほか、新建築、古建築の見学や講演会、講習会、図書出版など有益な事業を行っております。

◀三井生命大阪ビル新築工事の見学会
（三井アーバンホテル大阪7F～17F）

三井生命大阪ビルは、大阪・地下鉄、御堂筋線の中津駅と地下道で直結し、地上６階までは三井生命の自社ビル、７階以上がホテルという二つの機能を有しているが、意匠的には一つにまとめられた設計となり、設備、動線などはそれぞれ完全に独立しております。

ホテル階ではサイドコアのライトコートを持つ平面となり、彩光面を多くとり、外装（東西面）はプレキャストコンクリートのカーテンウォールで彫りの深いアイボリー色の吹付タイル仕上げで格調高い、落ちつきのあるホテルの雰囲気がよくでております。

また建物の外周りの敷地は公開空地として、明るく、親しみやすい広場を一般に開放されています。

今回は性格の異なったオフィスビルとホテルを統合したユニークな建物を見学いたします。多数ご参加下さい。この見学に際しては、三井生命保険相互会社のご厚意と久米建築事務所ならびに鹿島建設株式会社に多大のご協力をいただきました。

日　　時　昭和53年 1 月27日㈮ 集合14：00→解散16：00

集合場所　同上ビル正面玄関前付近・目標会旗

ただし、大阪・地下鉄、御堂筋線「中津駅」(梅田の次の駅）の南改札…梅田寄りの階段を上がった改札…より地上へ出てすぐ。

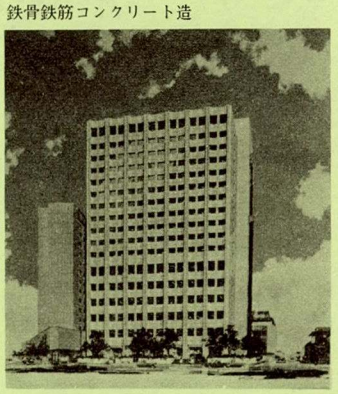
定　　員　40名

会　　費　300円

申　　込　往復はがき１名に１枚限りとし、氏名・勤務先名・所属部課名・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入し、「三井生命大阪ビル」と明記の上１月20日㈮までに建築協会事業課へ。

建築概要

所在地　大阪市大淀区豊崎3-23-1
施主　三井生命保険相互会社
設計監理　株式会社久米建築事務所
施工　鹿島建設株式会社
規模・構造　地下３Ｆ・地上18Ｆ・塔屋１Ｆ
地下３Ｆ～地下２Ｆ　鉄筋コンクリート造
地下１Ｆ、地上１Ｆ→塔屋　鉄骨鉄筋コンクリート造
敷地面積　2,575.797㎡
建築面積　1,053.380㎡
延床面積　19,799.322㎡
最高軒高　ＧＬ＋61.60m
最高部の高さ　ＧＬ＋62.10m
根切深さ　ＧＬ－19.31m
主な用途
１階　三井生命玄関ホール
三井アーバンホテル大阪ロビー
２階→６階　三井生命事務室
７階→16階　三井アーバンホテル大阪
客室 410室
17階　レストラン、ファンルーム
工期　昭和50年７月30日→
昭和53年３月13日



恒例・酒蔵見学会

◀“清酒日本盛”西宮酒造株式会社本社工場の見学

灘五郷の要地西宮に生まれた清酒“日本盛”は、遠く元禄の世華やかなりし頃、呱呱の声をあげました。

当時の銘は“盛”の一文字で、その上に桜の花をあしらい、「サカリ」または「ハナザカリ」と呼ばれて人々に愛され、味われたといわれます。

幕末から明治に入り、明治新政府の隆盛を酒の心にこめて、“盛”の文字に日本の二文字を配し、「ニホンサカリ」として誕生したわけであります。創業以来、六甲山系を臨む風光明媚な自然環境のもとで、酒をいつくしみ育ててきた丹波杜氏の伝統と、四季醸造をはじめとする近代的醸造化学の高度な技術力によって、いまや日本を代表する銘酒のひとつとして広く海外にまで知られております。

恒例の酒蔵見学会は、本会が去る昭和37年に日本盛本蔵「参番蔵」を見学して爾来15年、近代設備を軀使し、高度な技術の結晶として生まれた清酒“日本盛”の新しい工場を久びさに訪れることにいたしました。多数ご参加をお待ちします。

なお、この企画には、西宮酒蔵株式会社の多大のご厚意と、竹中工務店神戸営業所のご協力をいただきました。

日　　時　昭和53年 2 月 8 日(水) 集合14：00→解散16：00
集合場所　阪神電車「西宮東口駅」南側（神戸方面）改札出口付近・目標会旗

〔参考〕交通費は各自負担のこと。
梅田より……阪神電車神戸線急行乗車（12分間隔発車）→「甲子園」で普通に乗り替え三つ目の「西宮東口」で下車（所要時間約30分・片道130 円）

見学場所　西宮酒造株式会社本社工場
（兵庫県西宮市用海町4番57号 TEL (0798) 33—5421 (代)）
定　　員　40名
会　　費　300円
申　　込　往復はがきに限ります。はがきは１名１枚限りとし、「酒蔵・日本盛見学」と記入し、氏名・勤務先名・所属部課名・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を明記の上２月１日(水)までに建築協会事業課へ。
ただし、定員を超過した場合は抽せんにて決定いたします。

◀“万国博”お祭り広場・大屋根降下工事の見学

世界の注目を浴びながら大成功の中に無事終了した日本万国博覧会EXPO'70！人類の進歩と調和をテーマにシンボルゾーンとして立派に大役を果たした大屋根、世界最大のフレーム構造を誇るこの建造物も、いよいよこの３月には永久に姿を消します。

大屋根のフィナーレともいうべき降下作業が２月18日頃から３月上旬にかけて施工されます。スイス製400t 特殊ジャッキ24基を使って6,700t の大屋根を吊り下げる工事は解体撤去工事の圧巻といえるでしょう。　（日本万国博覧会記念協会施設部建築課長　樋口　登・記）

＊

今回、日本万国博覧会記念協会と大成建設株式会社のご厚意とご協力により、建築工学的にもいろいろ話題を投げかけてきた大屋根解体撤去工事を見学することにいたしました。見学会は丁度、大屋根⅓程度降下した時点を予定しております。日本国内は勿論、世界的にも関心を持つ工事といっても過言ではなく、この機会に是非ご参加下さい。

日　　時　2 月25日(土) 集合14：00→解散16：00
集合場所　万国博記念公園内・「エキスポランド前」バス停付近・目標会旗

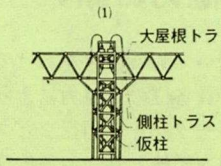
〔参考〕集合所までの交通費は各自負担のこと。
・大阪・地下鉄、御堂筋線「千里中央」駅（終点）下車→阪急バスターミナル⑤番のりばよりエキスポランド行に乗車の上「エキスポランド前」下車
・地下鉄は梅田より 170円、阪急バス（10分～15分間隔で発車）は90円……所要梅田より約50分です。

定　　員　40名
会　　費　300円
申　　込　往復はがき１名に１枚限りとし、氏名・勤務先名・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入し、「お祭り広場大屋根降下工事の見学」と明記の上２月１日(水)までに建築協会事業課へ。定員を超過したときは抽せんにて決定してお知らせいたします。

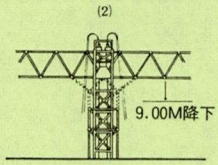
工事概要

工事名称
お祭り広場及び大屋根解体撤去工事
敷地
日本万国博覧会記念公園内
施主
日本万国博覧会記念協会
設計・監理
株式会社双星設計
（指導　東大名誉教授　坪井善勝）
施工
大成建設株式会社
工期
昭和52年７月１日→昭和53年７月25日

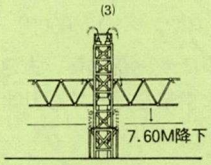
大屋根降下工事　施工順序説明(1)～(4)



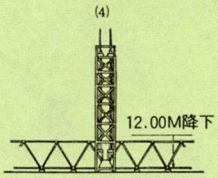
(1)　本柱脚部の補強及本柱の継足
(2)　仮柱の建方
(3)　ＶＳＬジャッキのセット



(1)　ジャッキにより大屋根吊上げ
(2)　上部方杖及側柱トラス解体
(3)　第１回降下実施



(1)　第２回目側柱トラス解体
(2)　第２回目降下実施



(1)　残り側柱トラス解体
(2)　第３回目降下及終了
(3)　大屋根トラス地上部解体

謹賀新年

昭和53年元旦

(50音順)

阿部暢

東洋土建株式会社 取締役社長

〒546 大阪市東住吉区田辺東ノ町6丁目33 電話06(692)1331～5

〒546 自宅・大阪市東住吉区田辺東之町5丁目24 電話06(629)1008

浅井泰

株式会社 笠谷工務店 専務取締役

〒659 芦屋市業平町4－2 電話0797(22)0703

〒659 自宅・芦屋市翠ヶ丘町13－5 電話0797(22)5291

新下帝次郎

株式会社 新下工業 取締役社長

〒612 京都市伏見区桃山福島太夫西町6番地 電話075(611)2275代

〒612 自宅・京都市伏見区京町2丁目電話075(611)0440

名誉正会員

青盛繁男

青盛建材株式会社 取締役会長

〒733 広島市舟入幸町19－10 電話0822(92)3200

〒734 自宅・広島市翠町1507の10 電話0822(51)6730

浅野真澄

株式会社 浅野建築設計事務所 代表取締役

〒543 大阪市天王寺区城南寺町9－27 電話06(768)0201

〒572 自宅・寝屋川市成田西町4－21 電話0720(31)1750

姉川正男

東光電気工事株式会社大阪支社 常務取締役 支社長

〒541 大阪市東区高麗橋5丁目28番地 電話06(202)0325

〒565 自宅・吹田市藤白台4の30の12 電話06(872)3214

青山幸夫

株式会社 青山建築積算事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀1-10-19江南ビル 電話06(443)0430

〒610-11 自宅・京都市西京区大原野上里勝山町14－6 電話075(331)8082

浅海正雄

浅海電気株式会社 代表取締役社長

〒530 大阪市北区老松町1丁目22番地 電話06(362)8701～8

〒665 自宅・宝塚市御殿山2丁目31－50－109号 電話0797(85)0745

網野栄

株式会社 研文社 代表取締役

〒530 大阪市北区堂山町66 電話06(314)0151代

赤尾勝策

株式会社 赤尾 取締役社長

〒541 大阪市東区安土町2－12トヤマビル電話06(252)1551代

淺沼茂夫

株式会社 淺沼組 取締役社長

〒543 大阪市天王寺区東高津町8番地の1 電話06(768)5222

〒168 自宅・東京都杉並区下高井戸3丁目17番1号 電話03(302)1922

安部恒夫

安部建設株式会社 取締役社長

〒559 大阪市住之江区西住之江2丁目7番5号 電話06(678)3212代

〒559 自宅・大阪市住之江区西住之江2丁目7番5号 電話06(671)7774

赤崎尚信

株式会社 赤崎建築事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区立売堀北通1の90 第三富士ビル 電話06(541)7625代

〒659 自宅・芦屋市三條町47番30 電話0797(31)8781

淺沼誠夫

株式会社 淺沼組 専務取締役

〒543 大阪市天王寺区東高津町8番地の1 電話06(768)5222

〒630-02 自宅・生駒市東松ヶ丘7番30号電話07437(4)5556

安藤俊雄

安藤俊雄建築設計事務所 所長

〒540 大阪市東区常盤町2の30 高木産業ビル 電話06(942)4602～3

〒560 自宅・豊中市上野西2丁目16－29電話06(856)0619

赤松修

株式会社 赤松菅野建築設計事務所 代表取締役

〒530 大阪市北区梅ヶ枝町123 瑞穂ビル 電話06(364)5651

〒560 自宅・豊中市千里園2丁目2－33 電話06(852)4622

東輝夫

株式会社 三国タイル店 代表取締役

〒565 営業所 吹田市津雲台7丁目20番地 電話06(832)1101代

〒532 本社 大阪市淀川区十八条3丁目1番7号 電話06(393)1951代

〒565 自宅・吹田市藤白台2丁目28番地14号電話06(872)3256

井上秋次

井上窯業株式会社 代表取締役

〒543 大阪市天王寺区生玉町40番地電話06(771)2825

〒659 自宅・芦屋市川西町4番23号 電話0797(22)5930

浅井貞治

株式会社 双星設計 代表取締役

〒530 大阪市北区茶屋町18－21 豊崎ビル 電話06(373)2281

〒659 自宅・芦屋市東山町213 ローズハイツ芦屋406号 電話0797(31)2339

新昭一

株式会社 新工務所 取締役社長

〒530 大阪市北区曽根崎中1丁目43番地 電話06(313)1331

井上浄夫

株式会社 井上冷熱ニットク工業株式会社 代表取締役会長

〒550 大阪市西区江戸堀1－9－6 電話06(441)8531代

〒663 自宅・西宮市甲子園3番町9－5 電話0798(41)4661

謹賀新年

昭和53年元旦

(50音順)

井上正一

名古屋建築設計事務所　所長

〒453 名古屋市中村区椿町4の28　国鉄会館内
電話052(451)2025直通
〒464 自宅・名古屋市千種区下方町4の30 電話052(711)9400

井上久雄

株式会社　井上久雄建築設計事務所　代表取締役社長

〒550 大阪市西区京町堀1丁目4－4　千島ビル
電話06(443)7386代
〒565 自宅・吹田市青山台3丁目20－7　電話06(831)3256

井上達明

株式会社 井上達明建築事務所 代表取締役

〒530 大阪市北区鶴野町51番地安田ビル 電話06(372)2821代
〒555 自宅・大阪市西淀川区竹島3丁目7の4電話06(473)1069

名誉正会員

井上福蔵

株式会社　井　上　組　代表取締役

〒534 大阪市都島区網島町6番25号　電話06(352)4031～4
電話06(351)0530
〒577 自宅・東大阪市東石切町6丁目4番4号 電話0729(81)2526

伊地知堅一

大鉄工業株式会社　取締役社長

〒532 大阪市淀川区宮原4丁目4番44号 電話06(394)1281大代
〒661 自宅・尼崎市南武庫之荘5丁目13番15号
電話06(438)2148

伊藤喜三郎

株式会社 伊藤喜三郎建築研究所 代表取締役社長

〒102 東京都千世田区紀尾井町3番地　文芸春秋ビル
電話03(263)1481代～7
〒141 東京都品川区東五反田3－16－55　電話03(441)5437

伊藤三郎

大栄電気株式会社大阪支店専務取締役支店長

〒550 大阪市西区京町堀1－12－14　電話06(443)0631
〒560 自宅・豊中市北桜塚3－8－7　電話06(854)7747

伊藤智康

東陶機器株式会社大阪支社　取締役支社長

〒530 大阪市北区曽根崎上2丁目31－6
梅新第一生命ビル東館　電話06(364)1181

飯田精次郎

共同設計株式会社　代表取締役社長

〒530 大阪市北区富田町9番地　電話06(364)5836
〒105 東京事務所・東京都渋谷区渋谷1-10-1 八千代ビル内
電話03(407)0912　03(409)1837
〒733 広島事務所・広島市堺町2－3－17　電話0822(94)1828
〒520 大津事務所・大津市浜大津4-4-4　電話0775(23)0388
〒620 福知山事務所・京都府福知山市字厚中町7番地
電話0773(22)6461

生島道春

社団法人　日本建築積算協会関西支部　支部長

〒542 大阪市南区鰻谷中之町62 市川ビル2F
電話06(245)6645

生田重政

日本建設株式会社　取締役社長

〒541 大阪市東区安土町4丁目5番地　電話06(261)7591～8
〒659 自宅・芦屋市朝日ケ丘22番11号　電話0797(23)0657

池田昭

株式会社　池田宮彦設計事務所　代表取締役社長

〒542 大阪市南区瓦屋町3番丁68　オートセンタービル3階
電話06(761)0360
〒591 自宅・堺市東上野芝町2丁目321　電話0722(52)7753

諫早信夫

フドウ建研株式会社　社長

〒110 東京都台東区台東1－2－1　日本地所第二ビル
電話03(835)2661
〒157 東京都世田谷区南烏山2－18－4　電話03(300)3705

石川宏

石川建築事務所

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町111番地　電話06(779)9491代
〒665 自宅・兵庫県宝塚市雲雀丘山手1丁目5番1号
電話0727(59)2963

石川良興

日本冷熱工産株式会社　代表取締役社長

〒564 吹田市豊津町40番38号 電話06(384)1201代
〒560 自宅・豊中市蛍池東町4丁目7番12号
電話06(841)0032

泉沢哲史

株式会社　泉沢建築設計事務所　代表取締役

〒530 大阪市北区真砂町48-1オオシマビル　電話06(364)9071

一宮能和

日泉化学工業株式会社　取締役副社長

〒550 大阪市西区土佐堀1丁目1－9　電話06(443)2261代

市川繁雄

日本管工業株式会社　取締役社長

〒601 京都市南区西九条豊田町20 電話075(681)5101～5
〒606 自宅・京都市左京区下鴨芝本町37　電話075(781)0289

市川宏

株式会社 東畑建築事務所　専務取締役

〒541 大阪市東区伏見町5－19　電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4丁目4－32
電話078(811)0216

指宿真智雄

株式会社 建築デザイン1級建築士事務所
株式会社 緑地デザイン技術士事務所　代表取締役
株式会社 設備デザイン設備士事務所

〒541 大阪市東区南本町4-47イトウビル電話 06(252)1011～4
〒106 東京都港区麻布台1丁目1番20号
麻布台ユニハウス107号　電話 03(586)1311～4
〒604 京都市中京区柳馬場通御池下る柳八幡町65 京都朝日ビル
電話075(221)1101～4
〒606 自宅・京都市左京区下鴨北野々神町8の5
電話075(781)6573

今井忠臣

イマヰ建設工業株式会社　代表取締役

〒547 大阪市平野区加美東2－2－19　電話06(792)4425
〒547 自宅・大阪市平野区平野北2－9－15 電話06(792)4404

謹賀新年

昭和53年元旦

（50音順）

今西茂雄

株式会社 今西建築デザインルーム代表取締役

〒550 大阪市西区北堀江通2丁目47番地 電話06(541)3051～3
〒630-02 自宅・生駒市東生駒月見町198 電話07437(4)6930

今西壽雄

株式会社 今西組 取締役社長

〒543 大阪市天王寺区上本町7丁目2番地の1 上六ビル内 電話06(779)3361
〒592 自宅・大阪府高石市羽衣2丁目4番1号 電話0722(61)1179

今村騰

取締役会長

平木寛

取締役社長

中央電気工業株式会社

〒530 大阪市北区梅ヶ枝町56 電話06(312)8881大代

今元康彦

近畿電気工事株式会社 取締役会長

〒531 大阪市大淀区本庄東2丁目3番41号 電話06(375)6000
〒560 自宅・豊中市北桜塚4丁目5番5号 電話06(852)5887

名誉正会員

岩佐信也

〒630 自宅・奈良市法蓮町南2丁目1079の1 電話0742(23)2890

名誉正会員

岩崎甚太郎

〒666 自宅・兵庫県川西市花屋敷1丁目32の11 電話0727(59)9317

岩崎徹

株式会社 岩崎建築設計事務所 代表取締役

〒630 本社・奈良市法蓮立花町1046 電話0742(22)2217
〒630 奈良事務所・奈良市大森町57の3 農協会館内 電話0742(22)2283代
〒631 自宅・奈良市学園北1丁目5－11 電話0742(45)1513

岩崎弘

専務取締役

寺西礼一

取締役所長

株式会社 教育施設研究所 大阪事務所

〒550 大阪市西区立売堀北通2の27 電話 06(531)0913
大信ビル2階3階 電話 06(541)7301
〒630 自宅・奈良市法蓮立花町1046 電話0742(22)2217
〒661 自宅・尼崎市常吉字赤田9の5 電話 06(431)2101

岩崎善雄

恒和化学工業株式会社 代表取締役社長

〒561 豊中市豊南町南6丁目3－13 電話06(332)5721
〒143 自宅・東京都大田区山王2－30－10 電話03(772)2651

岩本義心

野村建設工業株式会社 取締役社長

〒541 大阪市東区高麗橋2丁目9番地 電話06(202)1791代

上田宇三

株式会社 日匠設計 代表取締役

〒580 本社・大阪事務所・大阪府松原市西大塚1－5－6 電話0723(31)3857代
〒520－32 滋賀事務所・滋賀県甲賀郡甲西町大字平松 電話07187(2)1114
〒580 自宅・大阪府松原市西大塚1－5－20電話0723(31)1554

上西圭治

株式会社 大気社 取締役社長

〒530 大阪市北区中之島3－5－1 住友中之島ビル7階 電話06(448)5871
〒659 自宅・兵庫県芦屋市浜町12－14電話0797(22)5949

植野寿雄

株式会社 寿建築積算事務所 所長

〒542 大阪市南区塩町通2丁目28 高津ビル 電話06(261)2720
〒588 自宅・堺市大美野5－9 電話0722(37)1162

浦辺鎮太郎

株式会社 浦辺建築事務所 代表取締役

〒530 大阪市北区梅田8番地 新阪急ビル 電話06(341)1727
〒662 自宅・西宮市甲東園1丁目7の8 電話0798(51)0389

江川好巳

江川神津設計事務所 所長

〒532 大阪市淀川区西中島4－7－2 地産1号館 電話06(304)7439
〒659 自宅・芦屋市三條町288 電話0797(22)9269

遠藤剛生

株式会社 遠藤剛生建築設計事務所 代表取締役

〒541 大阪市東区伏見町2丁目22電話06(203)0888代
〒562 自宅・箕面市桜ヶ丘3丁目10番4号電話 0727(22)2064

小川正

株式会社 環境開発研究所 取締役社長

〒541 大阪市東区北久太郎町4丁目68－3 大阪センタービルディング13階 電話06(252)2507

小河吉之助

株式会社 小河建築設計事務所 代表取締役会長

〒542 本社・大阪市南区瓦屋町4番丁8 電話06(763)2301代
〒106 支社・東京都港区六本木5－18－3 六本木ベニービル7階 電話03(583)9501代
分室・和歌山・北陸金沢・滋賀・京都
〒573 自宅・枚方市香里ケ丘12丁目22－37 電話 0720(54)0690

尾亀清四郎

株式会社 三晃空調 取締役会長

〒530 大阪市北区西天満3丁目13番20号 電話06(363)1371
（昭53・2・1より上記住所に表示変更）
〒573 自宅・枚方市岡山手町15－4 電話0720(41)3427

尾原庸夫

株式会社 松田平田坂本設計事務所 大阪事務所 所長

〒530 大阪市北区堂島上3－10 電話06(344)7821
〒338 自宅・埼玉県与野市大字上落合540－1－1－103 電話0488(52)7544

大井弘治郎

株式会社 大井建築設計事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀1-10-8 福岡ビル 電話06(444)4521～2
〒562 自宅・箕面市百楽荘4丁目4－11 電話0727(21)4113

謹賀新年　昭和53年元旦　(50音順)

名誉正会員

大倉三郎

〒606 自宅・京都市左京区下鴨北園町33　電話075(781)0636

大下繁樹

日成建設株式会社　取締役社長
〒730 広島市牛田新町3丁目2番44号 電話0822(28)0281代
〒731-01 自宅・広島市安古市町上安光ケ丘530～301
電話08287(8)3877

大林芳郎

株式会社 大林組 取締役社長
〒540 大阪市東区京橋3丁目37番地 電話06(943)1131
〒658 自宅・神戸市東灘区御影山手1丁目17番1号
電話078(85)2501

太田儀一

株式会社 団地サービス大阪支社　取締役大阪支社長
〒536 大阪市城東区森之宮2丁目9番201号 電話06(969)1001

岡澤勇

岡澤建築設計事務所　所長
〒567 大阪府茨木市大字清水433
電話0726(43)8953・5230
〒530 大阪事務所・大阪市北区梅ケ枝町146 梅ケ枝ビル2階
電話06(362)6082代

名誉正会員

岡田孝男

帝塚山学院大学　教授
〒589 大阪府南河内郡狭山町 電話0723(65)0865
〒565 自宅・吹田市千里山西5丁目40—4 電話06(384)3019

岡橋作太郎

〒659 自宅・芦屋市打出春日町156—1　電話0797(22)4500

岡本繁一

近畿電気工事株式会社　取締役社長
〒531 大阪市大淀区本庄東2丁目3番41号 電話06(375)6000
〒640 自宅・和歌山市三木町南ノ丁18 電話0734(23)0308

名誉正会員

岡本茂樹

〒657 自宅・神戸市灘区楠丘町6—2—9 電話078(851)2020

名誉正会員

岡本弘

〒573 自宅・枚方市東香里2-7-20 電話0720(54)4123

岡本行善

株式会社 昭和設計 代表取締役社長
〒550 大阪市西区長堀北通1丁目8番地 四ツ橋ビル
電話06(532)3421代
〒659 自宅・芦屋市岩園町35—7 電話0797(31)3201

岡本全男

筧組建設株式会社 代表取締役社長
〒543 大阪市天王寺区東高津町14—5　電話06(768)1515代
営業所：名古屋・和歌山・春日出　工場：豊明
〒557 自宅・大阪市西成区玉出東1丁目6番15号
電話06(661)3317

岡山竹雄

株式会社 岡山建築事務所一級建築士事務所　代表取締役
〒604 京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町670
京都フクトクビル7F 電話075(255)0537～8
〒612 自宅・京都市伏見区深草平田町18 電話075(641)0536

奥野晴弘

株式会社 和光建築設計事務所　代表取締役社長
〒556 大阪市浪速区新川3丁目630　電話06(633)0141～3
〒550 自宅・大阪市西区北堀江御池通3丁目40番地の1
電話06(541)0261

奥村紘行

奥村重兵衛株式会社 取締役社長
〒530 大阪市北区伊勢町22番地電話06(312)4131代
〒620 自宅・西宮市南郷町14番34号 電話0798(71)0011

奥村安太郎

奥村組土木興業株式会社 代表取締役社長
〒552 大阪市港区市岡3丁目5番18号　電話06(572)5301
〒552 自宅・大阪市港区市岡3丁目8番3号 電話06(571)0571

音羽倫宏

株式会社 第一サービス 代表取締役
〒556 大阪市浪速区戎本町1丁目3番地　電話06(649)5301
〒584 自宅・富田林市高辺台3丁4番54—202号
電話07212(9)9737

海上静一

株式会社 海上静一建築事務所 代表取締役
〒541 大阪市東区博労町3丁目11—1 タイガービル7F
電話06(244)1501～7
〒591 自宅・大阪府堺市日置荘西町13番地2 電話0722(86)7018

加藤忠三郎

株式会社 平田タイル 代表取締役社長
〒550 大阪市西区阿波座中通1丁目5　電話06(532)1231代
〒601 自宅・京都市南区東九条北烏丸町24電話075(691)1334

嘉納伝三

三宝電機株式会社 取締役社長
〒530 大阪市北区絹笠町50　堂ビル　電話06(364)1471
〒659 自宅・芦屋市岩園町25番22号　電話0797(22)2191

梶本秀尾

八千代電設工業株式会社取締役社長
〒540 大阪市東区森之宮東之町39 2電話06(941)6531代
〒588 自宅・堺市大美野107の4　電話0722(37)2548

謹賀新年

昭和53年元旦

（50音順）

数井利美

株式会社 西村建築事務所 取締役社長
〒652 神戸市兵庫区荒田町2丁目1番地 旭ビル
電話078(521)0205～0207
〒654 自宅・神戸市須磨区白川台2丁目39－13
電話078(792)5862

兼高勇

有限会社 兼高設計事務所 代表取締役
〒590 堺市翁橋1丁4番5号スカイビル堺6F 電話0722(22)1643
1648
〒590 自宅・堺市三国ケ丘御幸通81－2 電話0722(32)1603

鎌谷秀男

修成建設専門学校 校長
〒555 大阪市西淀川区大和田5丁目19－30 電話06(474)1644
〒665 自宅・宝塚市千種4丁目3番3号電話0797(72)1380

神谷新一

廣瀬鋼材産業株式会社 相談役
〒550 大阪市西区西長堀北通3－2－3 電話06(532)6201
〒657 神戸市灘区五毛通3－2－21 電話078(861)0596

神崎吾明

株式会社 神崎組 取締役社長
〒670 姫路市北條口86の3 電話0792(23)2021代
〒670 自宅・姫路市北條口62 電話0792(23)0210

亀井晃治

一級建築士事務所
株式会社 A.R.I.（あり）建築事務所 代表取締役社長
〒542 大阪市南区谷町7丁目12番地の1
新谷町第3ビル・2F 電話06(768)1771代
〒631 自宅・奈良市中町1番地の479 電話 0742(43)1226

柄谷順一郎

株式会社 柄谷工務店 取締役社長
〒660 尼崎市玄番南之町4 電話 06(411)1451
〒663 自宅・西宮市甲子園浦風町9－14 電話0798(41)0700

川岸繁夫

株式会社 川岸窯業商店 代表取締役
〒550 大阪市西区西本町1丁目13－33 電話06(532)0461代
〒563 自宅・池田市天神1丁目10－10 電話0727(61)8598

川口喜代枝

株式会社 篠田川口建築事務所 所長
株式会社 協同設備事務所 所長
〒461 名古屋市東区泉1丁目21番21号 電話052(962)7581
〒464 自宅・名古屋市千種区稲舟通2丁目7
電話052(751)2613

川崎敬三

株式会社 近畿建設 取締役社長
〒550 大阪市西区江之子島1丁目2番2号 電話06(448)5601
〒556 自宅・大阪市浪速区新川2丁目666 電話06(632)7369

川瀬啓一郎

扶桑管工業株式会社 代表取締役
〒616 京都市右京区太秦和泉式部町12番地電話075(861)1157
大阪支店 電話06(353)0222 東京支店 電話03(263)0501
〒616 自宅・京都市右京区太秦安井車道町21
電話075(811)1509

川谷勇

川谷建築設計事務所 自営
〒606 京都市左京区一乗寺清水町15 電話075(781)1148代
〒606 自宅・京都市左京区一乗寺清水町15 電話075(781)1148

河裾和夫

蛍光産業株式会社 代表取締役
〒531 大阪市大淀区本庄東1丁目9番9号 電話06(371)5146

河原義夫

新日本空調株式会社大阪支店 常務取締役 大阪支店長
〒530 大阪市北区堂島浜通り1－25－1新大ビル
電話06(344)6031代
〒659 自宅・芦屋市岩園町21番3号 電話0797(31)5492

木下国男

内外パーキング施設株式会社 代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀1－4－8 電話06(441)0477代
〒665 自宅・宝塚市小林字西山6番330号 電話0797(73)3228

木下みどり

株式会社 ナイガイ 代表取締役社長
〒530 大阪市北区堂島北町16 電話06(345)9055
〒550 自宅・大阪市西区京町堀1丁目15番18号
電話06(441)2503

名誉正会員

城戸武男

株式会社 城戸武男建築事務所 代表取締役
〒460 名古屋市中区栄1－22－27 電話052(231)5451代
〒460 自宅・名古屋市中区栄1－22－27 電話052(201)4061

栗山和三

株式会社 シエル石油大阪発売所 本部長
〒530 大阪市北区堂島浜通1丁目25－1 （新大ビル9F）
電話06(343)0441
〒651-11 自宅・神戸市北区若葉台1-4-29 電話078(593)7528

名誉正会員

黒明澄夫

クロアキー級建築士事務所所長
〒536 大阪市城東区蒲生3丁目11番11号 電話06(931)2097
〒536 自宅・大阪市城東区蒲生3丁目11番11号
電話06(931)2097

黒田譲

黒田建設株式会社 取締役社長
〒830 久留米市大石町32番地 電話0942(32)3417
〒830 自宅・久留米市白山町547番地 電話0942(34)8527

桑田正造

桑田硝子株式会社 取締役社長
〒650 神戸市生田区多聞通4丁目9－8 電話078(371)1861代
〒653 自宅・神戸市長田区五位ノ池町3丁目1－1
電話078(621)3807

謹賀新年

昭和53年元旦

（50音順）

小阪永一

大信印刷株式会社 代表取締役

〒531 大阪市大淀区大淀中4丁目13−11 電話06(451)7631

〒553 大阪市福島区福島6丁目20−10 電話06(451)8348

小坂忠勝

株式会社 東海設計 代表取締役

〒460 本社・名古屋市中区栄3−7−1 電話052(261)2651代

〒104 東京事務所・東京都中央区宝町1−8 電話03(561)0815代

〒467 自宅・名古屋市瑞穂区岳見町4-20-2電話052(831)4459

小島勝巳

有限会社 小島勝巳建築事務所 取締役社長

〒541 大阪市東区南本町4丁目41番地 イヨビル6階 電話06(252)8088代

〒101 東京事務所・東京都千世田区岩本町2丁目9番地 藤野ビル 電話03(861)9538

〒662 自宅・西宮市五月ヶ丘6番35号 電話0798(74)5120

小西岬

株式会社 田中小西建築事務所 取締役社長

〒550 大阪市西区阿波座南通2の60 電話06(532)4051

〒546 自宅・大阪市東住吉区平野西脇町373の4 電話06(701)0297

名誉正会員

小早川美武

美工装飾株式会社 取締役社長

〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9−41 電話06(651)0105

〒557 自宅・大阪市西成区玉出東2丁目10−17 電話06(653)0023

小林一夫

甲南建材興業株式会社 代表取締役 常務取締役

〒532 大阪市淀川区十三本町2−4−28 電話06(309)0841

小林清

株式会社 新住宅社 代表取締役

〒530 大阪市北区常安町17番地 電話06(443)6641

〒545 自宅・大阪市阿倍野区北畠3丁目1番7号電話06(654)0584

小林三甫朗

小林住宅産業株式会社 代表取締役

〒541 大阪市東区南久宝寺町5−18 電話06(245)2181

小林四郎

太陽工藤工事株式会社 取締役社長

〒553 大阪市福島区福島7丁目22番8号電話06(452)1151大代

小林政一郎

東洋土建株式会社 常務取締役

〒546 大阪市東住吉区田辺東之町6−33電話06(692)1331代

〒518-64 自宅・三重県名張市桔梗丘1-6-61 電話05956(5)0400

小林得志

株式会社 小林得志建築事務所 代表取締役所長

〒530 大阪市北区堂島北町20 藤田ビル 電話06(341)5658 5659

〒662 自宅・西宮市丸橋町6−16 電話0798(66)2394

高武主計

コータケ建築設計事務所 所長

〒550 大阪市西区江戸堀3丁目6番23号 末弘ビル 電話06(448)2408・0178

〒550 自宅・大阪市西区北堀江御池通6丁目21 北堀江コーポ706号 電話06(531)2812

河内義就

有限会社 河内義就設計事務所 代表取締役

〒730 広島市上幟町2番37号 電話0822(28)2271代

〒739-17自宅・広島市高陽町字翠光台1-237 電話08284(2)4141

鴻池藤一

株式会社 鴻池組 取締役社長

〒541 大阪市東区北久宝寺町4丁目27番地 ダイヤルイン電話06(244)3500(受付台)

〒603 自宅・京都市北区平野鳥居前町86 電話075(461)1526

近藤保

株式会社 日建設計 取締役社長

〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地電話06(203)2361

近藤義雄

日東建設株式会社大阪支店 大阪駐在常務取締役

〒530 大阪市北区末広町12 新末広ビル 電話06(351)0623〜6

〒659 自宅・芦屋市平田町8−5−303 電話0797(31)5880

佐々木米太郎

社団法人 日本建築協会京都支部 支部長

〒604 京都市中京区押小路通柳馬場東入橘町645 電話075(211)2857 (211)2877

佐治誠次

株式会社 佐治建築事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区立売堀南通1−24 カクダイビル 電話06(541)5831

〒662 自宅・西宮市苦楽園一番町1−36 電話0798(73)2516

佐藤四郎

株式会社 大佛 取締役社長

〒605 京都市東山区今熊野大佛池田町9−9 電話075(541)3344代

〒605 自宅・京都市東山区今熊野池田町8−4 電話075(561)3725

佐野正一

株式会社 安井建築設計事務所 取締役社長

〒540 大阪市東区島町2丁目7番地 電話06(943)1371代

〒662 自宅・西宮市雲井町4の9 電話0798(72)1569

雑賀孝夫

株式会社 雑賀建築設計事務所 代表取締役

〒640 和歌山市西汀1番地 電話0734(31)1371代〜5

〒640 自宅・和歌山市小松原5丁目3−4 電話0734(23)5888

謹賀新年

昭和53年元旦

（50音順）

雑賀幸夫

株式会社 大阪雑賀建築事務所 代表取締役

〒543 大阪市天王寺区東平野町5丁目9番地 吉盛ビル 電話06(772)4426・4436

〒573 自宅・枚方市香里ケ丘7丁目11－16電話0720(54)0004

島村忠男

西日本建設業保証株式会社 取締役社長

〒540 大阪市東区上町5番地 電話06(762)5701代

杉田新三郎

シールテックス工業株式会社 代表取締役

〒640 和歌山市橋丁11 電話0734(32)2581代

名誉正会員

作間日出生

〒664 自宅・伊丹市桜ケ丘4丁目2－25 電話0727(82)5340

名誉正会員

白石登喜男

株式会社 藤木工務店 常務理事

〒540 大阪市東区両替町1丁目13番地 電話06(942)1461

〒558 自宅・大阪市住吉区墨江中1の68 電話06(671)3792

杉村正三郎

阪急電気工事株式会社 取締役社長

〒532 大阪市淀川区新北野1丁目4番21号 電話06(302)0231代

〒665 自宅・宝塚市栄町3丁目9番20号 電話0797(86)3623

四方靖郎

四方設計工務株式会社
一級建築士事務所 代表取締役社長

〒612 京都市伏見区深草関屋敷町32-2電話075(641)6091～2 6324

〒851-33 長崎出張所・長崎県西彼杵郡西彼町大谷脇1684 電話09592(7)0172

〒183 東京出張所・東京都府中市白糸台6丁目53－31 電話0423(67)0480・0424(84)0236

〒612 自宅・京都市伏見区深草関屋敷町32－2

城口庸平

株式会社 大阪城口研究所 取締役社長

〒530 大阪市北区高垣町1番地 電話06(372)7151代

錢高輝之

株式会社 錢高組 取締役社長

〒550-91 大阪市西区西本町2丁目2番11号 電話06(531)6431大代

清水和彌

株式会社 清水和彌設計事務所 代表取締役

〒530 大阪市北区万才町43浪速ビル 電話06(312)7278

〒560 自宅・豊中市中桜塚4丁目3番10号電話06(852)7056

進藤汎海

株式会社 企画設計社 代表取締役

〒556 大阪市浪速区日本橋東4－16 電話06(643)3631

〒662 自宅・西宮市柏堂町7番7の303電話0798(72)3070

仙田四郎

株式会社 カンダン 取締役社長

〒558 大阪市住吉区万代東6丁目3番地 電話06(672)1281大代

〒588 自宅・堺市大美野76番地の6 電話0722(37)6513

紫冨田忠雄

日新工業株式会社大阪支店 支店長

〒533 大阪市東淀川区瑞光通4丁目30番地の2 電話06(329)7737大代

〒533 自宅・大阪市東淀川区瑞光通4-30-2電話06(328)3343

須賀孝

須賀工業株式会社 取締役社長

〒550 大阪市西区土佐堀1丁目2番30号 電話06(441)5171

〒662 自宅・西宮市雲井町6番14号 電話0798(72)0269

相臺淳吉

日新工業株式会社 専務取締役

〒120 東京都足立区千住東2丁目21番28号電話03(882)2424

〒271 自宅・松戸市北松戸3の7の3 電話0473(62)9314

島田孝治

株式会社 片山鉄工所 代表取締役社長

〒551 大阪市大正区南恩加島6丁目2番21号 電話06(552)1231大代

〒661 自宅・兵庫県尼崎市武庫之荘3丁目1－1 イートピア308 電話06(432)7337

須賀好富

近畿大学理工学部 助教授 電話06(721)2332 内線271

株式会社 近畿建築構造研究所 所長

〒543 大阪市天王寺区椎寺町76天王ビル電話06(771)3216代

〒577 自宅・東大阪市下小阪172－2 近鉄グランドマンションB－911 電話06(789)8114

田口信夫

株式会社 恵美須建設 代表取締役

〒606 京都市左京区浄土寺馬場町151 電話075(761)1151

〒606 自宅・京都市左京区鹿ケ谷法然院町7 電話075(771)3543

名誉正会員

島村佐次郎

島村建築事務所

〒640 和歌山市四番丁4 電話0734(22)3338・4335

〒640 自宅・和歌山市四番丁4 電話0734(22)3338・4335

菅谷健児

大阪電気暖房株式会社 代表取締役社長

〒550 大阪市西区江戸堀1丁目10番17号 電話06(441)8231

〒158 自宅・東京都世田谷区等々力6丁目24－6 電話03(701)3535

田中幸三郎

田中建設株式会社 取締役社長

〒543 大阪市天王寺区北河堀町54 電話06(771)2391代

〒545 自宅・大阪市阿倍野区阪南町5-9-24 電話06(622)0494

謹賀新年

昭和53年元旦

(50音順)

田中政二

大島應用化学工業株式会社　代表取締役社長

〒578 東大阪市新庄114番地 電話06(745)5121代
06(745)6736～8

〒536 自宅・大阪市城東区成育4丁目19－20 電話06(931)3506

舘林彦四郎

株式会社　タテバヤシ商店　代表取締役

〒601 京都市南区西九条大国町37　電話075(681)7221代

辻本豊

株式会社 辻本豊一級建築設計事務所 代表取締役

〒640 和歌山市東長町中の丁12－3 電話0734(24)6346代

〒640 自宅・和歌山市東長町中の丁12－3　電話0734(24)6346

高橋慶夫

株式会社　大建設計　取締役社長

〒550 大阪市西区江戸堀1丁目12番8号　安田生命大阪ビル
電話06(441)9351

〒533 自宅・大阪市東淀川区相川中通2丁目2－4
電話06(340)0935

谷山俊輔

社団法人 日本サッシ協会関西支部 関西支部長

〒556 大阪市浪速区敷津町3－20 建団連会館内
電話06(632)5421

寺田徳重

大成建設株式会社 常勤顧問

〒541 大阪市東区本町4丁目27 電話06(262)1131

〒562 自宅・大阪府箕面市桜井2丁目4－39 電話0727(21)4641

名誉正会員

滝口開

三井建設株式会社　常務取締役 大阪支店長

〒530 大阪市北区中之島3丁目7番地　電話06(443)1321代

〒659 自宅・芦屋市東山町137芦屋パークマンションA－701号
電話0797(31)0588

玉置豊次郎

大阪工業大学　教授
(財)大阪住宅センター　理事長

〒557 自宅・大阪市西成区天神森1-19-15　電話06(661)7680

傳馬正明

ムツミ産業株式会社　代表取締役

〒550 大阪市西区靭本町1丁目17番15号
電話06(441)0378大代

〒531 自宅・大阪市大淀区中津浜通1－3
中津リバーサイドコーポC－929 電話06(371)0385

名誉会長・名誉正会員

竹腰健造

株式会社　双星設計

〒530 大阪市北区茶屋町18－21 豊崎ビル　電話06(373)2281

〒662 自宅・西宮市松園町7番22号　電話0798(34)2650

千原大五郎

株式会社 大建設計 代表取締役副社長

〒105 東京本社・東京都港区新橋1-10-7 大和銀行新橋ビル
電話03(572)4595代

〒550 大阪本社・大阪市西区江戸堀1－12－8
安田生命大阪ビル　電話06(441)9351代

〒251 自宅・神奈川県藤沢市鵠沼松が岡1－15－25
電話0466(23)3124

土上三之丞

株式会社 間組 大阪支店　専務取締役 大阪支店長

〒541 大阪市東区瓦町5－20－1　電話06(201)2751

〒565 自宅・吹田市山田西3－6－14　電話06(877)3983

名誉会長・名誉正会員

竹村通世

近畿電気工事株式会社 広島支社　支社長

〒730 広島市稲荷町4番1号　住友生命広島ビル
電話0822(62)1471

〒733 自宅・広島市南観音7丁目16番34号　南高雅荘
電話0822(93)3293

知見義夫

春日設備工業株式会社　取締役社長

〒601 京都市南区西九条春日町48
電話075(681)6455・(691)9228

〒601 自宅・京都市南区西九条春日町48 電話075(691)3860

東畑謙三

株式会社東畑建築事務所代表取締役

〒541 大阪市東区伏見町5－19 電話06(202)0391

〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4-4-35電話078(851)5043

橘泰治

東邦パーライト株式会社 取締役社長

〒540 大阪市東区森之宮西の町594　電話06(941)9445～9

〒590-01 自宅・堺市若松台3丁26番3号電話0722(91)2267

津村健児

オリエンタルメタル製造株式会社　代表取締役

〒660 尼崎市昭和南通3丁目26番地　電話06(412)5131代

〒662 自宅・西宮市神垣町5番8号電話0798(74)5591

栂野正春

株式会社栂野建築事務所 一級建築士 代表取締役社長

〒640 和歌山市五番丁4番地 電話0734(22)2826

立田清

有限会社 柳々堂 (建築専門書店)

〒550 大阪市西区京町堀1－12－3 電話06(443)0167～8
営業所：鴻池ビル　電話06(251)8233

塚本猛次

株式会社　日建設計　相談役

〒541 大阪市東区横堀2丁目38番地電話06(203)2361

時岡保雄

株式会社　三和地質　代表取締役

〒550 大阪市西区靭本町3丁目8番6号
電話06(445)2521代～5

謹賀新年

昭和53年元旦

（50音順）

時実丹一

共立建設株式会社大阪支店 取締役支店長

〒540 大阪市東区内本町2丁目45番地 大阪内本町電電ビル6階
電話06(942)2491

〒662 自宅・西宮市甲風園2丁目1-4
甲風園マンション3-2号室 電話0798(64)0780

時山龍太郎

時山設計事務所 所長

〒530 大阪市北区曽根崎上2丁目21番地 美都ビル
電話06(361)6248

〒532 自宅・大阪市淀川区三国本町2丁目7番21号
電話06(393)9557

富家宏泰

株式会社 富家建築事務所 所長

〒604 京都市中京区烏丸押小路東入 電話 075(231)6357代

〒603 自宅・京都市北区平野八丁柳町68−1 704号
電話 075(463)0050

内藤資忠

株式会社 内藤建築事務所 代表取締役会長

〒606 京都市左京区田中大堰町189 電話075(781)4111

〒606 自宅・京都市左京区北白川山の元町38電話075(781)3353

内藤正克

株式会社 内藤建築設計事務所 代表取締役所長

〒675-13 兵庫県小野市上本町240小野ビル電話07946(2)4757代

〒675-13 自宅・兵庫県小野市久保木町1063電話07946(2)4668

中尾義昭

株式会社 旭設計事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区靭本町1丁目9番15号 近畿富山会館5F
電話06(445)2050代

〒657 自宅・神戸市灘区六甲台町7番19 ハイツ六甲308号
電話078(881)2907

中川匠

中川匠建築設計事務所 所長

〒530 大阪市北区浪花町38新興ビル 電話06(371)3651

〒665 自宅・宝塚市売布4丁目15−18 電話0797(86)2391

中田亮吉

株式会社 日本総合建築事務所 取締役社長

〒150 東京都渋谷区神南1−12−16 電話03(463)5020代

〒143 自宅・東京都大田区山王1−29−3 電話03(777)2408

中出隆俊

（各種防水工事及スレート工事施工請負）
株式会社 中出商会 代表取締役

〒652 神戸市兵庫区上沢通6丁目1−1 電話078(511)4501代

中西隆一

株式会社 中西建築 代表取締役

〒550 大阪市西区江戸堀3−4−9 電話06(445)0585大代

〒547 自宅・大阪市平野区瓜破西2-8-1 電話06(703)7636

中原茂

株式会社 中原茂建築事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区靭本町2丁目9番11号 岡崎橋ビル
電話06(445)0039

中原英雄

株式会社 創美設計 代表取締役

〒530 大阪市北区末広町17 星和地所扇町ビル6階
電話06(312)3587代

〒659 自宅・芦屋市打出小槌町1番地405

永井賢城

株式会社 久米建築事務所 取締役社長

〒106 東京都港区西麻布1丁目13番11号電話03(403)0251大代

〒251 自宅・藤沢市鵠沼海岸2丁目8の26 電話0466(36)7706

永井基

住友ウォールシステム株式会社 社長

〒101 東京都千世田区神田美土代町1 住友商事美土代ビル
電話03(294)8511大代

〒541 大阪支社・大阪市東区南本町5丁目14
住友生命南本町ビル 電話06(252)1881

取締役会長 西嶋徳太郎
代表取締役所長 石中達夫

株式会社 大建企画設計

〒550 大阪市西区京町堀1丁目13-20 電話06(443)8261代

西村淀

株式会社 大鳥居工業所 取締役社長

〒615 京都市右京区西院西田町30 電話075(313)2191

〒616 自宅・京都市右京区宇多野御池町40−10
電話075(463)2784

野中駒市

野中建産株式会社 取締役会長

〒550 大阪市西区靭本町1丁目13番19号電話06(441)6631

能勢次郎

株式会社 能勢建築設計事務所 代表取締役

〒550 大阪市西区江之子島1−2−2 和光ビル7階
電話06(443)6451代

能勢善樹

株式会社 能勢建築構造研究所 代表取締役

〒550 大阪市西区西本町1丁目13番38号 新興産ビル
電話06(538)0378〜9
電話06(538)2829

〒810 福岡市中央区赤坂1−6−22 第2野田ビル
電話092(761)0902

橋詰一雄

株式会社 橋詰工務店 取締役社長

〒604 京都市中京区猪熊通三条上ル姉猪熊町326番地
電話075(801)2356代

〒604 自宅・京都市中京区猪熊通三条上ル姉猪熊町326番地
電話075(841)2803

名誉正会員

浜口幹三郎

株式会社 浚沼組相談役

〒543-91 大阪市天王寺区東高津町8の1 電話06(768)5222

〒631 自宅・奈良市二名町南登美ヶ丘3336−7
電話0742(43)1091

謹賀新年

昭和53年元旦

(50音順)

林　茂

株式会社　林設計事務所　代表取締役

〒531 大阪市大淀区長柄中3丁目1番8号　電話06(351)6831
〒565 自宅・吹田市竹見台2丁目11番5号　電話06(871)8625

伴仲信次

春日建設株式会社　代表取締役社長

〒102 東京都千代田区飯田橋2丁目9番3号
電話03(264)4011代
〒162 自宅・東京都新宿区細工町27番地　電話03(260)4725

藤井　章

株式会社　藤井工業所　取締役社長

〒520 大津市本宮2－2－9　電話0775(23)0119代
〒606 自宅・京都市左京区松ケ崎泉川町23
電話075(781)5333

林　唯夫

株式会社　昭和設計　代表取締役専務

〒550 大阪市西区西長堀北通1丁目8番地　四ッ橋ビル
電話06(532)3421
〒565 自宅・吹田市青山台3丁目41－11　電話06(872)3608

久田良吉

株式会社　東洋建築設計事務所　代表取締役

〒542 大阪市南区上本町4－610 昭和ビル3F
電話06(768)2029直通
2020直通
〒581 自宅・八尾市山本町南4－10－14　電話0729(22)3095

藤井静光

株式会社　大気社大阪支店　取締役支店長

〒530 大阪市北区中之島3丁目5－1 住友中之島ビル7F
電話06(448)5871代
〒582 自宅・大阪市柏原市旭ケ丘1-7-8　電話0729(78)6491

原　正太郎

アスニュー工業株式会社　取締役会長

〒532 大阪市淀川区西中島1丁目8番29号
電話06(301)9081～4

広谷嘉秋

合資会社中建築設計事務所　代表社員

〒460 名古屋市中区新栄1丁目27番27号 広瀬ビル
電話052(262)4411
〒464 自宅・名古屋市千種区月ケ丘2丁目2番83号
電話052(711)8010

藤井　稔

阪神不動産株式会社　常務取締役

〒530 大阪市北区梅田町47　電話06(346)1171

原　精一

甲南建設工業株式会社　代表取締役

〒532 大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号電話06(308)1551
〒662 自宅・西宮市名次町12番9号　電話0798(22)1504

福田朝生

株式会社　双星設計　代表取締役

〒530 大阪市北区茶屋町18－21 豊崎ビル　電話06(373)2281
〒677 自宅・西宮市甲子園砂田町2番8号　電話0798(48)0989

藤木鐵三

株式会社　藤木工務店　取締役社長

〒540 大阪市東区両替町1－13　電話06(942)1461代

代表取締役会長 原田重信
代表取締役社長 原田孝太郎

原田セメント化工株式会社

〒554 大阪市此花区西九条4丁目3－34電話06(462)1212代
〒661 自宅・尼崎市塚口町3丁目41－8　電話06(421)4518

福中定三郎

社団法人　日本建築協会参与

〒541 大阪市東区北浜3－37　電話06(231)9648代
〒573 自宅・枚方市香里園町26－68　電話0720(31)0549

藤原稔恭

株式会社　藤原工務店　代表取締役

〒562 箕面市箕面3－1－60　電話 0727(21)7268
〒562 自宅・箕面市箕面4－15－40　電話 0727(21)2774

名誉正会員

坂静雄

財団法人　日本建築総合試験所　理事長

〒565 本所・大阪府吹田市藤白台5－125　電話06(872)0391
〒531 大淀分室・大阪市大淀区長柄西通2－35電話06(351)7217

福永薫

株式会社　建設技術センター　代表取締役社長

〒530 大阪市北区岩井町2丁目49番地 古林ビル5階
電話06(353)0651
〒542 自宅・大阪市南区順慶町通4-61電話06(251)3102・5189

藤本庄之助

株式会社　工盛社　代表取締役

〒536 大阪市城東区鴫野西5丁目16－43　電話06(961)4460
(962)1288
〒536 自宅・大阪市城東区鴫野西5丁目16－43
電話06(962)1862

伴一郎

株式会社西原衛生工業所大阪店　代表取締役社長

〒531 大阪市大淀区中津6丁目8番4号電話06(458)3531代

福賴圭蔵

株式会社新興建材工業所取締役社長

〒550 大阪市西区南堀江通6－39　電話06(538)2951代
〒558 自宅・大阪市住吉区住吉町242－22　電話06(673)5120

布袋國雄

東西建築サービス株式会社　取締役社長

〒541 大阪市東区横堀2丁目48　電話06(202)3626
〒641 自宅・和歌山市堀止南ノ丁2番20号 電話0734(22)9382

謹賀新年

昭和53年元旦　（50音順）

名誉正会員

本多正道

〒658 自宅・神戸市東灘区御影町岸本1566
電話078(851)7604

松本六郎

松本金物株式会社　取締役社長
〒543-91 大阪市天王寺区上綿屋町6　電話06(779)1581大代
〒580 自宅・松原市北新町2丁目3－7　電話0723(31)0158

宮後健

株式会社　宮後建築事務所　代表取締役
〒543 大阪市天王寺区上汐町6丁目35番地
電話06(772)0165代
〒543 自宅・大阪市天王寺区上汐町6丁目35番地
電話06(772)0167

前野慶太郎

株式会社　あめりか屋　取締役社長
〒530 大阪市北区常安町17　電話06(444)1501
〒659 自宅・芦屋市翠ヶ丘町4番18号　電話0797(22)2005

丸山信

株式会社　丸山建築事務所 代表取締役
〒107 東京都港区北青山3丁目5番25号
電話03(401)2287・6703・2426
〒901-22 出張所・沖縄県宜野湾市大山1003
電話09889(7)2974・4077

宮崎辰敬

宮崎辰五郎建築事務所　所長
〒466 名古屋市昭和区折戸町5丁目13 電話052(751)3096
〒466 自宅・名古屋市昭和区折戸町5丁目13
電話052(751)3096

松浦潤一郎

株式会社 松浦構造設計事務所　代表取締役
〒657 神戸市灘区八幡町4丁目9－27 六甲ビル
電話 078(861)3304
(881)3302

三木清経

エスエム工業株式会社　取締役社長
〒559 大阪市住之江区東加賀屋1－8－16 電話06(685)1661代

宮武伊三郎

社団法人 大阪建設業協会 常務理事
〒540 大阪市東区京橋3丁目70 電話06(941)3651

松岡晃一郎

アイエム換気工業株式会社　代表取締役
〒556 大阪市浪速区芦原町1183番地　電話 06(561)3901
〒590 自宅・堺市車之町東1丁2－9 電 話0722(28)1411

三谷忠義

株式会社　三谷設計　代表取締役
〒694 島根県大田市久手町波根西777の1　電話08548(2)8121代
〒694 自宅・島根県大田市久手町波根西225の2
電話08548(5)8320

村石全

浪速合板株式会社 代表取締役社長
〒556 大阪市浪速区幸町3丁目2番地1 電話06(561)2201代
〒657 自宅・神戸市灘区楠丘町4丁目2番1号　電話078(841)3480

松永嘉一郎

株式会社　梅彦　代表取締役社長
〒530 大阪市北区道本町40番地　電話06(312)6171代
〒659 自宅・芦屋市山手町42の7　電話 0797(22)4761

代表取締役 会長 南長吉
専務取締役 大阪支社長 齋藤久典

斎久工業株式会社
〒530 大阪市北区常安町11番地　電話06(443)5041代
〒661 自宅・尼崎市塚口町6－20－7　電話06(421)5136
〒663 自宅・西宮市甲子園7－17－7－313 電話0798(45)0145

村上二郎

サンエス石膏株式会社　取締役社長
〒530 大阪市北区堂島北町20 藤田ビル本館
電話06(344)6526～9
〒565 自宅・吹田市千里山西3丁目7番5号　電話06(384)1002

松村慶三

株式会社　浦辺建築事務所　取締役副所長
〒530 大阪市北区梅田8 新阪急ビル11階 電話06(341)1680

水野喜一郎

水野建設株式会社　取締役社長
〒600 本社・京都市下京区西七条市部町77番地
電話075(312)0431代
〒530 支店・大阪市北区茶屋町6番2号　電話06(372)7761代
（昭53・2・1より上記住所に表示変更）

名誉正会員

村野藤吾

村野，森建築事務所
〒545 大阪市阿倍野区阿倍野筋2－3－8　電話 06(624)0926
〒665 自宅・宝塚市清荒神2丁目18－27　電話0797(86)2559

名誉正会員

松本与作

第一生命保険相互会社　顧問技師
〒100 東京都千代田区有楽町1－13－1　電話03(216)1211
〒145 自宅・東京都大田区田園調布3-17-3　電話03(721)4723

代表取締役 満野久
代表取締役 渡部英彦

株式会社　設計事務所ゲンプラン
〒550 大阪市西区土佐堀2丁目2－13　電話06(443)8216
〒617 自宅・京都府長岡京市うぐいす台146 電話075(931)0361
〒222 自宅・横浜市港区太尾町941 大倉山ハイム2－102
電話045(543)2777

室谷山水

室谷商事株式会社　取締役社長
〒650 神戸市生田区北長狭通4丁目1 英和ビル
電話078(331)0881
〒650 自宅・神戸市生田区山本通4丁目108の37
電話078(221)5050

謹賀新年

昭和53年元旦

(50音順)

森　忠一

村野，森建築事務所
〒545 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-3-8　電話 06(624)0926
〒665 自宅・宝塚市武庫山1丁目10-8　電話0797(72)4461

山崎敏明

辰巳興業株式会社　取締役社長
〒650 神戸市生田区栄町2丁目21電話078(321)0655代
〒662 自宅・西宮市五月ケ丘5の7　電話0798(71)9763

山本永造

ヤマト電気エンジニアリング株式会社　取締役社長
〒530 大阪市北区西堀川町15番地　電話06(364)3056代
〒562 自宅・箕面市桜ケ丘3丁目13－6　電話0727(23)5176

八木俊一

菱和調温工業株式会社　常務取締役
〒530 大阪市北区金屋町1丁目17番地　電話06(352)4881
〒662 自宅・西宮市樋之池町13－28　電話0798(74)3819

山田昌次

花豊造園株式会社　代表取締役
〒600 京都市下京区大宮通五条下ル 電話075(341)2246代
〒600 自宅・京都市下京区大宮通五条下ル
電話075(341)6980

山本哲夫

昭和鉄工株式会社　取締役社長
〒812 福岡市東区箱崎5丁目11番93号 電話092(651)2931
〒810 自宅・福岡市中央区薬院2丁目11番4号
電話092(741)5095

安井忠生

株式会社　安井建築設計室　代表取締役
〒550 大阪市西区靭本町1丁目9－18 電話06(448)2765～6
〒558 自宅・大阪市住吉区長居町東6丁目24
電話06(698)2422

山田保

有限会社山田保建築設計事務所代表取締役
〒730 広島市紙屋町2丁目3番1号　革屋町ビル4階
電話0822(48)2562代

山本博三

朝陽電気株式会社　代表取締役
〒530 大阪市北区中之島3-3朝日ビル内 電話06(385)1361代
〒565 自宅・吹田市藤白台4丁目23番8号　電話06(872)9087

安田誠一

安田株式会社　会長
(建築金物・アルミ型材製造)
〒542 大阪市南区末吉橋通1丁目17 電話06(251)7091代

山田恒治

株式会社　山田工務店　取締役社長
〒651 神戸市葺合区雲井通4丁目7番の8
電話078(232)1800代
〒651-12 自宅・神戸市北区山田町上谷上古々山29
電話078(581)2055

吉岡源治郎

高砂熱学工業株式会社大阪支店　常務取締役 大阪支店長
〒530 大阪市北区芝田町55番地北阪急ビル電話06(372)2511
〒560 自宅・豊中市上野西2－20－36－302電話06(849)6491

名誉正会員

藪本芳一

藪本一級建築士事務所
〒640 和歌山市東長町10丁目13番地　電話0734(22)9930
〒640 自宅・和歌山市東長町10丁目13 電話0734(22)9930

名誉正会員

山田文次

山田工業株式会社　取締役会長
〒550 大阪市西区京町堀1丁目6番8号 電話06(443)8161大代
〒665 自宅・宝塚市南口1丁目2番2号　電話0797(72)2511

吉田光太郎

株式会社　藤倉工務店　顧問
〒100 東京都千代田区丸の内1－4－5 永楽ビル新館532
電話03(211)4601
〒156 自宅・東京都世田谷区桜丘2－7－18 電話03(420)6476

藪本弦三

株式会社　笹川組　取締役社長
〒520 大津市打出浜13－15　電話0775(23)2314
〒520-21 自宅・大津市瀬田南大萱町2087-4電話0775(45)3966

山田義行

株式会社　竹中工務店　顧問
〒541 大阪市東区本町4－27　電話06(252)1201大代

米倉豊夫

日本住宅パネル工業協同組合　理事長
〒113 東京都文京区本駒込6丁目15番7号 電話03(945)2311代

名誉正会員

山口吾郎

不二建設株式会社　取締役社長
〒550 大阪市西区西本町3丁目1番9号　電話06(541)5534代
〒665 自宅・宝塚市雲雀丘1丁目13番25号 電話0797(59)2018

山手研吾

〒180 自宅・東京都武蔵野市中町2－15－13
電話0422(51)6265

蓮佛亨

株式会社　京都建築事務所　代表取締役
〒604 京都市中京区三条柳馬場東入　電話075(211)7277代
〒611 自宅・宇治市南陵町2丁目1－4　電話0774(23)2172

謹賀新年

昭和53年元旦

（50音順）

和田真一

株式会社 東和組 代表取締役
〒530 大阪市北区梅ヶ枝町175 電話06(363)4051
〒659 自宅・芦屋市公光町3番8 電話0797(22)3282

名誉正会員

若林繁吉

二葉屋装備工業株式会社 会長
〒564 摂津市東別府3丁目7番8号 電話06(349)9193～5
〒605 自宅・京都市東山区清水2丁目232 電話075(561)6283

若山繁

近畿電気工事株式会社 専務取締役
〒531 大阪市大淀区本庄東2丁目3番41号 電話06(375)6000
〒661 自宅・兵庫県尼崎市武庫之荘2丁目25番11号
電話06(436)1381

鷲尾健三

明石工業高等専門学校
〒674 明石市魚住町西岡679 電話07894(7)1151

渡邊勇

中央ビルディンス土地コンサルタント 一級建築士 不動産鑑定士
〒164 東京都中野区中央4－6－12－105 電話03(384)4810
〒465 自宅・名古屋市名東区神丘町2-48-3電話052(701)4203

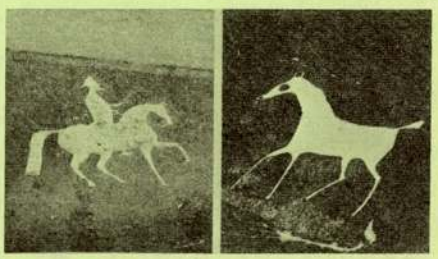
渡辺忠

東洋シヤッター株式会社 取締役会長
〒540 大阪市東区両替町1－12日生ビル電話06(943)6571代
〒560 自宅・豊中市緑丘3丁目21番8号 電話06(856)0983

追補

清田文永

株式会社 梓設計 代表取締役社長
〒141 東京都品川区西五反田2－27－3 電話03(492)3591
〒164 自宅・東京都中野区中野5-37-23 電話03(387)1539



昭和52年度・第6回若い会員の集い

丹波路を行く……

栗拾いと城下町篠山散策

レポート

10月1日(土)、若い会員の集いが企画した『丹波路を行く……(栗拾いと城下町篠山散策)』のもとに40名が集い、一路篠山町に向かって出発した。参加者は女性週刊誌に掲載されるようなタイトルのせいか女性が30%と非常に多く、また、年齢的にも幅広い人々で構成されており、なごやかな雰囲気をかもしだしていた。

篠山町に向かうバスの中で、当日の講師を願った多渕敏樹神戸大学助教授に、篠山町の歴史的な位置づけ、町並、丹波焼などについて予備知識的なお話、日本建築協会事務局にて作成した資料説明を受け、まだ見ぬ篠山町への期待に、一層、胸をふくらました。

そうこうするうちに、篠山町・新荘栗園に到着し、栗ひろいが始まった。栗園の入口でおばさんに、ふくろ、かごなど入れ物を手渡され、小高い山の栗林へと散っていった。丹波栗の名前にたがわず、大きくみごとな栗を童心にかえってひろい集めた。イガのついた栗がめずらしく、帰りのお土産として人気があった。また、栗林の中で、秋晴れの木もれ日にかこまれ、栗ごはんに舌つづみをうち、秋の味覚を満喫し、これからまわる武家屋敷、篠山城のことなどをほうふつさせると、『予は満足じゃ』と感じる人が多かったと思う。

つぎに、篠山城の見学を行ったが、説明者の篠山町教育委員会・中山正二氏より、篠山城の戦略的な意味、城としての格式などを聞くと、田舎の代名詞的な『丹波篠山』が、いかに重要であったかと再認識させられた。

続いて、武家屋敷(西尾氏家)・武家屋敷町並(西新町)・商家町並(河原町)などを訪れたが、妻入の手法、保存の状態の良さ、意識の高さなどに興味深かった。また、今井町、有松町、寺内町、桜井、その他の宿場町などに比べても一歩もひけをとらず、むしろ、最もよく保存されており、規模、おもしろさ、についても最高の部類に属するように思われた。

引き続き、近年、ブームとなっている丹波焼の深みある色合と肌を求めて、丹波古陶館を訪れた。そこには、長年の間、生活用品としてみがきぬかれた焼物がならび、他の焼物には見られない、土の力強さが感じられた。

自由行動となり、篠山の町の中へと出かけたが、地元の土産に人気があり、バスへ集合したときには、それぞれ手にその成果をたずさえていた。

秋晴れのさわやかな一日を送り、大阪へ向かう車中では、疲れが出たのか眠る人が多かったが、なぜか満足そうな寝顔に見えたのは、担当委員のひいき目かとも思えた。参加者の皆さんのおかげで無事一日のスケジュールを楽しくすごせたことを感謝します。

レポータ・田中　勝(㈱鴻池組)

篠山町見学についての感想

谷口　美樹子

全般についての、私の事務所からの出席者の絶対的感想としては、とにかく強行軍であったということ。

企画そのものとしては、篠山町一帯の自然および街並みといったものを十分に満喫し得るべきものではあったが、予備知識をほとんどもっていない者にとっては、歴史的、風土、建築のより広範な説明を必要とした。その結果として、決定的な時間不足だけではなく、折角の対象物を前にして、通り一辺の印象(個人差は勿論あるが)しか持ち得なかったことは、多少残念であった。

しかし、徒士町、河原町で昔ながらの建築物の中で、今でも厳然と日常的生活が行われ、歴史的な街の有り様はさまざまに変化しているにもかかわらず、規模の拡大も破壊も(旅行者の目に写る限りにおいてではあるが)行われていないという、割に当たり前であるようで実は非常に難しいことが、この街においては行われてきたということは、感激的なことだと思えた。しかし、多分内部に存在する問題点は、かなり深刻ではないかという気がする。城下町という非常に封建的な街造りの中で、住まい手にとっての意識は排除され、画一的枠内に封じ込められた。これは一方においては、統一のとれた街並みであるとか、階級的差異に基づく区画の変化など、結果として美的ではある。しかし、形態的に美的であることと住まいやすさは、必ずしも相関する訳でもないし、現在の住まい手がいかなる意識を持ちつつ暮らしているかは、私達には到底想像できることではない。

今後の問題として、現存する建築群も必ずや崩壊する運命の中で、崩壊をまぬがれさせる手立てを講じているのか、あるいは、進化する必然性の中でいかに良い方向に導いていこうと何らかの努力がなされているのか、そういった報告を私達は聞きたいと思ったし、そうでなくては、単に歴史的に災害を逃れ続けてきた幸運な一例としての篠山町の見学ということにだけで終始してしまうのではないかと思う。

discussionの時間をもっと多くとり、全国中で大きな問題である保存を皆で考えることができれば、さらに有意義であったことだろうと思う。

栗ひろい、立杭い見学は少し欲ばりすぎた気がする。

(Atelier Torefoil)

篠山の武家屋敷町(西新町)を見る



滅びの美しさ

留奥　隆

東京から大阪へ転勤になり3週間ほどたったある日、職場の同僚がこの見学会を私に知らせてくれた。東京で生まれ育った私にとって、関西においては出かける所のほとんどすべてが『生まれて初めて行く所』であり、『人生の本質は経験にあり』の私の信条からすれば実に喜ばしい生活をしているわけで、当然この見学にも信条に従い参加を希望した。

バスに揺られることおよそ2時間。通りは必ず突き当たる城下町・篠山の町並みを通り抜け、まずは栗園へ。山の幸をこの手で集めるのは狩猟、魚釣りなどと同様、何か人間の本能的なものを刺激される。

栗林で食す栗弁当も結構でした。栗林から出ると外は眩しい秋晴れの丹波盆地。若い人から年を召された方までがひとつ事に集まるこのような会があること、そしてその中に自分も入っていることに、私はほのぼのとしたものを感じた。

篠山町内の歴史的建造物は中山氏に案内していただいたが、氏の言葉には篠山の町を本当に愛するものの気迫があり、嬉しかった。静かなたたずまいの石垣と堀、城跡はなぜか人を感慨深くする。それは華やかだった昔とすべてが失われた現在までの長い時の流れと、そのときはすべてを変えてしまったこと、それでありながら結晶のように組み上げられた石垣の、その冷たい石の一つひとつに今も籠る藩主、棟梁、石工らの熱い心意気、それらが一塊りとなり、見る者の心を打つのではなかろうか。しかしこの町はなぜこんなに明るい広がりがあるのだろう。それは恐らく、かつてはこの町に厳然として存在し、人々の心、生活を支配し続けてきた『権力』が消滅し、この町が人間本来の心とともにあるべき姿に変化してきたからだろう。城跡とそれを囲む武家屋敷、商家、そこで静かに住み続けてきた人々、この町はそれらが実に良く調和している。こわれかけた土塀、風雨にさらされ年輪の浮き出た柱は他から干渉されることのない伝統に根付いた生活を感じさせ、それはまた気性の激しい武士が歳をとり好々爺となり果てたような親しみを覚えさせるものであった。私が最も気に入ったのは、この町の古いものが無理に保存されたのではなく、それでありながらかなり多数の昔の人の心を感じさせるものが残っていることである。もしこの町が町当局の方策などでなるべくこのままの姿で保存されるならば、それは喜ばしいことに違いないが、同時にそれはこの町本来の生命、美しさを奪う結果になりはすまいかと危惧の念を抱く。それはこの町の持つ美しさの根元は『滅びの美しさ』にあると私は思うからである。

(日本住宅公団関西支社)

日　時	昭和52年10月1日(土)　集合8:40→解散18:40
講　師	多渕敏樹氏(神戸大学助教授)
ゲスト	中山正二氏(篠山町教育委員会)
参加者	40名
行　程	11:00→12:00　(栗拾い・新荘栗園)
	13:00→16:00　篠山城跡、西新町、河原町、丹波古陶館　見学
	16:30→17:00　立杭焼　見学
	18:40　大阪着・解散

日本建築協会法規委員会

法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

121

建築基準法に基づく建築許可、認可、承認申請

大阪府で取り扱っている建築許可、認可、承認申請について、その内容等の一覧表を作ったので参考にされたい。なお今回の建築基準法の改正（昭和52年11月1日施行）により、一部条文の改正があり、承認事項の新設があったので記しておく。

1）第一種住居専用地域内における建築物の高さの制限の緩和（法55条第2項3号）

第一種住居専用地域内における建築物で、周辺の低層住宅地に対して、日照、通風等に支障がないものの、建築を許可手続を経ずに特定行政庁の承認行為で、確認できる途が開かれた。

2）総合設計制度（法59条の2　令136条）

総合設計については、従来第52条、第55条、第56条の各条に例外許可規定として定められていたが、法改正により、第59条の2として規定の集約整備が、はかられた。なお建築物の敷地が、容積率、建ペイ率等の制限の異なる区域の内外にわたる場合の措置が改正されたことにより、総合設計許可準則に関する技術基準の改正については近々通達が出る予定である。

建築許可、認可、承認申請一覧表

事項	種別	該当条文	内容	備考
道路内の建築制限	許可	法第44条第1項ただし書	アーケード上空通路、道路高架下などの道路内における建築制限の緩和	アーケード連絡協議会 建築審査会
壁面線による建築制限	許可	法第47条ただし書	建築物の壁もしくは、これに代わる柱、2メートルを超える塀の壁面線を超える建築行為の制限の緩和	建築審査会
用途地域（工作物含む）	許可	法第48条第1項～第8項ただし書	第1種住居専用地域～工業専用地域内の建築物の用途制限の緩和	公告・公聴会 建築審査会
特殊用途の建築物（工作物含む）	許可	法第51条ただし書	卸売市場、と畜場、汚物処理場などの特殊建築物の建築（築造）位置の制限の緩和	都市計画地方審議会
容積率	許可	法第52条第3項	都市計画道路を前面道路とみなし制限の緩和	建築審査会
		法第52条第4項	建築物内で機械室などの割合が著しく大きい場合、または敷地の周囲に空地を有している建築物の制限の緩和	
第1種住居専用地域の絶対高制限	許可	法第55条第2項第1号	敷地の周囲に広い公園、広場、道路などの空地を有する建築物の制限の緩和	建築審査会
		法第55条第2項第2号	学校その他の建築物であって、その用途により建築物の制限を緩和	
高度利用地区	許可	法第59条第1項第3号	学校、駅舎、卸売市場の公益上必要な建築物について建ペイ率、容積率を緩和	建築審査会
		法第59条第4項	敷地内の道路に接して有効な空地が確保されているものについて道路斜線制限を緩和	
総合設計制度	許可	法第59条の2第1項	敷地内に空地（政令）を有し、敷地面積の規模が政令で定めるもの以上について容積率、絶対高、斜線制限を緩和	建築審査会
高度地区の高さ制限	許可	市町村都市計画高度地区規定書によるただし書	都市計画高度地区において定められた高度地区斜線制限の緩和	建築審査会
仮設建築物	許可	法第85条第3項	応急仮設建築物を3カ月を超えて存続しようとするものの法の適用の一部免除	
		法第85条第4項	仮設興行場、博覧会、仮設店舗などの建築物の法の適用の一部免除	
災害危険区域内の居住用建築物	許可	大阪府建築基準法施行条例第4条ただし書	第1種地区内の居住の用に供する建築物の建築禁止の制限の緩和	
建築協定	許可	（一般） 法第70条第1項 法第76条の3第2項	住民の環境または商店街としての利便を高度に維持増進するために住民などの総意で設ける	公告 縦覧公聴会 認可後縦覧
		（変更） 法第74条第1項	認可された協定内容の一部変更	
		（廃止） 法第76条第1項	建築協定の廃止	公告
第1種住居専用地域内の絶対高制限	承認	法第55条第2項第3号	敷地内に空地（政令）を有し、敷地面積の規模が政令で定めるもの以上について制限の緩和	新設
高架の工作物内に設ける建築物	承認	法第57条第1項	高架の工作物内に設ける建築物（タワー高架鉄道）に対する高さ制限の緩和	
一団地の総合的設計	承認	法第86条第1項および第3項	用途上可分の関係にある2以上の建築物について、これらの建築物の敷地を一とみなして法の適用を行う	
道路斜線	承認	施行令第131条の2第2項	都市計画道路を前面道路とみなして制限の緩和	

第2種住居専用地域内における用途制限

今回の建築基準法の改正により第2種住居専用地域内における建築物および工作物（建築物に附属する自動車車庫）の用途制限が厳しくなったので、制限対象となる建築物等についての用途制限早見表を掲載しておく。また特定の場所に建築する公衆便所については、今回の改正で第1種住居専用地域内でも建築できることとなったので併せて掲載しておく。

1）建築物

用途地域／建築物用途	一種住専	二種住専	△の部分における条件
公衆便所	△	○	近隣に居住する者の利用する公園に設けるものは可
税務署、警察署、保健所、消防署	×	△	5階以上にあるものは不可
郵便局	⚠	⚠	⚠：延べ面積が500㎡以下のものは可 ⚠：500㎡以上かつ5階以上にあるものは不可
博物館、飲食店、マーケット、物品販売業店舗、小売市場、百貨店事務所、銀行、集会場一般の倉庫	×	△	3階以上にあるもの、または床面積の合計が1,500㎡以上のものは不可
備考	○：は建てられるもの。×：は建てられないもの。 △：は条件付で建てられるもの。		

2）工作物（建築物に附属する自動車車庫）

A	A＞3000㎡	3000㎡≧A＞100㎡
自動車車庫（工作物）の築造面積（S）	S＞1500㎡	S＞$\frac{1}{2}$A
第2種住居専用地域	×	×
摘要	S：50㎡以下のものを除く	
備考	S：15㎡×駐車台数 A：同一敷地内の建築物の延べ面積－自動車車庫（建築物）の延べ面積	

（大阪府建築部建築指導課　山田為行）

日本建築協会建材委員会

新建材紹介コーナー

《新建材紹介　No.40》

アルミニウム合金製プール

■ 概要

学校教育を支える三本柱の一つとして、生徒、児童の体育を向上させるため、文部省は来年度より5カ年計画で公立小、中、高等学校の全部に、プールを設置するという計画を策定した。現在の設置状況は、公立小学校14,073校に対し設置率57.5%、公立中学校で5,093校に対し設置率50.5%、公立高等学校1,785校に対し設置率47.8%と全体の半数前後が未設置である。

大阪府でも高等学校の新設にあたっては必ずプールを設置しているが、最近はアルミニウム合金製プール（以下アルミプール）も採用している。ここでは、アルミプールを紹介する。

■ 特長

プールは大別するとアルミプール、鉄筋コンクリートプール、鋼製プールなどである。従来プールといえば、コンクリートプールであったが、昭和40年より鋼製プール、昭和47年よりアルミプールが、それぞれ企業化され、近年、アルミプールの急速な普及には目を見張るものがある。

アルミプールは、コンクリートプールのひび割れによる漏水問題、鋼製プールの赤さび発生による維持管理上の問題などを解決した理想的なプールである。

アルミプールの特長は次のとおりである。

(1) 強度と耐食性とに優れたアルミ合金を使用した全溶接構造のため、ひび割れ、漏水、腐食などの心配もなく、耐久性がある。

(2) アルミ合金の大型押出型材を使用しているので、上縁部が機能的に優れているとともに、外観が美しい。

(3) 施工時期は季節的な制約を受けることなく、現場施工の工期を大幅に短縮できる。

(4) 表面が滑らかで、ごみが付着しにくく、清掃が簡単で、美しい色彩で長期間使用できることから維持管理費がかからない。

■ 使用材料

アルミプールは、側板、底板、各部品（スタート台、排水ます、源水給水管、循環給水ノズルなど）とも、すべてアルミ合金製である。

使用する材料は、ＪＩＳ規格品で、おもな材質はA 5052、A 6063などである。

各合金の特性は次のとおりである。

(1) A 5052

Aℓ－Mg系合金で、少量のCrを添加して、中程度の強度をもたせたもので、耐海水性、耐食性、成形加工性、溶接性がよい。

(2) A 6063

通常のAℓにMg、Siを少量添加したAℓ－Mg－Si系合金で、押出性が非常によく、複雑な断面形状の型材が容易にできる。

代表的なアルミ合金の機械的性質を〈表－1〉に示す。

〈表－1〉機械的性質

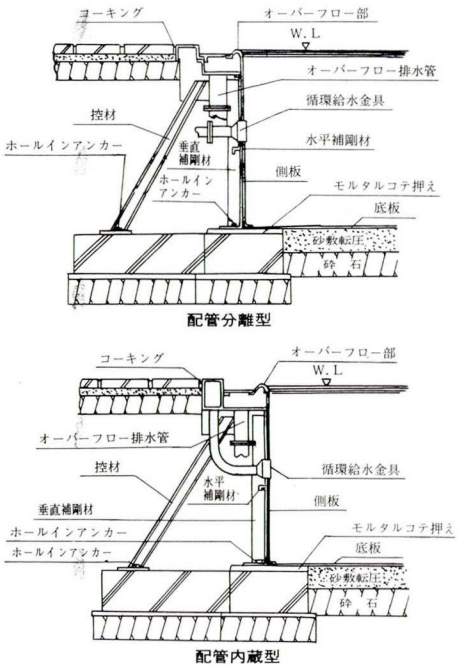
合金の種類	引張強さ (kg/mm²)	耐力 (kg/mm²)	伸び (%)
A 5052P－H34	24以上29以下	18以上	7以上
A 6063S－T 5	15以上	11以上	8以上

■ 構造および施工

アルミプールの構造は、側板と底板とに分けることができる。側板は、水圧、土圧、プールサイドの群集荷重などの外力とオーバーフロー水の排水みぞ、循環給水ノズルなどの機能とを考慮した断面形状で、その一例を〈図－1〉に示す。配管分離型は循環給水管をプール本体（側板）と分離したもので、配管内蔵型は、循環給水管をプール本体に一体化したものであり、プールサイドの構造、施工方法などによってその型式を選定する。

底板は、サンドマットの上に敷き並べた定尺寸法のアルミ合金板を相互に重ね合わせ溶接した構造である。

〈図－1〉標準断面図



アルミプールの施工は、工場製作、現地据付工事、塗装工事などに分れる。工場製作では、長さ5m前後の側板パネルおよび部品類をつくる。現地据付工事では側板パネルを基礎にアンカーボルトまたはホールインアンカーなどで定着し、パネル相互をティグ（TIG＝Tangsten Inert－Gas shield arc welding）法で溶接接合する。また底板はミグ（MIG＝Metal Inert－Gas shield arc welding）法でラップすみ肉溶接で接合する。

塗装工事は、防食、美観、安全、衛生、機能などの目的で行う。プールの内面は、素地調整後、下塗り、中塗り、上塗りの3回塗りで、エポキシ系樹脂のプール用特殊塗料を使用する。さらに、プールサイド上面にはノンスリップ塗装を行い、コースライン、中央ライン、5mライン、コース番号、水深などを表示する。アルミ合金が土砂、コンクリートなどに接するプールの裏面は、素地調整後、れき青塗料（タールエポキシ樹脂塗料）を1回塗りする。

■ 設計、施工上の注意事項

(1) 公認プールを築造する場合、「日本水泳連盟競技規程付則競泳プール公認規則」（財団法人日本水泳連盟）に基づいて設計、施工する。

(2) プール設置場所の地下水位を確認してプール本体の最下面（排水ます底面）を地下水位よりも約50cm高くする。これは、プール水の排水時に生ずる浮き上りを防止するためである。

(3) 25mプールの場合、長さの許容差5～20mm、オーバーフローの天端高さの高低差10mmにおさめるように施工する。（日本水泳連盟制定小中学校標準プール規定による）

■ 各種プールの比較

アルミプール、コンクリートプールおよび鋼製プールの比較を〈表－2〉に示す。

■ むすび

以上アルミプールの特性を紹介しましたが、経費的には設置する地盤にも関係するが、多少割高のようである。詳しくは下記の各社にお問合わせ下さい。

建材副委員長／牧田顕治（大阪府建築部営繕長）

〈表－2〉各種プールの比較

		アルミプール		コンクリートプール		鋼製プール	
耐食性		○	さびない。	○	全くさびない。	×	さび易く、一度さびると連鎖的に赤さびが浮く。
耐久性		○	ひび割れしない。	×	乾燥収縮、不等沈下などによってひび割れする。	△	ひび割れしない。裏面の防食塗装の再塗装が不可能である。
工期		○	25mプールで約45日間	×	75日間	△	約50日間
維持管理	塗装補修	○	剝離部のみ部分補修が可能なこと。4～5年に1回程度1コートの塗装で常時美観が保てる。	△	アルミと同様であるが、やはり表面のあらさは隠せない。耐アルカリ性塗装でも剝離現象の要因が大である。	×	部分剝離した場合でも全面塗り替えが必要で、特に3コート程度の補修塗装が必要となり経費がかさむ。
	清掃	○	表面が滑らかであり、水垢、藻の付着も少ないため清掃が簡単である。	×	表面が荒いため、清掃に手間がかかる。	△	アルミとほぼ同じであるが、塗膜を傷つけるヘアピンなどの除去は常に気を配る必要がある。
外観		○	非常に美しく美観が長もちする。	△	普通	×	出来上り時は美しいが、赤さびのため、はん点ができる。
設置場所		○	自重が約6tonで地耐力が3ton/㎡でも設置可能。	×	自重が200～300tonになり地耐力が10ton/㎡以上必要。	△	自重が30ton前後で、地耐力が5ton/㎡以上必要。
耐震性		○	伸び、弾性変形などが大きく、他のプールに比べて耐震性がある。	×	変形しないので亀裂が発生する。	△	伸び、弾性変形などはアルミプールに比べて小さい。

株式会社 神戸製鋼所
本社：〒100 東京都千代田区丸の内1丁目（鉄鋼ビル）ＴＥＬ 03－218－6117
支社：〒541 大阪市東区備後町5丁目1（御堂筋ビル）ＴＥＬ 06－206－6161

昭和アルミニウム株式会社
支店：〒530 大阪市北区神明町1－2－1（満電ビル）ＴＥＬ 06－364－1071
支店：〒103 東京都中央区日本橋2丁目8番2号（横浜銀行ビル）ＴＥＬ 03－272－4471

日本アルミニウム工業株式会社
本社別館：〒532 大阪市淀川区三国本町3丁目9番39号 ＴＥＬ 06－391－0021
支　社：〒101 東京都千代田区内神田1丁目9番13 ＴＥＬ 03－292－2211

三菱金属株式会社
支店：〒105 東京都港区浜松町2丁目4－1（世界貿易センタービル）ＴＥＬ 03－435－4627
支店：〒530 大阪市北区堂島浜通1－25－1（新大ビル）ＴＥＬ 06－345－1441

山邦鉄工株式会社
本　社：〒245 横浜市戸塚区上矢部町2212－8 ＴＥＬ 045－811－1001
営業所：〒541 大阪市東区瓦町2丁目64番地 ＴＥＬ 06－208－3137

建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。

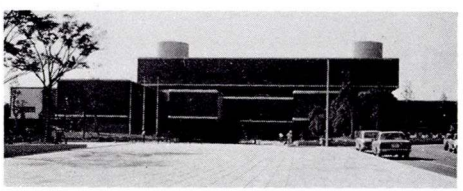
国立民族学博物館オープン

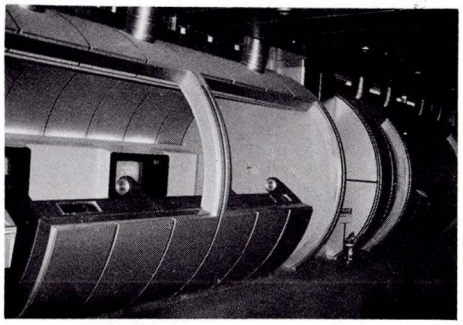
“小さな地球”国立民族学博物館(梅棹忠夫館長)が11月17日オープンした。同館は万国博記念公園内(大阪府吹田市)の「太陽の塔」の北側にあり、SRC(高層部)+RC(低層部)で地上4階、塔屋3階の規模。設計は黒川紀章建築・都市設計事務所、施工は竹中工務店。

1階にはホール、資料収蔵庫、機械室、レストラン、2階には展示室、セミナー室、管理部門、3階には図書室、資料カード室、コンピューター室、スタジオ、4階には教官室、研究室、実験室が配置されている。

世界の民族資料を集めた展示場は、中央のパテオを中心にオセアニア、アメリカ、ヨーロッパ……と世界を7つのブロックに分けている。さらに、音楽、言語という民族を越えた通文化的展示もあり、地球東回わりのこのコースは、ちょっとした“ミニ世界旅行”である。

同館の自慢のひとつは、“利休ねずみ”の外装タイル、玄関の壁と柱はブラジル産の花崗岩、ホールは真白いイタリア産の大理石。また、ボタンひとつで見たい映像を選び出せる「ビデオテーク」も人気のマト。2人用から6人用までのブースがあり、居ながらにして世界の諸民族の文化や生活に接することができる。テープは現在300本、将来は3,200本にふやすという。





建築設計図展

去る11月7日から13日まで建築設計図展(大阪府建築士会主催)が、大阪ソニータワービル9階のショールーム(大阪市南区心斉橋)で開かれた。これは、各設計事務所、施工会社、官公庁の設計図を一堂に展示し、ふだんは見る機会の少ない一般市民に設計図面とはどういうものかを知ってもらおうというもの。期間中、2万人ほどの入場者があり、学生や若手建築家で賑わった。

なお、出展作品はつぎのとおり。

安藤忠雄建築研究所……領域・M邸　浦辺建築事務所……大阪府立夕陽丘図書館　小河建築設計事務所……十津川村庁舎　黒川紀章建築・都市設計事務所……大阪ソニータワービル　坂倉建築研究所……大阪府立青少年海洋センター　昭和設計…大阪府立女子大学　東畑建築事務所……岡山県立津山総合体育館　日建設計……大阪市身体障害者スポーツセンター　林・山田・中原設計同人……富士の見える家　槙総合計画事務所……大阪府臨海スポーツセンター　宮脇檀建築研究室……木村邸　安井建築設計事務所……奈良市庁舎　山崎泰孝 AZinstitute ……市川邸　吉村順三設計事務所……木曽カントリークラブ・クラブハウス　大林組大阪本店……甲陽学院高校　竹中工務店大阪本店……ロンシャンアパレルビル　近畿地方建設局……奈良第二地方合同庁舎　日本住宅公団関西支社……8階建て標準設計図　近畿電気通信局…御影電話局増築　大阪府建築部……大阪府立第5特別養護老人ホーム

日本建築学会近畿支部開設30周年記念行事

去る11月28日午後1時30分より大阪科学技術センター8階ホールにおいて、日本建築学会近畿支部開設30周年を記念して、村野藤吾氏(村野森建築事務所)並びに浦辺鎮太郎氏(浦辺建築事務所)の対談形式による記念講演会が開催された。

講演は、浦辺氏が“村野建築”の真髄を聞き出す形式で進められ、会場には、約300人の聴衆がつめかけ、熱心に耳を傾けていた。ついで、記念式典では功労者の感謝式が行われ、なごやかな雰囲気の祝賀パーティーでしめくくった。

創立25周年記念建築士会全国大会

去る11月10日午後1時より日比谷公会堂において盛大なる記念式典、続いてNHK鈴木健二アナウンサーの「家とこころ」と題する記念講演が行われた。また当日午後5時より帝国ホテルにおいて懇親会が開催され、全国各地の建築人が一堂に会してなごやかに歓談、盛会裡に終了した。

樹の話シリーズ・37

「樹の話」シリーズの終りにあたって

1974年9月号の『建築と社会』で“みどり”特集号を発行したときに、この樹の話シリーズが始まって、すでに36回、3年になった。当初は20回ぐらいの予定で主として公共の場によく見られる高木を、季節感に合せて毎月選んだが、意外に好評なので更に16回を延長した。36種類ぐらい紹介すると街中で見られる樹は低木を除いて大体カバーされているはずだ。

このシリーズを通して、我々はそれぞれの樹木のキャラクターを色々なエピソードを挙げて、なるべく解りやすく紹介して、日常見向きもされないような地味な存在の樹にもスポットライトを当てるよう試みた。このシリーズを読んだ方々が多少なりとも樹木に対する興味とか関心を持つようになってくれればそれで十分であるし、更に樹の名前を聞くだけで、その樹の醸し出す雰囲気を感じ取ってもらえれば大成功である。

このシリーズを担当するに当たり、最も苦労したのは樹木のイラストの作成であった。図鑑や写真は一応の参考程度ということで、可能な限り実物を見てスケッチすることにしたので、その場所さがしと、花や実を表現する場合はその時期に遅れないように前もって見ておかなければならず、そのタイミングが難しかった。イラストを担当したコラムデザインセンターのスタッフの苦労は大変であった。

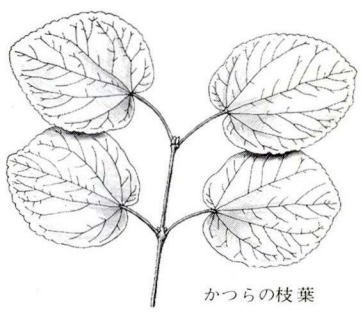
さて、本シリーズは初回に紹介したように、鈴鹿幸雄(日本住宅公団)、森下元之(大阪市公園局)、関根幹雄(堺市公園部)の3人が中心となってまとめたのであるが、——佐藤泰氏(大阪市公園局)の特別寄稿が2回ある——36種の樹を選定し、担当する樹を決める際に各人の好みがでてきて、特徴やエピソードの少ない樹は敬遠されがちだったが、それでも街の中でどこでも見られる普遍的な樹は書かざるを得なかったし、その反面非常に愛着や思い出があり、是非とも紹介したい樹はめったに見られないものであったりして、このシリーズに登場できなかった。そこで最後に、我々が最も好きな樹木をここに紹介してこのシリーズを完結することにした。

〔かつら　Cevcidiphyllum japonicum S. et Z　かつら科〕落葉の高木で雌雄異株、高さは25m以上にもなる。樹形は直幹性で端正な円錐形、枝も細くて密生し繊細な姿である。葉が特徴的で丸味を帯びたハート形で、新葉は少し紅色を呈し、5月頃の若葉は眼の覚めるような若緑色で、京都の葵祭りの王朝行列の人々の胸にはこの若葉の小枝がさしてある。秋には黄葉が美しい。かつらの生育条件には水が欠かせぬものであり、天然記念物になるような大木の近くには必ず澄んだ水が流れているという。かつらの住む世界は清浄な空気と水、その醸し出す世界は雅びである。(鈴鹿推せん)

〔はなのき　Acer pycnanthum K. Koch　かえで科〕落葉の高木で雌雄異株、高さ15m程度。幹色は白っぽく、葉は三裂して三角形でトウカエデの葉に似ている。秋の葉の紅色は一度見たら心にやきついて忘れられない鮮やかさである。花は葉に先だって4月に枝端に密生して紅紫色に咲き乱れ、これも美しい。はなのき別名ハナカエデの名はこれに由来する。またメグスリノキとも呼ばれ、これは樹皮を煎じて眼薬に使ったからだという。自生地は沼沢や湿地であり、苗木の生産が困難な樹である。はなのきは春も秋も鮮烈な赤の世界を創り出す。(森下推せん)

〔とうかえで　Acer frifidum Hook. et Arn　かえで科〕本シリーズの15回目に登場している。前記2種は過酷な都市環境では生育しにくい深窓の令嬢みたいなものであるが、とうかえでは下町育ちのオカミさんのようなもので、大衆的で丈夫で生活力があって、かつ秋には美しく紅くなる。そこが魅力である。(関根推せん)

〈完〉



かつらの枝葉



はなのきの枝葉

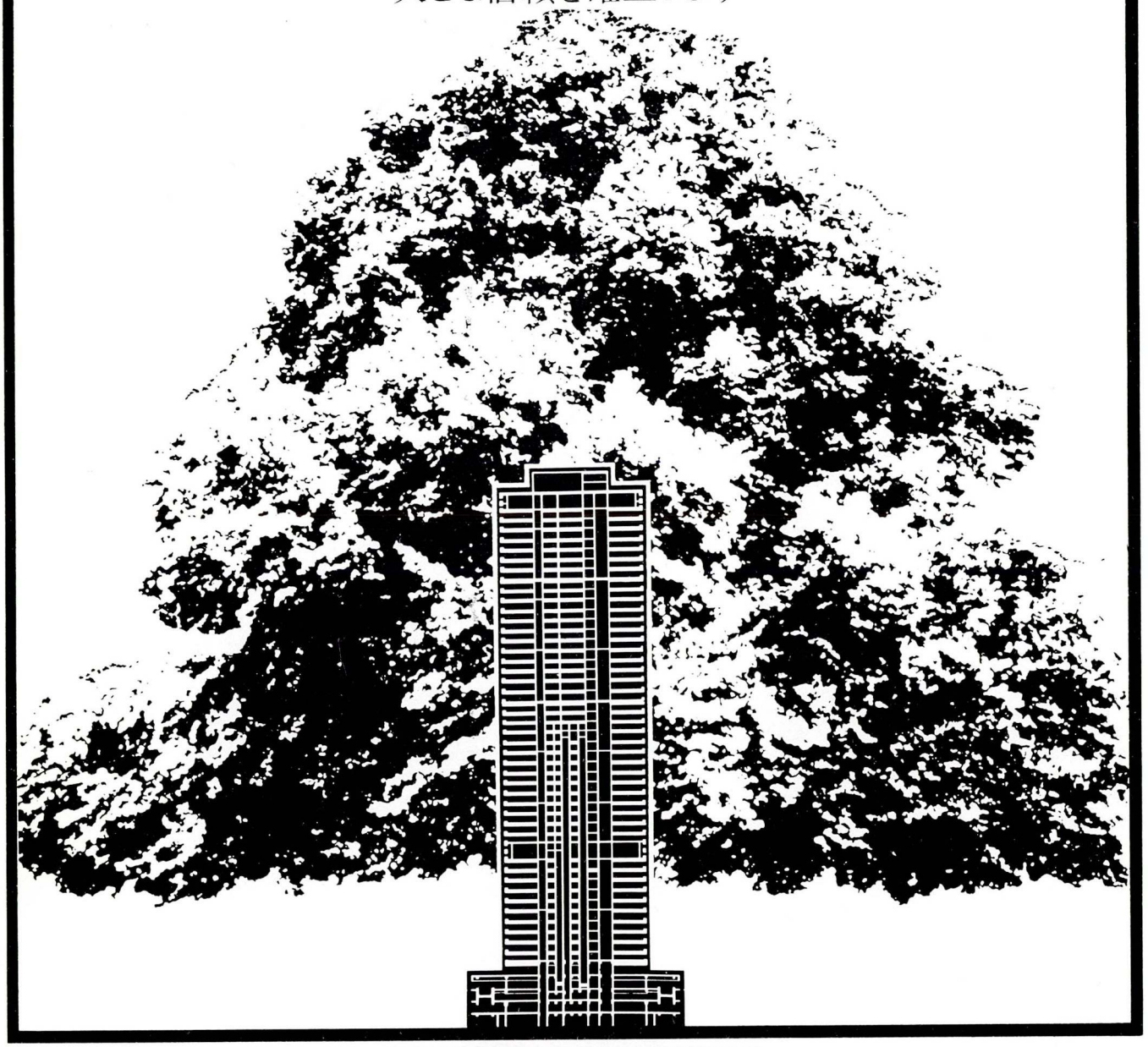


とうかえでの枝葉

近畿電氣工事株式會社

信頼の大きさ…近電工の技術です。

脈動し 呼吸し 成長する都市…
その生命のシステムを支え構築する近電工
きたえあげた技術と組織を集中し
緻密さとパワーで
快適と安全と能率の
大きな信頼を確立します



システムの信頼を高める
近電工

電気・計装・空調・防災・土木●取締役社長 岡本 繁一

北海道・東北・東京・名古屋・滋賀・京都・奈良・和歌山・大阪・神戸・姫路・広島・四国・九州・沖縄

読者の頁

茶室空間

U建築企画室　上谷重男

茶室という言葉からは、「千利休」「古田織部」「小堀遠州」、そして「銀閣寺の南天の木の床柱」などが脳裏に浮かぶ。

日本人の社交の場として、茶室空間が長い歴史の間で生き続けてきた。客を呼ぶ営みの中に日本的な生活の心構えや知恵を集約した茶の湯は日本文化の集約であると言えるだろう。

昔、茶人は客を呼ぶことを一期一会として真剣に客をもてなすという。それは真剣勝負の世界であろうし、客に対して、主人の創意感賞などの全人格を表現する精神労働でもあった。

秀吉と千利休とが狭い茶室の中で対峙したといわれる茶室、それはその中に入っている人間の精神を極度に高めるものであろうし、入っている人々の全てを同人格としてしまうという風な考え方をもたらすことのできる、日本ではまれな空間であろう。

茶道というものが「道」という呼び名である限り、「土」とか「樹木」とかいったものから切り離すことができない。茶道の中で使用される茶碗、それは「土」と「災」との格闘の中から生れ出てきたものであり、その中に生命が入った時、茶碗という型で我々の前に現われてくる。その土の中に入っている「緑の茶」は何か樹木の変身だろうか。茶碗というものは、日本人が自然というものに対して、常に対決してきた生活姿勢を一時自然を別な形態に変えることにより、自己の体力でもってして、自然と一体になれるという思想を基にした「土」と「災」の作品である。

緑の茶を自己の口の中に含むことにより、自然と一体となり得た感じにひたる。それは日本人の自然に対する憧れの表現であろう。

日本の自然の中には四季があり、春夏秋冬という風にそれぞれの時季によっていろいろと姿を変えて人間の生活の中に入って、時には襲いかかってくる。四季それぞれの香りなり、風情なりが何の隔たりもなく茶室空間の中に入ってゆく。そしてそれらの香りが狭い空間の中に入ってゆき、その狭さの中で自然のもっている特質がその中で拡がり、いろいろの変化を起こしている。自然の変化に対抗してゆく自然型の中の空間が茶室であろう。神と言われた自然が、茶室空間の中に移ってゆく時、自然は人間の精神と茶室空間との間にある橋渡しの役割を演じる。

茶の湯で有名な千利休がこのような茶室の中で秀吉と精神上の争いに勝ち、武力上の争いに敗れ、悲劇的なる生涯を終えたことは、茶室のもっているものを最も端的に現わしていると言えるのではないだろうか。所詮、自然の武力には勝てないということではないだろうか。

茶室空間や路地を創るという行為は肉体労働というよりも、精神労働というものによって創られたものであろう。

独自な茶風をもった茶匠達がいろいろな茶室を創ってきた。それが文化の所産となってきている中で、現代のように近代技術が著しく、数量学的に発展したが、しかし、まだ「千利休」を起える建築家が出現しにくいという事実がある。このようななかで、茶室のもっている自然の四季のどのような香りを現代建築の中に与えようとしているのか。

'78年賀状二点



向井正也(神戸大学教授)



小泉　豊(吉田建築事務所)

〖私たちのグループ NO.15〗

『近畿地建スキーサークル』

―― 飛び出そう、白い休日 ――

白銀の世界、大自然のふところに抱かれ、粉雪をけって滑る、色とりどりのヤッケが数々のシュプールを描きながら舞いおりてくる。

そこには笑い声があり、叫びがあり、そして自然とのふれあいがある。そんな冬のゲレンデを思うともうじっとしていられない者が集まっている、わがスキーサークルを紹介します。

数人の愛好者が集まって、信州方面へ出かけていったのが約20年前、今では30名を越すほどのサークルとなった。メンバーは、かっこよくすべる20歳から、のんびりすべる48歳までと幅が広い。

12月の中旬には初滑りでまず足ならし、そして1,2月には、丸池、サンバレー（法坂）、熊の湯、東館山、奥志賀方面など雪質はもちろん、コースの多様さで人気のある、志賀高原へ全員集まり、そこで4日間の合宿(？)が行われるのである。

最近のスキー場で感じたことは、スキーもスポーツというよりもレジャー、ファッションへの傾向にあるようで、新しいスキー場が各地に数多くでき、新しくりっぱなホテルや旅館が建ち並んでいる。そこでは、ホテルからリフトへ一直線、ゲレンデからホテルへまっすぐ、スキーが終わればホテルから一歩も外へ出ないというのが一般に多いように思う。スキー場は単にプレイするだけでなく、何日か滞在し、そこでの生活がある、スキーヤー同志の出合いの場、建物の外へ出てもゆったりと歩き廻れるような"街"(空間)が求められているのではないだろうか？　大規模なホテルの建設で収容人員の数がふえ、スキーヤーの数のみがふえるだけでますます過密化した、スキー場になってしまうのではないか。豊かな自然を取り入れ、それらを大切にした"スキー場"があちこちに現われてほしいものだ……と。

滑り終えて、風呂上りのビールのグラスを傾けながら語る、スキーの話あれこれ、今年も事故のない楽しいシーズンとなるよう、みなさん気をつけて滑りましょう。　（文責　斉藤英雄）



フリントコート®
マスチックフローリング
無公害な弾性床材



東京シューズ足立流通センター
設計監理：㈱ＫＯＡ設計事務所　施工：前田建設工業㈱
使用場所：床　仕様番号：Ｆ－９

特　長

1　耐久性：耐久性にすぐれている。
2　耐摩性：摩耗の度合が低く、ホコリなど生じない。
3　すべり抵抗性：すべり抵抗性にすぐれている。
4　弾力性：弾性があり、万一亀裂ができても使用している間に復元する。
5　粘着性：多少湿っていても、コンクリート、金属、木など、どんな面にもよく粘着する。
6　不燃性：引火のおそれがなく、ガス工場、爆薬工場の床に使用されている。
7　無毒無臭：完全無毒で各種食品工場、貯蔵庫に多く使用されている。

フリントコートについてのお問合せは下記へ

FLINTKOTE®

株式会社シエル石油大阪発売所
フリントコート部

大阪本部　〒530 大阪市北区堂島浜通１丁目25の１（新大ビル９Ｆ）☎(06)343－0441
東　　京　〒104 東京都中央区宝町２丁目２番地(第一ぬり彦ビル)☎(03)562－4676
福　　岡　〒810 福岡市中央区舞鶴町１－１－５(舞鶴ビル３Ｆ)☎(092)771-1961



建築の眼

高原道夫
京都工芸繊維大学教授

中川秀夫
大阪市建築局建築指導部長

千原大五郎
大建設計代表取締役副社長

川崎敬三
近畿建設取締役社長

壁面ブレースのはらみ出し

大学にいる関係上、実務上のことで卒業生が質問に来室することが時々あるが、その場合、却ってこちらが教えられることが多いものである。好ましからぬ事態が起ってから、当然起るべくして起ったものであるということに、今更のごとくに気付くことが割合にある。人間の智慧とは大方のところこんな程度であると理解しておいた方がよいのではなかろうか。ただ同じ失敗を繰返さないように知識の交換をすることが必要である。これこそ情報社会の現在、充分できそうであるはずが、このようなことに関しては守秘行為が幅をきかしているようである。たとえば一例をあげれば、鉄骨造建築において、壁面ブレースを鋼板で「タスキ掛け形」にした場合、それが常時荷重に対しても応力が起るような設計であるときには、圧縮材は座屈現象によって弓なりになり、支点間中央部は大きくはらみ出す。その量は、支点が近付く量に比し意外に大きく、時には仕上材を損傷するほどである。例えば、材長2メートルの場合、近付き量1ミリ、2ミリ、3ミリに対し、中央部はらみ出し量は、近似式を用いるとき、2.74、3.84、4.74センチであり、材長3メートルでは、3.35、4.74、5.80センチとなり、相当大なる値であり今更のごとく驚く。敷石のもり上りや、猛暑時のレールのはらみ出しなど、これと同じか似た現象である。注意を要することの一つである。

（T）

建築紛争雑感

皆さんご承知のように、都市では、最近建築紛争なるものが続発しているが、そのなかには、我々の感覚としてどうしても納得のいかないケースがある。それは、建築物の新築計画で法的にみても全く適格なものであり、また、老朽不良の在来施設をとりこわすなどして建て替えるもので、従って、環境も見違えるように良くなるといったものに対して、周辺の住民が、これを目の敵にして建設反対の運動を繰りひろげている。ところが、彼等の住居たるや、全く法を無視して好き勝手に建てた違法建築であり、従って、防災上も、衛生上も、周囲に対する影響も、どうみても好ましいものでないという例であり、数多くみられる。そして世間では、新築建主が悪者扱いにされているということである。これは、一生懸命汗水たらして働いた人達の納める税金の使い道であるが、怠け者であるだけの理由で収入のない人達の生活保護費にまで使われたり、或は、国鉄の赤字補塡として、結果的には、温泉へ遊びにゆく観光客の交通費の補助までやってしまっているようなことと同様であり、社会理念としては、全く妥当性を欠いていると言えるのではなかろうか？

（N）

事故と警報

建築工事中に事故が起ることがある。過般もあるところで相当大きな事故があったが、それを設計監理していた建築家が起りうべからざる事故が起きたといったという。実におもしろい。もしそんなことがいえるなら、この世に事故などあろうはずもない。しかし現実に事故は起っている。人類が地上から天然痘を抹消しえたように、土建工事から事故を完全に追放できるだろうか。これは難問である。なにしろ起りうべからざる事故が起るのだから。そこで事故が起ることを予知する警報装置というものに意味がでてくる。しかしそれを施すには工費が要る。金をかけて装置を施したが、そのお蔭で事故を予知し、未然に防止しえたなどということもなく、無事完工したとなると、わが建築界では無駄使いをしたと批判されることが予知できそうだ。筆者は数年前から、インドネシアの仏跡ボロブドールの保存修理に、国際技術諮問委員会のメンバーとして奉仕しているが、5名から成る委員会が、遺構の解体に先だち、警報装置を設けよと勧告するや、ユネスコは直ちに勧告にそい、世界中からその方面の権威を選んだ結果、京大の村山朔郎名誉教授にジャワまで御足労を願った。装置は現在生き生きとして、千古の土饅頭の中の土と水の状況を教えてくれている。

（C）

建築屋の役割

建築屋の中に設計家を入れるとおしかりを受るかも知れませんが、私の考えている建築屋とは、建築にたずさわる技術者で、然も少くとも「プロ」と自覚しているものを総括してそういう表現にしてみたのです。先般、ある雑誌で東京のパレスサイドビルの写真を見ましたが、その説明に、11年たった今なおきれいに使われていて、時代に先駆けた都市の建築として「今日を代表するに値する建物」と称賛されていました。

我々の身近で、庶民の住宅が10年たっても住む人が喜んで、然もその住宅のたゝずまいが周囲の環境になじんでいて、立派な街づくりに貢献されているかどうか。住宅の場合特に中級程度の住宅に見られる姿として、住む身になって使う側の気持を理解して設計されているかどうか。10年たったその姿が、これ程でなくてもある程度感謝され評価されているものはそうざらにないと思います。それどころか設計の犠牲になって、入居のその日から不便な日常生活をしいられている住宅もあるのです。

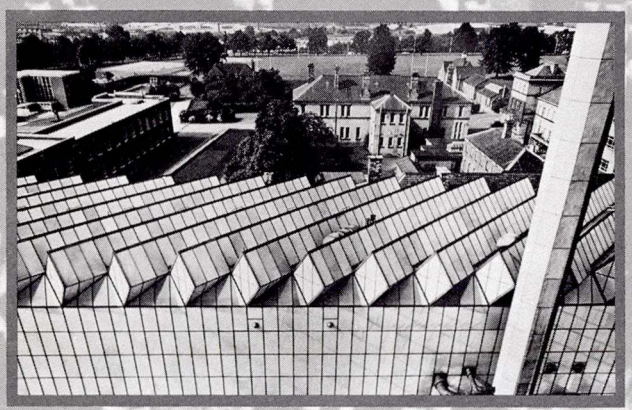
立派な組織のある、立派な設計者がおられる設計事務所が、あまり庶民の住宅設計に関心を示されないのか、住宅団地造りにその名を掲げられているのを見かけませんが、住宅個々のデザインに左右されながら50～60坪の土地にどんどんと奇異をてらう様な住宅が建って売られて行く状況は如何に不景気が続いているとはいえ、安かろう悪かろうの、10年後には見られなくなるものを建てゝゆくことは、建築屋とデベロッパーと、それを見過している設計家（建築屋）にも大いに責任があると思います。

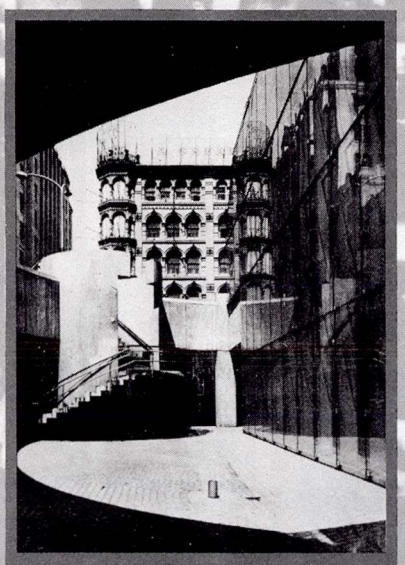
誰がこれをうまくリードして、美しい街づくりをするのでしょうか。大都市から地方の小都市に至るまで、スラム的住宅の、今なお建て続けられている現状を大変残念に思っております。どんな小さな建物を扱うのにも、建築屋の大きな役割りを感ぜずにはおられないのです。

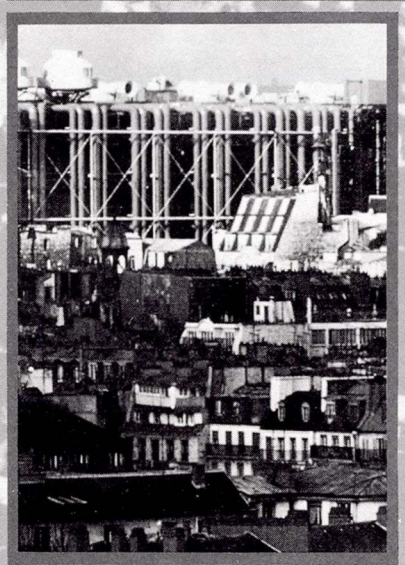
（K）

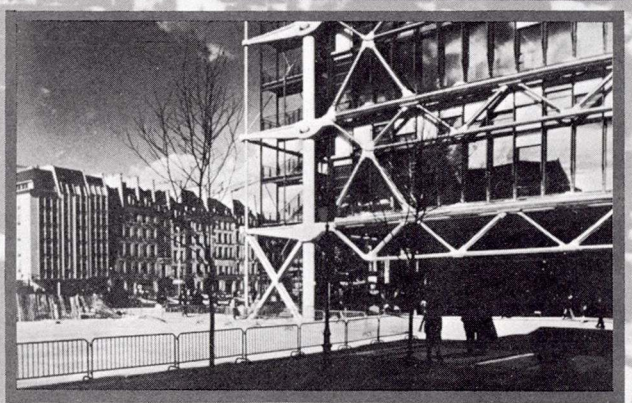
特集
デザインの動向
―新旧のコントラスト―

総論
排除の歴史―近代建築思考考―
コメント
新旧のコントラスト



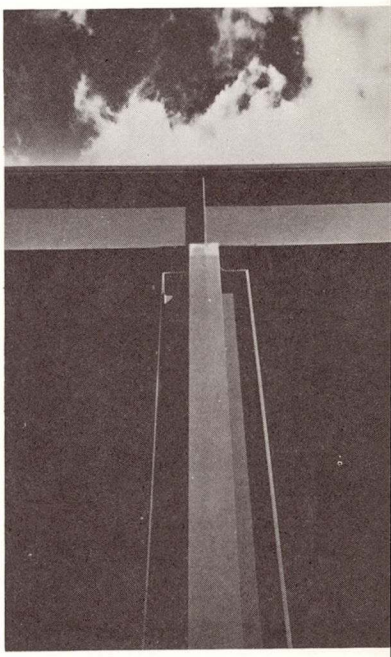






排除の歴史——近代建築思考考

西沢　文隆



近代建築は近代建築様式を確立した、すなわち過去の存在となってしまった。建築家達は、その欠点を確認してはいても、簡単にそこから抜け出せずにいる。単純明快でない人間性を求めて、暗中模索の苦海にあがいているのが現在の姿と思われる。『排除exclusionによる安易な統一より、包摂inclusion による困難な統一を』と叫んだR．ヴェンチュリーの言葉がそのことをもっとも雄弁に語っている。

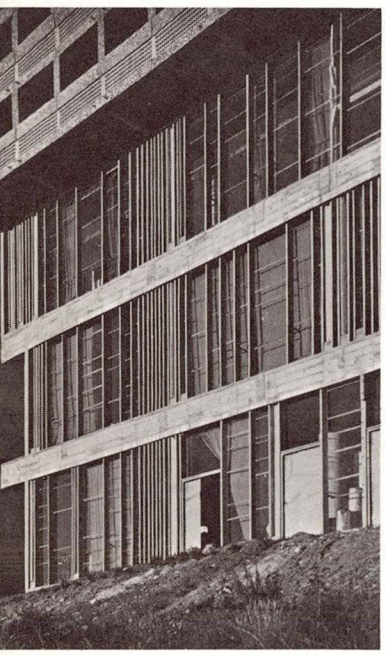
1．人間性の排除

近代建築家は、単細胞的科学信奉者であった。科学→技術→大量生産→進歩→人類の幸福という思考は近代工業社会全体の思考であった。科学は対象を物質面のみにしぼることにより研究を大発展させた。今では精神や生命までも物質のみで説明できるのではないかと錯覚させるほどになった。真の科学者は精神面を排除した限度内での究明であることを十分承知している。しかし、なかにはそのことを忘れてしまっている科学者だっているのだ。それを技術化し、生産に結びつける人々においては、なおさらである。『永遠に兎は亀を追い越せない』という説明の間違いは、静をもって動を論じようとしたところにあるのだが、同じように物質をもって精神を論じることが誤りであるといいきれるかどうかには未だ断が下せないとしても、物質信仰が人間性を把みそこねたことは確実な事実である。分析——総合という過程は一応明快に見えるが、分析によって物のつなぎが排除されていくあたりに問題をはらんでいるようである。

近代建築は〝人間のための建築〟を標榜したはずであったが、その人間の中味は最大多数の平均値的人間であり、要するに homosapiens として理解したに過ぎない。社会を構成する一分子としての無色透明な人間であり、進歩に向かって驀進する文明人であった。人間は凡そ不均質なる生きものである。互いに等質でないだけではない。一個人の中にも撞着があり、全くアンビヴァレントな存在なのである。それをそのまま把握しようとしては論が進まない。科学が精神を排除したと同じやり方で人間性を排除して、homogenous な個として扱った。しかも科学者と異なり、自分が何を排除したかを忘れてしまい、自分の議論が正しいものと確信したのである。最大多数の最大幸福がその目標であった。社会の一分子として何不自由なく生きられる生活を金科玉条とした。それは全くぴったりと産業の生産機構と結びつき、もっぱらhomogenousで幸福な人間社会をつくるべく邁進したのであった。大量生産が容易に達成されるためには規格化は当然必要である。ただし、どのように規格化をすすめるかに問題がある。全く多様で、個自身でも変化しつづけるばかりでなく、時に及んで一個人内部でも全く反対の志向を示す人間が使いまた住むための容器であってみれば、事はそう簡単には運ばないはずである。自由度をいかに巧く確保するかに焦点を合わせなければならない。実際にそれが売れる

のは経済性との兼ね合いにおいて辛抱しているだけである。

しかも人間は、かなりの適応能力をもっている故にそれを住みこなす術を身につけていって何とか暮らしているのである。ただし、一方ではその間に人間がしだいに自己を喪失していって全くの均質な人間へとなり下がっていく危険性を蔵している。ミースは近代建築の最優等生であったのではないか。〝Less is More〟を標榜して、ユニバーサルで冷徹な空間を極限までに彫琢していった。確かにそこにはミースの個性は隅々まで行きわたっていて、一つの美しさが完結している。ただし、それを使う側から言えば全く非個性的である。ホテルにしてもよし、オフィスにしても、美術館にしてもよい空間である。有名なレークショアドライブはマンションではあるが、むしろ近代のオフィスビルの原形ではないかといわれる。その中に住む人はまさに平均値人間にされてしまいそうな恐怖すべき空間であるのだ。CIAMを結成して近代建築の元祖であるべきコルビュジュエの方は近代建築からはみ出した異端者かもしれない。その作品には理論に拘束されない詩や夢への飛翔がある。その結果はどうであれ、少なくとも人間性についてしっかりと把握していたのではないかと思われる。近代建築は規格品でいかねばならないと覚悟はしていても、それだけでは人間の住まいとして好ましくないことを体でかぎつけていたのではないか。昔の建築はあり合わせの大きさの石を、こつこつと彫んで丹念に積み上げていったために、まことに柔らかな雰囲気が醸成されているのに対し、規格品を積み上げた建築は何と堅く味気ないことか。これを救う道として考え出したのがモデュロールであった。というより黄金比を音楽的に構成したクセナキスのモデュロールの発想に気をよくして、それをさっそく工業製品に結びつけようと発想したといった方が本当かもしれない。とにかく同寸のものを並べるより、モデュロールで変化をつけた方が柔らかくなることは事実である。ただし、黄金比から出発しているだけに、その比例は金属的であることは否めない。



近代建築が排除し去った人間性を取り返さねばならないと、今では誰もが感じている。合理的で、純粋で、禁欲的で冷徹な近代建築の完成した現時点は15世紀にルネッサンス様式が確立し、その堅い殻を突き破ってどう生きのびていくかに苦慮した16世紀のマニエリスムと同じような状況下におかれていると誰もが感じる。技術人としての立場を放棄するわけではないが、遊戯人としての心意気をその中にすべり込ませたい。真面目一徹の理論性から何が生まれるというのか、生きているものとは不純で曖昧で、不確定で混沌とした中でその命を輝かせているものでなければならない。R．ヴェンチュリーの言葉の通り、排除でなく包摂inclusive、単純でなく複合complexity、純一でなく混成hybridの中でこそ命のあるものをつくれるのではないか。それは『統一』でなく『混沌』でよい。

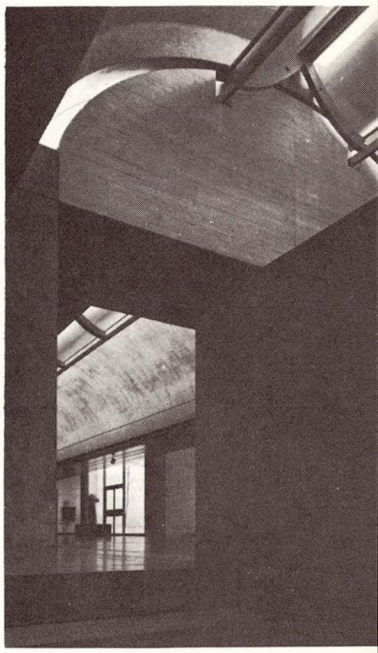
2．風土の排除

1925年デッソーにバウハウスが移り、その機関誌第一号は『国際建築宣言』であった。そこには、Localityが大きく歌われていた。おそらく、世界的に均質な建築がつくられることへの危惧をはだで感じていて、これを大きく採り上げたのかもしれないが、もともとその標榜する国際性への理論的明快さに比べて、Localityの方は奥歯に物のはさまったような言い方しかできていない。その点、あいまいな状態で宣言を行ったといえよう。以降近代建築は風土を無視した傾向がある。真に合理的に思考していくとすれば当然風土は考慮の中に入ってきて然るべきであるのだが、事実は全く無頓着だったようだ。在来からのカスバは影が多く住みやすい都市であるのに対し、フランスのつくったモロッコの植民都市は影がないために住みにくい都市でしかない。酷暑の国に来ながらその風土を理解せずにつくり上げた近代都市だからである。湿度の高い梅雨期をもつ我が国においても庇のない家をつくる。ことにオフィスビルに庇を廻したものは非常に少ない。私自身にしてからが、頭では理解していてもすべての建築に庇をつけるだけの勇気が湧いてこない情けない状態にある。できるだけプレーンに仕上げなければ近代建築にならないという習性から抜け出せないためである。このことは次項で触れる。

空調設備が進み人工環境を自在につくり出すことができるようになると、寒冷の国であれ、酷暑の

国であれ、外気を完全に遮断することによって快適な室内気候をつくり出せるようになる。窓があれば太陽は遮断できないが、その他の点では自然はシャット・アウトされるわけで、風土はほとんど排除されることになる。これを推し進めれば、建築を無窓にすることによって完全に機械化は達成され、かくて人間―機械―均質化という進歩の過程が完成することになる。私はあるとき温室を造る必要があって、温室の勉強をしてみたことがある。研究書によると硝子は熱伝導がよいため、夏は暑く、水を流したりヨシ簀を張ったりして太陽光を遮断しなければならず、冬は保温のために昼は光をフルに入れるが、夜は蓆をかけ熱の発散を防がねばならず、大変な労力になるというのである。論を進めていくと結局無窓工場にして、適度の暖冷房と人工光を活用して完全な人工環境をつくるべきだという結論になるのである。どうされますかと施主に迫ると、やはり硝子張りの快い温室をつくりたいとのことであった。扱う植物の生命が主体の研究であれば、いかに手間がかかろうとそう決断するのが本当ではなかろうか。近代思考にはどこかで根本的な誤りがあるのだ。

建築にとって非常に大きな役割を果たす光についても同様な立場に立って臨んでいたようである。近代建築家は建築をマッスの群としてまとめ上げることに専念した。丸、三角、四角といった幾何学形態こそ本源の形とみた。その形を明瞭に浮き立たせるには面はできるかぎり平滑なことが望ましい。主題はファサードにあった。燦々と輝く陽光の下、日の光を受けて輝き出る建築こそ理想であった。太陽一杯の世界、陰は一顧だにされなかった。まして窓を透過する光が室内で反射曲折して醸し出す人間の心にしみる光などは思考の外にあった。光は照度であって、照度計で測りうる光にまとをしぼったことは、あらゆるものを物質思考したいという念願というより、そう割り切った方が答えが出しやすく、説得力がありうるという近代思考の線上にあったのである。



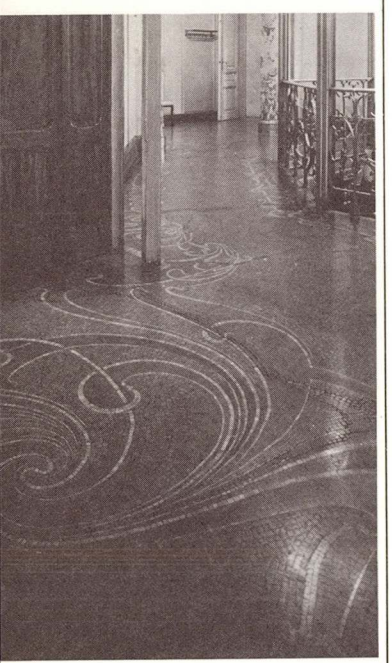
私はかつてミラノのブラマンテ初期作品の中に入り込んで全く感動したことが、今見ているようにあざやかに思い出される。ローマのパンテオンのようなドームを一生の内につくり出したいというブラマンテの念願は、みごとに結実していた。全くどこから射し込むともしれない光が金粉を撒き散らしたように中空にただよっているのだ。ドームの形さえ消え去って光と色の静謐が堂全体を支配しているのであった。これこそ人の心に訴えかけてくる光で、光とは建築にとってそのようなものであるべきものである。(近代建築家で真に光を大切にしようとしたのはL・カーンだけだといえば言い過ぎであろうか。少なくとも彼は光を廻折させることを知っていた。)椽に反射して室の奥深く到達する書院の光も、幾重にも透過反射して室を柔らかく包み込む茶室の光も、同様に巧みな演出である。近代建築はそれらの光を排除し去ったかに見える。窓を通して入ってくる光も、トップライトから注ぐ光さえ屈折のないあからさまの光に終わる場合がほとんどである。

近代産業は進歩に向かって邁進した。より安く、より豊富に良質の物を生産供給することが、世界人類のための貢献の道であった。古くなった建物はどんどん取りこわして建て替えていく。使い捨てすなわち進歩とさえ考えられた。生産によって出る破棄物は川や海にたれ流し、ゴミを海洋に投棄して埋め立て、土地を造り出す。その間自然は無言のまま営々と後始末をしてくれたのである。自然がその浄化能力の限界を越えたとき、目に見えて公害がクローズ・アップされた。同時にわれわれは宇宙船地球号という有限の資源の船に乗り合わせている一員にすぎないことが確認された。180度転換の必要性は理解しても、すぐそれが実行に移されるというわけにはいかない。それでも省エネルギーの心要性は痛感され、動き始めている。とは言っても未だ自然排除の中でどう省エネルギー化を促進するかの域にとどまっているようで、窓をあけて自然の風を楽しむというような人間的な状況に立ち至っているわけではない。もう数歩の進展がなければ、近代建築が排除し去った風土は帰ってきそうにもないのが現況のようである。

3．歴史の排除

近代建築の草創期における一般建築界の状況は、型にはまった建築のプランに巧みな装飾を加えて

魅力的に仕上げることが大家の資格と考えられ、その操作は建築の本質から程遠い事柄であった。それを正規にもどすべく近代建築運動は起こったとみるのが至当であろうし、根本的に建築を考え直そうとした功績は買われるべきである。ただし、冷静にふり返ってみるとき装飾コンプレックスにとりつかれていたふしがある。合理的に追求して形をつくり出すべきだというのは一面の真理があるが、歴史を否定したことの内情は、過去の歴史を勉強することはその形骸の模倣につながると考えたのであり、小心翼々としていたとしか思われない。本来いかなる天才でも、無から有を生み出すことは不可能で、長い歴史の中から何を己のものとしてひき出すか、そのひき出す能力の優れたものが天才なのである。ものを拾い上げ自家薬籠中のものにまで咀嚼できる能力のあるものこそ天才なのである。生まれたままの素裸で何ができるというのか。装飾コンプレックスが歴史コンプレックスにまで発展したとみるのが至当のようだ。否定したのは歴史ばかりではない。歴史的遺物も、現代において取るに足らぬものと考えたが故に、開発という名の破壊も雄々しい行為と称讃さえされたかに見える。すべてがそうだったわけではないが、そのような精神構造の上に立っていたことは確かである。必要様式と呼ばれたウィーン・ゼセッションは決してNutz Stilではなかった。プランは旧態から抜け出せず、装飾も華麗であった。そのモチーフが過去になかったものであったというに過ぎない。ウィーンのアール・ヌボーといわれる所以である。それにしても物をつくる訓練が身についていたから、今からみると現代の建築に較べて魅力的である。過去から抜け切れずにいたことが幸いしたともいえぬことはない。しかし、ワグナーの郵便貯蓄局などはもう近代建築の域に到達している。よい面でも悪い面でも。逆に装飾過剰の故に非近代的と見做されがちなパリやベルギーのアール・ヌボーの方が、プランにおいてもセクションにおいても、遙かに進んでいた。情念的な装飾で覆いつくされているゆえに、その華麗さに目を奪われて、この点を見落としがちであるようだが、近頃の現代建築よりは遙かに現代的なのである。しかも、部分と部分は互いに呼応し合い、全体に緊密な有機的つながりを見せているのだ。ことにガウディのプランニングや構造の確かさは美事で、これも偏執狂的とも思われるマッシブな装飾に惑わされて見落とす人もないでもない。これこそ合理的という名に値いする模範解答ではないか。CIAMの草創期に、いたずらに理論の遊戯に走ることなく、この事をしっかりと把握しておれば、近代建築は軽薄のそしりをまぬがれていたかもしれないし、少なくとも人間性を喪失することはなかったのではないか。物を創ることは理論ではない。物の本質をしっかりと把むところにある。



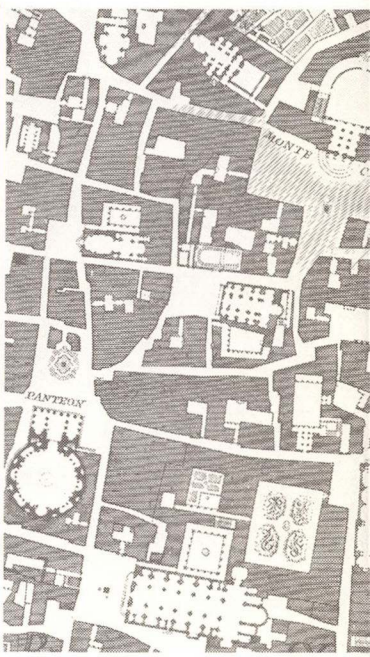
近代建築家は歴史を否定するという尊大な行為に出た。『恥知らずの健忘症を要求した』(カルロ・アルガン、Progetto et Destino)のである。そこでは英雄的形態発明の神話に寄りすがらざるを得ない。合理主義的追求によってそれは達成しうるという信仰に立っていた。事実は逆であった。まず突如として英雄的形態が歴史によることなく発想され、その形に従ってさも合理的と見える説明をこじつけたに過ぎない。最も悪いことには、本人自身そのようにして組み立てた形と信じ込んでいるという頭の悪さである。形はまず造られるものでもなければ、合理的追求の結果生まれ出るものでもない。互いに撞着する要求をバネとして、合理的処理を行う中から発想されるべきものである。ごり押しでなく、いとも自然に、創る人の感覚や情念がそこで実を結ぶようでなければならない。これをこそordinaryと呼ぶべきか。表現はともかくとして、実態は自然に生まれ出るのではなく、建築家が生み出すのである。創るという言葉はそのためにあるのだ。生み出すためには対象に応じて自由に流動できるものがまず建築家の中になければならない。常々目をこやし、心に蓄えなければそれは不可能である。

近代建築家は『嘘はいけない。構造を正直に出してこそ正しい建築で美しいのだ』という考えに立つ。さらに進んで『ダクトも配管も素直に表して美しい空間をつくるべきだ』という考えが生まれ、ひと頃国連ビルの会議場などで流行したことがある。しかし、結局それは美しくなかった。近代建築家が推賞する人体は確かに全く無駄がなく、合理的にできている。内臓は筋肉や皮膚の下に保護されていて見えない。肉体に栄養を補給する血管もすべて覆い隠され保護されている。血管を露出させて何が美

しいか。『建築に設備というものが無かったらどんなに楽しいことか』とコルビュジェをして慨嘆させた所以は、それを覆い隠すことによって構造が素直に出せないということであろうが、慨嘆することの方が間違っており、包み隠すべきものは隠した上ではなお健やかな空間になるようにするのが建築家の仕事ではないか。そういう私も近代建築思想から脱し切れずに同じ苦悩をなめているのだが。暖房すればすでにして結露の問題が起こる。当然の処置としてインシュレーションが要る。見苦しいダクトや配管を隠せば室内はほとんど皮膜で覆いつくされることになり、ハリボテ感はまぬがれない。建築家は内部では室内装飾屋にならざるを得ないのである。それを成り下がると考えるところにそもそも建築家の思い上がりがあるのではないか。その中で何ができるかが問題とすべき点ではないか。

最近パリの市場のあとにポンピドーセンターが出現して物議をかもしている。新旧のコントラストという点では最も強烈であろう。(高橋訓一氏によれば、コントラストというより、よくなじんで見えるという。ただし、パリでは、いたるところに混在が見られるから、ここでもそのひとつぐらいにしか感じないのだと逃げの手がうたれている。) 何も国連ビルで経験ずみの失敗を重ねる意義がどこにあるかと言いたい。これこそ近代建築の優等生であるが、少々遅く世に現れたというわけ。旧套墨守の徹底したパリでこれが出現したことにはショック療法としての意味はあるかもしれないが、何を今さら、ねぼけているのではないかといいたいところである。それを見て感激している若者達をみることは確かにショックであった。内部は能率的によくできているというが、総ガラス張りの機械的ファサードとの関係はどうなっているのだろうか。

歴史的建造物はおおむね重量感に満ちている。それへの反撥として生まれ出た近代建築は重量感を極力排除しようとする。もともと組積造である古建築は当然 closeした空間をつくる。その壁を取り払って、建築の内部を外部と合一させようとした近代建築としては当然かもしれない。L字形やコの字形の壁さえ嫌った所以は囲まれることを極力さけ、一つの空間として流動するユニバーサルな空間を志向したからではないか。近代建築家は平滑でツヤツヤした材質を好み、重厚で暖かい材質感を極力嫌った。材質感そのものさえ装飾として恐怖した形跡がある。それと同時に材料にあたる柔らかな光の一面をさえ排除しようとしたように見える。

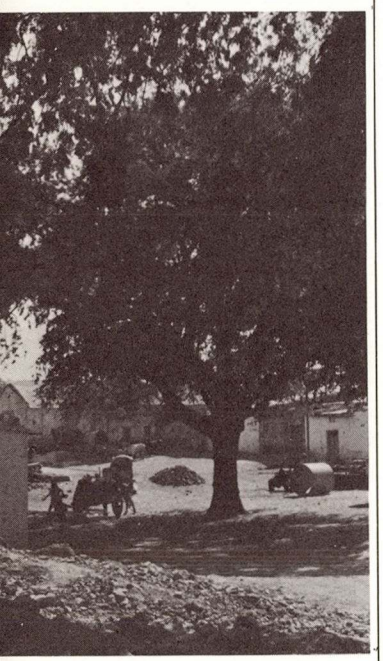


4．歴史的、自然的環境の排除

近代建築家は己のつくる建築を孤立して完結したものとして、周囲の環境から屹立させたいと願った。建築家は誰でも自分の創る建築を目立たせ、美しく歌い上げたいと願う。それは市井の喧噪の中であろうと砂漠や山中のような無人の環境であろうと対比する相手が異なるだけである。対比と言っても一種の調和であり、互いに個をはっきり際立たせながら響き合うというだけである。他方に馴染ませる手法があって、この場合は個を主張しない形である。前者には失敗すれば混乱に導く危険があり、後者は都市を活気づけぬ危険がある。前者一本で押し進めたのが近代建築で、その反省として時に及んでは後者の必要もあることを、改めて認識したというのが今現在である。近代建築でも周辺との調和が考慮されなかったわけではないが、それは己の作品をよく見せたいからである。マルセイユのユニテは緑の海に屹立して自己を歌い上げている。コーリン・ロウの Figure-Ground(図—地) 流にいえば、緑は地であり、ユニテは図である。フィレンツェのパラッツオ・ウィフィツィは町に融け込んでしまって、個としての主張がない。ピアッツアやポー河に達する道が心に訴えかけてくる。町や運河が図であり、パラッツオは地と化しているのだ。都市に建築を建てる場合はそのように建てるべきが至当ではないかとするのが現時点における考え方のようだ。すなわちあまりにも自己主張の強かった近代建築への反省である。近代建築においては個としての完結性があまりにも大きく主張され過ぎたのではないか。Façade は内部の使用目的がそのまま姿として表れるべきもので、内部と無関係なFaçade は偽りであるとする。それは一面の真理である。かと言って周辺を一顧だにせずにFaçade を決定してよいということにはならない。ルネッサンスからバロックにかけての都市では、道

路や広場が都市としての図であり、建築は地であった。パリのヴァンドーム広場はまず広場がつくられ、広場を取り囲む建築のFaçade だけが、マンサールによってまずつくられ、広場に面する敷地はファサードつきで売り出されたほどである。都市が一人の人間の意志によってつくられる場合はそれもありうる。しかし都市がそこに住む人々によってつくられていくのが本来の姿であるとすれば、この方法も納得できないものがある。かと言って混沌の様相も好ましくないから、何か経済的で美的効果もある都市造成のランゲージはないものかと考える人があるが、規制になりやすい危険性をはらむ。造る側の建築家が、都市の風景に全責任をもって臨むより手はないのかもしれない。

歴史を排除した近代建築家にとっては、すでにして無用の長物と化し去った建築物は取り毀し、有効な建築物に建て替えるべきだとする考えが根本にあり、完全に取り毀して新生させることが再開発であった。有用な都市は生まれうるかも知れないが、それは均質人間のための別の都市である。戦後生まれ出たニュータウンやブラジリアやチャンディガールのような都市は、整然と統一されていても古い都市に較べて何かが欠けているとすべての人が感じた。都市としてのアメニティが欠けているのである。都市がわれわれに語りかけてこないのである。バロック都市では軸線が通り、三叉集中路に広場があるということだけで、それなりのアメニティをつくり出していたし、広場にはオベリスクや噴水や彫像があって、都市にアメニティを与えるとともに記憶装置としての役割を果たしていた。新しい都市にそれがないというなら、そうした記憶言語を造り挿入してはどうかと、マルヌ・ラ・ヴァレの倒置の考古学は考えるが、本来都市は造られるものではなく、できてくるものであることを見逃している。少なくともできてくる過程を横から援ける道を考える以外によい手はないのではないか。



ニュータウンの元祖と目されるヴェルウィンの田園都市は造られたものであり、恐らくできたときにはあき足りない都市であったろうが、今では木が生い茂り、住民が住みやすく改変していったであろう過程で、あたかもできてきた町のような風貌を呈している。その限りでは造られた都市もやがてはできてくるということは考えられる。元来田園都市ないしニュータウン思想というものは、都市を自ら人間の住めぬものにしておいて、それを放棄して逃げ出そうというのであるから、その都市への愛情の薄いことは確かで、都市自身を住めるように改めていくのが本旨ではないか。田園都市やニュータウンの思想は田園を排除し、喰い荒し、都市化するだけにすぎない。

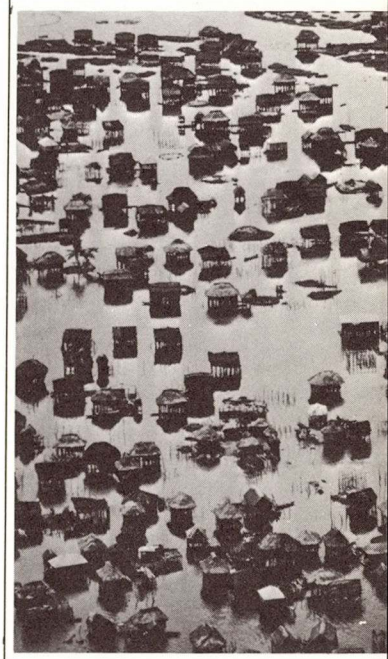
歴史に関連して、近頃流行の折衷主義は少し怪しいのではなかろうか。近代建築一筋に自己主張することを止めることと折衷とは同じではない。混在に美しさがあっても人の意志でつくるものではなく、結果としてできたものにそれなりの美を認められるというにすぎないのではないか。物にはそれぞれの良さがあっても、そのまま借用するわけにはいかない。過去の形を学ぶのはよいが、その形がどうしてできたかを学ばねばならない。形は伝統ではない。物の把み方、受け入れ方こそが伝統である。そこを学ぶのでなければ伝統の継承にはならない。真面目一徹でなく、たまに遊びがあってもよいが、いきな遊びでないと人に笑われてしまうのである。

5．全体と部分

合理性が主題であれば、要求に従ってプランを組み立てていくとき、四角く納まってしまうことの方が稀有のことになる。なるほど近代建築家は用途の仕分けをして各ブロックごとにまとめたが、それぞれのブロックの中では四角の中にプランを押し込めた。平らで四角い立方体こそ形の本源であるという信仰の中では、合理性は単なるお題目に過ぎなくなる。それを刳り込んだり、跳ね出したりして立方体に強烈な陰影を与えようとしたが、その形にあてはまるようにプランを作成したのである。形がまずあって、それを合理的にできたかのごとく理由づけたのである。プランは形に、部分は全体に従わされたのである。設計の操作上それが最もやりやすいということが一因であったのかもしれな

い。長谷川堯氏は「部分の反乱」の中で、『入口のドアのノブを握っただけでも、その家全体が想像されることがあるのに、近代建築は凡そ部分からデザインを拡げていくということをしなかった。国土計画―都市計画―地域計画―住宅計画―住宅のシルエット―部分と降りてきて、ドアーのデザインが定まらなければドアーのノブのデザインも定まらない』という意味の壮快な批判を近代建築に対して下した。言い得て妙であるが、本来デザインは全体から部分へ降りていくのでもなく、部分を構成して全体に至るのでもないのではないか。部分自身も互いに自律してからみ合い、部分と全体も互いに主従の関係ではないのではないか。V.オルタのファン・エートフェルテ邸も、オルタ自邸も都市住居であるから全体の形は周辺の状況から規制されてしまうが、その中でのプランの自在さには瞠目すべきものがある。階段を中心へとする空間の展開の中で、部分と部分が互いに綯りまぜられ、空間が機能的につづり合わされて芋づる式に展開していくさまは、まさに有機的である。自邸の場合は機能別に三つの階段によって仕分けられているのだが、住居の晴れの空間の階段の踊り場からサロンが、アトリエ空間の部分にはみ出していて、変幻自在。すべてが部分であり、全体なのである。

近代建築家がツリー思考で常に全体から部分へ志向していたことを美事に喝破したのはC．アレキザンダーであった。実社会は決してツリー状にできているわけではなく、互いはセミラティス状に組み合わされ、錯雑極まりない関係であるのに、それをツリー状に上から下へと構成して都市をつくろうとしている――というわけである。



チボリーのヴィラ・アドリアナはハドリアヌス帝が生涯中に遍歴した大ローマ帝国の各地で美しさに打たれたり、珍しいと感じたりした建物を寄せ集めたヴィラで、建物同士が互いに相接して、かなり稠密な都市状態をなし、ここにギリシャがあれば、あちらにエジプトがあるといった具合に、各種様式の建築がアド・ホックに集積されている。それぞれの建物は軸線をもつが、互いの軸線はでたらめに交わっており、お互いに相接する部分のみに互いに関係し合っていて、それらの重合の中から活力がいきいきと感じられるのである。互いに突き放しながら生まれ出る深い関係、部分相互の疎密を心得た関わり合いの中から生まれる全体のありようこそ学ぶべき実態と思われる。ここに折衷性をみて喜んだC．ムーアは部分が自律しながら全体を生み出していく機微に触れ得たのではないか。単なる折衷性ではあるまい。

B．ルドルフスキーのArchitecture without architects展'64～'65、N.Y.はヴァナキュラーな美を遺憾なく展開してみせた。ユニバーサルな近代建築にあき足りず鬱屈していた建築家たちはその新鮮で人間的ぬくもりに満ちた美に圧倒された。同じ材料と同じ工法による統一の美であると見るのが危険なのは、細部を見ていくと微妙に違っていて千変万化であることがわかる。その中でこそ統一しても美しく成り立っているのだといえそうである。部分の集積であるからこそ美しいのだと見る人もある。地中海の集落のように住居群を組み上げていくのが流行したのはそのためである。M.サフディのAbitat'67はその総決算ともいえる。現代の建築家から見れば、部分の集積としてこれからの建築の理想像のように見えた。ところが他の分野の人々がこれを見るとき、貧民窟の立体化としか映らない。かつての民家集落は部分の積み上げには違いないが、部分と部分、部分と全体が緊密な関係にあるばかりではなく、部分自身にちゃんとしたディテールが備わっているのだ。そのエネルギーと心の集積であるために人間的な魅力をもっているのだ。要するに創ることの実体を把んでいたのだ。近代建築は人間味が深く注入されていず、ディテールにかけたエネルギーも僅少であるために、平らな大きなシルエットで強烈な陽光の下にさらしたときには、一つの美を生み出しうるが、部分の集積として表現しようとすると貧相さが目立ってしまうのではないか。公害と資源問題から、建築が建ちにくくなったこれからは、じっくりと時間とエネルギーをかけて一つ一つを大切に扱うべきときが来ているようである。(1977／11／22)

(にしざわ　ふみたか　建築家・坂倉建築研究所)

新旧のコントラストについての

コントラストは、形状や色彩について述べられるとき、対照や対比などと訳されています。たとえば対照とは「美的対象において互いに対立する二つの要素が、対立によって一種の統一を形づくること」(広辞苑) というように、統一とか調和ということを前提としています。対比についても同じような意味あいにあるように思います。

＊

現在、デザインの要素は、たえず開発される新しい材料や構法、蓄積され続ける様式や形式とあいまって多様を極めています。これらの選択に当たっては、価値観の多様化に伴って無限ともいえる要素の中からの自由に任されています。デザインにおいても混迷の時代といわれる所以でありましょう。

＊

歴史上、特定の様式をもった時代の建築や、いわゆるヴァナキュラー建築もさまざまなコントラストをもちながら、様式の極端な併存は見られず、その固有の表現にあって一種の統一を保持しています。様式的な、あるいは社会的、技術的な特定の枠組みの中で、あるいは持続的な営みの中で、必然としての同質性を生んできたのでしょう。ここでは、さまざまなコントラストはその同質性を基盤としています。

＊

多様な要素と自由な選択の中で、当然のことながら異質的な対照関係も見られ、また統一なき対照の氾濫をも現代の状況として認めざるを得ません。対立関係におけるコントラストが問題となりつつある現在、新旧のコントラストについて、以下に、コメントをお願いしたいと思います。

本号の「デザインの動向――新旧のコントラスト」特集は、昭和51年1月号の「証言 '76――デザインの動向」、昭和52年1月号の「デザインの動向――部分と全体」の特集号の統篇として企画されたものです。上記のコメント依頼文にありますように、「新旧のコントラスト」が、現下の建築デザインの混迷の時代にあって、鋭い対立関係をもって、わたくしたちにせまっている状況にかんがみ、4つの設問を設けて、関西の建築デザインの第一線で活躍されている建築家・研究者に、それぞれのお考えを聞いたものです。49名の方にアンケートしましたところ29名の方からコメントをいただきましたので、以下に掲載して謝意を表します。
なお、表題については、執筆者がつけたもの以外は、編集幹事の側でいれさせてもらいました。また、写真についても、執筆者提供のもの以外に、編集の側で挿入したものもあります。ご了承ねがいます。

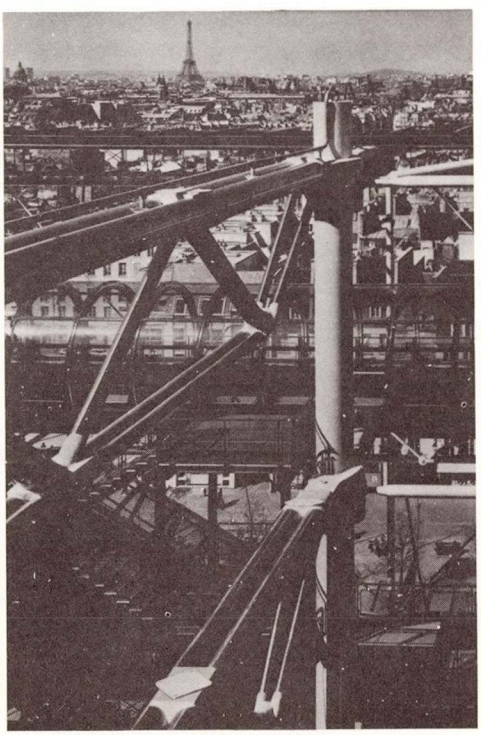
コメント……

1 新旧のコントラストをどのように把えていますか。

2 新旧のコントラストが設計の対象となるケースがありましたか。そのとき、どのように解決されましたか。

3 最近話題のポンピドー文化芸術センターをどう思われますか。

4 新旧のコントラストがおもしろいと思われる例をあげて下さい。



対立と同調

岩本　博行

コントラストにおいて、互いに相手を拒否する対立的な美しさが成立することがある。たとえば、昔のままの古都京都の上空を、最新鋭のジェット戦闘機が驀進している様子を思い浮かべると、その対立の妙は鋭い。京都東寺の五重の塔を背景にして、新幹線の列車が疾走している姿を、ポスターにしたのがあったが、これも対立の美しさがあった。（新幹線の高架は邪魔であるが）動かぬ伽藍と、動くことによってその美しさを発揮する戦闘機や列車との対立は、古い静の美しさと、新しい動の美しさの妙を見せている。併せて、芸術と科学、精神と具体の対立を見る感じがする。京都の古い民家と、それを背景として立つ、ナウなファッション・ルックの美人との対立は近代的である。同じ民家に、舞妓や芸者が立つと古い情緒が漂う。対立は違った次元を鋭くし、同調は同じ次元を優しくする。そうして美しいもの同士は、対立にも同調にも調和がある。コントラストは対照される二つのものが、それぞれの個性が完成されているときに成立する。

建築における新旧の対立が、このようなかたちで調和が完成してる姿は、寡聞にして知らない。

たとえば、パリにおけるエッフェル塔は、新旧対立において、完成していると見なされている。

様式は、その民族の精神の、長い時代をかけた洗練の結果であって、民族精神の表徴である。新しいエッフェル塔は、力学の美を科学的に表徴したもので、その対立は激しいものであった。ゾラ達がエッフェル塔を反対した気持は、私の中にもある。出来れば建たなかった方が良いと思う。パリの空をジェット機が通過するのは同居ではない。その限りにおいて、エッフェル塔の同居には否定的である。

ハーバード大学の、レンガ様式の建築群の中の、コルビジェのコンクリートの建物は、新旧の対立的存在であるが、コントラストとはなり得ず、みすぼらしく見えた。長い民族の精神の前には、歴史を否定したただ一人の存在では孤立せざるを得なかったのではないか。

ポンピドー文化芸術センターは、様式群の中の紅一点とするなら、稀少的な珍しさはあるかも知れないが、様式群が持つ情緒を壊すものではないか、私は見ていないから分からないが、如上の理で否定的である。

大阪中之島に住友銀行本社がある。様式の教養のある建築家が、近代建築の潮流に竿さして、近代化を試みた作品である。当時、板垣鷹穂は、玄関回りに様式主義が、尾骶骨のように残っていると評した。その部分まで、近代化せよとばかりの口吻である。しかし私は、その部分が様式主義で全体を引きしめた美しい作品だと思っている。大部分の壁面を、装飾を捨てて、捨てた部分の空白を、重厚な窓回りと石の表情で補っている力量はさすがである。新旧の手法を対立でなく同調して手際よく処理した名作であろう。

新旧の調和の成功している例に、東京高島屋の増築がある。様式を相手どってというよりは、様式部分を利用して、新しい部分を成功させている。住友ビルと同様、新旧を対立させるのでなく同調させているのである。

（右段へ）

住友ビル



新旧を超えるもの

鳥田　家弘

1 新旧のコントラストの把え方

新旧のコントラストが生きるのは、その新もしくは旧それぞれの個別性が、いずれも存在の普遍性を意味として顕わす時であり、またそれが包括的に人間実存の社会史性の証しとなる時です。

この両義によって、新旧はともに自らを超えることができ、これが新の創造の目標です。そうでなく、その時々のスタイルとして新あるいは旧あるいはそれらの対比を目指すのは、意味の少ないことです。

2 設計の対象

したがって、新旧のコントラストを設計の意識的対象とするのはおかしいことです。（手法ならよいでしょうが、手法は手法の段階に過ぎません。）

ただし、古いものは時が普遍の世界に加えた重みを帯びています。これに対して、新しいということは一段と深いということでなければなりません。少なくとも、古いものを感得する力なしには、新しいものは作れないでしょう。

3 ポンピドー文化芸術センター

ポンピドー館は、写真で見ただけですが、その限りではアーキグラムの金属押絵に似た無機的空間装置のように見えます。よく判りませんが、材料の物性や上記の意味からいって、万博の仮構と同じくそう長い生命はなさそうです。

ここに「空間装置」と書いたのは悪口です。建築はそんな言葉でいうような無機的なものではないと思っています。

4 おもしろい例

思いがけない新旧のコントラストに感嘆したものは、今はない旧帝国ホテルの中庭から見たその翼廊と日生ビルの上部とです。朝早く寝ぼけていたのかも知れませんが、マヤの神殿とラマ廟のようでした。十年ほど前の「建築の眼」（本誌昭和41年11月号）に書いてあります。

なお、われわれの都市は、いつも新旧のコントラストで混乱しています。われわれは新旧すべての仕事をその時その時のフローに投了して日銭をかせぐ出稼ぎ人のようです。この世は仮りの世としても、このままでは、おもしろうてやがて悲しき鵜匠です。こういう美学もわれわれの心中深く巣喰っていますが、それでよいのでしょうか。

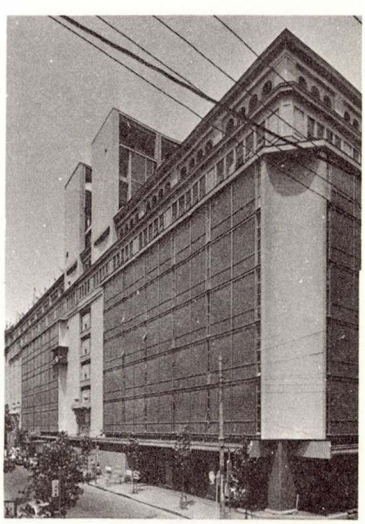
一方、古い街並みを観光資源として舞台装置化するのも、本物とは違うようです。出稼ぎ根性でない市民と建築家によって新旧のコントラストが生きてくるのが本物でしょう。

（とりた　いえひろ　摂南大学教授）

（左段より）

近代化は宿命である。しかし歴史を否定してはならない。折衷して、同調することによって次の時代が育つのである。近代建築の貧困は、歴史を拒否したところに原因があったのではないか。

（いわもと　ひろゆき
KK竹中工務店常務取締役）



高島屋（増築）

粉飾性と夢幻性

光安　義光

最近10年間で気がつくことがある。一つはサンカットグラス（ミラーガラス）の大量使用による表現効果と、二つは動的空間による技術の強調である。

• 粉飾空間と拡散夢幻の空間——

鏡の作用をする窓硝子が時に夢や、喜びを誘ってくれることは間々経験することである。

インテリアで、たとえば喫茶店とか果物店で鏡壁を採用することによって、商品の豊富さ、店舗面積の倍化などの効果がでてくることは人々に一種の錯覚を催させるのである。その実体に触れるとき、むしろ肌寒さえ感じて虚の空間のしかばねを思うのである。多彩に粉飾された、しゃれ頭（こうべ）のむなしさを覚える。それが内部空間での鏡の効用であろう。

外部での窓に大量に、これらサンカットグラスが採用されることは、10年くらい前には余りなかったと記憶する。日本では万博カナダ館以来だろう。アメリカではSOMの作品に数年前からでていたのだけれど、日本の製作技術の遅れとか、空調における熱効率と需要の関係があったのだろう、随分と遅れて実現してきたことになる。

都市の中で建物の外壁ガラス面には、空の雲の流れを映しだし、青い空に白い雲は宇宙の拡がりをすぐ目前にまで把えてくれるような感覚に陥ってくる。自分を中心に無限に拡がる空間を、一枚の画布の上に風景描写をしているようで、夢幻な愉しさを呼び起こしてくれる。また都会の谷間にあるビルの場合、自分の背後のビルの影を反映して、画布を引きしめる。ここには第2象限、第4象限への拡散する空間を現出してくれるわけである。

内包効果、外延効果のいずれにも、嘘の空間を知覚をするときには一種の怒りを覚えるが、共通に多彩な変化、華やかな様相、夢幻の喜び、錯覚の驚きなど、芸術的に統一された作品に接すると、現代の焦燥に明け暮れる生活感情にとって、一瞬の快さを導いてくれるのである。

以上の粉飾、拡散の空間感情をさらに増幅する技術の駆使は動的なX、Y、Z方向へ立体的に計画されていく。

磯崎、東、川崎、黒川などの作品の気鋭さにそうした現代の凄い対比を感覚させられるのである。そして、麻痺した快感の対称から遠のきしばらくすると、平静、安定性を求める感情が身内に湧き出してくるのである。

'78 の現代はすでに均衡のとれた沈降する感情に動き始めているのではなかろうか。現代の喧騒さから脱出する術を探し求めていた若者が、第1象限の原点に向かっていると考えるのである。

• ポンピドー文化芸術センター——

第一次世界大戦から第二次のその間に、10年おきに事変など起きている。絵画、芸術の世界では、抽象化運動が次第に定着し、建築技術と交流しつつ、第二次世界大戦後では、事変より建築芸術の中に、次々と作品は打ちだされている。シドニーがあり、ポンピドーのそれに、建築、各種作品との一体化が具現してきたというべきであろう。

ポンピドー文化芸術センターは、建築のもつ原点という抽象性と絵画、彫刻の抽象性とを全く一致させた抽象作品と考えている。代表的な総括した作品である。　（みつやす　よしみつ　建築家・明石工業高等専門学校教授）



コラージュの季節

向井　正也

1 新旧のコントラストの把え方

都市であれ、建築であれ、新旧のコントラストが生ずるのは自然の成り行きであり、別段今にはじまった問題ではないと思います。ただ20世紀の近代建築の場合、コントラストが調和の限界を超えるあたりをどう把えるかが問題で、これは単に色彩、形態、テクスチュアなどデザイン要素の対比から、さらにスケールやイミに関する対比—対極的取り扱いが問題となりますが、私としては、建築デザインの基本的考えとして、本筋は合理の線をちゃんとおさえながら、どこかで一本破目を外したような空間的なヴァイオレンスやアソビがあってこそ作品の鮮度が保たれるものと考えています。

しかし単体の場合と事情を異にする、都市景観については、新旧のコントラストが、あまり調和の枠を勝手気ままにふみ外すのはどうかと思います。わが国の都市空間も、長い歴史の上で西欧の場合と併行的に、均質（ユニフォーム）の美を保ってきたのですが、近年の、特に〈高度成長〉の結果、今やまさにオモチャバコをひっくりかえしたような雑然騒然たる様態を呈するに至りました。いわばよせ集めのガラクタのモザイクで、これを評してコラージュ的だといった人がありますが、全くその通りだと思います。コラージュだから、やり方次第では、多分に偶然性の助けによりかかりながらも、〈茶〉でいう〈取り合わせ〉の妙を発揮し得る可能性もあるはずで、ゲンに西欧の今日の都市景観など、なかなかいい線をいってるところも多いようですが、どうもわが国の場合は……。まことにこまったものです。

アメリカの若い建築家リチャード・マイヤーなど、しょっちゅうコラージュを趣味でやってるようですが、日本の建築家もひとつやってみませんか。案外この都市の景観形成という〈困難な包摂的統一〉（ヴェンチューリ）のための良い薬になるかも知れません。

3 ポンピドー文化芸術センター

一部ではかなり酷しい批判があるようですが、ピアノ＋ロジャースの、この作品をふくめて、これまでの一連の作品に見られる案外に深い環境的配慮の事実や、コンペの審査委員長ジャン・プルーヴェのフランス人的な合理主義の英知などから考え合わせて、未だ出来たてのホヤホヤのところでの、浅はかな速断は禁物だと思います。あるいは当局の人たちのいうように、かつてのパリのエッフェル塔と同じ栄光の道を歩む公算も大きいと思われますが、それとは別に今日のわが国の建築デザインの世界に見られる一般的ないみでの〈間〉の喪失からきた空間的、時間的なユトリを欠いた設計に対する、これはむしろ一つの教訓ではないでしょうか。

4 おもしろい例

東大寺法華堂本堂（三月堂）——奈良と鎌倉両様式の混成

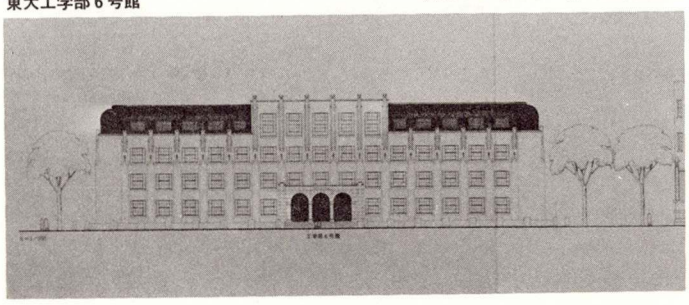
セビリヤ（スペイン）のヒラルダ（風見の塔）——回教とキリスト教、両様式の混成

近くは、ロンドンのデザイン・リサーチ・ユニット（DRU）の屋上増築（ピアノ＋ロジャース設計）

わが国では東大工学部6号館の屋上増築（香山寿夫設計）

（むかい　まさや　神戸大学教授）

東大工学部6号館



古いものを新しくするのは新しいものの責任

小角　亨

1 新旧のコントラストの把え方

「古い、新しいと言っても、それは、時間の流れにすぎない。今日新しいものでも、明日は古いと言われる。それならば、たとえ古いと言われても、正しく堂々たるものを作ろう。」という意味のことを、何かの本で読んだ記憶があります。

さて、このような考え方を前提として、ご質問の新旧を考えてみますと、コントラストは、対立ではなく、調和を予想した統一ということになります。

古いものは、安定した力を持ってはいても、常に受身で、現実の社会機構から孤立しがちなものですから、もし、新しいものに特権というものがあるとすれば、それは、現実に社会に生きる場を与えられているがゆえに、この古いものの中に、新しい生命を見つけ出すことであると思います。

われわれの世界は、幸い、経済の法則にのみ支配されてはいませんので、明日廃車と決まった蒸気機関車が、最後の力をふりしぼって、悲惨な疾走を試みるのを、ただ傍観することのないよう、しっかりと、ものごとを見つめたいと思います。

2 設計の対象

わたくしは、建物の頂部の造形は、人間の手が空に描く最後の意志だと思っていますので、パラペットや屋根を大切にしたいと常も願っています。



倉吉博物館

倉吉博物館の設計にあたっても、外観の最も大切な部分、すなわち屋根は、「陽の光を跳ねかえし、うち続く屋根を遠望しながら、山陰の自然を考えた場合、屋根材として、将来のメインテナンスを含めて、もっとも信頼に足るものは、傾斜屋根であり、それも現地産の瓦を葺くことであろう」と考え、「出雲地方に古くから現存する民家の屋根に魅せられてからは、何とか美しい瓦を再現してみたいという身の程をわきまえぬ意欲につき動かされて」大量生産を前提としながらも、古来の登り窯による瓦の品質にいかに近づけるか努力いたしました。幸い瓦協業組合の協力によって、満足のゆく成果が得られ、市民にも親しみの持てる施設になり得たと思っています。

3 ポンピドー文化芸術センター

この新しいセンターは、恐らく、大阪で言えば、道頓堀や京橋でなら、これほど話題を賑わせなかったと思われるものが、たまたまパリ市街の中心部に建てられたがゆえに、都市と建物との関係を、改めて考えさせる契機を与えたわけですが、10年後か、20年後も、まだその建物自身新しくあり続けることができるか疑問です。近代建築が、時間の試練に耐えきれず、いかに実り少ない結果しかもたらさなかったか結論の出かかっている今日、ディテールに数々の苦心がはらわれてはいるものの、またまた、そのひ弱い骨格を露呈したのではないかと思っています。(右段へ)

「旧」を愛してこそ——文化としての新旧コントラスト

山崎　泰孝

人類の文化はすべて新旧のコントラストがあって初めて、生まれ発展し得るものと考えています。ですから私達が創造活動をすること自体、常にこの問題から逃れることはできないと思います。どんな条件、どんな部分にもそれぞれこの新旧のコントラストを考えざるを得ません。

そのとき私はまず、「旧」きものを十分観察・研究することから始め、それとのコントラストで私の夢を託した「新」しきものを考えることにしております。「旧」きものへの十分な理解と愛情なくしては、真にコントラストある「新」しきものは創れないと思います。

そのような意味で、ポンピドー文化芸術センターはきっとすばらしい出来事ではないかと思います。視覚的風景上でのコントラストがどこまで成功しているかは、そのような写真も見たことがありませんので判断しかねますが、あの落ち着いた「旧」い街並みと保守的な社会に、あのような「新」しいものが生まれたことは、エッフェル塔以来のフランス文化革命として大いに「コントラスト」していることと想像します。どこよりも厚い歴史と文化を持ち、「旧」さを愛する国民なればこそ、出来得た「新」しさではないかと思います。

それほどではありませんが、日本では京都の中京区に建つ新しい建物が一般的に水準が良いと思われるのも、住民の旧い街並みと文化を愛する心があるからではないかと思います。

それぞれ「旧」い文化を大切にしてこそ、真に「新」しい文化が生まれ得ると考えます。われわれ建築家にも、そんな作法が必要なときになっていると思います。

(やまざき　やすたか　福井工業大学教授　アズ・インスティテュート代表)

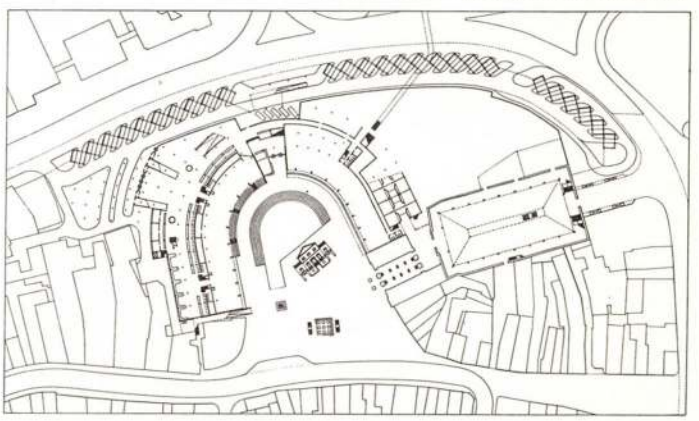
(左段より)

4 おもしろい例

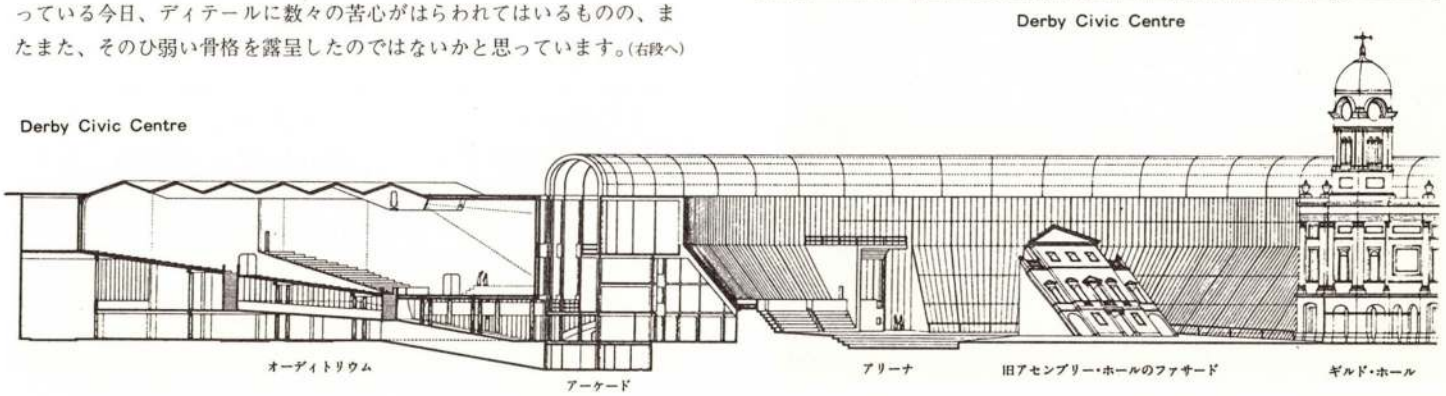
Derby Civic Centre 1970　設計ジェームズ・スターリング

旧アセンブリー・ホールの裏側は舞台になっていて、建物全体が、音響反射板の役割をはたしています。

(こすみ　とおる　KK日建設計大阪本社計画主管)



Derby Civic Centre



文化の重層のなかで

東　孝光

1 新旧のコントラストの把え方

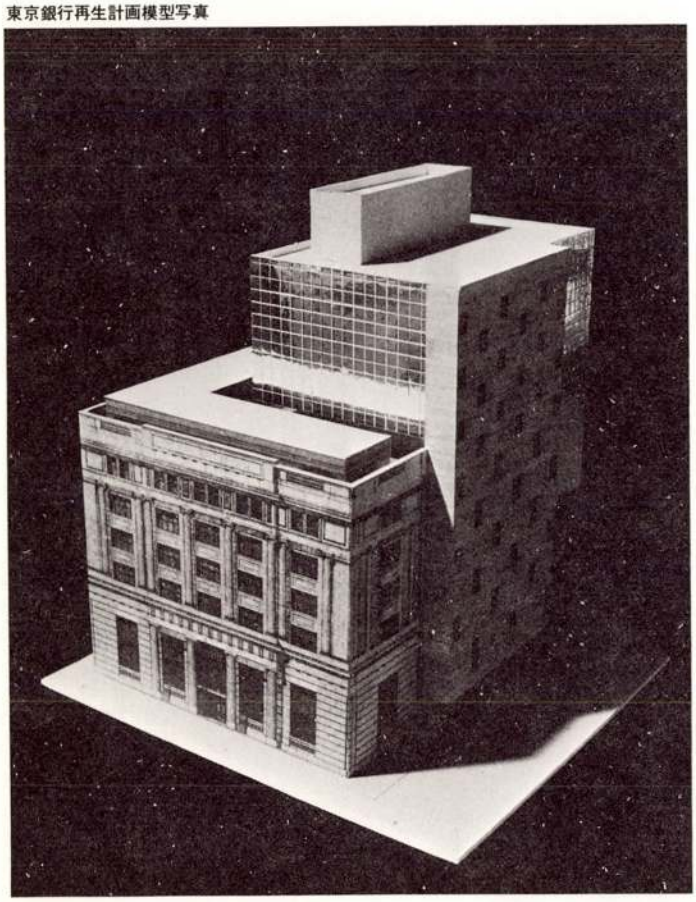
私の好きな建物の一つに、京都西本願寺の飛雲閣があります。ご承知のように、この建築は時代的には秀吉の聚楽第の遺構と伝えられているそうですが、真偽のほどは確かでないようです。しかしそんなことにこだわらず、この建築の池を前にした北側の立面を眺めていると、入母屋あり、唐破風ありのさまざまな様式が、しかも緊張感のあるダイナミックなバランスで組み合わされていて見事だと思わずにはいられません。人によってはデザイン過剰だとか、オーバーで日本的でないとかいろいろ言われそうですが、私は高く評価しています。そして、いつもこの建築の写真を見るたびに、様式という物指しだけで過去の建築を見、しかもその判定の明快なものをもって良しとすることの危険さを思うのです。一つの時代の様式が終わると、次に新しい様式が登場して次の時代が始まると、ついうっかり私たちは思い勝ちですが、それは歴史の読み過ぎで、一つの時代には、過去の先達が作ってきたいくつもの様式の成果が重層して存在し、その時代に生きる人達は、それと何らかの関係を結びつつ新しい空間を加えるべく生きたと見るべきだと思います。だから、様式の混乱とかデザインの氾濫とかは何も今に始まったことでもなく、要はそのなかで、私たちの時代が何か創造的なものを加え得たかどうかにあるのではないか、しかしそれも後世の歴史家にまかせれば良いことかも知れません。

2 設計の対象

下の写真は、1976年東京銀行本店の取りこわしに際し、私が乞われて提案した再生的保存案のラフ模型です。この計画では、古典様式の銀行を、当時考えられていたような表面だけ残して内部は新しくするファサード保存でなく、一部は内部空間を含めて積極的に残し、それにのしかかるように噛み合った新築部分がミラーガラスになっていて古い様式の壁面

（右段下へ）

東京銀行再生計画模型写真





西本願寺飛雲閣



東大寺三月堂

（左段より）

をいろいろに写し出す、つまり対比的な緊張関係のなかで、新旧のある関係をつくり出そうと考えた計画でした。この提案は、それを契機に活発な討議の波紋が拡がることを期待して投じた一石のつもりだったのですが、不幸にして不毛に終わりました。

3 ポンピドー文化芸術センター

そのような見方からして、パリのポンピドーセンターは不満があります。それは、古いものとの葛藤がないことです。つまり、古い街区のなかに、ただポンと投げこまれて新旧がただ放置されているだけで、そのどちらからも新しい関係の手が伸ばされそうに見えないこと。もっとも、古いパリの街並みなど蹴とばすくらいの、ものそれ自体の強さがあれば別ですが、途中の工事写真に見られたあの巨大な鋳物の鉄骨部材も、組まれてみれば弱々しい骨組みになってしまったようでがっかりしました。ただし、以上はすべて写真を見ての印象批評に過ぎず、本当は実物を見て判断したいところですが——。

4 おもしろい例

冒頭に述べた飛雲閣は、あるいは一つの時代、一人の作者によってデザインされた建築なのかも知れませんが、多分、明治の文明開化の波が押し寄せる前の日本の都市には、恐らく今以上の様式の重層があって、飛雲閣のような上等の建築ではないにしても、目茶苦茶に面白い木造建築が並んでいて上陸した異人の眼に映ったに違いない、そのような私の空想を刺激するものとしてやはり飛雲閣をあげておきましょう。そして私の好きなもうひとつの例は増改築の傑作としての東大寺三月堂。

以上いずれも最近の私の関心と興味の範囲内から回答させていただきました。乞ご容赦。

（あずま　たかみつ　東孝光建築研究所）

「郷」に入れば「郷」の空間をひき上げるものを

蓮佛　亨

1 新旧のコントラストの把え方

“地域に根ざし、利用者使用者の立場に立った建築づくり”をモットーとしている私にとっては目にあまる新旧のコントラスト建築が氾らんしている現在の世相を情けないと思う。憲法で保障されている「自由」と、建築そのもののもつ「社会的責任」とがかくも非整合な有様で発生しているのは現代資本主義の末期的症状と見るよりほかはない。とくに大都市部において混乱が激しく、地方や農村部へ行くと比較的おだやかである。資本投資の激しいところに奇をてらう建築が多いのである。地域住民や通行人の眼のとどくところに設計者のネームプレートを貼ることを義務づけ建築家設計者を世論にさらけ出すことを提案した人がいたが、よいことだと思う。

新旧のコントラストの問題は歴史的風土、景観やまちなみが残り保全されているところ（時）にのみ問題とされがちである。ごみ捨て場に鶴が降り立ったような建築を創ったと自負する人がいるが、この場合は問題にしない。私はそこに住む住民が長い眼で見てどうであったか、どう評価批判しているかが大切であると思う。隣接する旧建物との関連でのみ建築家や設計者は比較評価判断をしがちであるがまちがっていると思う。新しいものの対象物は地域という空間であって、ある特定の物件や建物、築造物だけではない。新旧のコントラストを問題にする場合それだけに多様で複雑であり、総合性を必要とし、評価は困難である。

2 設計の対象

手掛けた事例はない。つまりデザインで苦労し悩んだ建築や地域の計画の機会に恵まれていない。機会に遭遇したいと思っている。設問には充当しないかもしれないが昭和の初期に巨椋池（桂川・宇治川・木津川の遊水池）を干拓し多くの生息動物の命をたった、その霊を祭った大池神社の設計である(写真)。古い鳥居と玉垣、小さな社殿をおさめ込み、境内全体を修景し、社の関係者に大へん評価された。鎮守の森のように周囲は田畑であったから、苦労は少なかった。

3 ボンピドー文化芸術センター

ボーブールセンターはまさに奇想天外である。良し悪しを評する前にマルロー（地域保全）法をベタぼめしすぎることの良し悪しを論ずる必要があろう。自分の眼で見てきたからだ。古い様式や構造をただひたすらに残そうとするだけではなく、歴史的背景を尊重し、それを生かしながらも新たなる創造の試みを積み重ねてこなかったその反射的産物として造り出されてしまったきらいがあるように思う。何とも言いようのない怪物である。

4 おもしろい例

京都会館は見事に岡崎の環境におさめこまれ、しかも旧館との対応が見事である。設問があってから、その気になって観察してみたが、あまりおもしろい事例は見当たらなかった。岡崎や銀閣寺周辺にはホテルなどいかがわしいデザインの建物が建ち、歴史的環境を壊しているが、その9割は府外の設計者ときく。諸兄の留意を乞う。千年の都、京都ではデザインに緊張するのは事実であろう。三条通りは明治の通りと呼ばれる。だいぶんみだれてきたが、私のすきな通勤道である。三条大橋の上から見た川辺りに建つ目貫屋旅館は故三上氏によるものである。左隣りの屋根なみとうまく並んだ新築である。三条御幸町の有本洋服店は山本達哉氏によるもので、古い民家のならびにスッポリと入ってしまった新しい建築スタイルである。三条堺町の丸忠は根津氏によるもので、旧日銀（平安館）との並びにあり、好例であろう。

コントラストとは表現状況の対比差異が激しいものを言うのではなく、「新しく造るものが郷に入っては郷にしたがい、郷を空間としていかにひき上げていくか」に視点をおいて考えるべきだろう。（11月10日記）

（れんぶつ　とおる　京都建築事務所代表取締役所長）

バランスと対比

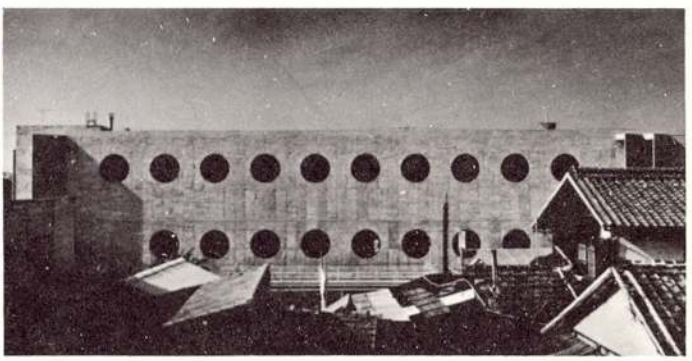
水谷　穎介

1 新旧のコントラストの把え方

日本国じゅう、新旧のコントラストばかりです。しかし、その「質」と、そうなってしまう行動の背景に問題があります。旧はダメ、新にだけ可能性を追いかけて、「変化」を価値として求めてきた考え方や、旧を消耗させ新を建設することで経済を循環生長させてきたわが国の構造に、今後どう対処していくべきでしょうか。

2 設計の対象

四国物産本社を設計の場合、コントラストというよりはバランスという



考え方で、周囲の民家や納屋群に対比させました。構造素材はコンクリート打放し、片勾配屋根に黒瓦色の炻器質ベンチレーション陶製ブロックをのせています。

最近、国鉄伊丹駅前計画で、伊丹城跡の遺跡保存に対応すべき設計をすすめています。旧伊丹郷村や酒蔵群・民家群の町並み保存的まちづくりの玄関口となるべく、再開発ビル群が並ぶ阪急駅前と対比させて、位置づけています。

3 ボンピドー文化芸術センター

「ノー」です。広々とした公園か田園のなかの立地ならば……と思います。裏側の色とりどりのパイピングの扱いが、とくに、無神経だと考えます。

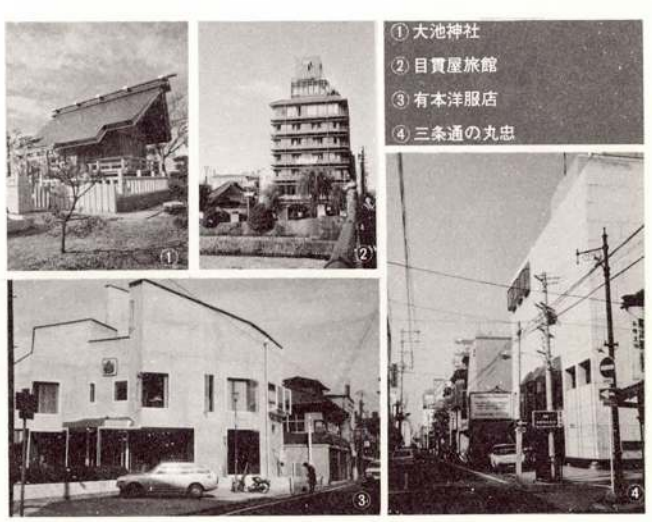
ただ、この建築体と周辺をつなぐ歩行者道路整備には感心しました。

また、工事中のこの建築体に、すでに多くのスタッフが活動しているのを見て、よくやっているな、と評価しました。内容やスタッフがきわめておそまつな、わが国のこの種の公共建築物に比べて、です。

4 おもしろい例

とくに、心当たりなし。

（みずたに　えいすけ　都市・計画・設計研究所）



衝撃のコントラスト

辻野　純徳

1 新旧のコントラストの把え方

新旧のコントラストの意味がよく理解できませんし、それが建築デザインの動き云々にかかわるとは思えません。識別できる陰影もコントラストなら、あのどぎつい黒と黄の縞の危険表示も目立たせるためのコントラスト。〝衝撃のコントラスト〟と題したクリストの布も「私はこれまでまったく見たことのないものを表したい」目的で、一時的な、永続性のない演出です。目立つためのコントラストの手法は、博覧会の建造物や看板など、一時的で取り外せることが可能なものにかぎられてきましたが、最近目立つことを目的の商業建築には困ったものも多いようです。新旧とは、それが様式上のことなら、元来建築では社会的、技術的な制約の中から、風土性と機能性を得ることはもちろん、より美しい表現への努力の永い時間の結果が様式となりました。技術的制約の幅が拡がるとき、折衷様式が、とくに近年様式的建築と評されるものは、歴史的様式を採用したのでなく、表現の手法として歴史の型に学んだものと思います。ただわが国では明治維新前の江戸鎖国の凍結の時代の優れた木造建築の時代から、明治期、西欧の技術・型を質量的にも一方的に急激に受け入れた結果の在来技術や文化との断絶が、西欧の連続性のある様式と違った疑似的様式を生みました。しかも近年まで続いた2階建までの町家と欧米資本主義の流入、さらに戦後の急激な経済規模の拡大が、都市ではそのひずみとともに、量的にも全く相容れない、コントラスト以前のものとなり、砂壊か保存かの関係しか生まれないのが実状です。
新旧のコントラストなどとは思いつかぬのが街ですし、街自身が新旧いずれを主とするか、従とするかを決めると思います。

3 ポンピドー文化芸術センター

見ていないので評価しにくいですが、雑誌などでみるかぎり、年輪のきざまれた周辺市街地と良き関係にあるとは思えません。前衛を好むパリであったとしても、あのエッフェル塔は、万国博におけるフランスの技術革新の成果を発揮して世界にフランスの力を誇るモニュメントであり、残されるべきか否かについては長年にわたるパリッ子の賛否両論の中に生き永らえ、結果としてはパリのものとなったもので、ポンピドー文化芸術センターにはそのような技術的・デザイン的革新も、必要とする社会的背景もないように思えます。また立地も、エッフェル塔が万国博の開催できる広さと、セーヌ河とその対岸のトロカテロ公園を含めた、当時のパリ市街地の端部であったに対し、ポンピドー文化芸術センターは、伝統的都市の中心部、その伏線として、あの美しい鉄の構造のパリ中央市場（1853・バルタール）を市民の足の確保を理由に取り壊し、ターミナルにするなど、一連の都市エネルギーの再生策の一つかもしれませんが、でも釈然としません。時の流れが、エッフェル塔同様パリーに同化させるか、はなはだ疑問です。

（右段下へ）



（左段より）

4 おもしろい例

新旧のカイザー・ウィルヘルム一世教会（旧教会1891～95・ロマネスク復興様式、新教会1961～62 E・アイエルマン）―左の写真―
西ベルリンの中心地・ランドマークでもあるこの教会は、かつては普墺・普仏両戦争に大勝し、ドイツ帝国を築いたウィルヘルム皇帝の力のシンボルであったという。第二次大戦で無残に砂壊された教会は、その八角の主塔を残し、それとはさんで六角の塔と八角の礼拝堂がガラスブロックの単純な箱として対比的に建てられています。雑誌で見たときは何の感動も覚えず、いやむしろ批判的でしたが、しかし実像に接し、第二次世界大戦で敗れ、国土、国民までできかれたドイツの生々しい傷跡を異邦人の私どもにもうったえる本当の記念碑と感動しました。

（つじの　よしのり　KK浦辺建築事務所）

込められた精神性

出江　寛

1 新旧のコントラストの把え方

新旧の建築では、その表現、要求される機能、使用材料など、異なったものとなるのは当然の帰結である。しかし、本質において、それに込められた精神性、感性が同質のグレードまで高められている建物同士では、無意味に対峙し合うのではなく、互いの個性を増幅しあうようなコントラストが生まれ得ると思う。

2 設計の対象

京都岡慶本社ビル
京都室町での設計であり、京都の街並みが持つ快いデザインエレメント（紅柄、れんじ格子など）をモチーフとしてフレッシュに表現した。



京都岡慶本社ビル

3 ポンピドー文化芸術センター

西欧の開口部の少ない、どっしりとした組積建築になれ親しんだ人々にとって、軽み、透明感、活気、開放感などの印象を与えるこの建物は、その精神性に今までとは異なった触発を与える起爆剤となり得るであろう。しかし、この建物はあまりに装置的、博覧会的であり、建築的には未消化な部分を残すように思われてならない。

4 おもしろい例

旧京都会館（前川国男氏）
昭和10年という時代において、京都の街並みの中に出現したスーパーグラフィックの壁面が、町家の繊細な意匠との間に見事なコントラストを生み出した。
旧京都朝日会館（石川純一郎氏）
京都の街並みの中に出現したスーパーグラフィックの壁面が、繊細な町屋の意匠との間にきわだったコントラストを作り出した。

（いずえ　かん　出江寛建築事務所所長）

景観の中でのコントラスト

瀧　光夫

1 新旧のコントラストの把え方

街を歩くと、新旧のコントラストよりは、新々の齟齬や自然景観と新の不調和ばかりが眼に入ります。20年ごとに造りかえる伊勢神宮の例からしても、永劫不滅の旧と、それをのりこえようとする新といった新旧対立の意識は伝統的にキハクなのではないでしょうか。ものごとの違いをハッキリさせて決着をつける契約（コントラクト）の思想とちがい、なんでもウヤムヤ、なしくずしにしたがる単一同化志向の民族性もあって、新旧のコントラストらしいものは生まれにくいのでしょう。

2 設計の対象

新旧のコントラストをデザインテーマにするような仕事には今のところ当たったことがありません。まわりの雰囲気や土地柄には気をつかっているつもりですが、歴史の古いこの国で、デザインの手がかりになってくれるほどの手ごたえのある旧は、（それに新も）意外に少ないのではないでしょうか。

ですから心がまえとしては、こちらがつくる新が、いずれは旧になるのだから、そのとき、となりやまわりにくる新が意識せざるをえないほどのものを創っておこう、ということになります。

3 ポンピドー文化芸術センター

古い街並みを随分きびしい規制で守りながら、公募で超モダンをハメ込むあたり、応募案も案なら選ぶ方も選ぶ方、そして案の通りに建ててしまうところ、やっぱりパリだなあ、というのが感想です。ああいうのをガッチリ受けとめる古いものが、堆積して残されているからできることでしょう。それにしても、こちらのメタボリズムが大量消費時代の副産物みたいにうたかたのごとく消えかけているとき、その決定版がパリの中心に出現し——一つの美学として自己主張し——出来たとたんにもうメタボリの「古典」化しはじめている点（良し悪しは別にしても）、あちらの伝統を感じさせられます。たしかにメタボリデザインは、ペラペラゴミゴミのわが国では一向に見ばえがしませんでした。

4 おもしろい例

新旧コントラストの不愉快な例ならいくらでもあげられそうですが、おもしろい例はあまり知りません。少し観点のちがった例2題。

i）ロンドンのさる通り。大きな館のそばにある馬丁の長屋に作家、俳優といった金持ちの文化人が住みついて（馬屋がガレージにちょうどよい——古い馬屋に高級車もしゃれている。内部のスケールが小じんまりして思考に最適。袋路地は静かで雰囲気がある。）、大通りに面した館の方は中を区切って貧乏人のアパートになっている由。写真は、その今や高級住宅地とされるもと馬丁街。時代とともに主客が転倒し、形はそのままで機能の方が変わり、変わったとたんにデザインが全く新しい意味をもってくる点、単なる形態上のコントラストとちがったおもしろさがあります。

（右段下へ）

高級住宅になった馬丁長屋（ロンドン）



昔の出来事に新しさを感じ

太田　隆信

新しいもの、旧いものについて、さまざまな断片的な思いがあります。たとえば '73年のオイルショック以前の出来事、具体的には万国博等、身近なことだけにかえって、ある種の懐かしさとともに、強烈な旧さを感じる一方、幕末嘉永以後の各藩の動き、政局の混迷の中に、今日の世界情勢のミニチュア版を見る思いがして、身近なものを感じたり、また、江戸初期の世の中、人々の生活に、これからの低成長期の生き様を学び、改めて、明治以来、私達がとにもかくにも一生懸命に築きあげてきたものが、このところ急速に色褪せてゆきつつあることに、驚いてみたり……、といった調子で、何が新しいのか、何が旧いのか、そのこと自体が、混沌としています。こういう時代には、総じて身近なもの、ほんの昨日の出来事に、旧さを感じ、それ故、一層コントラスト等が問題になり、一見旧いもの、昔の出来事のなかに、かえって新鮮さを感じるのでしょう。前段のたとえは、あくまでも、そのうちの一例として、受け取っていただければと思います。

ポンピドー文化芸術センターのこと、確かに、大変勇気ある試みだとは思いますが、十分に計算された試みというか、石造の街の中に許容されうる範囲内の出来事だと思うのです。というよりは、きわめて均質な面的広がり、伝統の中に、異質なものが一点存在したとしても、それは、それだけのこととして風化していくと思うのです。このへんのところが、どうも島国育ちの私達にはわかりにくい、いや、いつまでたってもわからない。ポンピドー文化芸術センターの新しさについて、云々する場合、論調がどうしても、日中戦争時の、徐州陥落、漢口攻略といった調子になってしまわざるをえないのは、残念なことです。私達は、どうしても面的な広がりの意味を、ついに理解できないのでしょうか。なおこの建物、近代建築には違いありませんが、同じフランスのコンコルド、ダッソーミラージュほどには近代的でなく、'20年代の節操を保っていると言えましょう。そのあたりにも、この国らしい用心深い街造りの手法が感じられて、好ましく思います。

さて、日常の仕事についてですが、私達が設計をする場合、常に、旧いもの、敷地周辺の以前からの景観・環境をどう認識するか、そしてその中にどう計画するかというところからスタートするのではないでしょうか。今回のテーマの、旧いものとの関係は、決して、コントラストというような、強烈なものでも、非日常的なことでもなく、きわめてありふれた平凡なもの、日常茶飯のことでありたいと思っております。その中でどれだけ丁寧に密度をあげて計画を進めてゆくことができるか、これからの仕事は少なくとも、こういったプロセスの積み重ねでなければならないのではないでしょうか。

具体的には、やはり東京の京橋高島屋の増築等、やや、旧い話でありますが、大変みごとなものだと思います。このところ、各種の市街地改造計画・ターミナル計画等が竣工しつつあるにもかかわらず、これといって見るべきものがなく、やはり高島屋の増築・村野さんが出てきてしまうのは、残念なことです。新旧のコントラスト、世代論として、ここいらあたりのことに焦点を合わせて論じてみる必要があるのかも知れません。

（おおた　たかのぶ　坂倉建築研究所）

（左段より）

ii）変貌発展をつづける大東京のちょうど中心に、大きな田圃や森が残されていて、毎年古式豊かに田植えが行われていること。公害国の中心と聞いて訪れたエリザベス女王が、狐や鴨も沢山いますとの陛下の説明に眼を白黒されたとか。たしかにこれはヨーロッパ風の都市の考え方からは奇異なことのはずで、国の中心に田園がある安心感からか民草こぞって田をつぶし山をけずって新、新もっと新とはげんでいるのですから、新旧のコントラストよりも景観と新との不調和が目につくのもムリのないことかもしれません。

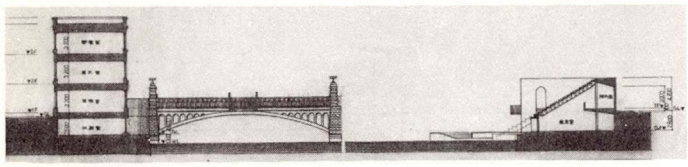
（たき　みつお　建築家）

古いものから新しい意味性を引き出す

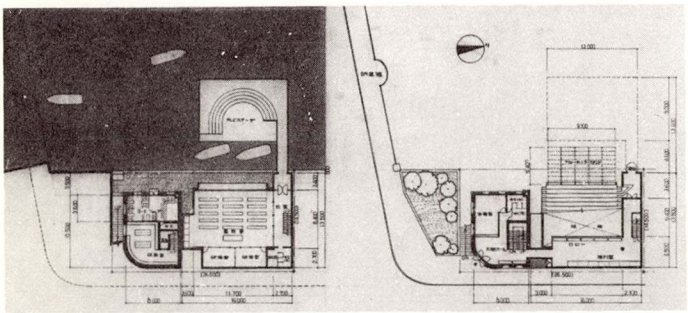
牛山　勉

名古屋駅からほど遠くない納屋橋のたもとに四階建の小さなビルがある。大正生まれのごくあたりまえの古ビルである。橋の拡幅工事にともなって、近いうち名古屋市の手によって撤去される運命にある。名古屋市郊外には「明治村」があり、大小の明治期の建築が移築保存されているが、“大正村”という話題はない。たとえあったとしてもこのビルはその候補にならない凡様な小ビルである。

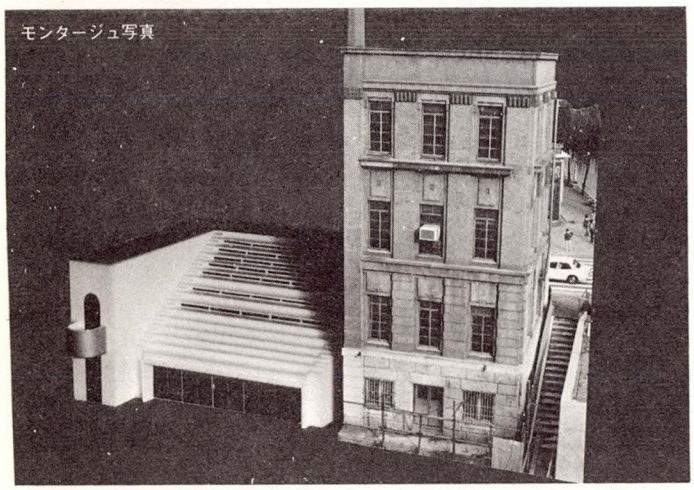
昨年度の建築学会コンペにあたって、この古ビルに眼をつけた。〈風土と建築、その遺産、その継承〉という統一テーマの中で、「それぞれの地域の人々が、当該地域の風土と建築文化とのかかわりあいを知るとともに、みずからが居住する地域の住環境を形成していく上で住民が利用するセンターともなるべき建築資料館」の提案ということであった。



旧館断面図　　新館断面図



配置図・地階平面図　　1階平面図



私どものスタッフと協同してモンタージュ写真のような提案をした訳である。名古屋市には先ごろ学会賞をもらった山崎さんの善光寺別院がある。旧い要素を一度バラバラにほぐして、山崎流に料理しなおしたすぐれた事例である。

私どもの場合は、旧い要素をそのままにして、新しい要素を附加するだけで別の意味性をよみがえらせることが可能だ、という提案である。

大阪にはかつて、製油会社の倉庫を改造したギャラリー「グタイ・ピナコテカ」があった。その魅力にひかれて私もたびたび訪ねた一人である。

新しいものと古いものという区分けは、そう単純な作業ではない。

凡様に見える古いものに、ある切り込みを与えて、新鮮な意味性を引き出す作業は、このような時代において、さら地に設計するよりも重要な仕事ではないかと思っている。　（うしやま　つとむ　ウシヤマ設計研究室主宰）

容積のコントラスト

徳岡　昌克

1 2 新旧のコントラストの把え方・設計の対象

新旧のコントラストが対立によって一種の調和を形づくり、その建築環境が快い緊張感を醸しだせば、もっとも望ましいと思う。様式、材料、色彩等の異なったすぐれた建築物に隣接して新しいものを設計する機会にはなかなか恵まれないので、旧いということを、既存の環境、建築群として把えて、新しく位置づけられるデザインがいかにあるべきかと考える。コントラストを形状や色彩について考察するまえに、既存環境に対する新しい建築物の容積や規模を気にすることが多い。新旧のコントラストをねらうよりは、新しい建築物の容積が、既存街区の環境を壊すことのないよう、どう、なじみこみ得るかと考える。このため、容積における新旧の対立にふみきる条件としては、新しい建築物の立地条件中、たとえば都市計画で拡幅される道路、公園、河川敷、高架構築物や鉄道軌道等、建築の尺度をこえた土木的条件が設定される場合である。ここでいう土木的尺度の環境条件がそろわない場合でも、容積的、形体的、色彩的にコントラストを持つ場合ももちろんあるが、原則的には新しい計画によるオープンスペースの確保やセットバック手法によって天空光をより確保して既存街区に新鮮さをあたえることが肝要であり、これを媒介として新旧のコントラストを計画しようとする。また既存の控えめな尺度の街区にあっては努めて壁面の細分化や陰影をつけることにより、広い壁面構成によるデザインを避けるよう心がける。周辺環境がきわめて煩雑で、種々雑多な形や色がでたり、架空線、配管等で埋められたような立地条件下では、意図的にシンプルで秩序づけたデザインを心がける。

3 ポンピドー文化芸術センター

実物をみていないので、G.A.の写真によるが、建築物に格調や優雅さを求める世代に属するかして、この建物は、その要求に対するフレキシブル性を求める設計の意図は理解できるとしても、好きな建物ではない。ただ相当な容積の建造物と見受けられるので、既存街区の建物の規模や、都市のたたずまいからしていわゆる壁面構成のデザインはむずかしく、下手をすると、より一層環境破壊になりかねないように思う。この敷地の北側に大規模な住宅再開発事業が提案されていると聞くが、巨大建築群の出現による、この界隈のヒューマンスケールの喪失が危惧される。昨年の夏、ワシントンD.C.にG.オバタの航空宇宙博物館をみたが、石貼りとガラスのプレーンな巨大な壁面構成からは、全くヒューマンスケールが感じとれなかった。このポンピドーセンターの立地条件下、環境条件にあっては、この建造物のフレームや、避難階段や配管類による壁面の細分化や透明性をもったファサードによって、その容積、スケール感を控え目にすることに成功していれば、このようなむずかしい立地条件下におけるデザインの一手法といえるかもしれない。ぜひ一度、実物をみて確かめてみたいものと考えている。

4 おもしろい例

ボストンのI.M.ペイのジョン・ハンコック・タワーはその外壁のガラスの破損で随分と話題を提供しているが、私の訪れたときは一応修理もできていて、とても美しい建築物であった。ブルーのミラーガラスに被われた、この巨大な超高層ビルは、遠景からはきわめて鋭く優雅なデザインで雲のうつりかわりを、近景では古い街並みを、そのガラス面におとしていて、きわめてヒューマンスケールな建築環境を構成していて、その巧みなトリックには驚かされた。フィラデルフィアにおけるミシェル、ジョゴラの一連の作品も興味深く思っている。

（とくおか　まさかつ　㈱竹中工務店九州支店設計部長）

風化の図式

遠藤　剛生

1 新旧のコントラストの把え方

テーマの中に記述される異質的な対照関係と同質的な統一性という、全く内容を異にする二つの事柄が同時進行する状況は、何も建築だけに限られた問題ではなかろう。

一つの新しい物が作られ古いものが風化する過程には、一定の図式が存在し、常にくり返されている。

異質な形式や内容（生活、文化、風俗、習慣等々）を導入する方法は、短い時間の間に大きな刺激と変化を伴い、いとも簡単に古いものを乗り越える力はある。しかし、常に新しい事に対する疑問と薄いといわれる影がつきまとう。

また一方、同質性の中における変化の軌跡は、改良、改善という言葉が示すように、長い時間の幅の中でしかその変化を窺うことはできない。

これら二つのあり様がからみながら、新しい物が古い物を乗り越えている。そして、新旧の断絶の距離が大きければ大きいほどにそのコントラストはより明瞭なものとなる。

これら一連の事柄を、一人の作家の上に置きかえて見た場合、彼の関わる建築的事象のすべてを、否定を前提とした立場が、図式として成立する。そして、より遠くに、よりらしさから外れ、新しさと独創的であることを望んでいたとしよう。しかし、現実は、多くの先達の力によりつみ重ねられた建築的土壌の中に根をもつ限り、やはりこれらの土壌の中の養分を吸いながら芽ばえた芽であり、独創というほどに独創でもなく、新しいというほどに新しくもない。異質な事柄を導入し虚構の組み立てがそこにあろうとも、手法が同一であれば、もはや新しさなど取るに足らないものとなろう。しかし、個人に集積された層の厚さは他にかえがたく、もし明瞭に新旧のコントラストを描く力があるとするならば、まさにこの辺りではないだろうかと思う。

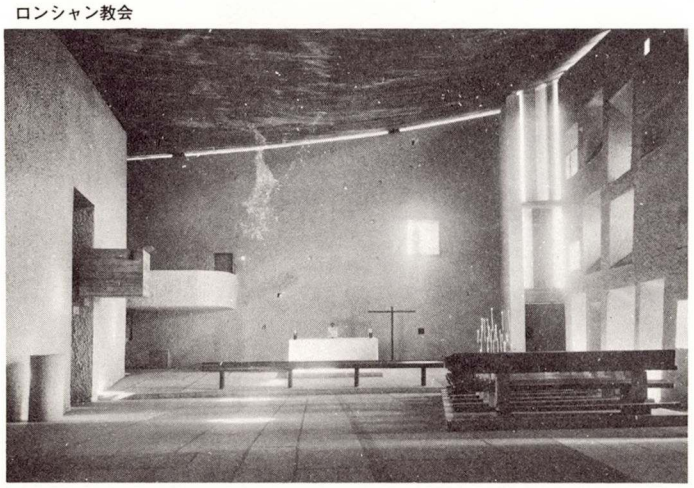
3 ポンピドー文化芸術センター

パリの町並みとポンピドー文化芸術センターに限って言うならば、建築が成立した時代と背景の違いから判断して、当然この程度の落差は生じるものと思う。好き嫌いは諸個人の問題であり、解答も多様だろうが、私個人の感じでは、新旧の差によって生まれる空間の緊張感と相互の関係から派生するダイナミズムが楽しいと思う。しかし、これは単なる写真のみによる皮相的判断であり、内部空間、機能、等については、一切コメントできない。

4 おもしろい例

「新旧」という言い方は当たらないが、ロンシャンにおけるコルビジェーの設計による建築のすべてに対し、十字架背面の壁、右上部にシルエットを浮かばせる聖母マリヤの古い像があるが、この像はコルビジェーの設計しなかった唯一のものとしての出逢い。 （右段へ）

ロンシャン教会



新しい空間秩序のなかで

佐々木　桂

1 新旧のコントラストの把え方

建築デザインにおける旧さ、新しさは定常的なものではなく、不断の時の移りかわりの中で、その時点での社会理念や人々の希求するものを、設計者の鋭敏な感覚とイデアのフィルターをとおして、新しい空間秩序として体現化しているか否かで判断すべきものと考えます。

3 ポンピドー文化芸術センター

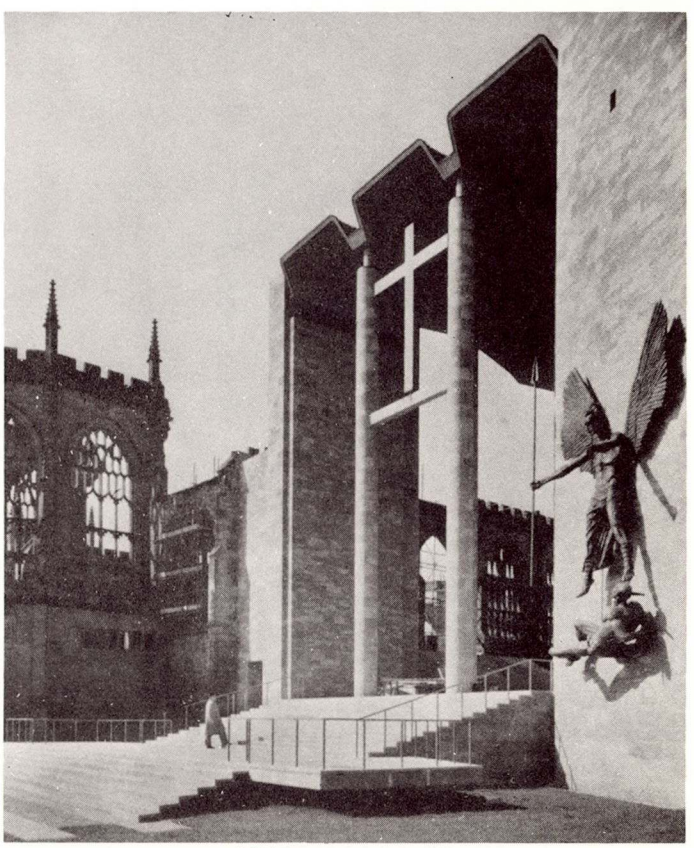
このセンターが現代の芸術と文化の活動や情報交換の場であること、したがって現代および未来に生きる建物であって記念碑的なものであってはならないということ、またパリの様式的な過去の建物と同軌跡のものにはしたくないという設計者の意図はよく理解できます。

ポンピドーセンターがそのエレメントの緻密さにおいて十分ユーザー達を楽しませ、建物単体としても美しく、そして良きにつけ悪しきにつけひとつの完成されたパリという市街環境の中で、それが違和感なく溶け込み、なおかつその存在によって環境そのものにヴィビッドな活力を与えているとしたら、それは素晴らしい建物だと言えましょう。私は実物をみたわけではないので正確なことはわかりませんが、雑誌の写真でみる限りでは、そのようには思えないというのが正直な感想です。

4 おもしろい例

大都市で盛んに売り出されているお墓のアパート。あの小さく区画されたコンクリートのマス目の中に仏壇を仕込んで何とも感じない施主および設計者の発想のドライさは面白いというようなものではなく、怖しさを感じます。

（ささき　かつら　KK日建設計インテリア設計主管）



イギリスのコンベントリー教会

（左段より）

イギリスコンベントリーの教会における、残されている古い部分の建築と新築された建築空間の良さが、この教会の歴史を語っている。

（えんどう　たかお　遠藤剛生建築設計事務所）

調和のある対比

横山　誠一

長い歴史の流れのなかで、人々は常に建築を造り、街を造ってきた。建築の生産は歴史とともに連続した行為であり、留まるところを知らない。その時代それぞれに、時代の要求に応じて建築は造られてきた。建築を構成する材料や構法、デザインもその時代のなかで選択される。歴史の流れにしたがって、旧い建築と新しい建築が連綿と繋がり、混在して時代は移ってゆく。

建築の制作にあたって、古い時代の様式に合わせてつくることも、また、反発したり、コントラストを意識することもないと思う。その時代に、私達の現在の歴史の断面で、本当に良い建築を造るつもりであれば、新旧混在しても対比としての不調和になることもない。良い建築だけが生命を失わずに街の個性を形成し、歴史に参加することになる。

最近は、古い建築や古い街並みの保存が論議されている。そのこと自体は悪いことではないが、ただ古いということだけで保存を叫び、新しいからといって貶すこともない。古都の落ち着いた寺院も、新築のときは華やかなものであり、保存を議論されている古い建築も、竣工したときは世間の注目を集めた新建築であったに違いない。良い建築であれば、年月を経て親しまれ、良い環境としての地位を獲得してゆくのである。真剣に制作され、本当の建築であれば、歴史の流れに乗ることができる。建築は連続した流れにあり、私には建築をとくに新旧のコントラストとして把える気持はない。

京都の街で、黒い瓦とれんじ格子の２階屋の続くなかに、新しいデザインのガラスの大きな喫茶店が挟まっているのをよく見かける。新旧混在して異和感がない。対比はあってもよく調和して、一層京都らしさを醸し出している。ヨーロッパの古い街並みにも同じような例は多い。竪長



の窓に両開きのガラリ戸がついており、さらに鉄格子の手摺で受けた、窓の連なる石造の建物、そのような古いアパートの１階に、シャレたモダンなショップフロントを発見する。新旧のコントラストとしてみれば、強い対比をなしているにもかかわらず、旧いものは新しい部分により歴史の重厚な重みを感じさせ、新しい店は旧いなかにあり、より一層新しさを引き立たせている。対比による統一感が良い。なによりも、街並みが混乱することもなく、新旧混在して確実に街の個性を際立たせている。

パリの中心部の古い庶民的な居住区であるボーブール地区に建てられたポンピドー国立芸術文化センターが論議をまき起こしている。実物を見ていないので、実感としての批評はできない。ただし、建築家の目で特別に驚くべきものではないように思う。完成度は別として、いろんな点で新しい模索の示唆を含んでいる。エッフェル塔建設のときも、同じような賛否の議論があり、反対を押し切って建てられた塔が、今では即パリを象徴している。京都やパリのような由緒のある古都に、ことさら前衛的な建築の現れることが興味深い。

（よこやま　せいいち　KK安井建築設計事務所取締役設計部長）

実務から―表面性を狙って

神出　津嶺雄

1 新旧のコントラストの把え方

日経アーキテクチュア誌は毎号、表紙に航空写真で都市の一部品としての建築を、表紙裏に高級建築のインテリアをカラーで、作品頁にまとまった公共・商業建築物をプラン付きで数点、さらに中級の住宅一軒を選んで詳しく紹介しています。なかなか面白いし考え方によってはうがった誌面構成です。もちろんすべては建築なのですが、現在の実務としては、建築物という一つの言葉で捉えるに少し難しいほどの建物群としての種類分けがあり、建築技術者が分類されているわけです。

設問の新旧のコントラストにしましても、建築全般での議論となりますと抽象的でかつ有史以来の問題でもありましょうから、私自身が現時点で実務として目指しており、かつ建物として実現する可能性のある中規模の商業建築のジャンルに限っての考察に止めます。

最新のもの以外はすべて古い、少なくとも現在的な意味で様式化されているという単純な見方をとれば、最新の表現、しかも前述の意味で摂取可能なもの――それも次の瞬間に古くなるのですが――その中でも広い範囲をカバーできる実際的なテクニックは何か、それは今のところシーザー・ペリを中心とするシルバー派（P/A誌 OCT. 76）のものかと考えています。

「単純な材料」で「今までの建築」をベタに覆うという最終的な出来上がりは、その覆う面が古くさければ、より面白く（パシフィックデザインセンター）、この設問への答えになるかも知れません。また、東京のアメリカ大使館のようなプレステージビルにも活力を注入できる技法のようにも考えられます。

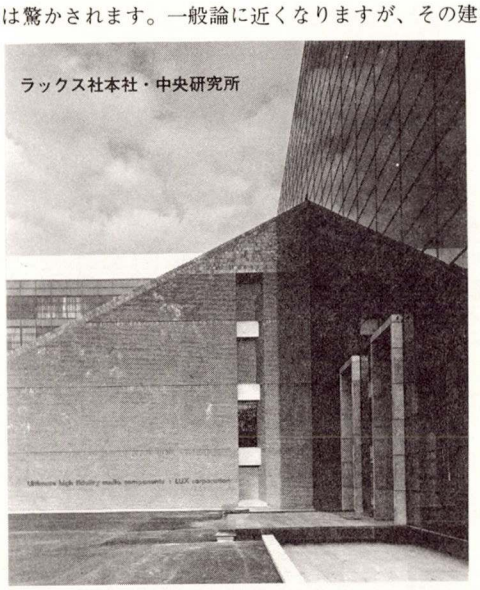
2 設計の対象（下の写真参照）

クライアントがその対比を求めました。しかも古さについては煉瓦をその表現として具体的な指示があったわけです。企業として50年の歴史があり、しかも最新の技術の高級オーディオ機器メーカーたるべき新しさの二面性です。もともと企業というものはすべて、そうなのでしょうが、それが建物の第一のテーマになるのは珍しいことです。

古くさい斜面のレンガ壁と、それを取り囲むフラットなガラスと石というわけですが、レンガ壁を全く平坦にするまでには踏み切れず、いささかレンガ固有の雰囲気を残したのは心残りです。もっともこれは一種のタイル貼りですから、根本的には矛盾に満ちています。

3 ポンピドー文化芸術センター

物事の徹底さですばらしいと思いますし、とくにあのクリヤーな彩色には驚かされます。一般論に近くなりますが、その建築のもつ雰囲気は現場で佇んでみないと解らないものですから何とも言えません。もちろん周辺の街並みとの関連は議論しつくされた物なのでしょうけど、本来の文化センターとしての建築性、とくにインテリアの方のそれはどうなのでしょうか。実物を見たい建物の一つです。



ラックス社本社・中央研究所

（かみで　つねお　設計事務所ジェネラルドラフティング）

風景の中で

中村　銀之助

1 新旧のコントラストの把え方

日本国内に限った歴史を考えてみても、法隆寺、東大寺、三十三間堂、大阪城等々の建造物が竣工したときの新旧のコントラストは、全く当時の人々にとって驚異以外の何ものでもなかったであろうと思える。ある場合には現在のわれわれが想像し得るよりもさらに強く激しいショックを与えたものもあったであろう。しかし歴史の歳月はその強いコントラストを風化させ、一つのおだやかな流れの中に同化させてしまった。近代建築術という全く異質文化が移入されたことすら時の流れは柔らかく処理してしまっている。これらのことから見れば、現代われわれが相当強いコントラストを新旧建築間に与えたとしても、何十年、何世紀かの後にはおだやかなものになると言えるであろう。しかし現代は素材、工法のあまりにもめまぐるしい変化があり、その評価の定まらぬ間に起こる必然的なコントラストが、現時点に建築を使用し、観賞する人々に対してどのように作用するかということを、十分に考慮すべきことである。新旧のコントラストを考えるときまず大づかみに見て二つの場合がある。その一つは比較的隣接する建物群をのみ対象とするとき、今一つはもっと大きな範囲、一つの都市群として把握する場合である。第一のケースでは、さほど神経質にあつかわなくてもよい場合が多々あると思う。問題とすべきは第二のケースである。そこに居住する人々が、その風土を愛し、その街の雰囲気に誇りと愛着を感じているときには、まことに慎重に事を処理しなければならないと思う。私は建築とは、それ自体が独立して存在するものではなく、立地する空、風を含む自然と深く結びついて存在すると考えている。この考えに立脚して、そのコントラストは可能な限りにおいて、穏やかに処理されるべきものと願う。おだやかなコントラストの間に鮮やかな個性を発揮する、この一見、二面背反することをどのように融和させ得るかが今後の私にとって必要な課題といえよう。

2 設計の対象

現在、沖縄の那覇市近郊に半公共性のある建築を造るべく設計中である。沖縄という風土、歴史をふまえた上で、外装材料に伝統的製品を使用するのも一法かと考えている。

3 ポンピドー文化芸術センター

1976年11月、たまたま開館１ヵ月半前のポンピドー文化芸術センターを見るチャンスを得た。パリの伝統的な街並みの中に突如として現れたという感じのこの建築物を眺めたときのショックは、全くのところかなり強烈なものであった。私としては、やや逆なでされたような感覚を持ったことも事実である。しかしここまで徹底して異質なものをぶっつけ合った場合どうなるものであろうか。一つの部屋の中にロダンの作品と、ジャコメッティの作品を並べて置いたときのことを考えてみる。その二つの作品の世界観の差異によりそれぞれ独自の雰囲気を空間に固持することによって、おたがいに相手を意識しないであろう。これと同じような印象を与えることにならないだろうか。このコントラストに満足するものならば、この新しい作品を今後とも新しい状態に保持してゆくという義務があるといえよう。

4 おもしろい例

西ドイツのフライブルグは中世の趣を完全に残す小都市である。その街の中心の教会広場に面して新築されたシュナイダー百貨店は、全く見事にこの古い街にとけ込んでいる。外装、スカイラインのマッスとしての処理は、周辺の状況に何ら異和感を与えない。しかるにディテールを見るに、そこには新しい思想、新しい素材がふんだんに盛り込まれ、おだやかではあるが、はっきりとした主張を示している。鋭くはないが明確なコントラストを描く良い事例である。(右段の写真)

（なかむら　ぎんのすけ　大成建設㈱大阪支店設計課長）

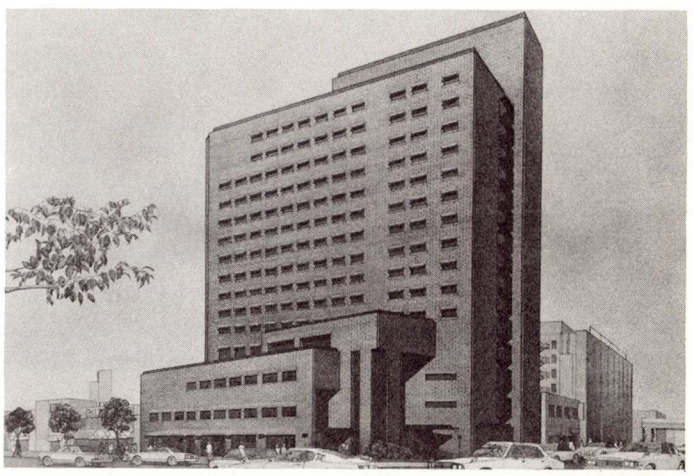
時代に生きぬく

浅井　　謙

建築の計画、およびデザインは絵画や彫刻のように単にその時代の社会的、精神的背景をベースとして出てくる様式のみではなく、その時代の価値体系をもととした技術革新による新しい材料の選択によっても、左右される。しかし、戦後の日本の建築の歴史を見てもわかるように、一時的に新技術による新材料や工法も使用されるのは確かであるが、それも時代の時間的経過というフィルターにかけられると、そのものの本来の姿が浮かび上がり、自然淘汰され、本物のみが残ってくると思われる。ユニークさが時間が経過すると陳腐なものとなる危険性は大きい。昔は材料が限定されたがために町全体として同一材による調和のとれた町が形成されていたのにくらべると、現代は“豊富による貧困”と言えよう。都市全体を考えた場合、この新旧のコントラストは、今後も続くであろうし、救いようがない。また、旧いものがすべていい建築でもない。ただその街並みを創り出しているのはわれわれ建築家であり、心ある数少ない建築家によって少しずつでも、街全体の調和が考えられ、街のあるポイントに、新旧の調和が出現すると、そのことで一般の人々をも刺激し、理解されて、少しでも町に広がっていくことを願う。時代に生きぬくデザインとは、根本的に、人間が住み、生活することを前提とした、思いやりや暖かみがあるかないかによる。そして新しい技術革新にまどわされず、人々が美しく見え、楽しくなる街にするため、日々努力しているつもりである。

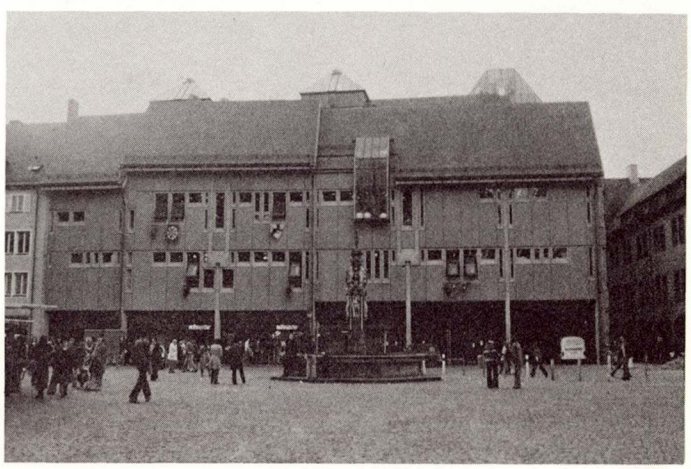
今、私のもっているテーマも“時代に生きぬくデザイン”が、そのうちの一つであり、材料についても、旧くからあった“レンガ”が持っている温かさが好きで、レンガをいかにうまく使いこなし、街を人間味のあるものにするか、を考えている。

（あさい　けん　㈱浅井建築設計事務所）



梅新プラザ

シュナイダー百貨店



都心の長屋

中筋　修

最近ふとしたことから迷いこんだ大阪市内の焼け残りの長屋群にとても興味を持っています。
「新旧のコントラスト」ということを、よい意味にも、悪い意味にも考えさせられることが多いので、本稿はこれをテーマにしたいと思います。それは、南区の東および西賑町、北桃谷町、東区の竜造寺町のあたりのことです。
写真①は写真②のビルの上から、雪の日に見下ろしたものです。かなり大きな街区がまるごと、3月14日の空襲にも焼かれずに、戦前の生活をそのまま今に残している様子がよくわかります。
と同時に、左手上方に例の谷町再開発のアパート群が巨大な壁となって、この細やかな街を囲いこんでいる様子が印象的です。
この長屋群も、いつかは消滅する時がくるのでしょうが、少なくとも、10年や20年は共存してゆかねばならないのはわかりきったことなのに、そのことを全く無視したデザインというのは、一種の暴力のような存在だと言えます。
このアパートの12階の2DKに住む住人と、この長屋の一画に住む住人とは恐らく、似たような家族であるだろうことに気がつくと、全く奇妙な気持に襲われます。
写真②は同じ雪の日にとったものですが、7階建のビルと、この古い街並みが何とも対立的に不思議な調和を見せているのが印象的です。
それはこの街区のメインストリートと、長堀通との交点にランドマーク的な要素を持って建っていることと、材質感が似通っていること、スケールを少しおとす工夫をしたことなどがその理由としてあげることができると思います。
写真③④の暴力的な存在は何とかならないものでしょうか。
考えてみると、都市の歴史というものは、休むことなく続けられる再開発の歴史ともいうことができると思います。ということは、常に時代も、価値観も異なる建物が、隣接して共存しなければならない宿命のようなものを持っているということではないでしょうか。
対立的に調和することも可能でしょうし、すでに存在しているものに対して、暴力的であることだけはさける工夫はいくらでもあると思うのです。
写真⑤の長屋の共同洗濯場である井戸のそばに、ぽんと置かれた全自動洗濯機が、かつての井戸と同じように機能しているユーモアを評価する必要があると思います。

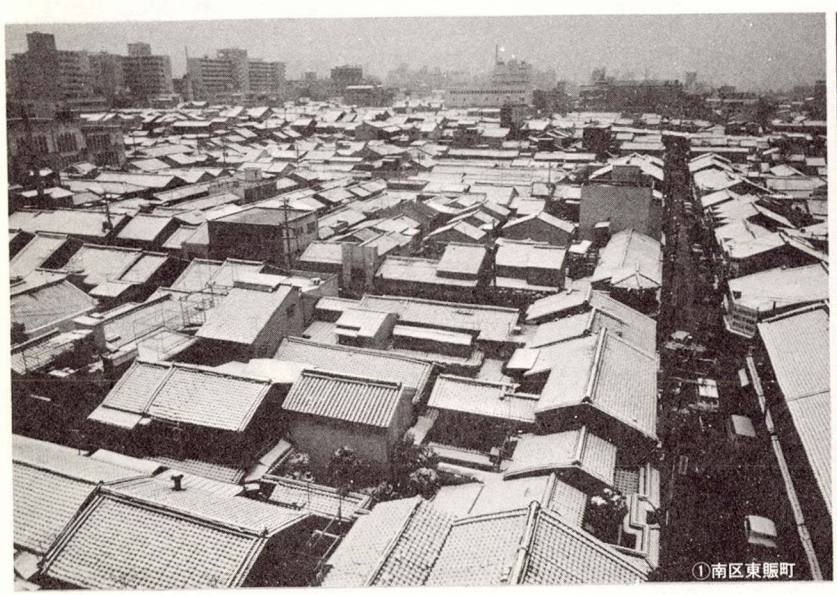
（なかすじ　おさむ　安原中筋建築研究所）

中之島公会堂や図書館にフーラードームを覆せたとき

渡辺　豊和

新旧のコントラストといっても余りに漠然としていて、いかなる答えを出すべきなのか良く判らない。しかし敢えて明治、大正期の様式的建築とガラス・ボックスの近代主義的建築とのコントラストということで考えてみる。
二、三年前、東孝光氏が「新建築」誌上で1スパン保存という概念を提出していたことがあったが、その提案の是非は別としても、保存された様式的建築のエレベーションを、後側に建つガラス・ボックスのビルとのコントラストはそれなりに緊張感を漂わせており、歴史家の保存とは違った、建築家ではじめて考えられるアクティヴィティを示してくれたことがあった。
最近、建築設計屋や都市計画屋など暇さえあれば、ホゾンホゾンのセキをしているように姦しい。しかし本当に保存された建物など数えるほどしかないだろうし、第一、何を保存すべきかの規準すらない。とくに歴史家の保存対象にただ古ければよいといった単純極まりない理屈を振り回されるのでどうも具合いが悪い。たとえば中之島の建築群でも、あれより良いものを建てる自信が建築家側にあればコワして結構なはずであり、本来、建築とは破壊の業なのであって、保存には一般社会の人々こそ力を注ぎ建築家の独善をチェックすべきであって、建築家や建築歴史家が叫びたてる類いのものではないはずである。むしろ私なら中之島の公会堂や図書館などはそのまま残しておくとして、その上にフーラードームでも覆せてしまって包み込んでしまい、ドームの内側から展覧会のタブーのように眺め、そして使用したら良いのではないか。このときドームと、それほど傑作とも思えないあれらの建物とのコントラストがシュールリアリズムの絵を見るような異境を現出させてくれるはずである。また、ちょうど胎児が母親の子宮の中で浮遊しているに似た光景を呈するはずであり、今のデコボコのシェルエットが胎内化されるのである。
新旧のコントラストというように二つのものを並べて建てるといった着想は何ももたらしはしない。その意味では東孝光氏の提案も少々並列的過ぎるキライはあり、やはりもっとアーテキュレートして考えるべきではなかっただろうか。第一、中之島にしたって、公会堂や図書館をコワし、黒川紀章ばりの未来派的カプセル建築でも建て周囲の箱型建築とコントラストさせることもできるであろうし、いずれにしてもコントラストとは二つのものが全く質を異にしているときに表現の妙が得られ、さらにそれがアーテキュレートされていればいるほど、その効果は大きいと言えるだろう。

（わたなべ　とよかず　渡辺豊和建築工房）


①南区東賑町


②南区東および西賑町


③東区上町


④東区竜造寺町


⑤南区東賑町

アウフヘーベンしたデザイン

竹山　清明

1 新旧のコントラストの把え方

新しい建築が古い建築とかかわりあう形で創られる場合、デザイン上の対応の仕方として、大きく分けて、古いデザインに沿わし協調させていくのか、あるいは新旧を対比させてコントラストを基調としてデザインをするのかという、二つの方法があるといえるでしょう。

一般的には、新しい建築は新しい機能・工法などにより形づくられるわけですから、デザイン上でも新しいものとなる必然性があります。つまり既存の物の形だけのまねではなく、新しい機能や工法を徹底して追求しデザイン化していってこそはじめて、その時々の真実のデザインが生まれうるのだと思います。そういうことから言えば、新旧のデザインのかかわり方は、基本的には、コントラストということになるでしょう。

しかし、機能や工法が変わるといっても、デザインそれ自身の内的法則や美的感覚は、それらに遅れて変わっていくわけですから、単純に対比・協調と言い切れない場合も多々あるようです。ただし、時々見かけるような、古いデザインへの協調のしすぎ、すなわち形だけをまねて、はりぼてのデザインをするというのは、間違っていると思います。

ですから、新旧のデザインのかかわり方としては、対比を基本とし、協調をも含みながら、単に新旧が別個に併立しているのではなく、双方が互いに働きかけあう中で何らかの新しい質を獲得するような、弁証法的に言えばアウフヘーベンした段階のデザインを創りだすことが、理想的だと思います。

しかしながら、現在まで残されている古い建築は、歴史の中で練り上げられ、きたえられてきた非常に優れたデザインの物が多いでしょうから、新しいデザインもそれとの対比に耐えられるだけの優れた物でなければなりませんが、現代のように、速成デザインが一般化している状況では、そのような優れたデザインを創りだすのは、容易ではないでしょう。

2 設計の対象

ありませんでした。

3 ポンピドー文化芸術センター

ポンピドーセンターのデザインは、周囲の古い街なみに対して、非常に攻撃的な対応の仕方であると思います。デザイン自体は、一見かなり突飛に見えますが、よく見てみるとかなりよく練られたものと言えるでしょう。プランニングもよく整理されており、構造や設備もねばり強く、それなりにこなされてデザイン化されています。建築にとって必要なものを隠さないで顕わしていくというデザイン方法による、ひとつの典型であるといえるでしょう。少々疑問に思われるのは、耐久性の問題です。構造体は鋳物とのことで、そう問題はないのでしょうが、ダクトなど設備関係の部材が、今にも錆が浮いてペンキがはがれてきそうで、気になります。

環境との対応については、実物を見てみなければ確かなことは言えませんが、この程度まで筋を通したデザインであればかえって、周囲の環境ともうまく調和していけるのではないでしょうか。先に述べたこととは矛盾するようですが、むしろ現在の原色のペンキも全部錆びてしまって、全館錆だらけくらいになったら、さらにしっくりとパリの街に溶けこむような気もします。

4 おもしろい例

いろいろあると思いますが、国内では京都会館（前川設計事務所）が好きです。新旧の建築の並んでいる中庭は、東山の眺めも相まって、とても居心地の良い空間だと思います。

外国では、ジャック・ダイヤモンドのヨークスクウェアーが面白そうです。ビクトリア朝風の古い住宅群を改造した、中庭のある商店街ですが、アクティブで魅力的な空間ではないかと思います。（左段下の写真）

（たけやま　きよあき　兵庫県建築部営繕課）

戦慄的な対比

中村　隆一

1 新旧のコントラストの把え方

ブルトンは「すべて戦慄的なるものは美でありつづけるであろう」と言っている。

新旧の対比と言えどもリアリズムの系譜から、はずれては面白くない。新しいものは旧いものを貪欲に消化し切ったものであるべきである。新しいものと旧いものは、シンネリと相容れあって、解り合った状態を温め合うという状態はいかにも不健康である。建築空間というものはそんなに乾らびて、不毛なものであってはならない。旧いものと新しいものは戦慄的に対比すべきなのである。その情景は早朝の物音が響くがごとく、疑いもなく、始まろうとしている開かれた時間に対して、啓示的であり、連続的であり、それぞれの存在の証しを表明するものでないといけない。

2 設計の対象

住友不動産京都ビル（阪急京都ビル）のファサード計画。古都と新しいターミナルビルとの対比を、つぎのごとく考えました。

㈠古都の景観とは対比的に全く新しい形象であること

㈡過去と未来の文化の橋渡しになり得ると同時に古都のシンボルにもなる形象であること

㈢現代の素材と工作法に忠実であること

㈣機能と有用性が形になったものであること



3 ポンピドー文化芸術センター

ポンピドー文化芸術会館は、パリという古都の景観に対比して設置された、都市のオブジェとしてリアリスティックで美しい。

単に物を納める箱体としてしか成立していない建築に比べると、設備計画、サイン計画、動線計画などが建築本体と遊離することなく、あくまで機能体としての建築であり、有効であります。

4 おもしろい例

教王護国寺（東寺）の境内に配置された伽藍群。

平安から室町、桃山、江戸、現代まで、時には新様式で、時には旧観復元を、過去においてていねいに成されている様式の違いを隣り合わせに見られることと、現代になって建てられた宝蔵と、洛南会館の愚鈍さに驚く。

（なかむら　りゅういち　KKノールプランニングアソシエイツ）

ジャック・ダイヤモンドのヨークスクウェアー



旧の分析が新の発想を生む

横川　隆一

1 新旧のコントラストの把え方

私自身にとっては、これから創り出そうとするものこそが新なのだから、すでに在るものはすべて旧であると言える。建築を創り出す行為は、旧――すでに在る都市とか環境――の中に割り込んで新たに場を与え旧と併存させていこうとするものの、在り方を考察することから出発するべきで、これは建築の場合、新しく創り出されたものの価値が、すでに在るものとの相対的な関係から評価されるべきだという考えに基づいている。したがって、このアンケートの序文にも述べられてあるように、コントラストという概念が、統一・調和を前提とした対立を意味しているとすれば、建築を創り出す行為は、新旧のコントラストを統合する作業として把えることができる。新旧に同質性・関連性をもたせて調和をめざすか、異質性を強調して対立的効果を狙うかは、旧の質にも関わっているが、概して傑作と呼ばれているものがこの両方の巧みな統一の上に成り立っていることは、たとえば出雲大社庁の舎（菊竹清訓）によく示されている。

2 設計の対象

現実に直面する仕事では、対象や条件でその都度差違はあるが、私の場合、概して旧の分析から、新を発想する動機の多くを得てきたように思う。ただ旧といっても広汎で、既存の街並みといった日常的なものから、過去の様式の建築であったり、時には単に一本の樹木であったりして、その質も一定でなく、その主張が強固であればあるほど、新の発想も強い制約を受けることになるが、その制約は決して障害でなく、むしろ明確な主張をもった旧に対してこそ、より強靭な新を創り出すことができると言える。たとえば写真の作品は、私たちが比較的最近手がけたものの一つであるが、この場合、神社の境内という強い性格を持った敷地の中に、機能上は直接関連性を持たない資料展示館を消去させながら顕示させるという相反する意図を、勾配屋根を植栽で覆ったコンクリートの箱を緩やかな山の斜面に沿って半ば埋める、という構成によって試みている。屋根の緑は、周囲の緑に埋没するかに見えながらも、コンクリートのボーダーで矩形に縁取られた人工的な面として、明確にその存在を主張しているのである。

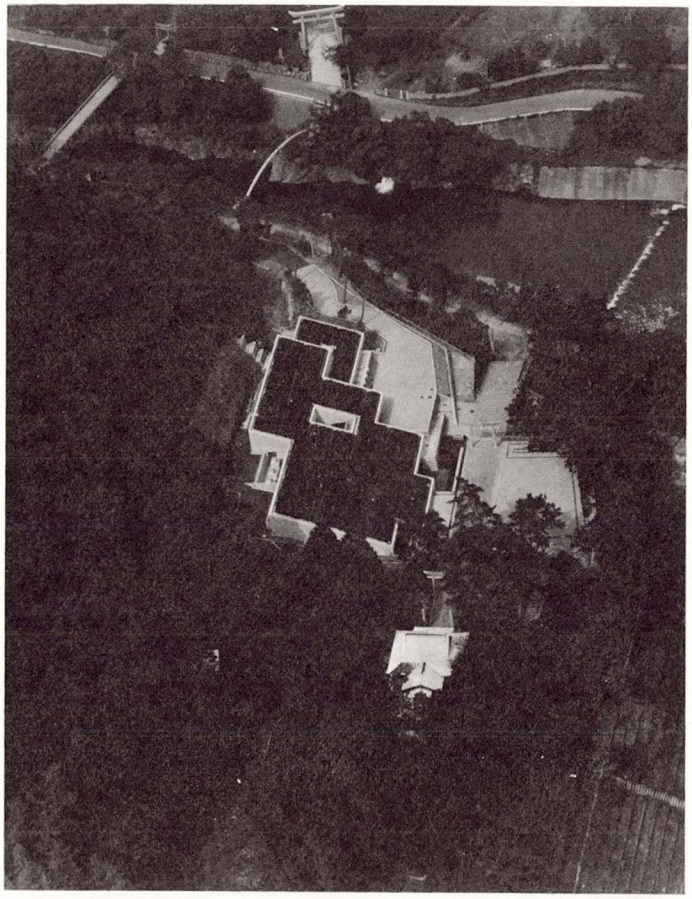
3 ポンピドー文化芸術センター

かつてエッフェル塔がそうであったように……という議論には賛成できない。トロカデロ宮、シャン・ド・マルス、エコール・ミリテールと連なる軸空間の核として、綿密に計算され据えられたエッフェル塔が、パリの街にどっしりと根を下ろした安定感に比べて、ポンピドー・センターの滅びやすい表情は、皮肉にも現代芸術そのものという印象を受ける。それはちょうど、歴史という旅の途中に立ち寄った現代という旅行者のような姿をしているのだが、ただこの余りにも魅力的な旅行者は、その仮設性ゆえにパリの街に滞在することを許された――私にはそう思えてならないのである。……果たしてパリである必要があったのだろうか。この建築家達は、ニューヨークでも、東京でも、同じようなものを創り出したにちがいない。なぜなら彼らの建築は、まさしく旧を拒絶するところから出発しているのだから。

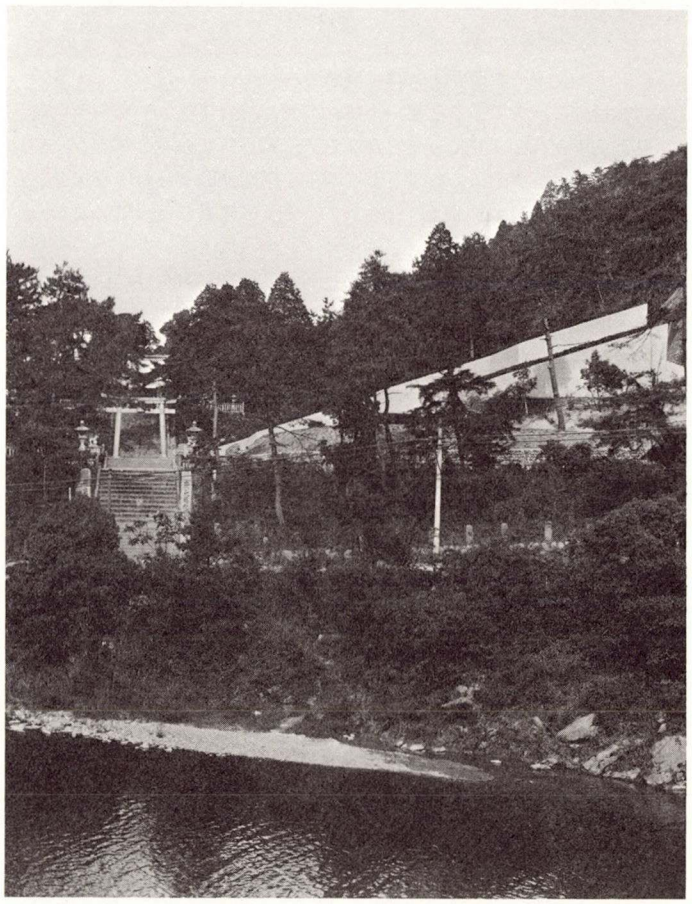
4 おもしろい例

ヨーロッパの街々でよく見かけたショーウィンドウ。古い建物の壁面を改造してはめ込まれた大きなガラスと、ガラス越しに見える現代の商品の数々――時には SONY。　意図された組み合わせでないところがおもしろい。

（よこがわ　りゅういち　㈱日建設計大阪本社）



上・下とも別子銅山記念館　　撮影：西日本写房



都市環境のなかで

吉村　篤一

1 新旧のコントラストの把え方

都市あるいはわれわれの環境は、旧いものと新しいものとの混在により成り立っている。私たちの生きてきた生活のドラマの積み重ねが都市環境を形成しているのである。旧いもの、あるいは新しいものだけしかない街は魅力がない。時代の変遷による科学技術の進歩や、生活様式の変化にともない、創作活動のあり方もその時代特有の方法が生まれてくるものである。このような状況を直視し、ある理念にもとづいて創作意欲を素直に表現しようとする情熱と努力によって生まれてきたもの――旧くて今なおその良さが認められているものはほとんどそうである――は必ず評価されるものと思う。それが『コントラスト』という状態を生じようが生じまいが、それは大した問題ではない。たまたまコントラストを生じると話題に上るだけである。コントラストが生じたから良いとか悪いとかいうのでなく、そのもの自身が良いかどうかという批判をもっとシビアーに行わねばならない。内容があれば、それはおのずと表出されてくるものであり、無理なく環境に組み込まれてゆくはずである。その評価は時が証明してくれるであろう。

1 設計の対象

このようにコントラストとは、創作活動の結果生じてくるものであるから、最初から設計の対象になるということは比較的少ないと思われる。

3 ポンピドー文化芸術センター

よくできていると思う。現代建築とは、ある理念にもとづいて、その時代の思想や生活様式、あるいは科学技術の革新などをふまえた上での、個人または集団の創作意欲の表出である。このような観点からみると、この建築は十分評価されるべきだと思う。このコンペの審査委員長ジャン・プルーベの判断は彼のいうように正しかったことを、われわれは認めなければならないだろう。もちろん写真だけしか見ていないから、あまり大きなことはいえないが、少なくとも最近のヨーロッパの建築の中では優れたものの一つであることは間違いない。しかし一方ではアーキグラムの焼き直しであるとか、今さらこんなグロテスクなものを、という批判はあるかもしれないが、ともかく一つの理念をここまで徹底して表現したということは評価されるべきであるし、またこれを建てさせた関係者の人たちの意欲と情熱に、敬意を表したい気持ちである。もちろん現代建築がすべてこのような形をとるのが良いといっているのではない。私自身はこのような建築の方法に対しては批判的にならざるを得ないが、個人の好き嫌いで片づけてしまえないものをもっていると思う。第二のエッフェル塔として時が審判を下す日を待ちたい。パリは、やはり生きている。

（よしむら　とくいち　建築環境研究所）

（右段より）

分業が行われている社会機構の中では、限られた職能人にある程度の問題委任をすることが止むを得ぬ必要悪と思えます。

そのためには、それにふさわしい教育を社会が与え、その熟成を期待するよりほかありません。現在の教育はもとよりふさわしくないようです。都市工学ではなく都市学が、環境工学ではなく環境学が、建築工学ではなく建築学が必要とされる所以です。

産業学ではなく目的学が重要なのです。(20/11/77)

（きたしま　みちお　北島道生アトリエ(1級建築士事務所)主宰）

〈新旧の対比〉雑感

北島　道生

新旧などと簡単に言いますが、建物の存続年限は物によっては500年以上にも亘るものです。

当然、500年前に存在した建物は現在と較べればごくわずかであり、しかもその中で現在に至ってなお存在するものは数えるほどでしょう。

〈新旧の対比〉とは、法隆寺と現代の建物の対比を言うのでしょうか、それとも1950年と1975年との対比なのでしょうか。まさか昨日建った建物が旧くて、今日の建物が新しいなどという意味ではないでしょう。もしすべての物事が時々に旧くなり、刻々に新しいのであれば、もうそこでは新旧はたちまちにつながり合い、もう新旧の概念も存在し得ないでしょう。

もちろんこれは片方の極端で、実体はもう一方の極端との中間のどこかにあるのでしょう。これを厳密に定量確定することはできないでしょうが、せめてある幅をもって共通に意識できるようにしたいものです。

この国ではすべての物事の存続時間があまりと短かすぎて、25年前のものが全く旧くて、今日のものだけが新しいような受け取り方が多過ぎるように思えます。

〈新旧の対比〉も〈多量の旧いものと少量の新しいものとの対比〉と、〈〈少量の旧いものと多量の新しいものとの対比〉とは問題が根本的に異なるようで、後者では〈新旧の対比〉に到達する以前に〈新しいもの同志の葛藤〉があるわけで、これが制禦されずに〈新旧の対比〉が論議されても不毛のようです。

歴史の時間推移が着実で成熟した都市環境での〈新旧の対比〉は多くの場合前者であり、この国での問題はほとんどが後者であるようで、これは〈環境構築上の叡知の欠除〉以外の何物でもないようです。

他の世界でも事情に根本的な違いはないのでしょうが、西欧の中でも先発国では18世紀に産業革命が起こり、平行して建物の量も飛躍的に増加しましたが、それから200年くらいの年月が流れ、当時にはあったに違いない前代との異和感も、以後の年月の風化によって消化され、継いで育った人間の知恵はもうそのような異和を再び繰り返さないような方向へと努力してきているようです。

ところがこの国では産業革命そのものが20世紀になってから発生し、いまだにその渦中から抜け出していませんし、西欧では産業革命そのものがbourgeois革命として担われ、革命進行の行動規制のcriteriaもある幅に納まっており、後ほど大衆化・平等化が継いだのでしょうが、後発国の常として歴史時間が圧縮されて、産業革命と大衆化が同時進行したところでは、行動のcriteriaそのものが混沌の中に散逸してしまい、判断尺度がある幅に納まり切れません。

もともと〈新旧の対比〉とは自らの体感としての〈過ぎ去ったもの〉と〈いまだ過ぎ去らないもの〉あるいは〈過去を基盤としてこれから生まれ出ようとするもの〉との対比であるはずなのに、単なる知覚上の問題として〈古い様式と新しい様式の対比〉としてしか摑まれていないようです。

そこには時間の量的把握はもちろん、歴史に対する自己の関与が見られないようです。他人の歴史も自分の歴史も、過去のすべての出来事が、現在視野の中に時間軸を失って投影されて見え、それからの恣意の選択という没歴史的対応だけがあるのです。

Classicを経ずしてBaroqueがないはずなのに、そこでは、好みの対象しかありません。

そこには創造はなく、借用もしくは剽窃があるだけです。

〈新旧の対比〉が意識されるのは好ましいことですが、それが観念に流れず、量的扱い、事例別の扱いがないと意味がありませんし、事業上の実行判断を下せるのはその事例にたずさわる比較的少数の人間しかないのですから、逆に人間一般の判断力が向上するよりないでしょう。

（左段へ）

表層から深みへ

高松　伸

1 新旧のコントラストの把え方

「新旧のコントラスト」といった明快な言葉には、常に一種の恐怖を感じます。設計というものを、きわめて個人的な所作と考える以上、常に自身の視座を明確にすることを余儀なくされるわけですが、そういう意味では、そういった明快な言葉へと昇華する以前のプロセスに常に身を置きたいものと思っていますし、統一とか同質性とかいった、これもまた戦慄的な言葉が表層的なレベルにとどまらないためにも、むしろ当面は、明快さとは逆の深みへと視座を移行させるよう努めたいと思っています。

2 設計の対象

設計というものが、常に新たなる物体の創出を意味する限り、旧さすなわち歴史に対する新たなる行為であるのは当然であり、またそうである以上、それをとり巻く状況はすべておのずから旧さすなわち歴史というものを背負っているのは自明のことと思います。その場合、歴史という言葉が何を含むかといったことが問題なわけですが、それは当然、立地や風土を含む物理的なものの歴史であるでしょうし、具体的に建築に関わる人々の持つ歴史でもあるでしょう。またもっと言うなら、それは設計者自身の持つ歴史をもそのうちに含んでいると言っていいのかもしれません。そういった表層的なものから潜在的なものまでのさまざまのレベルでの歴史の持つさまざまのコンテキストの検証の中で、そのコンテキストとの関わりを問題にしていくこと自体が設計行為にほかならないわけで、形態として表出したものは、そのような関わりの上に立って成り立ち得るひとつの解を示すに過ぎないと思います。したがって、「新旧のコントラスト」が設計の対象となることがあったかどうかという問いに対する答えとしては、上のようなレベルでとらえる限り、これまでのすべての設計がそうであったとも言えますし、また表面的な意味でのみそれに答えるとすれば、否定的な答えをとらざるを得ません。

3 ポンピドー文化芸術センター

興味ありません。

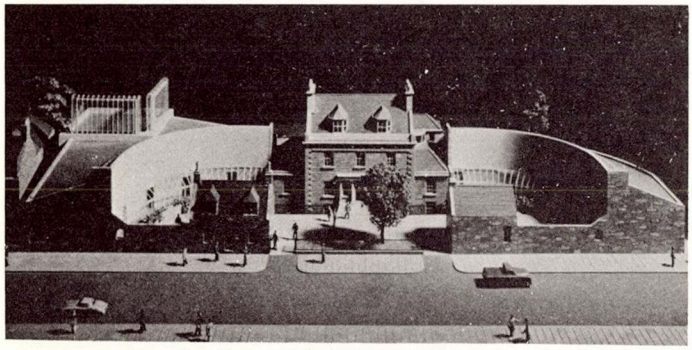
4 おもしろい例

時間の流れの中でステロタイプ化したヴォキャブラリーや、その流れの中でつちかわれた豊かなコンテキストの抽出には、新たなるヴォキャブラリーが持つ衝撃力にない、持続した意味の創出の可能性や象徴の可能性が含まれるという意味で、もう少し執着していいのかもしれません。たとえば、

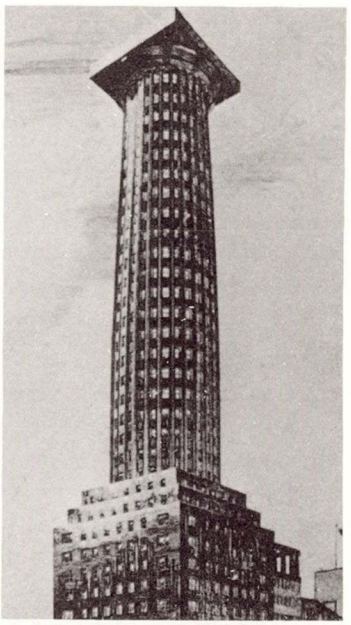
ADOLF LOOS：CHICAGO TRIBUNE TOWER COMPETITION
JAMES STIRLING：DERBY TOWN CENTER COMPETITION,
ST. ANDREWS UNIVERSITY ARTS CENTER
MITCHELL/GIURGOLA：NATIONAL AIA HEADQUARTERS,
PENN. MUTUAL LIFF INSURANCE CO.

木島安史：上無田　松尾神社

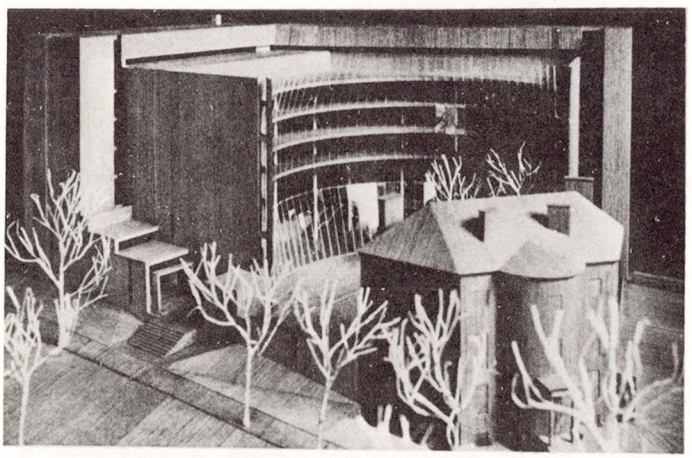
（たかまつ　しん　KK匠設計室所長）



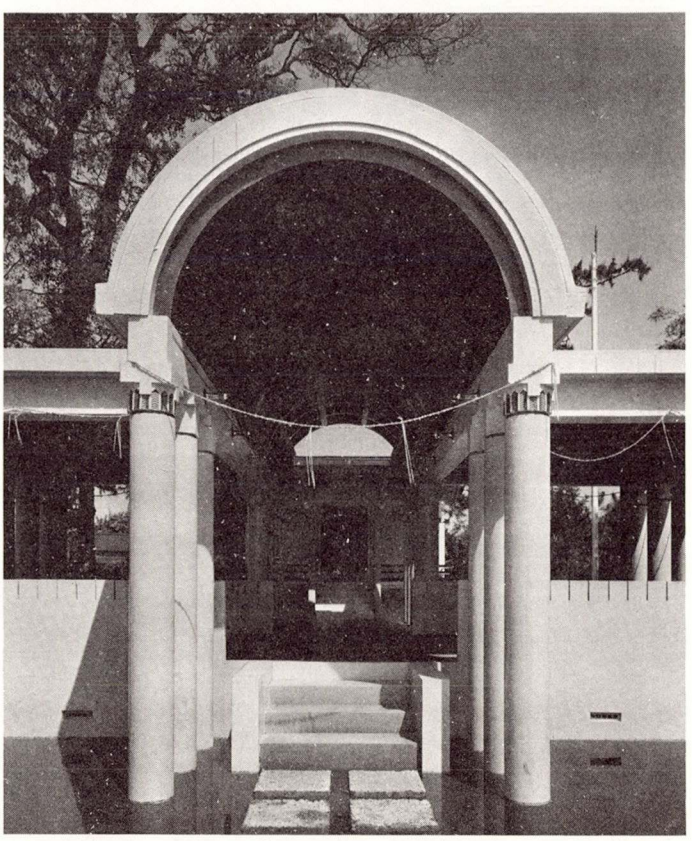
スターリング：アンドリュース大学アートセンター



CHICAGO TRIBUNE
TOWER COMPETITION
(ADOLF LOOS)



アメリカ建築家協会国内本部コンペ応募案（MITCHELL, GIURGOLA）



上無田松尾神社（熊本県）

さまざまなコントラスト

河辺　聡（本特集号編集幹事）

私達は前掲のようなアンケートによって「コントラスト」という言葉について持っている気持、認識を書いていただきました。ここで「コントラスト」を問うのは、アンケート依頼文の中に述べられていることによりますが、簡単にいえば、現代の様相の中に、いろいろな意味でのコントラストをその特長として私達が感じたからでありました。それは「すでにあるもの」と「新たに出来るもの」との在り方を問うことであります。アンケートによるコメントの中にも読み取れましたように、この問いは旧い、新しいを越えたもののそのものの在り方を問うことも含んだものであります。

ものの在り方とは、ものそのものの存在を問うことでもあれば、二つのものの関係において両者の存在を理解することをも意味しています。「すでにあるもの」そのもの、「新たに出来るもの」そのものについては、過去常にその在り方を問うてきたということができましょう。加えて現代はものとものとの関係を理解することの大切さが言われています。一つ一つの「もの」にそれぞれ大きな価値を見出そうとすることは、従来のいくつもの「もの」の中から、全体を代表する一つのもの、他より大切な一つのものを抽出し、選択しようとする態度とは、まさにコントラストを成す考え方でありましょう。一つ一つのものがそれぞれに価値を持つとすれば、その価値あるもののお互いの関係の仕方を理解することがものの在り方を決める大切な手段となってくるのであります。

関係の仕方として、今回、私達は新しいものと旧いものとのそれを問いました。旧いものとの関係の上で新しいものの在り方を意味付けようとする態度は、現代建築の思想の中で、すでに一般化しているといえましょう。そして近代建築の思想にはこの態度は拒否されていたといい切ることもできましょう。新しがりやの近代建築を関係相手として、現代建築、1970年代の建築思潮はあるのでありますし、西沢文隆氏の冒頭論文「排除の歴史」はこの点を踏まえて読まれるべきものと思います。

この近代建築思想に対する現代建築思想というコントラストを図式化することが、いわば縦軸の設定であるとすれば、横への拡がり、横軸の中での関係とは、たとえば「西洋的なもの」と「日本的なもの」となりましょう。「地方的なもの」と「国際的なもの」、「伝統文化」と「輸入文化」、「風土的なもの」と「グローバルなもの」など、いずれも異質なものの関係の中に、一方では、お互いの共通項を見出すことによる同類化、統一の思想があり、また一方では、異質項の抽出による孤立化、個性的分離の思想があります。前者は縦軸での近代思潮の中でしばしば見受ける言葉であって、ここでもまたコントラストは同じ点に意味を結んでいきます。

近代思想が、統一のために共通項の所有を必然としたのに対して、異質性への着目による個性化は、共通性を伴わないままでのすべてを包括するインクルーシブ（総括的）な立場を現代に確立させました。イックスクリューシブ（排他的）に対する思想としてのコントラストであります。

さて図表として縦軸と横軸が設定されて一つの平面座標はできたわけですが、考察の必然として立体座標を考えてみたくなります。歴史の軸、地域の軸に加えるとすれば何があるでしょうか。それは人の持つ感性でありましょう。人間の存在そのものであるともいえるかも知れません。感性とも情念ともいわれます。「いき」と「わび・さび」は日本人の心情、心意気を語る言葉として思い起こせますし、現代アメリカ建築思潮の「ホワイト」と「グレー」もアメリカ人の自国に対する心情にかかわる言葉として捉えるべきでありましょう。アメリカ人はいま国際的なものから切り離して、自国の風土的なもの、一つの地方としてのアメリカを考えようとしています。アメリカ人が自分達の感性を建国200年のいま、ヨーロッパと切り離して考えようとしているのだと思います。われわれの国の場合はどうでしょうか。自らを一つの地方的なものとして捉えようとした現代アメリカデザインを、かつての国際主義のそれと同じ扱いをし、同様に受け入れている日本人に対しては、思想の貧弱さとしての、思想の実りの大小としてのコントラストとでもなりましょうか。

日本人にとっての「わび・さび」は今日、もはや常識でありましょうが、「いき」はあこがれとし、羨望の世界の中に身を限っています。九鬼周造の論文「いきの構造」が、「いき」の言葉をあまりにも玄人の世界に密着させたことによる影響もあろうかと思われますが、玄人と素人とのコントラストの上だけの理解で終わらせずに、日本人の心情としての「いき」な世界を現代の日本文化の中に、「わび・さび」とともに定着させることの必要さをいま感じています。

（かわべ　さとし　京都工芸繊維大学住環境学科）

本特集に使用した写真は、執筆者提供のほかは、下記の雑誌・単行本から複写させていただきました。誌して感謝いたします。

雑誌名——
- SD（鹿島出版会）
- Architectural Review（イギリス）
- A+U

単行本——
- GA（A.D.A.EDITA）
- DESIGN OF CITIES by Edmund N.Bacon
- GRAND DESIGN the earth from above by Georg Gerster
- 原色日本の美術（小学館）
- UNBUILT AMERICA by Alison Sky and Michelle Stone

本号特集編集幹事（順不同・敬称略）
河辺　聡（京都工芸繊維大学）
北野　俊二（竹中工務店）
太田　隆信（坂倉建築研究所）
山崎　泰孝（AZ INSTITUTE）
横川　隆一（日建設計）
藤本　尚久（近畿大学）
鈴木　良介（京都工芸繊維大学）

構造の頁

43
RCスラブの長期たわみ

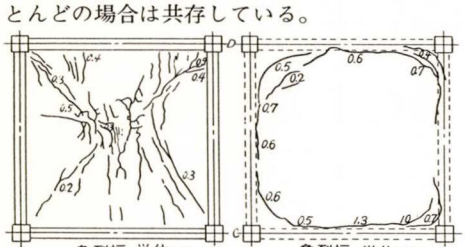
森田　司郎

1．スラブのたわみ障害の実態

竣工後数年たって、スラブにひびわれをともなった大きなたわみを生じた事故例が数多く報告されている。これらの障害の内容は、

① 大きなひびわれ（端部上面の梁側に大きく開口）
② 大きなたわみ（スパンの1/300を越えると発覚）
③ 振動による不快感（振動数が15Hzより小さい）
④ 運搬機の使用による不規則なひびわれ

に大別されよう。④は比較的最近に目立つ事故である。これらの障害は単独ではなく、ほとんどの場合は共存している。



スラブ下面　　スラブ上面

図-1　大スパンスラブのひびわれのパターン
（土橋ほか、建築学会北海道支部研究報告 昭43.3）

図-1は大スパン薄肉スラブに過度のひびわれが生じた実例である。これは極端な例であるが、スラブのひびわれの典型的なパターンを示している。多くの事故例では、図-1にいたる途中の段階のものが多い。

図-2は有効スパン6.90m×6.90m、スラブ厚15cmという極端に薄いスラブに生じたたわみの経年変化を実測した結果であり、材令4～5年で、たわみの進行が止まることを示している。北大土橋教授の調査によると、たとえば梁心スパン6.0×6.0mと5.5×6.0mで、ともにスラブ厚が150mmである2つのスラブの中間に撓み障害を惹き起こす限界があるようだと報告している。すなわち、前者95枚の平均たわみが27.5mm、後者46枚の平均が13.4mmであった。これらのスラブのスパン／スラブ厚の比はそれぞれ37.4、34.3（辺長比を考慮した場合は35.6）となり、限界スパン／スラブ厚比が36程度であること、したがって現行の建築学会鉄筋コンクリート構造計算規準（以下RC規準という）のスラブ厚制限規定は現今の施工水準を考慮すると、やや甘いことを指摘している。

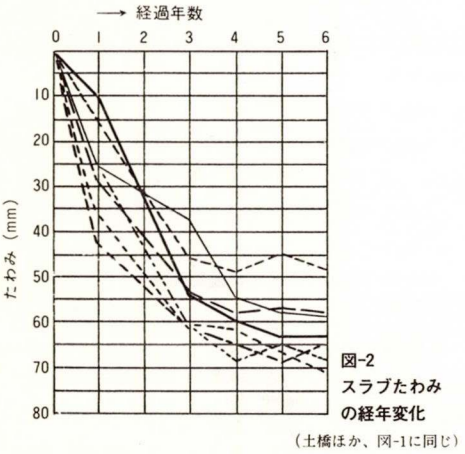


図-2
スラブたわみの経年変化
（土橋ほか、図-1に同じ）

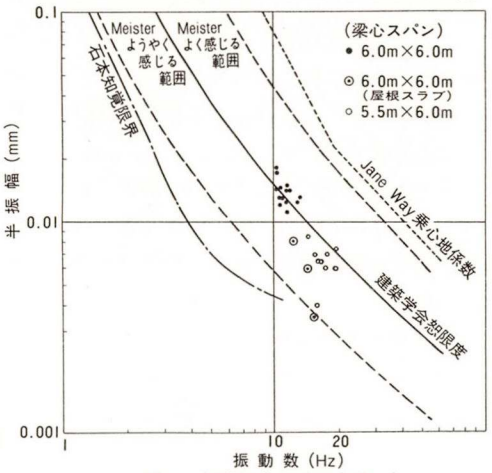


図-3　振動測定と感覚曲線
（北大・土橋教授の資料による）

これらのスラブについて振動性状をも調査しているが、その結果を**図-3**に示す。振動は歩行時に計測したものである。この場合も、これらの2つのサイズが振動感覚恕限度の外側と内側に位置するようである。

2．過大たわみの原因

〔材料施工上の要因〕

● コンクリートの品質……スランプ21cmというような極軟練りのコンクリートで、12cm厚程度のスラブを打設し、上面の養生も不十分な場合の実施コンクリートの品質の劣下は予想以上である。それは柱、梁断面のような厚い部材にくらべて、保温性が悪いこと、保湿性が悪いことにも起因する。強度は設計基準強度をかなり下廻ろうが、それはむしろ問題が少ない。問題であるのは、周囲のはりなどで変形が拘束された状態で、大きな自由収縮を持つコンクリートが硬化することである。しかも、軟練りで上面を仕上げたスラブでは上下面での収縮量は極端に異なる。その結果、外観上はひびわれがないコンクリートが打ち上がったとしても、内部組織のきわめてルーズなコンクリートができて、弾性係数が常識外に低いコンクリートになる。（実証的研究に欠けるが、100,000kg/cm²以下の弾性係数がしばしば実測される）。当然、自由収縮量の多いコンクリートだから、収縮応力だけでひびわれを生じるし、曲げ応力と重なると悪影響が大きい。このようなルーズなコンクリートのクリープひずみも常識的なコンクリートより当然大きくなる。低い弾性係数、大きいクリープひずみ、大きな収縮量はどれもスラブのたわみを増大する直接的な原因である。

● 配筋の施工精度……スラブ筋はコンクリート打設作業時に踏み下げられて、所定の位置より下方に移動しやすい。鉄筋スペーサーの確実な使用の慣行が望まれるし、鉄筋格子、溶接金網の利用が効果的である。端部上端筋の位置が下がったスラブに、荷重による曲げ応力と収縮応力によって図-1のようなひびわれが発生すると、周辺の固定度が大きく低下して、周辺単純支持の状態に近づく。たわみの過大となったスラブは必ず周辺上面にひびわれが発生している。この場合、たわみが大きくなったからひびわれが発生したのでなくて、ひびわれが発生したからたわみが大きくなったのであり、スラブ筋の下方への移動はこの因果関係を著しく助長するのである。

〔構造設計上の要因〕

● スパン／スラブ厚比……RCスラブの設計の基本方針として、コンクリートには曲げひびわれを発生させないことを前提にするのがよい。鉄筋量の算定、すなわちスラブ破壊耐力のチエックはむしろ二次的なものとする。この方針からすれば、RCスラブが健全であるためのスパン長にはおのずから限界があるわけで、学会RC規準の限界値をねらった長スパンスラブは必ず、過大たわみを招くと覚悟する方がよい。規準値はコンクリートが健全で、収縮応力もない、理想的な状態での限界値である。

● スラブ筋の算定……曲げ応力に対して鉄筋量を決めるプロセスは最低限要求で当然である。重要なのは、施工を考慮して鉄筋位置が確保できる配筋であるか、鉄筋端の定着が確実か、収縮応力や温度応力に対して補強量の余裕があるかなどの点である。問題を起こす大スパンスラブでは、この点にも欠かんのあるものが多い。

● 荷重……施工中の荷重が、使用中に予想される荷重より苛酷なものがある。また、フォークリフトなどの影響は、設計上の予想よりきびしい場合が多い。

3．実務上の対策

さし当たって、つぎのような対策を行うことを推奨する。推奨限界を多くの項目にわたって越えるものは特別の配慮が必要である。

① スラブのコンクリートはスランプ15cmとする。
② スラブ筋は、異形鉄筋または溶接金網とする。
③ スパン／スラブ厚比をRC規準値の1割減とする。（正方形スラブでは35以下とする）
④ スラブ1枚の面積を25m²以下とする。

上記は建築学会RCひびわれ指針案の推奨でもある。

（もりた　しろう　京都大学助教授）

設備の頁

42

ごみの真空搬送システム

（その1）

住川　武禧

概要

新しいごみの収集方法として、真空搬送システムがマスコミに報じられてからすでに久しい。スウェーデンで開発されてから約10年になる。わが国でもいわゆる“ごみ戦争”の一つの打開策として、積極的にその採用を考えている自治体も多く、一方、政府（厚生省・建設省）もこれの後押しに力を入れている。現在わが国では、兵庫県芦屋浜、大阪市の南港の２個所が国のパイロットプロジェクトとして、国庫補助を受けてこのシステムの建設を進めている。

市街地にこのシステムを実施するには大口径のパイプを敷設するので、既設の町中では既設埋設物との関係で施工上問題が多い。したがって、これから建設されるニュータウンあるいは大規模な都市再開発地域に適していると言える。一方、上記の都市の設備としての利用のほかに、病院やホテルのような単独の建物の設備としても利用することができる。

ごみの量

１人１日当たりごみの発生量として各都市の値が発表されている。これは、その市内の発生ごみ量を人口で割ったもので、昼間他都市からの人口の流入の多い所と、大都市のいわゆるベッドタウンとでは１人１日当たりの発生量に当然ながら大きな差がある。したがって、採用される地域あるいは建物に似た性格の所を選び調査をして、そのデータに基づいて設計しなければならない。(**表１**参照)

ごみ発生量の今後の伸びは、高度経済成長時代ほどの急激なことはないであろうが、年間４～５％程度はプラントの余裕として考慮しておくことが望ましい。

表１　多摩ニュータウンにおける廃棄物発生量実測値

（調査時期　昭和49年７月）

地区		A地区 住宅公団 永山団地	B地区 住宅公団 永山団地	C地区 都営 諏訪団地	都公社 愛宕団地
形式		3DK 賃貸 (61.2㎡/戸)	2DK 賃貸 (50.5㎡/戸)	3DK 賃貸	3DK～3LDK 分譲
戸数	戸	280	200	432	410
戸当たり人数	人/戸	3.39	3.15	3.55	3.51
一人一日当たり排出量※	g/人日 焼却対象廃棄物	448	450	419	410
	g/人日 難不燃物	115	86	96	82

※粗大ごみは含まない

経済性

従来の収集方式では１トン当たりの収集費が１～２万円となっており、便利で衛生的であるのはもとより、経済的にみても真空搬送方式の方が有利なことが多い。

芦屋浜についての試算例を**図１**に示す。

システム概要（その1）

各社により多少の差はあるが、基本的なシステムはほぼ同じである。システムの構成を大きく分けると、投入部機器、輸送管路、収集センターの各部となるであろう。

以下、各部の留意点について述べる。

●ダストシュートおよび投入口

パイプで輸送する関係上どうしても輸送されるごみの大きさについては限度がある。投入口はごみの大きさを制限できる形状のものとすることが必要である。スウェーデンなどではダストシュートが古くから使用されており、使用法に対する住民のモラルも高いようで、簡単なものを使用している。残念ながらわが国ではそのまま同じようなものを使用するのは時期尚早であろう。(**図２、３**参照)

ダストシュートは、騒音、振動の対策を施すことが必要である。



図２　スウェーデンの投入口

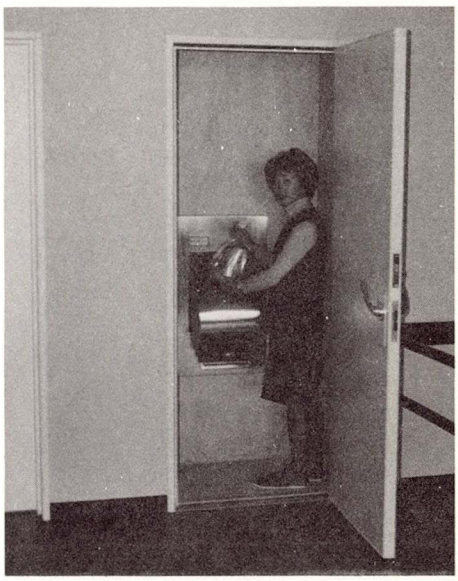


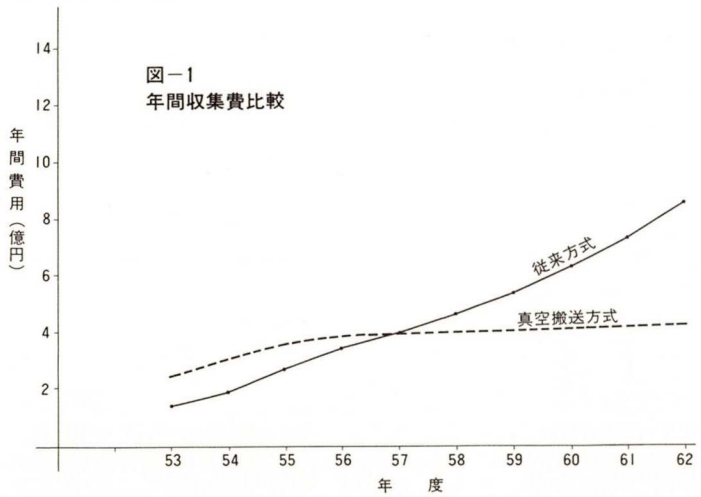
図３　容積制限型投入口

●排出弁、貯留排出機

ダストシュートの投入口などの下には排出弁、あるいは貯留排出機を設けて投入されたごみを一時貯留し、プログラムに従って輸送管の中に排出する。わが国では欧米に比べ、団地住宅の構成が高密度なことが多く、通常の排出弁よりも貯留容量の大きな貯留排出機の方が利用者にとって便利なことが多い。排出弁では満杯になりやすいためである。

（つづく）

（すみかわ　たけよし　日本エスエフ㈱大阪支店）



施工材料の頁

42

浅層地盤改良工法

水林　義男

まえがき

地盤改良工法は元来、道路舗装の路盤の安定、改良を目的としたものであるが、わが国において、とくに臨海工業地帯の造成等のため、軟弱土質による広大な埋め立て工事が行われ、それに伴い深層の地盤を改良せねばならない必要が起こってきた。これに対し、柔らかいちゅう積層がある場合、従来は杭を施工してきたが、そのちゅう積層を改良することにより地耐力を増強する工法、すなわち浅層地盤改良工法が考えられる。

地盤改良工法には、(1)機械的方法（締固め、置換、混合）、(2)物理的方法（排水、脱水、凍結）、(3)化学的方法（薬液注入）、(4)電気的方法（電気化学的固結法）等が考えられるが、今回の実施例は新築建物の基礎下１ｍの範囲を混和材と既存の土を機械力をもって攪拌し、転圧することによって浅層部の地盤改良を行ったものである。

１．採用理由

本工事は大阪市天王寺区に新築するR.C造５階の建物で、その基礎として直接ベタ基礎が計画されたが、**図-1**の土質柱状図に見られるように設計基礎付近の地盤は、標高－３ｍ付近までN値は７～９と緩く、下部は30以上で密に締まっている。ゆえに－３ｍまでの表層部はこの建物の基礎地盤としては不適当であると判断され、基礎底面付近を地盤改良することによって地盤の地耐力を増強し、支持地盤とするように計画した。混和材として使用したE.S.C は膨張性固化材であり、水和により多量のエトリンジャイト（$3CaO \cdot Al_2O_3 \cdot 3CaSO_4 \cdot 32H_2O$）を生成し、このエトリンジャイトは多量の化合水をもち、周囲土の脱水効果を発揮する。また、このエトリンジャイトの生成は硬化体の膨張をもたらし、かつ、この膨張は長期にわたり、土との混合物の転圧、締め固めによって、かなりの強度を期待できる。またE.S.Cは水和によって、カルシウムケート系水和物を生成し、自硬性を持つだけでなく、土中の粘土鉱物との化学反応による硬化作用を示し、これらが相互に作用し、地盤改良材として働くものである。

２．施工計画

工事着手前に現場より試料を採取し、(1)土の含水量試験、(2)土の粒度試験、(3)土粒子の比重試験、(4)土の液性・塑性限界試験、(5)土の突き固め試験、またE.S.C処理土としては、(1)突き固め試験、(2)一軸圧縮試験、等の室内試験を実施した。

その結果より、つぎの事項を考慮して施工の指針とした。

①E.S.Cの添加量を120kg／㎥とした。

②一軸圧縮強度の最少数値はσ_7＝13.3kg／㎠であり、これは設計圧縮強度の5kg／㎠を充分に満足していると判断した。

③土の自然含水比は12.1％であり、混和材の添加時の最適含水比は12.1％であった。

したがって多少の散水が必要であると思われたが、その差は小さく、現場の管理にて必要性を判断するものとした。突き固め回数の差によっての差はあまりないので、現場でのバラツキはあまりないものと判断した。また施工時の含水比管理としては、現場においてE.S.C散布、混合後、ただちに突き固めによって作成した供試体の湿潤密度を測定することにより管理した。

３．施工

施工に使用した機械はユンボ（HD-350型）１台、ブルドーザー（三菱D-4-D型）１台、ソイルコンパクター１台で、敷地を２工区に分けて施工を行った。(**図-2**参照)

まず基礎底面（GL-2m）まで全体を鋤取り、基礎地盤を整地し、つぎにＡ工区の土をGL-2.5m まで掘削し、Ｂ工区に仮置きする。その地盤の上にE.S.C を散在させ、ユンボとブルドーザーにより攪拌し、締め固めは同機械とソイルコンパクターを使用して行った。充分攪拌と締め固めが完了した後、仮置きした

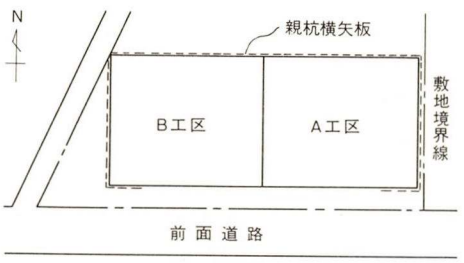


図-2　敷地平面図

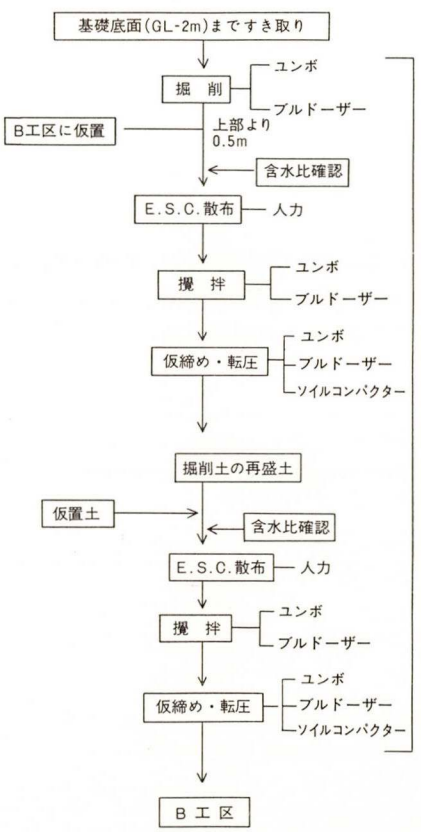


図-3　施工フローチャート

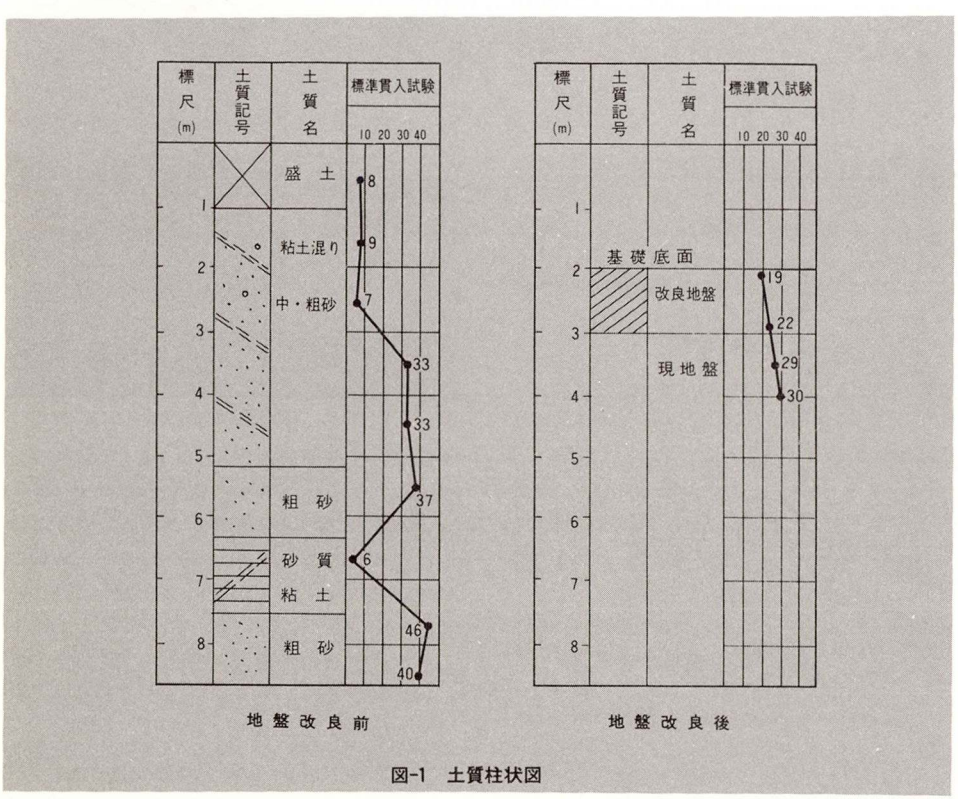


図-1　土質柱状図

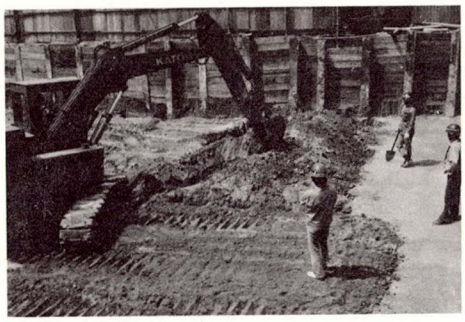


写真-1　撹拌作業中（右の白く見える部分は地盤改良済み部分）

土を元の場所に戻し、E.S.Cを添加、撹拌、転圧してA工区の改良を完了とした。B工区についてもA工区と同様な施工方法とし、A工区との境は1mのラップとした。**図-3**は施工のフローチャートである。

4．施工結果

施工結果の確認のため、地盤改良面において平板載荷試験と標準貫入試験を行った。平板載荷試験方法は単サイクル緩速載荷方法で、試験実荷重としては設計荷重の3倍以上の55t/㎡を載荷した。試験結果の整理として、(1)荷重P～沈下量S図、(2)荷重log$P$～沈下量S図、(3)荷重log$P$～沈下量log$S$図、(4)荷重P～$\Delta S/\Delta \log t$図、(5)沈下量S～時間log$t$図を作成して検討した結果では、最大荷重55t/㎡に至るまでの間、沈下状況は各図ともほぼ直線的変化しか示さず降伏荷重P_fおよび極限荷重P_uに至っていない。長期許容地耐力としては最大荷重55t/㎡を降伏荷重P_fと仮定し、その$\frac{1}{2}$をとればQ_a=27.5t/㎡となる。また、最大荷重を極限破壊荷重P_uと仮定し、その$\frac{1}{3}$をとっても、Q_a=18.3t/㎡の許容地耐力が得られ、設計荷重14t/㎡を充分満足している結果が得られた。また標準貫入試験においては、図-1に改良前の柱状図と比較しているように、明らかに地盤改良がなされた結果が得られた。

5．おわりに

本報告では新設建物の基礎下の地盤改良にE.S.Cを使用した施工例について述べてきたが、一応の地盤改良の成果が得られたものの、実際施工に当たってみると室内試験と現位置試験のギャップ、現場管理（とくに含水比）の難しさが解った。通常地盤改良工法は土木の技術の分野であり、非常に広い範囲を機械力により施工している。一方、今回は建築現場で敷地が非常に狭いものであり、機械力を充分に駆使できず、原始的な方法にならざるを得なかった。混和材に使用したE.S.Cは原料に生石灰を使用している。石灰岩はわが国としては珍しく豊富な資源であり、これから製造される生石灰、消石灰も豊富である。公害問題もほとんど考えられない石灰類の利用は、今後の土質安定処理の上で大きい支柱の一つとなると考えられる。

（みずばやし　よしお　KK大林組工務部）

大阪ESC(膨張性固化材)

大阪ESCの効果と作用

■脱水効果

大阪ESCは水和の際、多量のエトリンジャイト（$3CaO \cdot Al_2O_3 \cdot 3CaSO_4 \cdot 32H_2O$）を生成します。このエトリンジャイトは多量の化合水を必要とし、その水分を周囲土から吸水するため、軟弱地盤に対し大きな脱水効果があります。さらに毛細管吸水、吸着作用、および圧密脱水作用を合わせ持ち、脱水効果が倍増されるのです。

■膨張効果

大阪ESCは、水分の多い地中では膨張し（8週間で約0.1%の線膨張）、しかも長期間この膨張が保持されます。

このすぐれた膨張作用によって、軟弱地盤の圧密、沈下阻止、周囲土の強度増加を可能にします。

■自硬効果

大阪ESCは、それ自体に水和自硬性を持つため、軟弱地盤中で硬化して強度を発見し、地盤の支持力を増加させます。

■周囲土との化学的相互作用による補強効果

大阪ESCは、周囲土に多量に存在する粘土鉱物と反応し、周囲土中にもエトリンジャイトの生成による吸水作用および圧密作用を波及させます。

大阪ESCの用途

■表層および深層地盤改良工事

　　■ソイルセメントパイル工事

■基礎くい周辺固定工事

　　■土留壁および止水壁工事

■グラウト工事

　　■ヘドロ固化処理用

大阪セメント株式會社

新規事業部

本　　社	大阪市北区堂島浜通1－57	〒530 電話（06）345－1231
大阪支店	大阪市北区堂島浜通1－57	〒530 電話（06）345－1231
東京支店	東京都中央区銀座1－13－1（三晃ビル）	〒104 電話（03）535－3291
名古屋支店	名古屋市中村区広井町3－2－1（東洋ビル）	〒450 電話（052）582－6511
四国支店	高松市観光通1－1－16（中山ビル）	〒760 電話（0878）34－6464

日本建築協会

月間の動き

昭和52年11月分

理　事　会

16日　4時～5時　於会館集会室
出席者　塚本会長ほか9名
議事　(1)㈶日本建築センター評議員就任の件
(2)事務局職員本年下期賞与支給の件
(3)12月理事会休会の件
(4)入退会者承認の件
(5)報告事項

事　業　委　員　会

広報小委員会PR分科会
4日　6時～8時　於会館集会室
出席者　原見・奥村両幹事ほか3名
議事　(1)第37回展示写真実施報告
(2)第38回展示写真について
(3)第39回以降の展示写真について
ディスカバー大阪(3)企画分科会
4日　6時～8時半　於会館集会室
出席者　阪倉主査ほか4名
議事　(1)会告原稿変更について
(2)見学先について
(3)タイムスケジュールについて
(4)イラスト地図について
(5)担当委員の分担
若い会員の集い小委員会
8日　6時～9時　於会館集会室
出席者　森下副委員長、印藤・瀬戸本・千葉・古川各幹事ほか9名
議事　(1)第5回、第6回の実施報告
(2)第7回の企画についての経過報告
(3)第8回の企画について
(4)第9回以降の企画について
広報小委員会
9日　6時～8時　於会館3階会議室
出席者　原見、奥村、佐藤、南各幹事ほか3名
議事　(1)第37回展示写真実施報告
(2)第38回展示写真について
(3)第39回以降の写真展示について
(4)本年度の研修会企画について
見学会小委員会
10日　6時～7時40分　於会館集会室
出席者　堀田副委員長、水谷幹事ほか4名
議事　(1)9月、10月の見学会実施報告
(2)11月の見学会経過報告
(3)12月の企画について
(4)53年1月以降の企画について
ディスカバー大阪(3)イラスト作成
10日　6時～9時半　於会館集会室
出席者　阪倉主査、コラムデザインセンタースタッフ10名
若い会員の集い第10回企画分科会
14日　6時半～9時　於会館3階会議室
出席者　ゲスト　名口繁行氏(大阪市防災計画課主査)、関根主査ほか3名
議事　第10回(防災都市計画セミナー)の企画内容について
委員会
17日　6時～7時半　於会館集会室
出席者　窪田委員長、乾・三品・堀田・市川各副委員長、ほか5名
議事　各小委員会の事業報告及本年度の事業企画について
若い会員の集い「原風景への思惟」分科会
28日　6時～10時　於会館3階会議室
出席者　瀬戸本主査ほか4名
議事　(1)当日のタイムスケジュールについて
(2)質問事項の検討
(3)担当委員の役割

編　集　委　員　会

委員会
8日　4時～6時　於会館3階会議室
出席者　尾亀副委員長ほか3名
議事　(1)11月号＝建築における省エネルギー化特集経過報告
(2)12月号＝第24回青年技術者特集報告
(3)1月号＝デザインの動向―新旧のコントラスト特集報告
(4)2月号＝水特集報告
(5)来年の表紙デザインの件
(6)建築の眼新執筆者の件
(7)来年3月号計画特集企画
(8)収支状況について
作品作風小委員会
11日　4時～8時　於会館集会室
出席者　大辻副委員長、事務局担当者
議事　1月号作品広告打合せ
広告企画小委員会
14日　4時～6時　於会館集会室
出席者　尾亀副委員長ほか3名
議事　(1)『水』特集を昭和53年2月号に延期する件
(2)正月号・新建築（シーモール下関を含む）PR兼用について
(3)2月号・新建築＝村野階層浄水場
(4)3月号・広告企画
投稿欄小委員会
15日　4時～6時　於会館3階会議室
出席者　芝山、関川両委員
議事　(1)11、12、1月号報告
(2)新シリーズの企画
1月号編集幹事会
25日　4時～9時　於会館3階会議室
出席者　鈴木委員、河辺聰特別幹事
議事　1月号アンケートの原稿調整
病院作品特集編集幹事会
29日　6時～9時　於会館集会室
出席者　木下川武氏(近畿地方医務局)、中村委員長ほか6名
議事　3月号病院特集企画（病院作品選定。テーマ執筆者選定）

建築データシート委員会

拡大企画分科会
9日　3時～5時半　於会館集会室
出席者　井上・真塚正副委員長ほか7名
議事　(1)工事分類、細項目の調整及び決定
(2)部位別索引について
(3)ハンドブックの体裁(装幀)について
企画分科会
29日　正午～2時40分　於会館3階会議室
出席者　酒井幹事ほか4名
議事　(1)こんごのスケジュールについて
(2)具体的な作業内容について

住　宅　委　員　会

委員会
9日　5時50分～7時30分　於会館集会室
出席者　小西委員長ほか11名
議事　(1)今後の住宅展について
(2)その他

建　材　委　員　会

委員会
25日　5時半～8時半　於会館集会室
出席者　山田委員長ほか11名、㈱ノーリツより2名
議事　(1)「給湯器」について
(2)「新建材紹介コーナー」3月以降掲載分について

工高生デザインコンクール表彰式

26日　2時～3時　於会館集会室
出席者　吉田審査委員長ほか審査員1名、関西建築家懇談会一の会代表坂内幾男氏、岡田・斎藤教育委員会正副委員長ほか2名
岡田教育委員長の挨拶、吉田審査委員長の審査結果の報告に続いて入選者に対し賞状、賞牌を岡田委員長より、最優秀作品に対して関西建築家懇談会一の会坂内代表よりそれぞれ授与した後茶話会を開催した。
なお終了後「阪急グランドビル」の見学（3時半→5時）を行った。

見　学　会

茶室の見学とセミナー
「京都・西翁院の淀看席」
5日　2時～4時　参加者　29名
講師　帝塚山学院大学教授
工学博士　岡田孝男氏
国宝、東大寺金堂(大仏殿)昭和大修理見学会(2)
―屋根改修工事の見学―
19日　1時40分～4時　参加者　49名
施工　清水建設株式会社
当日は「昭和大修理…須屋根工事」の記録映画を観覧の後、見学に移った。
奈良、法隆寺・寺務棟新築工事の見学会
26日　3時～4時半　参加者　20名
設計・施工　株式会社竹中工務店

若　い　会　員　の　集　い

ディスカバー大阪(その3)
北浜・船場界隈の町屋を見る
12日　1時半～5時　参加者　33名
講師　大阪市立大学教授
工学博士　白木小三郎氏
主な見学場所
愛珠幼稚園、小西儀助商店(現コニシ㈱)、旧小西家(現銭高組高徳寮)

建　築　ク　ラ　ブ　朝　食　会

8日　8時半～9時半　於大阪グランドホテル
出席者　71名
当日は大阪市立美術館館長岡崎譲治氏より「鶴林寺の壁画(スライド併用)」についてのお話を伺った。

11　月　の　入　会　者　(敬称略)

〔団体会員1社〕
鐘紡建設工業㈱
〔個人会員5名〕
沖見　誠　　神尾　正彦　　小林　義貞
橋詰　英克　　薮田　博文

賀　正

1978

設計事務所有志

ARI
あり

一級建築士事務所
株式会社 A.R.I.(あり)建築事務所

代表取締役　亀井晃治

事務所　大阪市南区谷町7丁目12番地の1　新谷町第3ビル2F　TEL (06)768－1771(代)
アトリエ　東大阪市上石切町2丁目14－35　TEL (07437)3－6137

アトリエtrefoil(トリフォイル)
一級建築士事務所　菅家克子
室内建築設計事務所　佐々木恵子

大阪市北区岩井町1丁目79の2玉置ビル4階　〒530 (06) 351－8920・6307

株式会社 東建築設計事務所

代表取締役　東秀保

大阪市北区天神橋筋3－67　マチスビル　電話 06 (358) 5598・3497

株式会社 井上久雄建築設計事務所

代表取締役　井上久雄

〒550 大阪市西区京町堀1丁目4－4千島ビル　電話大阪 06 (443) 7386(代)

株式会社 井上達明建築事務所

代表取締役　井上達明

〒530 大阪市北区鶴野町51番地（安田ビル）　電話 06 (372) 2821(代)

株式会社 伊東建築設計事務所

代表取締役　竹　原　永一郎

〒556 大阪市浪速区幸町通２－６（清光ビル） 電話(562)4343～5

株式会社 伊藤建築設計事務所

取締役社長　伊　藤　鑛　一

本　　社　名古屋市中区錦3丁目3-6(日本経済新聞ビル)　電話〈052〉951-1110㈹
東京事務所　東京都千代田区神田美土代町７(久保ビル)　電話〈03〉294-6061㈹
大阪出張所　芦屋市山手町６９　電話〈0797〉22-２１６３

石川建築事務所

石　川　　宏
石　川　誓　一

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町111　電　話　06（779)9491(代)
〒665 宝塚市光ケ丘１丁目12－２　電　話　0797（７２）２３３８

株式会社 泉沢建築設計事務所

代表取締役　泉　沢　哲　史

530 大阪市北区真砂町48-1(オオシマビル)　TEL (06)364-9071㈹

株式会社 入江三宅設計事務所

代表取締役　三　宅　　晋

東京都港区虎ノ門1丁目18番1号(第10森ビル)　電話 03（501）0286㈹
大阪市東区北浜４－４８－３　電話 06（201）５３０５

株式会社 浦辺建築事務所

代表取締役所長　浦辺鎮太郎
取締役副所長　松村慶三

大阪市北区梅田８番地・新阪急ビル　電話０６（341）１７２７
東京事務所　東京都千代田区平河町２－７－１　塩崎ビル
福岡事務所　福岡市中央区大名１－９－２７　西部ビル

株式会社 栄和設計事務所

取締役社長　小泉善重
専務取締役　神山一郎

本　　社　大阪市福島区福島3丁目1番54号　TEL大阪（452）1651～4
京都連絡所　京都市西京区桂千代原町38－27　TEL京都（391）2588

株式会社 久米建築事務所

取締役社長　永井賢城

本　社　東京都港区西麻布1丁目13番11号　電話03（403）0251大代表
大阪事務所　大阪市北区堂島中1丁目23番地　堂島中町ビル　電話06（344）2096代　表

指宿真智雄

大阪市東区南本町4－47　イトウビル
〒541　TEL（06）252－1011～4

株式会社 建築デザイン　1級建築士事務所

株式会社 緑地デザイン　技術士事務所

東京都港区麻布台1丁目1番20号麻布台ユニハウス107号
〒106　TEL（03）586－1311－4

株式会社 設備デザイン　設備士事務所

京都市中京区柳馬場通御池下る　京都朝日ビル
〒604　TEL（075）221－1101～4

コータケ建築設計事務所

所長　高武主計

大阪市西区江戸堀3丁目6番23号　末広ビル　TEL 06(448)0178・2408

株式会社 篠田川口建築事務所
株式会社 協同設備事務所

代表取締役社長　川口喜代枝

名古屋市東区泉1丁目21番21号
TEL 962－7581（代）
TEL 971－2255（協同）

株式会社 昭和設計

計画・設計・監理

代表取締役社長　岡本行善
代表取締役専務　林唯夫

本社事務所　大阪市西区西長堀北通1-8 四ツ橋ビル　TEL代表 532－3421
神戸事務所　神戸市葺合区八幡通4丁目2番17号　久徳ビル　TEL078－251－0651

株式会社 創美設計

代表取締役　中原英雄

大阪市北区末広町17　星和地所扇町ビル6階　TEL大阪(06)312—3587代表

株式会社 大建設計

取締役社長　高橋慶夫

本社	大阪市西区江戸堀1丁目12番8号　安田生命大阪ビル	大阪(441)9351(代)
大阪本社	大阪市西区江戸堀1丁目12番8号　安田生命大阪ビル	大阪(441)9351(代)
東京本社	東京都港区新橋1丁目10番7号(大和銀行新橋ビル)	東京(572)4595(代)
名古屋事務所	名古屋市中区栄4丁目6番15号名古屋日産生命館ビル	名古屋(261)8531(代)
九州事務所	北九州市小倉北区紺屋町9番1号　明治生命小倉ビル6階	小倉(521)4285(代)
分室	大分・室蘭	

株式会社 田中小西建築事務所

取締役社長　小西岬

本社 大阪事務所	大阪市西区阿波座南通2－60	電話(532)4051代　表
東京事務所	東京都千代田区神田鍛冶町3－3(大木ビル内)	電話(256)9301代　表
名古屋事務所	名古屋市中区丸の内1の8番39号(三信ビル内)	電話(211)4035
大津事務所	大津市梅林1丁目4番15号(滋賀県教育会館内)	電話(22)5373～4
広島事務所	広島市大手町2丁目7番1号(三葉ビル)	電話(46)0144

株式会社 東海設計

代表取締役社長　小坂忠勝

本社　名古屋市中区栄3丁目7番1号(伊勢町ビル)　〒460 TEL052-261-2651(代表)
東京事務所　東京都中央区宝町1－8(東信ビル)　〒104 TEL03-561-0815(代表)

株式会社 東畑建築事務所

代表取締役社長　東畑謙三

本社 大阪事務所	大阪市東区伏見町5丁目19	電話 大阪(06)202-0391
東京事務所	東京都千代田区永田町2(永田町ビル)	電話 東京(03)581-1251
名古屋事務所	名古屋市中村区名駅3(堀内ビル)	電話 名古屋(052)571-8471
北九州支所	北九州市小倉北区魚町1－4－21(北九州清和ビル)	電話 小倉(093)541-6531

株式会社 内藤建築事務所

代表取締役会長　内藤資忠
代表取締役社長　片山光生

本社　〒606京都市左京区中大堰町189番地　電話075(781)4111代
事務所・出張所　青森・東京・松本・静岡・名古屋・京都・奈良・大阪
四国・福岡

中根庭園研究所

所長　中根金作

建設コンサルタント（造園部門）　（建設省認定　第445号）

本　社 〒606 京都市左京区下鴨森本町15　電話 075(781) 1107

北陸営業所 〒910 福井市春山2丁目4の3 春山ビル3F　電話 0776(23) 2904

公園一般・造園設計・施工・監理

株式会社 日建設計

取締役社長　近藤　保

〒541 大阪市東区横堀2丁目38

電話06－203－2361(大代表)

株式会社 洋建築事務所

設楽貞三
橋口賢之
太田勝

大阪市北区松ヶ枝町88（大徳ビル）　電話 358－6372(代)

株式会社 宮後建築事務所

代表取締役　宮後健

本　社　大阪市天王寺区上汐町6－35　電話 772－0165(代表)

分室 大阪椎寺町・大阪本町

有限会社 村野，森建築事務所

大阪市阿倍野区阿倍野筋2－3－8　電話(624) 0926代表

研究室　大阪市南区心斎橋筋1－43　電話(253) 0875代表

東京事務所　東京都中央区日本橋茅場町2－3　電話(669) 5651代表

株式会社 安井建築設計事務所

取締役社長　佐野正一

本　社　大阪市東区島町2丁目7番地　電話 06(943)1371(大代)

支社 大阪・東京・名古屋・神戸・福岡

賀　正

1978

建設業者有志

株式会社　あめりか屋

取締役社長　前野慶太郎

本　社　〒530 大阪市北区常安町17番地　電話 代表 (444) 1501番

株式会社　淺沼組

取締役社長　淺沼茂夫

本　社・大阪市天王寺区東高津町8番地の1　電話 大代表 (768) 5222
東京本社・東京都新宿区荒木町5番地　電話 代表 (357) 0261
支　店・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡
営業所・旭川・苫小牧・青森・秋田・盛岡・福島・水戸・北関東・千葉・立川・横浜
新潟・北陸・浜松・静岡・岐阜・長野・三重・滋賀・奈良・京都・大和郡山
和歌山・神戸・岡山・鳥取・山口・高松・徳島・松山・熊本・鹿児島・沖縄

株式会社　新（アタラシ）工務所

取締役社長　新昭一

本　店・大阪市北区曽根崎中1丁目43　電話 代表 大阪(313)1331番
支　店・東京都千代田区猿楽町2丁目1番14号　電話 代表 東京(291)3741番
支　店・名古屋市中区大須4丁目1番71号(時計ビル)　電話 名古屋 (262)1725番

安藤建設株式会社大阪支店

取締役大阪支店長　堀米潔

大阪市福島区福島6丁目3番21号　電話 代表 (453) 2190
本　社・東京都中央区八重洲2丁目2－2　電話 大代表 (272) 7411
支　店・名古屋・仙台・静岡・九州・広島・横浜・札幌
営業所・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸・京都・沼津・札幌・宇都宮・北九州・熊本

株式会社　井上組

取締役社長　井上福蔵

本　社　大阪市都島区網島町6番25号　大阪(351)0530　(352)4031～4
出張所　神戸市生田区加納町3丁目2番地　電話 神戸(33)1780

株式会社 今西組

取締役社長　今西壽雄

本社　大阪市天王寺区上本町7丁目2番地ノ1　電話06(779)3361
支店　東京都新宿区内藤町1番地　電話03(354)0581
営業所　京都・神戸・奈良・埼玉

株式会社 大林組

取締役社長　大林芳郎

東京本社・東京都千代田区神田司町2丁目3番地　電話 大代表 (292) 1111番
本　店・大阪市東区京橋3丁目37番地　電話 大代表 (943) 1131番
支　店・札幌・仙台・横浜・金沢・名古屋・神戸・岡山・広島・高松・福岡

株式会社 奥村組

取締役社長　奥村俊夫

本　社　大阪市阿倍野区松崎町1の2の3　電話 大阪(06)621−1101(大代表)
東京本社　東京都港区元赤坂1の3の10　電話 東京(03)404−8111(大代表)
支　店　札幌・仙台・浦和・東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・広島・高松・北九州・福岡

鹿島建設株式会社

取締役社長　渥美健夫
常務取締役支店長　金田伝一郎

本　社　東京都港区元赤坂1−2−7　電話 03 (404)3311(大代)
大阪支店　大阪市南区鰻谷西之町6　電話 06 (245)2311(大代)

株式会社 神崎組大阪支店

取締役支店長　江藤忠實

大阪市北区曽根崎新地1丁目21　電話 大阪 (341) 7371(代表)
本　社・姫路市北条口86−3　電話 姫路 (23) 2021(代表)

株式會社柄谷工務店

取締役社長　柄谷順一郎

本　社　尼崎市玄番南之町4番地　電話大阪 06(411)1451(代)
営業所　大阪・西宮・神戸・高砂・豊田

株式会社 近畿建設

代表取締役　川崎敬三

本　社　大阪市西区江之子島1丁目2番2号　電話　大阪06（448）5601代
滋賀支社　滋賀県栗太郡栗東町岡１９３の１　電話　07755（２）1361～２

熊谷組

代表取締役社長　牧田甚一
専務取締役大阪支店長　星野晴彦

本　社　東京都新宿区津久戸町１７番１号　電話（260）2111番（大代表）
大阪支店　大阪市都島区片町２丁目１０番５号　電話（352）1151番（大代表）
支　店　札幌・仙台・北関東・東京土木・東京建築・横浜・名古屋・広島・四国・福岡・北陸・那覇

甲南建設工業株式会社

代表取締役　原精一

大阪市淀川区十三本町２丁目４番２８号　電話(06)308—1551大代表
東京都千代田区神田須田町１—18(共同ビル)　電話　(03)253—4455代表
尼崎市南武庫荘２丁目７番２３号　電話　(06)427—9631代表
神戸市葺合区八幡通４丁目２番８号(松井ビル)　電話　(078)221—6293代表
堺市宿屋町東３丁１番１９号　電話　(0722)29—００８８
福岡市博多区博多駅前３丁目２番８号(住友生命ビル)　電話　(092)471—７２７１
名古屋市熱田区富江町１１１　電話　(052)681—６７４５

株式会社 鴻池組

取締役社長　鴻池藤一

本　店　大阪市東区北久宝寺町4-27　電話　ダイヤルイン（244）3500（受付台）
支　店　東京・名古屋・広島・福岡・鹿児島・松江・仙台・高松・横浜・札幌・神戸・京都・金沢

株式会社 金剛組

代表取締役　金剛利隆

本　社　〒543 大阪市天王寺区椎寺町66番地　電話　大阪(779)7731～5

佐藤工業株式会社

取締役社長　佐藤欣治・常務取締役大阪支店長　小町谷武司

本　社・東京都中央区日本橋本町４－８　電話　東京（662）2331（大代）
大阪支店・大阪市東区北浜１－２５　電話　大阪（203）7221（代表）
支　店・東京・名古屋・富山・札幌・福岡・仙台・広島・横浜

清水建設株式会社

社長　野地紀一

本社　東京都中央区宝町2－1－1

支店　大阪・名古屋・広島・高松・福岡・金沢・仙台・札幌

自然を生かす国造り

住友建設株式會社

取締役大阪支店長　楠本昌造

大阪支店　大阪市東区北浜5丁目22番地(新住友ビル2号館)電話 06(220)8712

本店　東京都新宿区荒木町13番地　電話 03(353)代表5111番

株式会社 盛工務店

代表取締役　盛道雄

本社　大阪市北区南森町4-7(成興ビル)　電話 (364) 1581(代表)

営業所　神戸・赤川・西宮・宝塚・豊中

株式会社 錢高組

取締役社長　錢高輝之

本社・大阪支社　大阪市西区西本町2丁目2-11　電話 大阪06(531)6431(大代表)

東京支社　東京都千代田区一番町31番地　電話 東京03(265)4611(大代表)

支店　札幌・仙台・名古屋・広島・福岡

営業所　青森・秋田・盛岡・福島・新潟・前橋・宇都宮・水戸・浦和・千葉・多摩横浜・甲府・静岡・津・金沢・京都・神戸・岡山・松江・山口・高松・松山北九州・大分・熊本・長崎・宮崎・鹿児島・沖縄

大成建設株式会社

取締役社長　菅澤英夫

常務取締役大阪支店長　原田眞三

本社　東京都中央区銀座2丁目5番11号　TEL東京 (567)1511大代表

大阪支店　大阪市東区本町4丁目27番地　TEL大阪 (262)1131大代表

支店　東京・名古屋・福岡・札幌・仙台・広島・横浜・新潟・高松

株式会社 竹中工務店

取締役社長　竹中錬一

本店　大阪市東区本町4丁目27　電話 大阪 (252) 1201番(大代表)

支店　北海道・東北・東京・名古屋・広島・九州

営業所　千葉・横浜・静岡・北陸・京都・神戸・岡山・四国・北九州

鉄建建設株式会社大阪支店

西日本業務担当
常務取締役　児　島　　章

常務取締役支店長　金　子　越　郎

大阪市大淀区天神橋７丁目１－10(天六阪急ビル)　電話(358)0321(代表)
本社・東京都千代田区三崎町二丁目五番三号　電話東京(262)3411(代表)

戸田建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　加　納　秀　雄

大阪市西区西本町１丁目13－47(新信濃橋ビル)　電話06－531－6561(大代表)
本社東京都中央区京橋１丁目３番地
支店　東京・関東・横浜・名古屋・札幌・仙台・広島・四国・九州

東洋興業株式會社大阪支店

取締役副社長
大阪駐在　小松英二　　常務取締役
支店長　田中巖夫

本　社　東京都千代田区丸の内3-4-2日石ビル　電話 東京 (212) 3 2 6 1
大阪支店　大阪市北区豊宮町３－２ 豊崎ビル　電話 大阪 (373) 1 1 8 1
支　店　東京・名古屋・仙台・札幌・福岡

飛島建設株式會社大阪支店

取締役支店長　山　本　龍　男

大阪市東区島町２丁目２８番地　電話　大阪 (942) ２４８１(代表)
本　社　東京都千代田区九段南2丁目3番28号 電話 東京 (263)3151(大代表)

日本建設株式会社

取締役社長　生　田　重　政

本　社　大阪市東区安土町４－５　TEL (261) ７５９１－８ 〒541
支　店　東京・大阪・名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・四国・沖縄

明日をささえる　西松建設

大阪建築支店　大阪市東区釣鐘町２丁目４１番地
支店長　一　志　淳　夫
本　社　東京都港区芝西久保桜川町１３番地



野村建設工業株式会社

取締役社長　岩本義心

本　社　大阪市東区高麗橋2丁目9番地　電話(202)4791代表
東京支店　東京都千代田区大手町2丁目1番1号　電話(241)4171代表



株式会社 間組大阪支店

専務取締役
大阪支店長　土上三之丞

大阪市東区瓦町5丁目20番1号　電話(201)2751(大代表)
本　店・東京都港区北青山2丁目5番8号　(405)1111番(大代表)
支　店・東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・北陸・札幌・広島・高松・海外工事局



未来をひらく フジタ工業

常務取締役大阪支店長　志賀修一

大阪市北区堂島中2丁目38番地　電話(345)代表7671
本社・東京都渋谷区千駄ケ谷4－6－15
支店・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・札幌・仙台
海外・リマ・カラカス・サンパウロ・キトー・ロサンゼルス・グアム・クウェート



不二建設株式会社

取締役社長　山口吾郎

本　社　大阪市西区西本町3丁目1番9号　〒550　電話　06(541)5534代表・9301代表
支　店　東京都新宿区西新宿4丁目5番2号　〒160　電話　03(377)5171　代表
　　名古屋市中区千代田4丁目11番17号　〒460　電話　052(321)8481　代表
出張所　仙台・静岡・大垣・滋賀・京都・姫路・岡山・広島・博多・大分



株式会社 藤木工務店

取締役社長　藤木鐵三

本社大阪本店・大阪市東区両替町1丁目13　電話　06(942)1461(代)
支　店・東京都新宿区三栄町23の4　電話　03(357)1611(代)
　　倉敷市鶴形1丁目10の32　電話　0864(22)3330(代)
　　高松市丸ノ内11の13　電話　0878(51)7272(代)
　　京都市右京区西院寿町13　電話　075(311)4131(代)
　　福岡市博多区博多駅南4丁目18の2(博多沢田ビル内)　電話　092(441)6585(代)
営業所・多摩・静岡・名古屋・宇治・岡山・徳島・新居浜・熊本



前田建設工業株式会社大阪支店

取締役支店長　井戸賢二

支　店　大阪市都島区東野田町2丁目4番20号　電話大阪(353)7891(代表)
本　社　東京都千代田区富士見2丁目10番地の26号　電話東京(265)5551(代表)

株式会社 松　村　組

取締役社長　松　村　雄　二

本　社・大阪市北区空心町一丁目七〇番地　電話 大代表 大阪(353)1131
支　店・東　京・名　古　屋・札　幌・仙　台・広　島・福　岡

三井建設 株式会社 大阪支店

常務取締役支店長　滝　口　開

大阪支店　大阪市北区中之島３－７（三井ビル２号館）　TEL　06－443－1321
本　店　東京都千代田区岩本町３－10－１　TEL　03－863－3111

村本建設株式会社

代表取締役社長　村　本　豊　嗣

本　店　奈良県北葛城郡広陵町安部５４７　電話 大和高田 (55) 1151(代表)
大阪本社　大阪市天王寺区上本町９丁目４９　電話 大　阪 (779)1571(代表)
東京支店　電話 東京 (265)5851㈹　**名古屋支店**　電話 名古屋 (241)1511㈹
福岡支店　電話 福岡 (741)0119　**三重支店**　電話 津 (26) 2949

望月建設株式会社

取締役社長　望　月　小　太　郎

本　社　大阪市北区堂島上１丁目18　電話大阪(344) ８６５１(代表)

株式会社 森　組

取締役社長　森　幸　彦

本　社　大阪市東区横堀２丁目１４番地　電話　201－2761(代)
(支　店)　東京・名古屋・奈良・九州　(営業所)仙台・滋賀・京都・神戸・広島

株式會社 米田工務店

取締役会長　米田治郎兵衛
代表取締役　米　田　良　男

本　社　〒543 大阪市天王寺区逢阪上ノ町７　TEL 大阪(06)771-7771代表

賀　正

1978

建材・設備工事・報道印刷業者有志

アイエム換気工業株式会社

代表取締役　松岡晃一郎

本　　社　大阪市浪速区芦原町1183　TEL (06) 561−3901代
東京出張所　東京都豊島区西池袋5−13−13　TEL (03) 988−0271
東都自動車ビル1411号
泉北出張所　堺市泉北若松台1−1−1310号　TEL (0722) 92−3321

タイル・瓦工事

井上窯業株式会社

代表取締役　井上秋次

大阪市天王寺区生玉町40番地　電話 771−2825(代)
営業所　豊中・奈良・寝屋川　779−5323〜4

株式会社　梅彦

代表取締役　松永嘉一郎

本　　社　大阪市北区舟場町20番地　電話 06 (371) 4036代
営 業 所　大阪市北区道本町40番地　電話 06 (312) 6171代
茨木工場　茨木市字清水246番地　電話0726 (43) 6149代

防煙・防火は　OMAIA　で……　OK!

取締役社長　小俣茂

小俣シャッター工業株式会社大阪支店

大阪支店　大阪市北区此花町2−51(第5新興ビル)　電話大阪 (353) 7377代
本社工場　東京都北区東田端1−4−1　電話東京 (893) 5211代

大阪装飾株式会社

取締役社長　蜷川智造

本　社　大阪市西区京町堀1丁目13番24号　電話 06 (444) 1410(代)
営業所　東京都港区西新橋2−26−1　電話 03 (437) 2577(代)
神戸市生田区下山手通2−15(聯合ビル)　電話078 (321) 2009(代)

新不燃材料
不燃(個)第1325・1326・1327

大島応用化学工業株式会社

建設大臣許可(般ニ51)第3105号
屋根・壁・外装材・谷樋材
製造並責任施工

施設に保護を!!
設備を大事に!!

代表取締役社長　田　中　政　二

〒578 本社　東大阪市新庄１１４番地　電話 06 (745) 5121(代)
店所　東京・横浜・千葉・静岡・名古屋・四日市・岡山
広島・宇部・大牟田・新居浜

片岡工業株式会社

代表取締役社長　片　岡　好　一

本　　社　大阪市浪速区東関谷町２丁目12の１　電話 (06)643代表３５６７
京都営業所　京都市南区吉祥院石町西町１番地　電話(075)672代表３１０６
東大阪営業所　東大阪市善根寺町４丁目12の24　電話河内枚岡(0729)84－5301

FLINTKOTE

株式会社 シエル石油大阪発売所

フリントコート部門

本部長　栗　山　和　三

本　社　大阪市北区堂島浜通1丁目25-1(新大ビル9F) 電話 大阪(343)0441大代表
営業所　東　京・福　岡

須賀工業株式会社

取締役社長　須　賀　　孝

本店大阪市西区土佐堀１丁目２－３０電話 (06) 441－５１７１
支店 東京・大阪・横浜・名古屋・京都・神戸・広島・福岡・札幌・千葉・静岡・金沢・高松

成幸工業株式会社

代表取締役　國　藤　光　弘

本　社　大阪市西区西本町１－７－20　電話 06－531－8801番
支　店　東京都千代田区麹町５－３　電話 03－263－1691番

よりよき環境へ技術で挑む

株式会社 精研

取締役社長　木　内　清　三
専務取締役　和　田　正八郎

本　　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地(オートセンタービル) 電話768-5031代
東京支店　東京都千代田区九段南２丁目２番５号(九段ビル) 電話262-3241代

東西アスファルト事業協同組合
西日本床工事事業協同組合

株式会社 タテバヤシ商店

代表取締役　舘林彦四郎

〒601 京都市南区西九条大国町37　電話（075）681－7221(代)

大阪ガス風呂ショップ
TANAKA BATH LIVING

株式会社 タナカ風呂

代表取締役　田中照雄

大阪市浪速区元町1丁目747　（但し国鉄湊町駅南へ50メーター西側）
電話（649）3726(ミナフロ)代
工場 守口市大宮通り4丁目25　電話（997）0171代

高千穂電機株式会社

取締役社長　岩崎久雄

本　社　大阪市都島区中野町4丁目8番10号　電話 06(358)1171大代表
支　店　東京都港区虎ノ門1丁目13番5号　電話 03(503)0718代　表
　　福岡市中央区天神1丁目10番24号　電話092(712)0126代　表
営業所　神戸　078(351)6441　・　鹿児島　0992(24)0115

東亜印ルーフィング

東亜工業株式会社

本　社　〒581 大阪府八尾市南太子堂6丁目4番27号　電話0729－94－5682
営業所　東京・名古屋
工　場　大阪・東京・和歌山

東亜アス防水工事ハイボンデル工法
合繊不織布・TNコート使用のメンブレン防水

建設省計振発第55号認可

東亜アスファルト防水事業協同組合

〒581　大阪府八尾市南太子堂6丁目4番27号　電話　0729－94－5682

特許 強力アスロン・アスタイト防水

東西アスファルト事業協同組合
田島ルーフィング株式会社

大　阪：大阪市西区京町堀1－10－5　電話（06）443－0431
東　京：東京都千代田区岩本町3－11－13　電話（03）862－8531
名古屋・広島・福岡・札幌・仙台

東邦パーライト断熱コンクリート、東邦パーライト断熱モルタル、建設省防火認定材料 { ネオパールスキンA / ネオパールスキン }

東邦パーライト株式会社

取締役社長　橘　泰治

本　社　大阪市東区森之宮西の町５９４　電話（941）９２４３～７(代)
営業所　東京・横浜・名古屋・広島・福岡・高松・金沢
出張所　三重・京都・神戸・和歌山・山口・松山

友田工業株式會社

代表取締役　友田俊夫

本　社　〒534 大阪市都島区都島中通３丁目3番6号　電話　06(921)0331～6
奈良営業所　〒630 奈良市鳥見町３丁目９番５号　電話　0742（43）5620

TOTO特約店　## 株式会社 ナニワ

代表取締役　吉田広助

営業所　〒544 大阪市生野区巽西２丁目７番24号　電話 757－1101(代)
本　社　〒543 大阪市天王寺区烏ヶ辻町６１　電話 771－9123(代)

株式会社 西原衛生工業所大阪店

代表取締役社長　伴　一郎

大阪市大淀区中津６丁目８番４号　電話 大阪（458）3531番(代)

日刊建設産業新聞・日刊建産速報

株式会社 日刊建設産業新聞社

取締役社長　花村茂彦　　常務取締役 大阪支社長　山邊敏郎

大阪支社　大阪市東区淡路町1丁目14(八千代ビル)　電話06(231)8171(代)
神戸支局　神戸市葺合区八幡通４丁目２－25　電話078(291)0541～2
京都支局　京都市上京区河原町丸太町東入俵屋町460　電話075(211)1911
本　社　東京都板橋区板橋町１丁目４８－８　電話03(961)1691(代)

大阪で唯一の

株式会社 日刊建設新聞社

代表取締役　中山豊雄
代表取締役　中山敏夫

大阪本社　大阪市東区高麗橋１丁目３（東洋ビル）　電話 202－6861(代表)

株式会社 日刊建設通信新社関西支社

代表取締役会長　田　中　　一
常務取締役 関西支社長　林田不二夫

大阪市西区京町堀1－6－23　エハラビル　電話　(444) 4451代表
本　社・東京都港区西新橋2－11－4　電話　(502) 8581代表

マルエス印▲ルーフィング▲シングル▲ビニエスタイルSP

日新工業株式会社 大阪支店

大阪支店長　紫富田忠雄

本社営業所　東京都足立区千住東2－21－28　☎東京(882) 2424(代)
大阪支店　大阪市東淀川区瑞光通り4－30－2　☎大阪(329) 7737～40
出張所　名古屋・広島・福岡・札幌・山形・工場／東京・埼玉・山形

日本アスファルト防水工業 協同組合
関西支部

大阪市東淀川区瑞光通り4－30－2　日新工業株式会社大阪支店内
電話（329）7737～40

日本アスファルト防水工業協同組合員

日新工材株式会社

代表取締役　井場正孝

〒550 大阪市西区新町北通1－17　電話 06(541) 3785(代)

Vandex

無機質浸透性塗布防水剤

ウレタン防水剤――バンデコート・カラーバンデコート
防塵用カラー床剤―バンデコート F-500
ウレタンシーラント―S-340
エポキシ防蝕剤―バンデコートP-201

〈信越化学グループ〉

株式会社 バンデックス・ジャパン

代表取締役社長　村川一雄
関西営業所所長　大友　理

本　社　東京都中央区八丁堀2－27－10　03―552―6954(代表)
関西営業所　大阪市北区伊勢町19-2 高橋ビル北2号館　06―312―5765(代表)

阪急電気工事株式会社

取締役社長　杉村正三郎

本　社　大阪市淀川区新北野1丁目4番21号　電話　代表 06 (302)0231
営業所　名古屋市南区観音町6－7　電話　代表 052 (692)1141

富士造園土木株式会社

技術とアイデアの富士

代表取締役　金　岡　秀　輔

宝塚市山本東2丁目6番17号　電話（宝塚）0797－88－0501～6

普通赤煉瓦、焼過煉瓦、$\frac{1}{4}$煉瓦製造・販売・施工
㊫日本工業規格表示許可工場

松本煉瓦株式会社大阪支店

大阪支店　大阪市西区安治川1丁目2－39　TEL　06－582－2923代
本社工場　広島県竹原市吉名町517　TEL 08462－8－0211代

ビニロイド　防水　責任施工
アコシート　防水　責任施工
防熱工事設計施工
プラスオール
コーキング　販売施工
ACフロア55

三星産業株式会社

〒550 大阪市西区京町堀1－10－17(大栄ビル)　Tel.〈443〉9721(代)
〒101 東京都千代田区神田小川町3-28(三東ビル)　Tel.〈292〉1961(代)
出張所：札幌　〈721〉6031・6307　仙台〈21〉5366(代)
名古屋〈931〉4574・3393　福岡〈78〉3361(代)

三協アルミニウム工業株式会社代理店
日立化成工業株式會社代理店
新明和工業株式會社代理店

ムツミ産業

ムツミ産業株式会社

代表取締役　傳　馬　正　明

〒550 大阪市西区靭本町1丁目17番15号　電話（06）大代表 441－0378番
〒725 広島出張所・広島県竹原市竹原町本川1514－9　工場・大津、竹原

室谷商事株式会社

取締役社長　室　谷　山　水

本　社　神戸市生田区北長狭通4丁目1(英和ビル) 電話078－331－0881
支　店　大阪市北区絹笠町50（堂ビル）電話 06－364－2031

四ツ橋
装美建材
金属建材

株式会社 山建建材

No.1販売部・No.2施工部

本　　社　大阪市西区四ツ橋筋・四ツ橋　電話 541－1861～8
東　　店　東大阪市金物町3番1号　電話 723－2277～8
山建ソービ　大阪市西区立花通2(展示屋敷)　電話 541－2152～3

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

シート防水・ウレタン防水・シングル葺工事

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　TEL 06-364-0206 代表

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　(英和ビル)
電話　神戸(331) 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル5階 502号室)
電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5(電話221 2923)



鉄壁の守り
奥山式・熱工法・冷工法総合防水層

創業50有余年、当社では製品製造から責任施工までの一貫した作業システムにより、漏水原因を克服した理想的な総合防水層を完成させました。

●奥山式総合防水層の特長
継目がない／温度変化による伸びがない／腐らない／柔軟性に富んでいる／耐候性に優れている／製品及び施工技術が優れている／完全絶縁工法で施工出来る

奥山化工業株式會社
本　社　東京都中央区銀座8-4-9　電話03(571)2703

カッパー防水帯
コーパータイト
オクロン防水帯
新工法プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

厚木出張所　厚木市金田字宮畑 259 電話0462(21)6092
大阪出張所　大阪市都島区都島中通り2-3-1 電話06(921) 2497
名古屋出張所　名古屋市南区若草町3－3 電話052(811)3660
九州出張所　佐賀県諸富町 電話0952(47)2945

腐らない・燃えない・軽い

ケミカラーオーシマメタル

屋根材・壁 材・谷樋棟包水切りに
スタンダードメタルの 大島応用化学 東大阪市新庄 (745)5121～5

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備 設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区芝松町1-25-7　電話（434)6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話（302)2271(代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町65番地　電話（352)1131（代）
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話（667)3431（大代）
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

給排水・衛生
暖冷房・換気 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区高垣町一　電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル　電話 京都561局4944(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一　電話 神戸341局5892

空気調和・衛生設備 設計施工

株式会社 三晃空調

東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03－344－1911
大阪本店　大阪市北区富田町16番地　電話 06－363－1371
支　店　名古屋市中村区下笹島町11－2　電話052－581－8571
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話0822－47－4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092－761－3795
出張所　横浜・福井・京都・神戸・松江・沖縄

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設計施工

大阪電気暖房株式会社

本　店　大阪市西区江戸堀1丁目10番17号 〒550 電話(441)8231
本　社　東京都中央区銀座2丁目2番17号 〒104 電話(535)5251
支　社　大阪・東京・名古屋
支　店　札幌・仙台・金沢・広島・福岡
営業所　新潟・天理・岡山・高松・熊本
出張所　秋田・盛岡・千葉・横浜・静岡・富山・福井・豊田・京都・神戸・鹿児島・那覇

管工事業

協和建設工業株式会社大阪支店

取締役支店長　西坂幸男

大阪市北区堂島北町13番地(桜橋千代田ビル)
郵便番号530　電話 大阪（06）346－0721代

空気調和設備
給排水衛生設備 設計施工　各種送風機・製作販売
各種プラント設備

株式会社 カンタン

本　社　大阪市住吉区万代東6丁目3　TEL（672)1281(大代)
営業所　東京・名古屋・京都・広島・福岡　工場　和泉・名古屋
テレックス：本社 No. 562－7688　和泉工場 No 538－5898

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
電話（06）344－6031（代）
本社・東京支店　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話（03）279－5671（大代）
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備
■その他管工事一切の設計・施工

（旧斎藤久孝事務所）

斎久工業株式会社大阪支店

大阪支店　大阪市北区常安町11　電話 06－443－5041代
東京本社　東京都千代田区大手町2-6-2(日本ビルディング)
電話　03－270－7411代
営業所　札幌・仙台・千葉・名古屋・金沢・高松・岡山・福岡
出張所　福井・倉敷・広島・苫小牧

空調・衛生・防災

須賀工業

大阪市西区土佐堀1－2－30　TEL 06－441－5171

支　店　東京・大阪・横浜・名古屋・京都・神戸・広島・福岡
営業所　札幌・千葉・静岡・金沢・高松
出張所　仙台

空気調和設備
給排水・衛生水道
電気設備
厨房

環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業 株式会社 大阪支店

取締役社長　各務節
取締役支店長　藤田初藏
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話　大阪(202)　代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、北陸
出張所　横浜、高松、静岡、豊田、岡山、金沢

空調衛生　地盤凍結　冷凍冷蔵

株式会社 精研

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地(オートセンタービル2階)
郵便番号542　電話 大阪(06) 768－5031番
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号(九段ビル8階)
郵便番号102　電話 東京(03) 262－3241～4番

商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社
●営業種目
空気調和設備 給排水衛生設備 塗装設備 公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京支店 東京都新宿区西新宿2－6－1☎03－344－1851(大代) 大阪支店☎06－448－5851(代)
名古屋支店☎052－211－1535(代) 九州支店☎092－431－2147 営業所：札幌・仙台・横浜・広島
神戸 出張所：新潟・金沢・大宮・静岡・豊田・京都・岡山・松山・熊本・鹿児島・沖縄・バンコク

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11 **電話大阪(458)3531番**
営業所 京都・広島・天理・福岡

温・湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30 電話 (364) 6661 (代)
本社 東京都千代田区丸ノ内3-3-1(新東京ビル)
電話 (211) 8511・8561 (代)
仙台支店 仙台市新伝馬町60
電話 (21) 4491
名古屋支店 名古屋市東区東門前町3－6
電話 (971) 3621

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店 京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店 大阪市北区天満橋筋1－38(天満橋北詰)
電話 (352) 3501～3
四日市支店 四日市市浜田西末広町 電話㊿7431～3
滋賀営業所 大津市打出浜13－15 電話 0775 ㉒9738
津営業所 津市栄町2－111 電話 0592 ㉖3610

一般空調設備・恒温恒湿設備・冷凍冷蔵設備
冷却乾燥設備・環境改善設備その他上記に附
帯する衛生、電気等一切の工事の設計・施工

ダイキンプラント株式会社

取締役社長 北川一郎
本社 大阪市大淀区中津本通1丁目2番地 ホーコクビル
〒531 電話 大阪(06)372－5171(代表)
支店 東京都中央区日本橋本町3の1 共同ビル
〒103 電話 東京(03)242－5521(代表)
営業所 福岡・名古屋・広島・札幌・仙台

Carrier
冷暖房はキャリア
CARRIER

東洋キヤリア工業(株)デストビューター関西地区
日本冷熱工産株式会社
本社及大阪営業所 吹田市豊津町40番38号
電話大阪 (384)1201～7

空気調和・衛生設備
ガス設備・ガス住宅設備
設計・施工
大阪ガス指定工事会社
大阪ガス設備機器特約店

大晃設備株式会社
(旧三晃空調瓦斯工事部)

本社 大阪市北区木幡町34－2 電話 06－313－1846
大阪ガス工営事業所 大阪市北区木幡町34－2 電話 06－313－1846
大阪ガス工営事業所 枚方市甲斐田東町9番3号 電話0720－49－2128
設備部 大阪市北区木幡町34－2 電話 06－313－1846
京都設備営業所 枚方市甲斐田東町9番3号 電話0720－49－2128

平山工業株式会社

衛生・空気調和設備・設計・施工

大阪市西区江戸堀1-22-7 TEL(441)㈹1994・(443)㈹0331

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

高砂熱学

大阪支店 大阪市北区芝田町55番地(北阪急ビル9階)
電話 大阪 (372) 2511 (代表)
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和・恒温恒湿・冷凍・冷蔵
給排水衛生 設備 設計施工

不二熱學工業株式會社

本店 大阪市南区順慶町2－50 電話 261－2436㈹
東京支店 東京都大田区西馬込1－2－1 電話 773－1231㈹
営業所 銀座・浜松・京都・神戸・福岡

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備
設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区靭本町3－1－27 TEL(433) 8071
本社 東京都中央区京橋2丁目9 TEL(562) 1351
支店 名古屋・福岡

空気調和設備・給排水衛生設備・上下水道施設
環境衛生施設・公害防止施設／設計・施工

山田工業株式会社

本社及管工事事業部 大阪市西区京町堀1－6－8 電話06(443)8161(大代表)
環境装置事業部 大阪市淀川区三津屋南1－1－35 電話 06(308)1491(代表)
東京支店 東京都江東区亀戸1－8－4 (由田ビル) 電話 03(683)8421(代表)
名古屋支店 名古屋市中区栄2－16－13(京橋ビル) 電話 052(202)0077(代表)
出張所 神戸・福岡・松山

電気・計装工事 設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗 原 信 英

大阪市北区高垣町16 東阪急ビル TEL06-313-1101
支 店 東京・名古屋・舞鶴・京都・天理
大阪南・神戸・広島・四国・九州

電気設備 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山 本 博 三

本 社 大阪市北区中之島3－3 朝日ビル
TEL 大阪06（385）1361(代)
本社営業所 吹田市垂水町3－34－6
TEL 大阪06（385）1361(代)
京都営業所 京都市右京区西京極葛野町21
TEL 京都075（311）1185（代）
福岡出張所 福岡市中央区薬院1－14－8
TEL 福岡092（771）6168

電気工事設計施工

株式会社 三 興 社

代表取締役 林 敏夫

本 社 大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電 話（361）3671（代）
支 店 東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電 話（671）1478（代）
出張所 川崎・相模原・堺・福山

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社

大阪支社

常務取締役支社長 姉 川 正 男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪（202)0325～9番
本 社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支 社 札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
営業所・出張所 全国主要都市20ヶ所

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉 納 伝 三

本 社 大阪市北区絹笠町50（堂ビル3階）
電 話（364）1471（代）
支 店 東京都港区新橋2－16（ニュー新橋ビル7階）
電 話（504）0231
支 店 名古屋市北区城見通2丁目20番地
電 話（991）5131（代）
営業所 神戸・堺・千葉・宇都宮・熊本

電気工事 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中 本 正 明

本 社 大阪市城東区成育三丁目五番十七号
電 話 大阪（931）代表 7341～5
資材倉庫 大阪市城東区成育三丁目十七番一号 電話大阪(932)2869
奈良営業所 奈良県御所市御国通360 電話御所（2）0122
枚方営業所 枚方市山之上西町1の1 電話枚方(43)8659･(44)9232
神戸営業所 神戸市葺合区若菜通六丁目六番五号 電話神戸(241)5969

電気工事設計施工

太陽工藤工事株式会社

取締役社長 小 林 四 郎

本 社 大阪市福島区福島7－22－8
TEL(06) 452－1151(代)
電力工事本部 大阪市此花区島屋1－1－27
TEL(06) 462－1301(代)

各種電気工事設計施工・制御盤製作

野里電気工業株式会社

取締役社長 池 内 文 夫

本 社 大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電 話 大阪（472）代表1101～7
支 店 東京都品川区西五反田6丁目25番11号(福島ビル)
電 話 東京（491)1746（492)0182・0350
営業所 北九州市小倉区鋳物師町23番地
電 話 小倉（56）5665・5818
出張所 群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気設備設計施工

高千穂電機株式会社

取締役社長 岩 崎 久 雄

本 社 大阪市都島区中野町4丁目8－10
電話 大阪（06）358－1171大代表
支 店 東京都港区虎ノ門1丁目13番5号
電話 東京（03）503－0718代表
福岡市中央区天神1丁目10番24号
電話 福岡(092) 712－0126代表
営業所 神戸 078(351)6441 鹿児島 0992(24)0115

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長 田 中 実

本 社 大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話 大阪（538）1171代表
営業所 東京・名古屋・広島・福岡

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役会長 今 村 腾
取締役社長 平 木 寛
本 社 大阪市北区梅ヶ枝町56番地
電 話 大阪 大代表(312) 8881
支 店 東京・名古屋・四日市・神戸
営業所 松山

電気・計装・空調工事 設計施工

ヤマト電気エンジニアリング株式会社

取締役社長 山 本 永 造

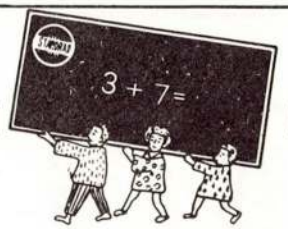
本 社 大阪市北区西堀川町15 TEL06－364－3056(代)
支 店 東京・神戸・広島・岡山
事業所 名古屋・岡山・札幌・苫小牧・浜松・滋賀
京都・高砂・三原・徳山・松山・新居浜・福岡・沖縄

青写真とマイクロフィルム
株式会社
ナイガイ
製図・トレース・複写写真
本　社　大阪市北区堂島北町16　TEL (345)9055(代表)
御堂営業所　大阪市東区本町4－27御堂ビル　TEL (252)3906
横堀営業所　大阪市東区横堀2－36　TEL (202)5260

社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
床・壁内外装用瓦……大仏敷・貼瓦
内外装用窯変美術タイル……大仏タイル
新発売…古代土器調高温〆タイル……大仏古代タイル
株式会社 大仏
本　社　京都市東山区今熊野大仏池田町9の9　075(541)3344(代)
東京営業所　東京都新宿区西早稲田3丁目23番8号　03(202)7801(代)
早稲田セントラルビル1F
工　場　京都清水・山城・瀬戸

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量
ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目七四二電話641五〇六五
ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦

奉仕感謝の店
タイル工事施工
株式会社 川岸窯業商店
本　社　大阪市西区靱本町2丁目98番地(靱本町バス停前)
電話　大阪 06(532)代0461　〒550
姫路営業所　姫路市北条口126番地(住友生命保険ビル7F)
電話　姫路 0792(82) 0999　〒670

Standard


Board&Slate
フタバ黒板
〒547　大阪市平野区加美北3－4－5　TEL 大阪06(792)5858代

営業品目　建設省認定の防火材料
セメント系吹付材　ソリジットスタイン　基材同等　0003号
特殊リシン吹付材　エバウォール　基材同等　0003号
アクリル系吹付材　エバーサンド　基材同等　0004号
ヒル石吹付材　エバテックス　基材同等　0004号
合同特許建材工業株式会社
本　社　大阪市東住吉区駒川町3－54　電話 (06)702－7814～7
東京事業所・名古屋出張所・高松出張所・福岡出張所

耐酸ツボ各種
陶器、ガラス製品卸問屋
セトモノのデパート
源八橋セトモノ百貨店をご利用下さい。

株式会社 吉田芳雄商店
本　店　大阪市北区旅篭町18　電話(361)3450・(364)2345
源八橋店　大阪市北区天満橋筋4－78　電話(358)1790・1838

内外装ホーロー建材及スパンドレル(ヨドウォル・ヨドスパン)
屋根折版（ヨドルーフ）販売及責任施工
サクラ建産株式会社
大阪市都島区都島中通2丁目17番4号
電話　大阪(922) 代表4421～3

株式会社矢橋大理石商店
大阪支店
大阪市東区高麗橋2丁目9　野村ビル5階　電話 大阪(202)4905

FUTABAYA DECORATORS,LTD


建築物船舶等造作工事、家具建具・室内装備工事
内外装飾織物・窓掛敷物壁紙類一式/設計施工
二葉屋装備工業株式会社
（創業大正7年）
取締役会長　若林繁吉
大阪府摂津市東別府3丁目7番8号
電話 大阪（06)349－9193代表
大阪府知事建築業者許可(般－51)第12064号

日進式 簡易間仕切 ディオ

オフィスでは人員の増減やシステムの改善等で，オフィスレイアウトも流動的です。取付，取はずしが簡単なディオは時代の要求にマッチした新しい簡易間仕切です。軽くて，剛性のあるディオパネル(イソバンド36)の表面は0.5%の塩ビ鋼板で構成され，美しい室内感覚を出しています。
(PAT.6件)

奥村重兵衛株式会社

本　社　大阪市北区伊勢町22番地　〒530 電話(06) 312－4131(代)
東　京　東京都港区新橋4－2 第29森ビル　〒105 電話(03) 437－3361(代)
福　岡　福岡市博多区住吉2丁目16番27号　〒812 電話(092)291－0459(代)
名古屋　名古屋市西区倹町2丁目1番6号　〒451 電話(052)522－5436(代)

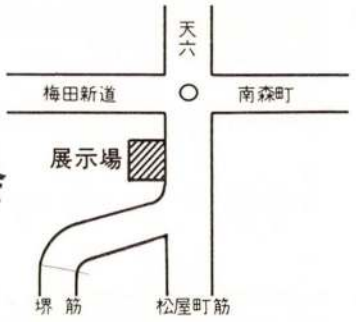
年中見ていただける　皆様の見本室

タイル 常設展示場

AM. 10.00～P.M. 5.00
日曜・祝日は休館

全国タイル展示協会

大阪市北区南森町46番地
八千代ビル南館2 F
TEL (06)364－2059



好評発売中!!

目と手で確かめた水と土の記録　——課題への対応——

最新場所打ちぐい工法
北中克己著　A5判・本文336頁・￥3,500(送料￥200)

納まりやすく施工しやすい配筋の指導書

新刊 配筋読本
井上博・北小路宏共著　B5版・本文162頁・￥3,200(送料￥200)

現場に即した工事検査方法の初の指導書

新版 建築工事検査の実際
亀田泰弘監修
■上巻　B5判・453頁　￥6,000・送料￥250
■下巻　B5判・534頁　￥7,000・送料￥250
上下揃 { 都内送料 ￥350 / 地方送料 ￥500

各種建築構造の計画・設計に役立つ実用便覧

建築構造計算資料集
中川　淳編著　全8巻
1 鉄筋コンクリート構造編①　B5判・188頁・￥2,500(送料￥250)
2 鉄筋コンクリート構造編②　B5判・212頁・￥3,000(送料￥250)
3 鋼構造編①　B5判・225頁・￥3,200(送料￥250)
4 鋼構造編②　B5判・256頁・￥3,500(送料￥250)

増補改訂版　生活環境造りに好個の設計資料

住宅団地の造園施設
沖中　健著　B5判・本文114頁・￥1,600(送料￥200)

快適な住環境を造成する為の技術資料

住宅団地の土木設計
小池正次著　B5判・本文113頁・￥1,600(送料￥200)

コンクリート技術に関する好適の実務書

実用コンクリート技術
森茂二郎編　上巻B5判・360頁・￥3,200(送料￥250)
下巻B5判・414頁・￥3,600(送料￥250)

設計・施工に必要な接着工法の決定版

建築の接着工法
西　忠雄監修　B5判・505頁・￥3,000(送料￥280)

月刊 **建築技術**
建設省建築研究所監修
年間購読料　￥8,400(送料含む)

〔2　月　号〕　定価　￥700

●場所打ちぐいおよび埋込みぐいの支持力……阪口　理
●セメントミルク工法による
　埋込みぐいの支持性能……浜田　勝
●斜張形式の吊屋根構造の設計と施工……川口　衛
●現場溶接部の自動超音波探傷……白岩俊男ほか
●日本における建築分野のＣＡＤの現状(2)……須藤福三
●単純斜面安定解析の簡便法……尾崎　修
●設計者と現場マンのためのわかる溶接(5)……井上　博
●西と東の建築工事……編集部
●構造計算データシート……中川　淳

〔特集号案内〕
●軀体生産技術の向上をめざして/51年4月・特価￥780
●建築と接合/51年7月・特価￥1,300
●住宅部品システムの普及/51年11月・特価￥1,400
●失敗の実例に学ぶ II/52年11月・特価￥1,000

〒160 東京都新宿区北新宿1-8-1中島ビル8F
☎03 〈363〉4211代　振替口座 東京0-72417番
有限会社 建築技術

発明賞に輝く各種特許235件所有

特許 鈴木シャッター

65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シャッター・リンググリル®シャッター・
ステンレスシャッター・アルミニュームシャッター・
40・ピーアップ®シャッター・汎用シャッター
その他特殊シャッターの製造
アフターサービスの完璧

株式会社 鈴木シヤタア商会

大阪市北区茶屋町33番地 電話大阪(06市外局番)371代表4151～6
北陸営業所 金沢市長田町119番地 電話金沢(0762市外局番) 65－5135～6
神戸営業所 神戸市長田区大橋8-4-7 電話神戸(078市外局番)611－7971
631－2021

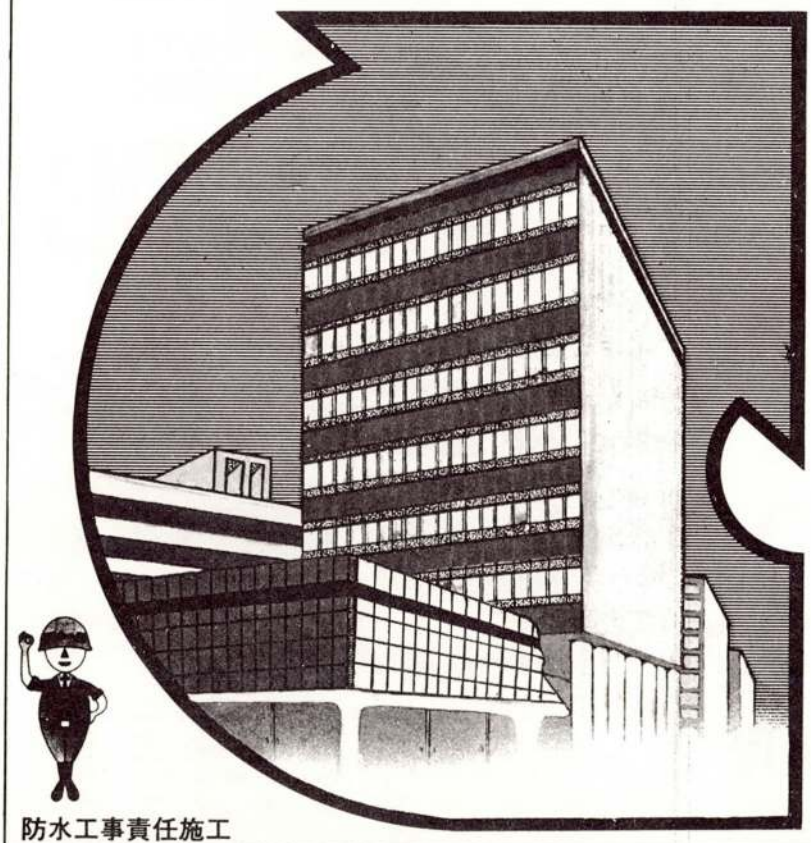
防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

豊かな経験
最新の技術

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社
本社：大阪市東区両替町1－12 日生ビル ☎(943)6571代表
東京・横浜・盛岡・郡山・水戸・浜松・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・堺・神戸・広島・福岡他全国主要都市

現場の信頼に応える



防水工事責任施工

マノール製品

セメント防水・防湿用	防水剤
セメント急硬・止水用	急結剤
セメント硬化促進用	早強剤
セメント耐寒・防凍用	防凍剤
コンクリート型枠脱型用	剝離剤
ノロ湿潤型モルタル密着用	接着剤
塗布型モルタル密着用	カプラー
非加硫ゴムシート防水用	ラバーシート
ウレタン弾性塗膜防水用	ウレタン
化学反応タイプ離型用	リケーダー
セメント起泡・軽量・裏込用	エスコート
場所打抗モルタル混和用	エアコール

— セメント混和剤・助材綜合メーカー —

株式会社 油脂化工社
東京都品川区二葉1－18－8 ☎東京(787)1131代表
東北支店 福島市下野寺字遠原3－2 ☎0245(91)1131(代)
関東営業所 茨城県土浦市大町14－3 ☎0298(23)1131(代)
盛岡営業所 岩手県盛岡市月ケ丘3－39 ☎0196(45)1331(代)
大阪 大阪市東成区東中本2-17-26 ☎ 06 (974) 1131

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

錆びない！
われない！
燃えない！

長尺物・色彩自由・責任施工

品種　オリエンタルメタル（O.P.M）
オリエンタルスーパーメタル（S.P.M）
オリエンタルスチールライト（S.T.L）
オリエンタルカラースーパーメタル（C.S.P.M）

波板規格　S小波　S大波　V波　ボックス波　Wジャンボ波　Vデッキ

用途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
ホーンタイト（防音壁）
換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター（強制）〕


オリエンタル被覆鋼板製防音壁施工

オリエンタルメタル製造株式会社

本社	兵庫県尼崎市昭和南通り3—26松本ビル	電話	大阪(412) 5131代表
営業本部	兵庫県尼崎市長洲稲川新田44	電話	大阪(488) 1081代表
東京本社及工場	埼玉県蕨市塚越5丁目6番32号	電話	蕨 (42) 3115代表
大阪支店及工場	兵庫県尼崎市長洲稲川新田44	電話	大阪(488) 1081代表
九州支店及工場	福岡県遠賀郡水巻町頃末	電話	北九州(691) 2831 代
名古屋支店	名古屋市中村区泥江町1の24第2中経ビル	電話	名古屋(581)2781 代

シンコー　左官用外・内塗装材

タイルックA

◎特長＝化粧・防水・亀裂防止・
補修工事に最適。
100%アクリル弾性水系塗料材

ローラーワンタッチ仕上げ

強力水性 シミ止シーラー
セメントのアク止
タバコのヤニ、スス等
タイルックC

左官コテ塗り仕上塗料

和、洋内・外装材の最高級品
（聚楽仕上）

タイルックB



(株)新興建材工業所

大阪市西区南堀江通6—39☎(06)538—2951(代)
営業所　明石・高槻・中国・四国・東京・新潟・仙台

新興壁材工業株式会社
大阪市住之江区粉浜3－5－6　☎(06)672—1661(代)

(株)九州新興建材工業所
福岡市博多区上牟田3－7－3　☎(092)411—5225(代)

エネルギーを大切に

電気も限りある資源のひとつです












電気のご相談はお気軽にどうぞ

関西電力

仕様書

アスファルト防水の仕様が変りました

「信頼できる防水」と折り紙つきのアスファルト防水。
さらに信頼の度を深めます。
東西アスの新仕様。



強力アスターから強力アスターUへ。強力アスロンから強力アスロンUへ。

防水はこうあるべきだ、という確かな防水理念に裏打ちされた東西アスの新仕様。その中核ルーフィングは、ストレッチルーフィングのJIS規格を超える強力アスターU・強力アスロンU。そして、立上り仕様のコーナー部分の補強には、実績のあるガムロンを新採用。外側断熱防水／UD工法も取り入れました。仕様書は防水の用途別に装いを一新。しかもチェックポイントつきです。いままで以上に使いやすくなりました。

●新しい仕様書をご請求ください。

東西アスファルト事業協同組合
田島ルーフィング株式会社
大阪：大阪市西区京町堀1－10－5電話(06)443－0431
東京：東京都千代田区岩本町3－11－13電話(03)862－8531

建築と社会 ARCHITECTURE & SOCIETY 第5巻第1号
昭和53年1月25日発行（毎月1回25日発行） 昭和24年3月19日第3種郵便物認可
（表紙デザイン・吉引顕久） 定価六五〇円